

Rack2-Filer

ユーザーズガイド

NEW! クラウド／モバイルに送る (301 ページ)
クラウド／モバイル連携対応！

NEW! 写真アルバムを作成する (337 ページ)
写真アルバム機能追加！

Rack2-Filer のエクスポート機能によって生成された
「Viewer 付きデータファイル (*.exe)」は、個人的な範囲を
超える使用目的で、無断で複製・転用、およびネットワークを
通じて配信することは禁止されています。

はじめに

このたびは、Rack2-Filer をご購入いただき、誠にありがとうございます。
Rack2-Filer は、書類データの管理や閲覧をコンピュータ上で行うためのソフトウェアです。
本書は、Rack2-Filer の概要および操作方法について説明しています。
まず、「本書の読み方」をお読みください。

2011 年 9 月

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Microsoft Excel、および PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
Word は、米国 Microsoft Corporation の製品です。
Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Adobe PDF ロゴ、および Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。
ScanSnap、ScanSnap ロゴ、および Rack2-Filer は、株式会社 PFU の日本における登録商標または商標です。
ABBYY™ FineReader™ Engine ©2011 ABBYY. OCR by ABBYY
ABBYY および FineReader は、ABBYY の商標です。
Evernote は、Evernote Corporation の登録商標または商標です。
Google および Google ドキュメントは、Google Inc. の登録商標または商標です。
Salesforce、Salesforce ロゴ、Salesforce CRM は米国その他の国における米セールスフォース・ドットコム（salesforce.com, inc.）の登録商標または商標です。
iPad、iPhone、および iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
その他の商品名、会社名は、一般に各社の商標または登録商標です。
Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。



本製品は当社のビューア技術「EasyFlip」を搭載しています。

© PFU LIMITED 2011

本書の読み方

本書は、Rack2-Filer の操作について知りたい方を対象に説明しています。

本書の構成

本書は、次の構成になっています。

第 1 章 Rack2-Filer とは

Rack2-Filer の概要および画面について説明しています。

第 2 章 動作環境

Rack2-Filer の動作環境について説明しています。

第 3 章 インストールとアンインストール

Rack2-Filer のインストール方法、アンインストール方法、およびアップデート方法について説明しています。

第 4 章 起動／終了する

Rack2-Filer の画面（バインダ管理画面／ビューア画面／WorkArea 画面）を起動する方法、および終了する方法について説明しています。

第 5 章 ScanSnap と連携する

Rack2-Filer と ScanSnap を連携する方法について説明しています。この操作は、一度行えば、次回以降は不要です。

第 6 章 バインダ管理画面での操作

バインダ管理画面でできる操作について説明しています。

第 7 章 ビューア画面での操作

ビューア画面でできる操作について説明しています。

第 8 章 クラウド／モバイルに送る

Rack2-Filer のデータを PDF ファイルとしてクラウド・ストレージやモバイル機器に送る機能について説明しています。

第 9 章 写真アルバムを作成する

写真アルバム機能について説明しています。

第 10 章 その他の機能

その他の機能について説明しています。

第 11 章 Backup & Restore Tool

データの Backup & Restore Tool について説明しています。

第 12 章 困ったときには

Rack2-Filer の操作中にトラブルが発生した場合の対処方法について説明しています。

第 13 章 メッセージ

Rack2-Filer の操作中に表示されるメッセージとその対処方法について説明しています。

操作を理解していただくために、第 1 章～第 11 章をお読みください。

第 12 章および第 13 章は、必要に応じてお読みください。

なお、本書では、Windows Vista[®] の画面写真を操作説明に使用しています。

本書で使用している記号について

本書では、説明に次の記号を使用しています。

記号	説明
 まって!	特に注意が必要な事項や、必ず守っていただきたい事項が書かれています。必ずお読みください。
 ヒント	操作に関するワンポイントアドバイスが書かれています。
 操作	操作の手順について書かれています。

本書でのオペレーティングシステムの略記について

本書では、以下のように用語を省略して表記しています。

Windows Server 2008

Windows Server[®] 2008 Standard
Windows Server[®] 2008 Enterprise
Windows Server[®] 2008 Foundation

Windows Server 2003

Windows Server[®] 2003 operating system (32 ビット版)
Windows Server[®] 2003 R2 operating system (32 ビット版)

Windows 2000 Server

Windows[®] 2000 Server operating system

Windows 2000 Professional

Windows[®] 2000 Professional operating system

Windows XP Home Edition

Windows[®] XP Home Edition operating system

Windows XP Professional

Windows[®] XP Professional operating system (32 ビット版)

Windows Vista Home Basic

Windows Vista[®] Home Basic operating system (32 ビット版、64 ビット版)

Windows Vista Home Premium

Windows Vista[®] Home Premium operating system (32 ビット版、64 ビット版)

Windows Vista Business

Windows Vista[®] Business operating system (32 ビット版、64 ビット版)

Windows Vista Enterprise

Windows Vista[®] Enterprise operating system (32 ビット版、64 ビット版)

Windows Vista Ultimate

Windows Vista[®] Ultimate operating system (32 ビット版、64 ビット版)

Windows 7 Starter

Windows[®] 7 Starter operating system (32 ビット版)

Windows 7 Home Premium

Windows[®] 7 Home Premium operating system (32 ビット版、64 ビット版)

Windows 7 Professional

Windows[®] 7 Professional operating system (32 ビット版、64 ビット版)

Windows 7 Enterprise

Windows[®] 7 Enterprise operating system (32 ビット版、64 ビット版)

Windows 7 Ultimate

Windows[®] 7 Ultimate operating system (32 ビット版、64 ビット版)

なお、以下を区別しない場合、Windows XP と表記します。

- ・ Windows XP Home Edition
- ・ Windows XP Professional

以下を区別しない場合、Windows Vista と表記します。

- ・ Windows Vista Home Basic
- ・ Windows Vista Home Premium
- ・ Windows Vista Business
- ・ Windows Vista Enterprise
- ・ Windows Vista Ultimate

以下を区別しない場合、Windows 7 と表記します。

- ・ Windows 7 Starter
- ・ Windows 7 Home Premium
- ・ Windows 7 Professional
- ・ Windows 7 Enterprise
- ・ Windows 7 Ultimate

上記すべてのオペレーティングシステムを総称する場合は、Windows と表記します。

本書で正在している用語について

- ・ 本書では、「Rack2-Viewer」を「ビューア画面」と表記しています。
 - ・ 本書では、「Rack2-WorkArea」を「WorkArea 画面」と表記しています。
 - ・ 本書では、「ページ」と「原稿」を次のように使い分けています。
 - ページ : 表ページまたは裏ページのどちらか一方を示しています。
 - 原稿 : 表ページと裏ページの両方を示しています。
- また、ファイルに関連付けされているアプリケーションのアイコンがページの下部に表示されているページは、「電子データ付きのページ」（「電子データ付きの原稿」）と表記しています。
- ・ 本書では、「Rack2-Filer」の以下の機能をまとめて「編集情報」と表記しています。
 - 付箋紙、マーカー、スタンプ、ハイパーリンク
 - ・ 本書では、「Adobe® Acrobat®」を「Adobe Acrobat」と表記しています。
 - ・ 本書では、「Adobe® Reader®」を「Adobe Reader」と表記しています。
 - ・ 本書では、「Adobe® Acrobat®」、「Adobe® Acrobat® Reader」、および「Adobe® Reader®」を総称する場合は、「Adobe Acrobat 製品」と表記しています。
 - ・ 本書では、「Microsoft® Word」を「Microsoft Word」と表記しています。
 - ・ 本書では、「Microsoft Excel®」を「Microsoft Excel」と表記しています。
 - ・ 本書では、「Microsoft® PowerPoint®」を「Microsoft PowerPoint」と表記しています。
 - ・ 本書では、「Microsoft® .NET Framework」を「.NET Framework」と表記しています。
 - ・ 本書では、「Google ドキュメント™」を「Google ドキュメント」と表記しています。
 - ・ 本書では、「Evernote」、「Google ドキュメント」、「Salesforce Chatter」、「SugarSync」のことをまとめて「クラウド」と表記しています。
 - ・ 本書では、iPad/iPhone/iPod touch などの機器を「モバイル」または「モバイル機器」と表記しています。

本書の画面について

本書では、画面に表示される他社アイコンをモザイク処理してあります。

マニュアルについて

Rack2-Filer のマニュアルには、本書の他に『スタートアップガイド』、『バイнда管理画面のヘルプ』、『ビューア画面のヘルプ』、『WorkArea 画面のヘルプ』があります。

インストール方法、基本操作について説明しています。

バイнда管理画面でできるすべての操作、画面の入力項目などについて説明しています。



ビューア画面でできるすべての操作、画面の入力項目などについて説明しています。

WorkArea画面でできるすべての操作、画面の入力項目などについて説明しています。

それぞれのマニュアルは、目的に応じて次のように使い分けてください。

スタートアップガイド

Rack2-Filer のインストール方法、基本的な操作の流れについて知りたいときにお読みください。

『スタートアップガイド』は、バインダ形式と PDF 形式で提供しています。

バインダ形式の『スタートアップガイド』は、Rack2-Filer を起動して、「デフォルト書庫」の「デフォルトキャビネット」の「Getting Started」をダブルクリックすると参照できます。

PDF 形式の『スタートアップガイド』は、製品 CD-ROM の「¥ Rack2-Filer ¥ Docs ¥ JPN」配下に「GettingStarted.pdf」として提供しています。

PDF 形式のスタートアップガイドをご覧になるためには、Adobe Acrobat または Adobe Reader が必要です。

ユーザーズガイド（本書）

Rack2-Filer の操作について知りたいときにお読みください。

『ユーザーズガイド』は、以下のいずれかの操作を行うと参照できます。

- ・ [スタート] – [すべてのプログラム] – [Rack2-Filer] – [ユーザーズガイド] を選択する
- ・ Rack2-Filer を起動して、[ヘルプ] – [ユーザーズガイド (PDF)] を選択する
- ・ 製品 CD-ROM の「¥ Rack2-Filer ¥ Docs ¥ JPN」配下の「User'sGuide.pdf」を表示する

ユーザーズガイドをご覧になるためには、Adobe Acrobat または Adobe Reader が必要です。

バインダ管理画面のヘルプ

Rack2-Filer のバインダ管理画面での操作について知りたいときや、バインダ管理画面での操作中（項目を入力するときなど）に分からないことがあったときにお読みください。

バインダ管理画面の [ヘルプ] – [トピックの検索] を選択すると表示されます。

また、ダイアログボックスの [ヘルプ] ボタンをクリックすると、そのダイアログボックスの項目についての説明が表示されます。

ビューア画面のヘルプ

Rack2-Filer のビューア画面での操作について知りたいときや、ビューア画面での操作中（項目を入力するときなど）に分からないことがあったときにお読みください。

ビューア画面の [ヘルプ] ボタンをクリックすると表示されます。

また、ダイアログボックスの [ヘルプ] ボタンをクリックすると、そのダイアログボックスの項目についての説明が表示されます。

WorkArea 画面のヘルプ

Rack2-Filer の WorkArea 画面での操作について知りたいときや、WorkArea 画面での操作中（項目を入力するときなど）に分からないことがあったときにお読みください。

WorkArea 画面の [ヘルプ] ボタンをクリックすると表示されます。

目次



第 1 章	Rack2-Filer とは	23
1.1	特長	24
1.2	データの管理	25
1.3	Rack2-Filer の画面	27
1.4	Rack2-Filer の画面構成（バインダ管理画面）	29
1.5	Rack2-Filer の画面構成（ビューア画面）	32
1.6	Rack2-Filer の画面構成（WorkArea 画面）	36
1.7	基本的な操作の流れ	39
第 2 章	動作環境	41
2.1	動作環境	42
	ハードウェアの環境	42
	ソフトウェアの環境	43
	原稿を読み取るスキャナの環境	44
	クラウド／モバイルを利用するために 必要なソフトウェア	44
	その他の留意事項	45
2.2	ネットワーク共有時の制限	46
2.3	WorkArea の制限	48
第 3 章	インストールとアンインストール	49
3.1	インストールする	50
3.2	アンインストールする	55
3.3	アップグレードする	57

3.4	アップデートする	58
第4章	起動／終了する	61
4.1	バイнда管理画面を起動／終了する	62
	バイнда管理画面を起動する	62
	バイнда管理画面を終了する	62
4.2	ビューア画面を表示／終了する	63
	ビューア画面を表示する	63
	ビューア画面を終了する	63
4.3	WorkArea 画面を起動／終了する	64
	WorkArea 画面を起動する	64
	WorkArea 画面を終了する	66
第5章	ScanSnap と連携する	67
5.1	S1100 / S1300 / S1500 と連携する	68
	ScanSnap Manager でアプリケーションを 選択する方法	68
	クイックメニューを使用する方法	71
5.2	S300 / S510 / S500 と連携する	76
	ScanSnap Manager でアプリケーションを 選択する方法	76
	クイックメニューを使用する方法	80
第6章	バイнда管理画面での操作	85
6.1	リンクフォルダを設定する	86
6.2	リンクフォルダの表示順を変更する	89
6.3	書庫を作成する	90
6.4	書庫の名前を変更する	91
6.5	書庫を削除する	93
6.6	書庫の表示順を変更する	95

6.7	キャビネットを作成する	96
6.8	キャビネットの名前を変更する	98
6.9	キャビネットを削除する	100
6.10	キャビネットの表示順を変更する	102
6.11	キャビネットの表示形式を切り替える	104
6.12	キャビネットの背景パターンを変更する	106
6.13	バインダを作成する	108
6.14	名刺バインダを作成する	109
6.15	バインダを編集する	112
6.16	ScanSnap からイメージを読み取って バインダの背表紙にする	115
6.17	バインダの背表紙にイメージを貼り付ける	118
6.18	バインダを削除する	120
6.19	バインダを移動する	122
	ドラッグ & ドロップによるバインダの移動	122
	[バインダの移動] ダイアログボックスによる バインダの移動	123
6.20	バインダをコピー（複製）する	126
	ドラッグ & ドロップによるバインダのコピー	126
	[バインダの複製] ダイアログボックスによる バインダのコピー	127
6.21	バインダをアクセス日時の新しい順に並べ替える	130
6.22	バインダ内の全ページのテキストを抽出する	131
6.23	バインダに関する情報を確認する	132
6.24	バインダを出力する（エクスポート）	134
6.25	バインダを取り込む（インポート）	136
6.26	バインダを検索する	138
6.27	検索結果をバインダにまとめる	143
6.28	ページを検索する	148
6.29	WorkArea へ原稿を移動する	150

6.30	WorkArea へ原稿をコピーする	151
6.31	環境を設定する	152
	[一般] タブでの設定	152
	[ScanSnap-Rack2 連携] タブでの設定	155
6.32	データを退避する	157
6.33	データを他のコンピュータに移行する	158

第7章 ビューア画面での操作 159

7.1	業務用 イメージ スキャナ fi シリーズからページを読み取る	160
7.2	ScanSnap からページを読み取る	163
7.3	ファイル（電子データ）を取り込む	165
7.4	1 ページずつページをめくる	173
7.5	連続して自動でページをめくる	174
7.6	ページを上下反転する	175
7.7	ページを 90 度回転する	176
7.8	ページを左右入れ替える	177
7.9	ページの傾き補正をする	178
7.10	ページの表示方法を変更する	179
	ページの表示方法を変更する	179
	ページを回転して表示する	182
7.11	ページの表示範囲を変更する	184
7.12	指定した範囲を拡大して表示する	185
7.13	未読文書を表示する	187
7.14	ページに付箋紙を付ける	188
7.15	ページにマーカーを引く	190
7.16	ページにハイパーリンクを設定する	193
7.17	ページにスタンプを押す	197
7.18	目次情報を設定する	200

7.19 テキストを抽出する	202
ページ内で範囲を選択して抽出する	205
原稿を指定して抽出する	206
取り込み時に自動的に抽出する	207
ScanSnap S1100 / S1300 / S1500 の マーカーキーワード機能で自動抽出する	209
バインダ内の全ページのテキストを抽出する	210
7.20 ページを検索する	211
検索対象となる文字列を設定する	212
目的のページを検索する	214
検索結果を強調表示する	216
7.21 ページを印刷する	218
ページを印刷する	218
見開き印刷をする	220
目次ページを印刷する	220
7.22 バインダを上書き保存する	222
7.23 バインダ内のすべてのページを別名保存する	223
7.24 原稿を選択して別名保存する	226
1枚の原稿を選択して別名保存する	226
複数の原稿を選択して別名保存する	228
7.25 インデックスシートを付ける	230
7.26 サムネイルを表示する	232
7.27 原稿の並び順を変更する	234
7.28 目次単位で原稿の並び順を変更する	236
7.29 原稿を削除する	239
1枚の原稿を削除する	239
複数の原稿を削除する	240
原稿の片面をまとめて削除する	241
7.30 原稿を移動（切り取り）する	243
別バインダへの原稿の移動	243

クリップボードへの移動（1枚の原稿）	244
クリップボードへの移動（複数の原稿）	245
WorkArea への移動	247
7.31 原稿をコピーする	248
クリップボードへのコピー（1枚の原稿）	248
クリップボードへのコピー（複数の原稿）	249
WorkArea へのコピー（1枚の原稿）	251
WorkArea へのコピー（複数の原稿）	251
7.32 原稿を貼り付ける	252
7.33 複数の原稿を指定する	253
7.34 原稿を1ページに割り付ける	258
2ページを1ページ内に割り付ける	258
割り付け後のページについて	260
7.35 ページをコピーする	265
クリップボードにページをコピーする	265
WorkArea にページをコピーする	266
7.36 ページを貼り付ける	267
7.37 ページを消去する（白紙にする）	268
7.38 ページを削除する	269
7.39 白紙ページを追加する	270
7.40 ページをメール送信する	271
7.41 オフィス文書に変換する（ScanSnap データ）	273
7.42 元のファイルを修正する	279
7.43 元のファイルを削除する	281
7.44 名刺シート（名刺用の原稿）を作成する	282
7.45 名刺を上下反転する	283
7.46 名刺を移動（切り取り）する	284
7.47 名刺をコピーする	285
7.48 名刺を貼り付ける	286

7.49 名刺を削除する	287
7.50 名刺を保存する	288
7.51 名刺を印刷する	289
7.52 名刺をメール送信する	290
7.53 動作環境を設定する	291

第 8 章 クラウド／モバイルに送る **301**

8.1 送るデータを選択する	302
バインダを選択して送る	302
ページを送る	303
サムネイルを送る	304
8.2 クラウドに送る	305
Evernote に送る	305
Google ドキュメントに送る	307
Salesforce Chatter に送る	311
SugarSync に送る	315
8.3 モバイルに送る	319
事前設定	320
Rack2 Mobile Link のアイコンと 右クリックメニュー	322
モバイルに送る	325
トラブルが発生した場合の対処方法	329
Rack2-Filer と ScanSnap がインストールされている コンピュータでモバイルに送る場合の留意事項	334

第 9 章 写真アルバムを作成する **337**

9.1 写真アルバム機能とは	338
写真アルバム機能の特長	338
写真アルバム作成の流れ	339
9.2 写真アルバムを作成する	343

写真バイндаを作成する	343
写真／文書を取り込む	344
ページを編集する	348
9.3 写真バイнда内の写真／文書を取り出す	359
写真／文書を選択して保存する	359
複数の写真／文書を指定して保存する	360
9.4 写真バイндаの使用時の注意事項	362
注意の必要な操作	362
利用できない操作	364

第 10 章 その他の機能 367

10.1 他のアプリケーションからデータを取り込む	368
10.2 Rack2 Folder Monitor Software	372
インストールする	373
アンインストールする	376
設定する	377
データを取り込む	381

第 11 章 Backup & Restore Tool 383

11.1 Backup & Restore Tool を起動／終了する	384
Backup & Restore Tool を起動する	384
Backup & Restore Tool を終了する	384
11.2 バックアップ設定画面を表示する	385
11.3 バックアップ設定情報を作成する	387
11.4 バックアップを実行する	390
11.5 復元画面を表示する	392
11.6 リンクフォルダ内のデータを一括して復元する	394
11.7 バイндаを指定して復元する	395
11.8 復元バイндаを表示する	399

11.9 ログファイル設定画面を表示する	400
第 12 章 困ったときには	403
第 13 章 メッセージ	413
13.1 バインダ管理画面のメッセージ	414
13.2 ビューア画面のメッセージ	421
13.3 WorkArea 画面のメッセージ	436
索引	451

第 1 章



Rack2-Filer とは

この章では、Rack2-Filer の特長、データの管理、各画面の構成、および基本的な操作の流れについて説明します。

1.1 特長

Rack2-Filer とは、書類データの管理^(*) や閲覧を、コンピュータ上で行うためのソフトウェアです。

(*) Rack2-Filer では、データは PDF ファイルで管理されます。

Rack2-Filer の特長は、以下のとおりです。

- ・ **分かりやすく、使いやすい操作性を実現しています**

実際の書棚から紙のファイルを取り出して見るような感覚で、コンピュータ上で直感的に、ページをめくったり、付箋紙を付けることができます。

- ・ **情報の検索が容易です**

「タイトル」や「付箋紙情報」などの検索条件を指定することで、膨大な量のバインダの中から目的のバインダを、効率よく検索できます。

- ・ **紙の保管スペースが不要です**

書類や原稿を読み取って電子データにし、分類・管理できるため、膨大な量の紙やファイルを保管するスペースが不要になります。

- ・ **グループ間で情報共有できます**

ネットワーク上の共有フォルダにデータを配置して、複数人でデータを共有できます。

1.2 データの管理

Rack2-Fileer では、ファイルの管理をコンピュータ上で直感的に行いやすくするために、「書庫」、「キャビネット」、「バインダ」という呼び方でデータを管理しています。

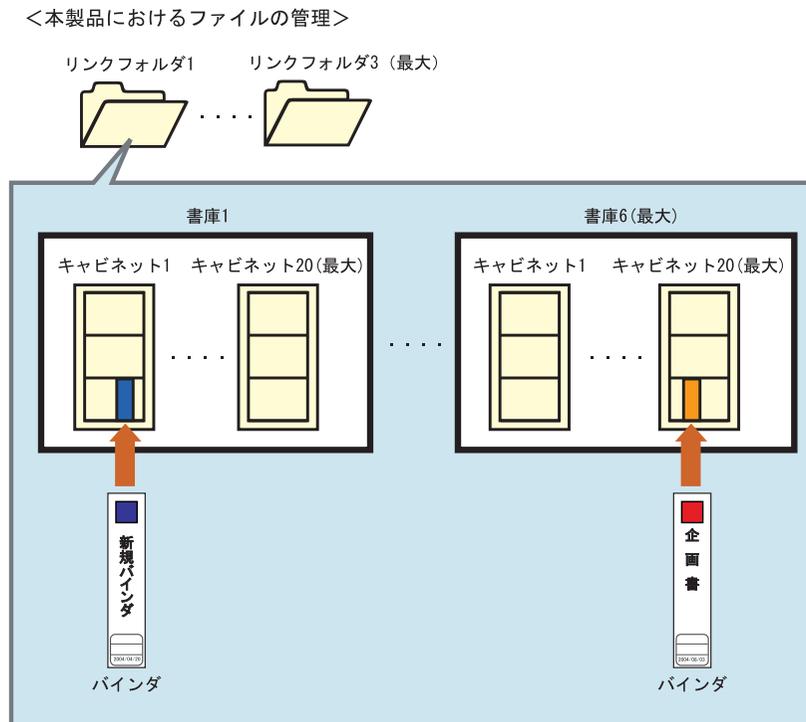
「書庫」、「キャビネット」、「バインダ」のデータの格納先をリンクフォルダといいます。リンクフォルダには、任意のフォルダを設定します。

- ・ リンクフォルダは、最大 3 個設定できます。
- ・ 1 個のリンクフォルダには「書庫」を最大 6 個作成できます。
- ・ 1 個の「書庫」の中には「キャビネット」を最大 20 個作成できます。
- ・ 1 個の「キャビネット」の中には「バインダ」を最大 21 個作成できます。

つまり、Rack2-Fileer では、1 個のリンクフォルダに最大 2520 個（6 × 20 × 21）のバインダを管理できます。

また、1 個の「バインダ」で、最大 1000 ページ管理することができます。

それぞれの関係を以下に示します。



1.3 Rack2-Filer の画面

Rack2-Filer には、次の画面があります。

- ・ **バインダ管理画面**

書庫、キャビネット、バインダを管理します。

デスクトップ上に作成されたプログラムアイコンをクリックするか、またはスタートメニューから起動すると、表示されます。

- ・ **ビューア画面**

バインダを閲覧したり、編集したりします。

バインダ管理画面のバインダをダブルクリックすると表示されます。

- ・ **WorkArea 画面**

以下の作業ができ、バインダ間の原稿移動時の一時的な置き場として使用します。

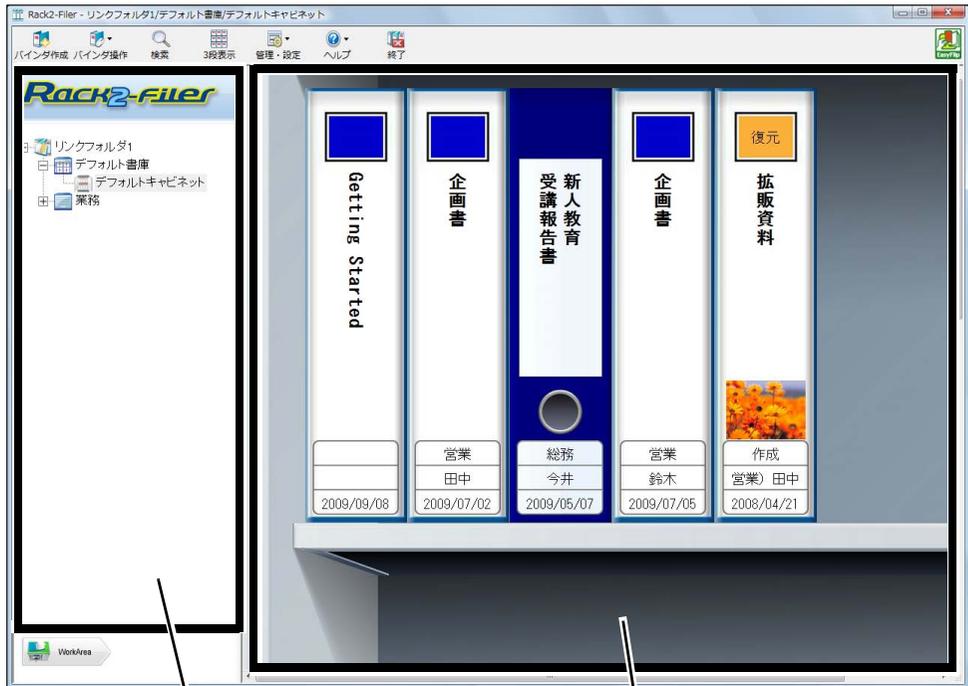
- － ファイルの取り込み
- － ページ順の入れ替え
- － ページの削除

バインダ管理画面、またはビューア画面の [WorkArea] ボタンをクリックすると、WorkArea 画面が表示されます。

以下に、画面の流れについて示します。

1.4 Rack2-Fileer の画面構成 (バイнда管理画面)

ここでは、バイнда管理画面の構成について説明します。



フォルダビュー
バイндаを管理している
書庫やキャビネットが
表示されます。

バイндаビュー
キャビネットで管理されている
バイндаが表示されます。

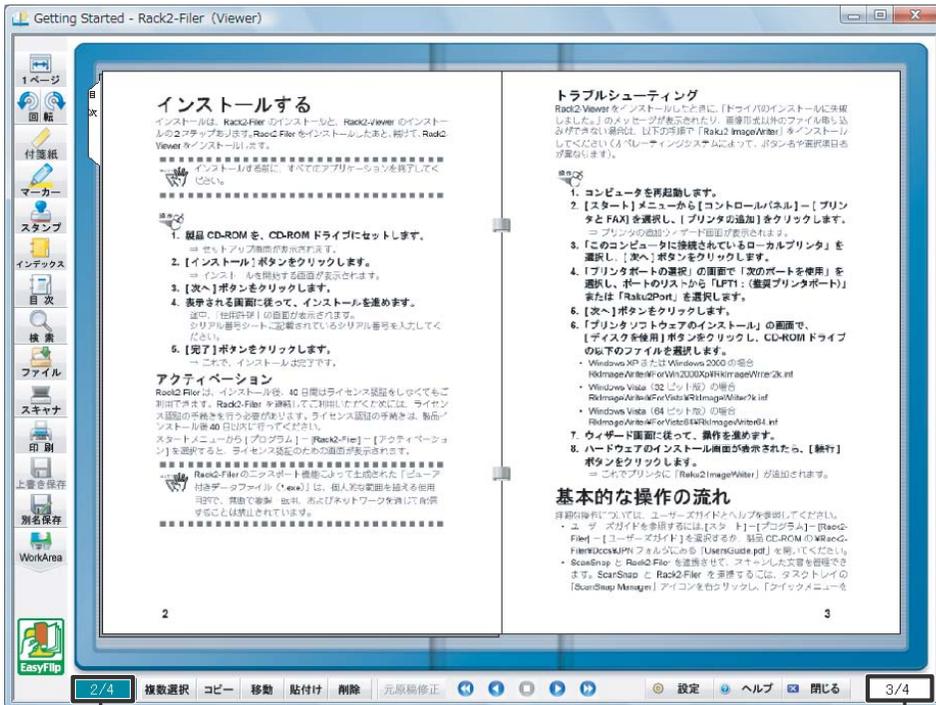
バイнда管理画面のボタン		ボタンの説明
 <p>バイнда作成</p>	<p>[バイнда作成] ボタン</p>	<p>バイндаを作成します。</p>

バインダ管理画面のボタン		ボタンの説明
	【バインダ操作】 ボタン	以下の作業を行います。 ・バインダ編集 ・バインダ移動 ・バインダ削除 ・バインダ複製 ・バインダ内データを WorkArea へコピー ・バインダ内データを WorkArea へ移動 ・インポート ・エクスポート
	【検索】ボタン	目的のバインダを検索します。 バインダを選択している場合、そのバインダのページを検索します。
	【1 段表示】 ボタン	キャビネットを 1 段表示します。
	【3 段表示】 ボタン	キャビネットを 3 段表示します。
	【管理・設定】 ボタン	以下の作業を行います。 ・書庫管理 ・キャビネット管理 ・キャビネット背景パターンの変更 ・リンクフォルダ、書庫、キャビネットの表示順の変更 ・環境設定
	【ヘルプ】ボタン	以下を表示します。 ・ユーザズガイド ・バインダ管理画面のヘルプ ・使用許諾契約について ・Rack2-Filer のバージョン情報 また、オンラインアップデートを行います。
	【終了】ボタン	バインダ管理画面を終了します。
	【WorkArea】 ボタン	WorkArea 画面を表示します。

バイнда管理画面のボタン		ボタンの説明
 戻る	[戻る]ボタン	検索結果表示を終了します。 バイндаの検索時に表示されます。

1.5 Rack2-Filer の画面構成 (ビューア画面)

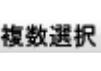
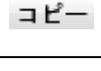
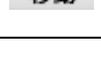
ここでは、ビューア画面の構成について説明します。



ページ表示域
表示ページ数/全体ページ数の形式でページ数が表示されます。
ページ番号を入力すると、入力したページが表示されます。
選択中のページは、ページ表示域が緑色になります。

ビューア画面のボタン	ボタンの説明
 <p>[1 ページ] ボタン</p>	<p>ページを 1 ページで表示します (1 ページモード)。ページを見開きで表示しているときに表示されず。ボタンをクリックして 1 ページモードに変更すると、 に変わります。</p>

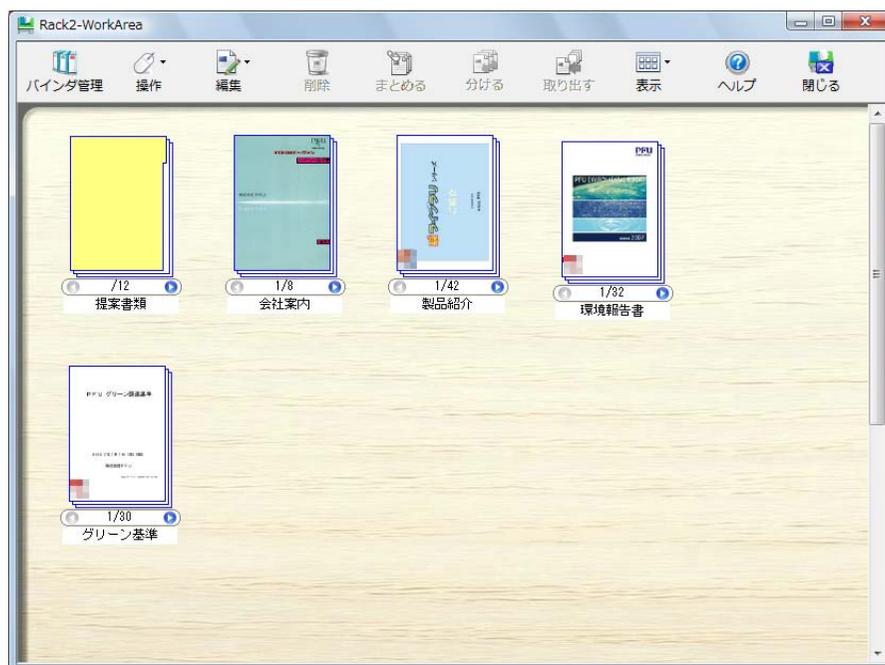
ビューア画面のボタン		ボタンの説明
	[見開き] ボタン	ページを見開きで表示します（見開きモード）。ページを1ページで表示しているときに表示されます。ボタンをクリックして見開きモードに変更すると、  と、1ページ に変わります。
	[左回転] ボタン	ページを左に90度回転して表示します。
	[右回転] ボタン	ページを右に90度回転して表示します。
	[写真選択] ボタン	写真／文書とコメントの選択モードを切り替えます。ボタンをクリックして選択モードを有効にする  と、写真選択 に変わります。写真バインダの場合に表示されます。
	[付箋紙] ボタン	ページ上に付箋紙を付けます。
	[マーカー] ボタン	ページ上にマーカーを引きます。
	[スタンプ] ボタン	ページ上にスタンプを押します。
	[インデックス] ボタン	バインダ内のページを区分するために、インデックスシートを挿入します。
	[目次] ボタン	目次ページに目次情報を設定します。バインダ内に目次ページが作成されている場合に設定できます。
	[検索] ボタン	目的のページを検索します。
	[ファイル] ボタン	ファイル（電子データ）を取り込んで、バインダにページを追加します。

ビューア画面のボタン		ボタンの説明
	[レイアウト] ボタン	[レイアウトの設定] ダイアログボックスを表示します。 写真バインダの場合に表示されます。
	[スキャナ] ボタン	原稿を読み取って、バインダにページを追加します。 読み取ることができるのは、業務用 イメージ スキャナ fi シリーズです。
	[印刷] ボタン	ページを印刷します。
	[上書き保存] ボタン	バインダを上書き保存します。
	[別名保存] ボタン	バインダ内のすべてのページを、PDF 形式にして出力し、保存します。
	[WorkArea] ボタン	WorkArea 画面を表示します。
	[複数選択] ボタン	複数の原稿を指定します。
	[コピー] ボタン	選択した原稿をクリップボードにコピーします。
	[移動] ボタン	選択した原稿を切り取って、クリップボードに移動します。
	[貼り付け] ボタン	クリップボードにコピーまたは移動した原稿やページを、表示しているページの前に貼り付けます。
	[削除] ボタン	選択している原稿を削除します。
	[元原稿修正] ボタン	ファイル取り込みした元のファイル（電子データ）を修正します。
	[キャンセル] ボタン	複数原稿の指定状態を解除します。 複数の原稿を指定したときに表示されます。
	[<<] ボタン	左方向に連続して自動でページをめくります。

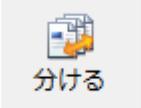
ビューア画面のボタン		ボタンの説明
	[<] ボタン	左方向に 1 ページずつページをめくります。
	[■] ボタン	ページの連続めくりを停止します。
	[>] ボタン	右方向に 1 ページずつページをめくります。
	[>>] ボタン	右方向に連続して自動でページをめくります。
 設定	[設定] ボタン	動作環境を設定します。
 ヘルプ	[ヘルプ] ボタン	ビューア画面のヘルプを表示します。
 閉じる	[閉じる] ボタン	ビューア画面を閉じます。
	[←] ボタン	右側のページでクリックすると、左側のページを表示します。 左側のページでクリックすると、ページをめくり ます。 1 ページモードのときに表示されます。
	[→] ボタン	左側のページでクリックすると、右側のページを 表示します。 右側のページでクリックすると、ページをめくり ます。 1 ページモードのときに表示されます。
	[↑] ボタン	表示されているページの上部を表示します。 回転して表示しているときは、前ページを表示し ます。 1 ページモードのとき、およびページを左右に 90 度回転して表示させたときに表示されます。
	[↓] ボタン	表示されているページの下部を表示します。 回転して表示しているときは、次ページを表示し ます。 1 ページモードのとき、およびページを左右に 90 度回転して表示させたときに表示されます。
 戻る	[戻る] ボタン	ページを回転して表示する前の表示に戻ります。 ページを回転して表示させたときに表示されます。
 ジャンプ	[元のバインダ を開く] ボタン	検索元のバインダを表示します。 検索結果バインダの場合に表示されます。

1.6 Rack2-Filer の画面構成 (WorkArea 画面)

ここでは、WorkArea 画面の構成について説明します。



WorkArea 画面のボタン		ボタンの説明
	[バインダ管理] ボタン	バインダ管理画面を表示します。
	[操作] ボタン	以下の作業を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・ファイル（電子データ）の取り込み ・PDF 保存 ・印刷 ・メール送信

WorkArea 画面のボタン		ボタンの説明
 編集	[編集] ボタン	以下の作業を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・元に戻す ・コピー ・電子データの削除 ・マーカーで囲まれている部分を切り抜く ・オフィス文書に変換 ・すべて選択 ・指定ページへジャンプ ・サムネイル名の編集 ・動作環境の設定
 削除	[削除] ボタン	選択したサムネイルを削除します。
 まとめる	[まとめる] ボタン	選択したサムネイルを1つのサムネイルにまとめます。
 分ける	[分ける] ボタン	1つのサムネイルを複数のサムネイルに分割します。
 取り出す	[取り出す] ボタン	サムネイルからページを取り出します。
 表示	[表示] ボタン	以下の作業を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・サムネイルを整列して表示 ・サムネイルサイズを変更 ・ScanSnap データにマークを表示 ・指定ページを大きく表示 ・最新の状態に更新
 ヘルプ	[ヘルプ] ボタン	WorkArea 画面のヘルプを表示します。
 閉じる	[閉じる] ボタン	WorkArea 画面を終了します。

WorkArea 画面のボタン		ボタンの説明
 <p>前へ</p>	<p>[前へ] ボタン</p>	<p>前のページを表示します。 指定ページを大きく表示したときに表示されます。</p>
 <p>次へ</p>	<p>[次へ] ボタン</p>	<p>次のページを表示します。 指定ページを大きく表示したときに表示されます。</p>
 <p>編集情報</p>	<p>[編集情報] ボタン</p>	<p>編集情報を表示します。 指定ページを大きく表示したときに表示されます。</p>
 <p>閉じる</p>	<p>[閉じる] ボタン</p>	<p>指定ページの表示を終了します。 指定ページを大きく表示したときに表示されます。</p>

1.7 基本的な操作の流れ

バインダを作成して、読み込んだファイルを参照する場合の操作の一例を説明します。

①キャビネットを選択してクリック
バインダを作成するキャビネットを
ツリーから選択します。

②クリック
⇒「バインダの編集」ダイアログボックスが
表示されます。

③バインダ名などを設定し、
[OK]ボタンをクリック
⇒バインダが作成されます。

④ダブルクリック
⇒ビューア画面が表示されます

フォルダビュー
バインダを管理している
リンクフォルダ、書庫、
キャビネットが表示されます。

バインダビュー
キャビネットで管理されている
バインダが表示されます。

⑤クリックしてファイルを選択
⇒「Raku2 ImageWriter」のプリンタドライバ
を使用してPDFが生成され、バインダに
ファイルが取り込まれます。

⑥拡大したい範囲をドラッグ
部分的に拡大されて表示されます。

⑦クリック
パラパラめくりで
閲覧できます。



上記は操作の一例です。

⑤のファイルの取り込み以外にも、業務用イメージスキャナ fi シリーズや ScanSnap を使って原稿を読み取る方法があります。詳細については、「第 7 章 ビューア画面での操作」(159 ページ) を参照してください。

第 2 章



動作環境

この章では、Rack2-Filer の動作環境、ネットワーク共有および WorkArea での制限について説明します。

2.1 動作環境

Rack2-Filer が動作するために必要なハードウェアとソフトウェアの環境、および原稿を読み取る場合のスキヤナの環境は以下のとおりです。

■ ハードウェアの環境

項目		概要		
オペレーティングシステム (OS)		・ Windows 2000 Professional ・ Windows XP	Windows Vista	Windows 7
CPU		Pentium III 600MHz 以上	Pentium 4 1.8GHz 以上	
搭載メモリ		256M バイト以上 (512M バイト以上を推奨)	512M バイト以上 (1G バイト以上を推奨)	32bit : 1G バイト以上 64bit : 2G バイト以上
ディスク容量	システムドライブ	10M バイト以上の空き容量 (カラーデータを扱う場合は、約 400M バイト以上の空き容量と仮想メモリ (ページングファイルサイズ) の指定を行う必要あり)		
	インストール先ドライブ	450M バイト以上の空き容量 (Rack2-Filer を利用して作成されるデータの容量を除く)		
ディスプレイの解像度		800 × 600 ピクセル以上 (*1)		
ディスプレイの色数		ハイカラー (16 ビット) 以上		

項目		概要
モバイル 連携	機種	<ul style="list-style-type: none"> ・ iPad ・ iPhone 4 / 3GS ・ iPod touch 4th / 3rd
	OS	iOS 4.2.1 以降

*1 : Windows の設定で、文字サイズを大きくしている場合は 1024 × 768 以上

■ ソフトウェアの環境

Rack2-Filer は、地域と言語の設定がオペレーティングシステムの設定と同じである場合に、動作をサポートしています。

項目	条件
オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows 2000 Professional(*1) ・ Windows XP(*1) ・ Windows Vista ・ Windows 7
.NET Framework	.NET Framework 3.0 または 3.5 (Google ドキュメント、Salesforce Chatter、および iPad/iPhone/iPod touch 利用時に必要)

*1 : 以下の機能を利用する場合、Windows XP では Service Pack2 以降の環境が必要です。また、Windows 2000 Professional での動作はサポートしていません。

- ・ Evernote
- ・ Google ドキュメント
- ・ Salesforce Chatter
- ・ SugarSync
- ・ iPad/iPhone/iPod touch

■ 原稿を読み取るスキャナ環境

項目	条件
スキャナ	<ul style="list-style-type: none">・ 業務用 イメージ スキャナ fi シリーズ・ パーソナル ドキュメント スキャナ ScanSnap シリーズ (S1100、S1300、S1500(*1)、S300、S510、S500) 本書では、上記の機種を総称して ScanSnap と記載しています。

*1 : ScanSnap S1500M を含みます。本書では、S1500M を含めて S1500 と記載しています。

■ クラウド／モバイルを利用するために必要なソフトウェア

- ・ Evernote に Rack2-Filer のデータを送る場合、Evernote for Windows 3.5 以降が必要です。
 - ・ Google ドキュメント、Salesforce Chatter、およびモバイルに Rack2-Filer のデータを送る場合、.NET Framework 3.0 が必要です。
- 各オペレーティングシステムと .NET Framework の関係は以下のとおりです。

Windows 7	Windows Vista	Windows XP(*2)
.NET Framework 3.0 インストール済み。(*1)		.NET Framework 3.0 はインストールされていません。(*1)

*1 : .NET Framework 3.0 は、.NET Framework 3.5 にも含まれています。

*2 : .NET Framework 4 以降をインストール済みの場合でも .NET Framework 3.0 は含まれていないため、.NET Framework 3.0 を別途インストールする必要があります。

-
- ・ モバイル機器に Rack2-Filer のデータを送る場合、接続するモバイル機器に「ScanSnap Connect Application」がインストールされている必要があります。各モバイル機器用の「ScanSnap Connect Application」は、アプリケーションマーケット（App Store など）からダウンロードしてください。

■ その他の留意事項

- ・ 本製品は、Unicode 対応のアプリケーションではないため、各機能において、Unicode 文字が使用されると、正常に表示や動作が行われません。
- ・ Windows の「システムの復元」を実行することで、ハードディスク内の情報の整合性に問題が発生し、Rack2-Filer の書庫／キャビネット／バインダが閲覧できなくなる場合があります。
事前に Rack2-Filer の書庫／キャビネット／バインダのデータを退避しておくことをお勧めします。データを退避する方法については、「6.32 データを退避する」（157 ページ）を参照してください。
- ・ リモートデスクトップや仮想環境上では、正常に動作しないことがあります。

2.2 ネットワーク共有時の制限

Rack2-Filer では、ネットワーク上の共有フォルダにデータを格納して運用することができます。ただし、他のユーザーが使用中のデータについては、操作が制限されます。



- ・ リンクフォルダにネットワーク上の共有フォルダを指定する場合、Windows サーバを使用してください。Windows サーバとは、以下のオペレーションシステムがインストールされたコンピュータをファイルサーバとして運用している環境です。
 - Windows Server 2008
 - Windows Server 2003
 - Windows 2000 Server
 - Windows 7 Professional
 - Windows 7 Enterprise
 - Windows 7 Ultimate
 - Windows Vista Ultimate
 - Windows Vista Enterprise
 - Windows Vista Business
 - Windows XP Professional
 - Windows 2000 Professional
- ・ Rack2-Filer をインストールしたコンピュータに保存されているリンクフォルダをネットワーク共有する運用は、サポートしていません。



ネットワーク共有時の制限項目は、以下のとおりです。

- ・ **他のユーザーが同一書庫を使用中（書庫内のバインダを開いている場合も含む）に禁止される操作**
 - － 書庫管理
- ・ **他のユーザーが同一キャビネットを使用中（キャビネット内のバインダを開いている場合も含む）に禁止される操作**
 - － 書庫管理
 - － キャビネット管理
 - － キャビネット背景パターンの変更
 - － バインダの整列
- ・ **他のユーザーが同一バインダを使用中に禁止される操作**
 - － 書庫管理
 - － キャビネット管理
 - － キャビネット背景パターンの変更
 - － バインダの編集
 - － バインダの削除
 - － バインダの移動／コピー（複製）
 - － WorkArea への原稿移動／コピー
 - － バインダのエクスポート
 - － バインダの整列

他のユーザーがバインダを開いている場合、同一のバインダを開こうとすると「このバインダはすでに開かれています。閲覧モードで開きますか？」というメッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックすると、バインダが閲覧モードで開かれます。



ヒント

- ・ 閲覧モードでは、設定変更や、元原稿および原稿の操作はできません。
- ・ 閲覧モードでは、編集情報の追加は可能ですが、上書き保存はできません。保存したい場合は「名前をつけて保存」をすることになります。

2.3 WorkArea の制限

以下に、WorkArea の制限事項を示します。

バイнда種別	バイндаから WorkArea への データ移動	WorkArea から バイндаへ のデータ移動
通常バイнда	○	○
名刺バイнда	×	○ (*1)
写真バイнда	○	○

*1 : 名刺サイズ (91mm × 55mm 程度) のデータのみ

第 3 章



インストールとアンインストール

この章では、以下の方法について説明します。

- ・ Rack2-Filer のインストール方法
- ・ Rack2-Filer のアンインストール方法
- ・ Rack2-Filer のアップグレード方法
- ・ Rack2-Filer のアップデート方法

3.1 インストールする

インストールは、Rack2-Filer（バインダ管理画面）のインストールと Rack2-Viewer（ビューア画面）のインストールの2ステップあります。Rack2-Filer をインストールしたあと、続けて、Rack2-Viewer をインストールします。



- ・ インストールする前に、すべてのアプリケーションを終了してください。
- ・ 必ず、Administrators 権限またはコンピュータの管理者権限でログインしてください。



1.製品 CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットします。

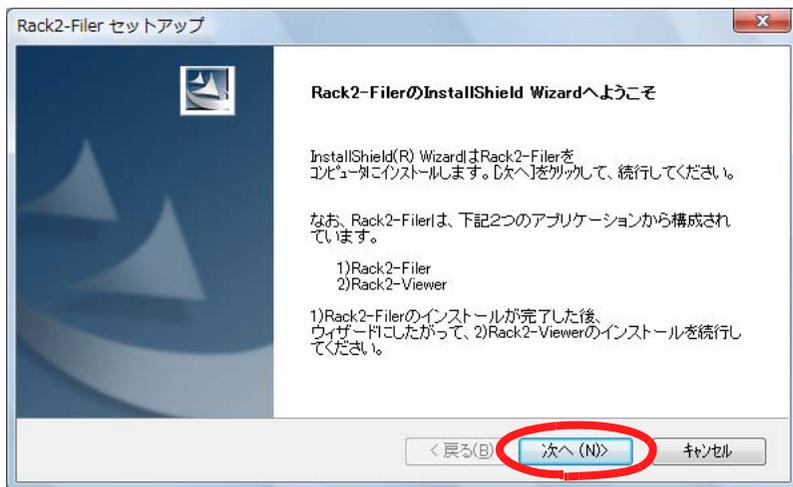


⇒ Rack2-Filer Setup 画面が表示されます。

2.[インストール] ボタンをクリックします。

⇒ インストールを開始する画面が表示されます。

3. [次へ] ボタンをクリックします。



⇒ 「使用許諾契約」の画面が表示されます。

4. 「使用許諾契約」の内容を確認して、[はい] ボタンをクリックします。

[いいえ] ボタンをクリックすると、インストールが中止されます。

Rack2-Filer をインストールする場合は、使用許諾契約に同意してください。

⇒ [はい] ボタンをクリックすると、「情報」の画面が表示されます。

5. 「情報」の内容を確認して、[次へ] ボタンをクリックします。

「情報」には、インストール時の注意事項など、本書には記載されていない注意事項や参考になる情報が記載されています。必ず確認してください。

⇒ 「インストール先の選択」の画面が表示されます。

6. インストール先を確認して、[次へ] ボタンをクリックします。

通常は、インストール先を変更する必要はありません。そのまま [次へ] ボタンをクリックします。

⇒ 「ファイルコピーの開始」の画面が表示されます。



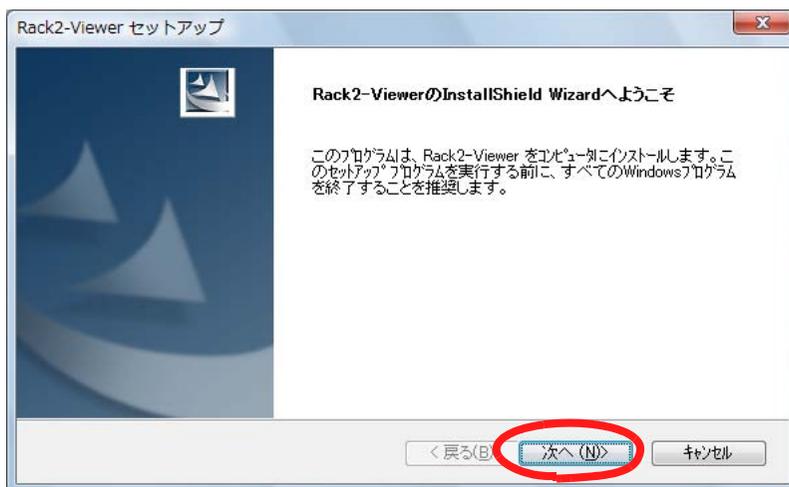
インストール先を変更する場合は、[参照] ボタンをクリックします。[フォルダの選択] ダイアログボックスが表示されるので、そこでインストールするフォルダを選択します。

7. インストールする内容を確認して、[次へ] ボタンをクリックします。

⇒ Rack2-Filer がインストールされます。

インストールが完了すると、Rack2-Viewer のインストールを開始する画面が表示されます。

8. [次へ] ボタンをクリックします。



⇒ 「使用許諾契約」の画面が表示されます。

9. 「使用許諾契約」の内容を確認して、契約に同意する場合は [はい] ボタンをクリックします。

[いいえ] ボタンをクリックすると、インストールが中止されます。

Rack2-Viewer をインストールする場合は、使用許諾契約に同意してください。

⇒ [はい] ボタンをクリックすると、「情報」の画面が表示されます。

10. 「情報」の内容を確認して、[次へ] ボタンをクリックします。

「情報」には、インストール時の注意事項など、本書には記載されていない注意事項や参考になる情報が記載されています。必ず確認してください。
⇒ 「インストール先の選択」の画面が表示されます。

11. インストール先を確認して、[次へ] ボタンをクリックします。

通常は、インストール先を変更する必要はありません。そのまま [次へ] ボタンをクリックします。
⇒ 「ファイルコピーの開始」の画面が表示されます。



インストール先を変更する場合は、[参照] ボタンをクリックします。[フォルダの選択] ダイアログボックスが表示されるので、そこでインストールするフォルダを選択します。

12. インストールする内容を確認して、[次へ] ボタンをクリックします。

⇒ ビューア画面がインストールされます。
インストールが完了すると、「セットアップ完了」の画面が表示されます。

13. [完了] ボタンをクリックします。

⇒ インストールが完了します。



ビューア画面だけをインストールする場合、以下の手順でインストールします。

1. 製品 CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットします。
2. 「Rack2-Filer」フォルダの「View」フォルダにある「Setup.exe」をダブルクリックします。
3. インストールを開始する画面が表示されるので、画面に従ってインストールを進めます。詳細は、52 ページの「8.[次へ] ボタンをクリックします。」以降を参照してください。

3.2 アンインストールする

ここでは、Windows Vista の場合を例に説明します。

選択するボタンや項目の名前は、オペレーティングシステムによって異なりますので、それぞれのボタンや項目を選択してください。



「Rack2 Folder Monitor Software」がインストールされている場合、「Rack2 Folder Monitor Software」をアンインストールしてから Rack2-Filer をアンインストールしてください。

「Rack2 Folder Monitor Software」のアンインストールについては、「■アンインストールする」(376 ページ)を参照してください。



「共有ファイルの検出」という確認メッセージが表示されることがあります。この場合、「はい」を選択してください。



1. [スタート] ボタンをクリックし、[コントロール パネル] を選択します。

⇒ コントロールパネルが表示されます。

2. 「プログラムのアンインストール」をクリックします。

⇒ 「プログラムのアンインストールまたは変更」の画面が表示されます。

3.インストールされているプログラムの一覧から、「Rack2-Filer」を選択します。

4.[アンインストール]をクリックします。

⇒ ファイルの削除を確認するメッセージが表示されます。

5.[OK] ボタンをクリックします。

⇒ Rack2-Filer がアンインストールされます。

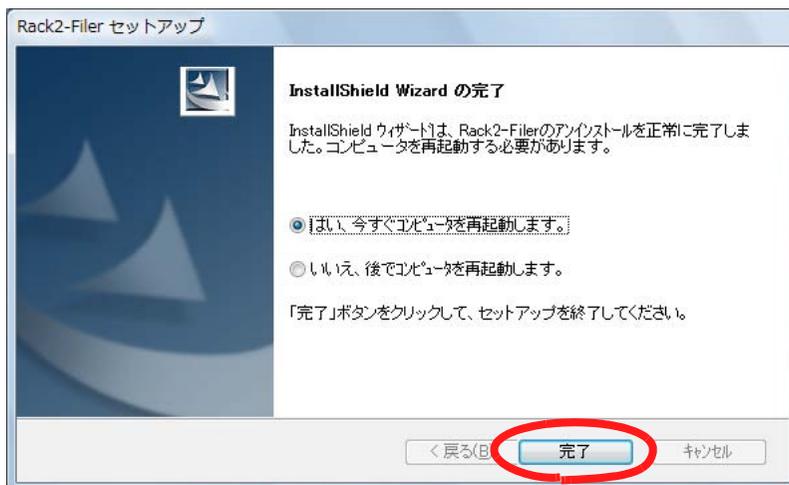
アンインストールが終了すると、アンインストールが終了したことを知らせる画面が表示されます。

6.[OK] ボタンをクリックします。

⇒ ビューア画面がアンインストールされます。

アンインストールが終了すると、アンインストールが終了したことを知らせる画面が表示されます。

7.今すぐ再起動するか、あとから再起動するかを選択して、[完了] ボタンをクリックします。



⇒ アンインストールが完了します。

3.3 アップグレードする

Rack2-Filer をアップグレードする場合、次の手順で行います。



- ・ 「Rack2 Folder Monitor Software」の旧バージョンがインストールされている場合は、「Rack2 Folder Monitor Software」の旧バージョンをアンインストールしてからアップグレードしてください。「Rack2 Folder Monitor Software」のアンインストールについては、「■アンインストールする」(376 ページ)を参照してください。
「Rack2 Folder Monitor Software」をアップグレードする場合は、Rack2-Filer をアップグレードしてから、「Rack2 Folder Monitor Software」の新バージョンをインストールしてください(設定情報は保持されます)。
- ・ インストールする前に、すべてのアプリケーションを終了してください。
- ・ 必ず、Administrators 権限またはコンピュータの管理者権限でログインしてください。



1. 新しい製品をインストールします。

インストール方法の詳細は、「3.1 インストールする」(50 ページ)を参照してください。

⇒ Rack2-Filer がアップグレードされます。

3.4 アップデートする

Rack2-Filer では、安全性や操作性を向上させるために、修正プログラム（アップデートパックおよびサービスパック）が無償で提供されています。Rack2-Filer では、修正プログラムが公開されているかを確認し、プログラムを更新（アップデート）することができます。



- Rack2-Filer をアップデートするには、インターネットを使用できる環境である必要があります。
- 必ず Administrators 権限またはコンピュータの管理者権限でログインしてください。



修正プログラムは、事前連絡なしに公開されます。定期的にアップデートすることをおすすめします。



1. Windows のスタートメニューから [すべてのプログラム] – [Rack2-Filer] – [オンラインアップデート] を選択します。

または、バイнда管理画面で  ヘルプ をクリックし、[オンラインアップデート] を選択します。

⇒ 最新のプログラムが公開されている場合、アップデートを実行するか確認するメッセージが表示されます。

2. [はい] ボタンをクリックします。



⇒ 最新のプログラムのインストーラがダウンロードされ、起動されます。画面の指示に従って、インストールしてください。



まって!

インストールする前に、起動中のすべてのアプリケーションを終了してください。



ヒント

すでに最新の修正プログラムが適用されている場合、「お使いのプログラムは最新の状態です。アップデートする必要はありません。」というメッセージが表示されます。



第 4 章



起動／終了する

この章では、Rack2-Filer の画面（バインダ管理画面／ビューア画面／WorkArea 画面）を起動する方法および終了する方法について説明します。

4.1 バインダ管理画面を起動／終了する

バインダ管理画面の起動方法と終了方法を説明します。

■ バインダ管理画面を起動する

操作



1. デスクトップ上に作成されたプログラムアイコン () をダブルクリックします。

ヒント



スタートメニューから起動する場合、[スタート] ボタンをクリックして、[すべてのプログラム] – [Rack2-Filer] – [Rack2-Filer] を順に選択します。

■ バインダ管理画面を終了する

操作



1. バインダ管理画面の  をクリックします。

4.2 ビューア画面を表示／終了する

ビューア画面の表示方法と終了方法を説明します。

■ ビューア画面を表示する



1. バインダ管理画面で、閲覧したいバインダをダブルクリックします。または、バインダの背表紙上で右クリックし、[バインダを開く]を選択します。

⇒ ビューア画面が表示され、バインダを閲覧できます。

■ ビューア画面を終了する



1. ビューア画面の  閉じる をクリックします。



ページを追加・編集した場合、バインダを更新するかどうかのメッセージが表示されます。バインダを更新してもよければ、[はい] ボタンをクリックしてください。

4.3 WorkArea 画面を起動／終了する

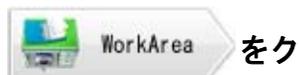
WorkArea 画面の起動方法と終了方法を説明します。

■ WorkArea 画面を起動する

操作



1. バインダ管理画面、またはビューア画面の
リックします。





以下の手順でも起動できます。

・ バインダ管理画面の場合

—  バインダ操作 をクリックし、[WorkArea へ原稿移動] を選択する

—  バインダ操作 をクリックし、[WorkArea へ原稿コピー] を選択する

— マウスを右クリックし、[WorkArea へ原稿移動] を選択する

— マウスを右クリックし、[WorkArea へ原稿コピー] を選択する

・ ビューア画面の場合

— 複数原稿を指定（マウスを右クリックし [複数原稿指定] を選択）して、マウスを右クリックし [移動] — [WorkArea へ移動（X ～ XX ページの原稿）] を選択する

— マウスを右クリックし、[移動] — [原稿を WorkArea へ] を選択する

— マウスを右クリックし、[移動] — [インデックス単位の原稿を WorkArea へ] を選択する

— 複数原稿を指定（マウスを右クリックし [複数原稿指定] を選択）して、マウスを右クリックし [コピー] — [WorkArea へコピー（X ～ XX ページの原稿）] を選択する

— マウスを右クリックし、[コピー] — [ページを WorkArea へ] を選択する

— マウスを右クリックし、[コピー] — [原稿を WorkArea へ] を選択する

— マウスを右クリックし、[コピー] — [インデックス単位の原稿を WorkArea へ] を選択する

■ WorkArea 画面を終了する

操作



1. WorkArea 画面の  閉じる をクリックします。

第 5 章

ScanSnap と連携する

この章では、Rack2-Filer と ScanSnap を連携する方法について説明します。
この章で説明する操作は、一度行えば、次回以降は不要です。



ヒント

- ・ ScanSnap は、原稿をカラーで読み取ることができるスキャナ装置です。
ScanSnap を使用する場合、ScanSnap の読み取りボタンを押すだけで、書類をバインダに取り込むことができます。
ScanSnap は、別途 購入する必要があります。
- ・ ScanSnap からのデータの保存先を設定することができます。詳細については、「■ [ScanSnap-Rack2 連携] タブでの設定」（155 ページ）を参照してください。



まって!

Rack2-Filer と連携できる機種は以下のとおりです。

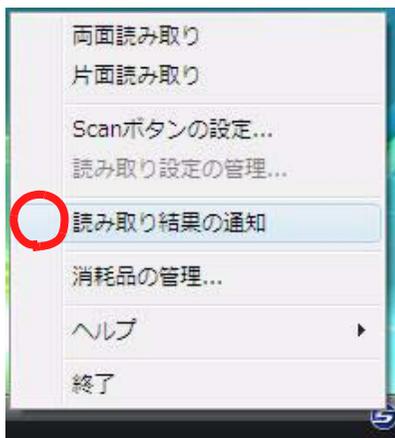
- ・ S1100 ・ S1300 ・ S1500
- ・ S300 ・ S510 ・ S500

以下の機種はサポートを終了しています。

- ・ fi-5110EOX ・ fi-5110EOX2



- ・ ScanSnap 設定画面の、以下の項目は無効となります。
 - － [保存先] タブの「読み取り後、ファイル名を変更します」チェックボックス
 - － [読み取りモード] タブの「カラーモードの選択」における「カラー高圧縮」
- ・ S1100 / S1300 / S1500 で読み取りを行う場合、[読み取りモード] タブの [オプション] ボタンをクリックし、表示される [読み取りモードオプション] 画面の「原稿の向きを自動的に補正します」のチェックをはずしておくことをお勧めします。
- ・ タスクバーの「ScanSnap Manager」アイコンを右クリックし、「読み取り結果の通知」のチェックをはずしておくことをお勧めします。



- ・ オペレーティングシステムが Windows 7 の場合、タスクバーの  をクリックすると、「ScanSnap Manager」のアイコンが表示されます。

操作



1. タスクバーの「ScanSnap Manager」アイコンをダブルクリックします。
または、タスクバーの「ScanSnap Manager」アイコンを右クリックし、「Scan ボタンの設定」を選択します。



オペレーティングシステムが Windows 7 の場合、タスクバーの  をクリックすると、「ScanSnap Manager」のアイコンが表示されます。



2. 「クイックメニューを使用する」にチェックが付いている場合は、チェックをはずします。



3. [詳細] ボタンをクリックします。

4. [アプリ選択] タブの「アプリケーションの選択」で、「Rack2-Filer」を選択します。



5. [OK] ボタンをクリックします。

⇒ Rack2-Filer と ScanSnap が連携されます。

■ クイックメニューを使用する方法

ここでは、ScanSnap S1100 / S1300 / S1500 のクイックメニューを使って Rack2-Filer と ScanSnap S1100 / S1300 / S1500 を連携する方法について説明します。

ScanSnap S1100 / S1300 / S1500 での読み取り操作の詳細については、ScanSnap S1100 / S1300 / S1500 に添付されている ScanSnap オペレーターガイドを参照してください。

操作



1. タスクバーの「ScanSnap Manager」アイコンをダブルクリックします。
または、タスクバーの「ScanSnap Manager」アイコンを右クリックし、「Scan ボタンの設定」を選択します。



オペレーティングシステムが Windows 7 の場合、タスクバーの  をクリックすると、「ScanSnap Manager」のアイコンが表示されます。



2. 「クイックメニューを使用する」にチェックが付いていることを確認します。



3. ScanSnap S1100 / S1300 / S1500 に原稿をセットして読み取りボタンを押します。

⇒ 原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、クイックメニューが表示されます。



ScanSnap S1100 をご使用の場合、再び読み取りボタンを押すと読み取りが終了し、クイックメニューが表示されます。



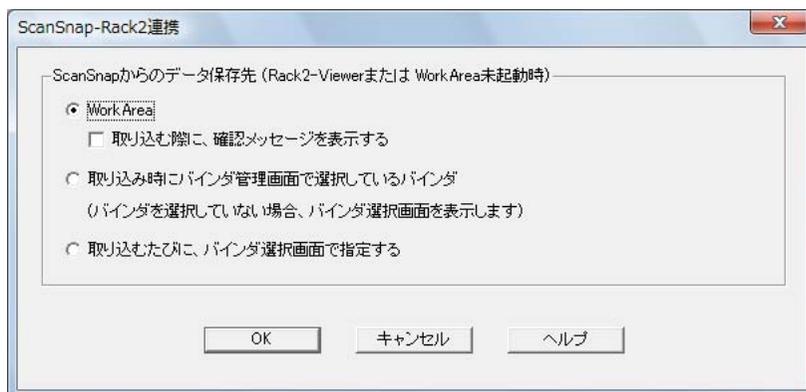
4. クイックメニューから「Rack2-Filerに保存」を選択します。



5. 「Rack2-Filerに保存」に関する設定を変更する場合は、アイコンのから [設定] を選択します。

設定を変更しない場合は、手順「8.」に進んでください。

⇒ 以下の設定画面が表示されます。

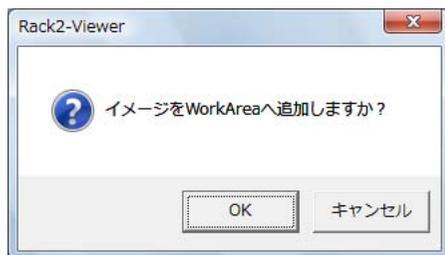


6. 読み取ったイメージの保存先を指定します。

ー WorkArea

読み取ったイメージを、Rack2-Filer の「WorkArea」に保存します。

「取り込む際に、確認メッセージを表示する」チェックボックス
「WorkArea」に保存する際に、確認画面を表示します。



[OK] ボタン： 「WorkArea」に保存します。

[キャンセル] ボタン： 保存処理を中止します。

ー 取り込み時にバインダ管理画面で選択しているバインダ

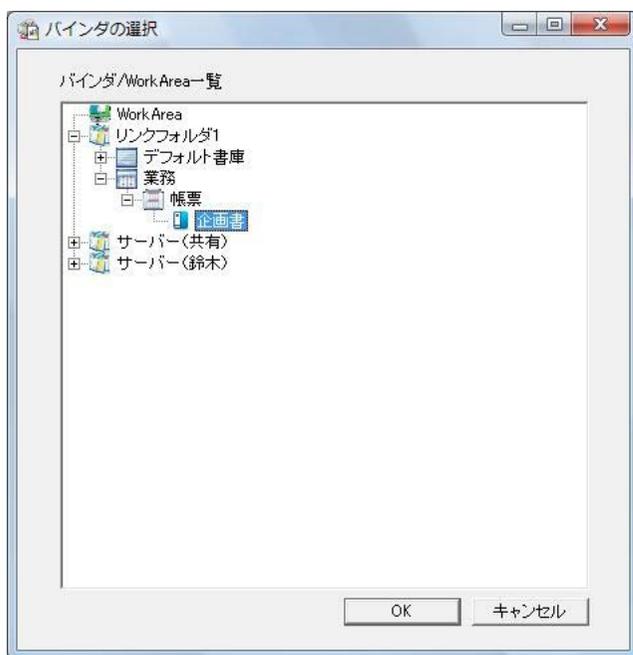
読み取ったイメージを、Rack2-Filer のバインダ管理画面で選択されているバインダに保存します。

ー 取り込むたびに、バインダ選択画面で指定する

「Rack2-Filer に保存」を実行するたびに、「バインダの選択」画面が表示されます。

この画面で、保存先となるバインダを指定し、[OK] ボタンをクリックすると、指定したバインダに読み取ったイメージが保存されます。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、保存処理を中止します。



- ・ バインダ管理画面に表示されていないリンクフォルダの場合、設定名称の前に「【非表示】」と表示されます。
- ・ 名刺バインダの場合、タイトルの前に「【CARD】」と表示されます。
- ・ 写真バインダの場合、タイトルの前に「【写真】」と表示されます。

7. [OK] ボタンをクリックします。

⇒ 「ScanSnap-Rack2 連携」画面が閉じられ、クイックメニューに戻ります。

8. 「Rack2-Filer に保存」をクリックします。

⇒ 読み取った原稿から PDF ファイルが作成され、手順「6.」で設定した保存先に保存されます。

5.2 S300 / S510 / S500 と連携する

Rack2-Fileer と ScanSnap S300 / S510 を連携するには、以下の 2 つの方法があります。

- ・ ScanSnap Manager でアプリケーションを選択する方法
- ・ クイックメニューを使用する方法

Rack2-Fileer と ScanSnap S500 を連携する場合、ScanSnap Manager でアプリケーションを選択する方法で連携します。

■ ScanSnap Manager でアプリケーションを選択する方法

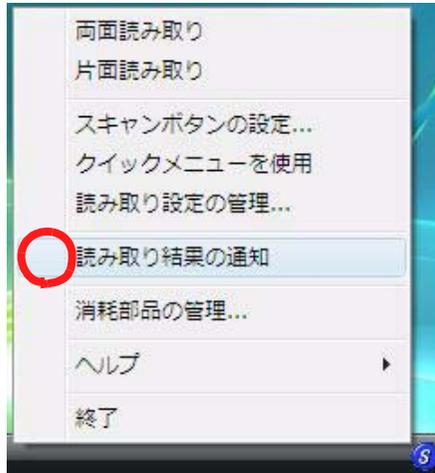
ここでは、ScanSnap Manager でアプリケーションを選択して、Rack2-Fileer と ScanSnap S300 / S510 / S500 を連携する方法について説明します。



- ・ ScanSnap Manager の設定画面の、以下の項目は無効となります。
 - 読み取り後、ファイル名を変更します
 - 読み取りモードの [カラーモードの選択] における「カラー高圧縮」
- ・ S300 / S510 / S500 で読み取りを行う場合、[読み取りモード] タブの [オプション] ボタンをクリックし、表示される [オプション] ダイアログボックスの「原稿の向きを自動的に補正します」のチェックをはずしておくことをお勧めします。



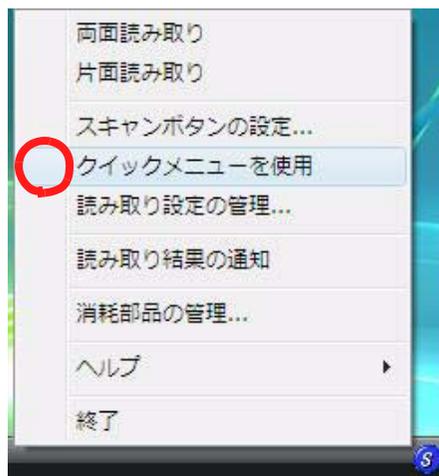
タスクバーの「ScanSnap Manager」アイコンを右クリックし、「読み取り結果の通知」のチェックをはずしておくことをお勧めします。



オペレーティングシステムが Windows 7 の場合、タスクバーの  をクリックすると、「ScanSnap Manager」のアイコンが表示されます。



ScanSnap S300 または ScanSnap S510 の場合、まず、タスクバーの「ScanSnap Manager」アイコンを右クリックし、「クイックメニューを使用」の左側にチェックが付いている場合は、再度、「クイックメニューを使用」を選択し、左側に付いていたチェックをはずします。



「クイックメニューを使用」の左側にチェックがはずれた状態で操作を行います。



1. タスクバーの「ScanSnap Manager」アイコンを右クリックし、「スキャンボタンの設定」を選択します。



2. [アプリ選択] タブの「アプリケーションの選択」で、「Rack2-Filer」を選択します。



3. [OK] ボタンをクリックします。

⇒ Rack2-Filer と ScanSnap が連携されます。

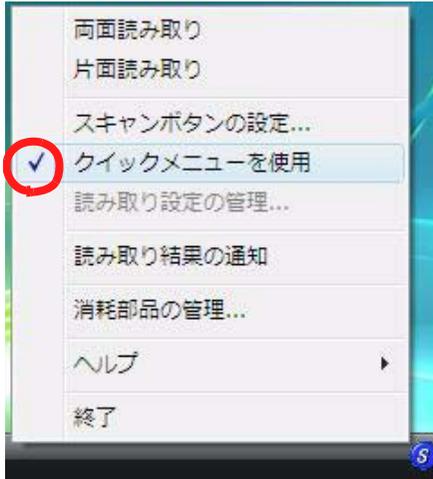
■ クイックメニューを使用する方法

ここでは、ScanSnap S300 / S510 のクイックメニューを使って Rack2-Filer と ScanSnap S300 / S510 を連携する方法について説明します。

ScanSnap S300 / S510 での読み取り操作の詳細については、『ScanSnap S300 オペレーターガイド』または『ScanSnap S510 オペレーターガイド』を参照してください。



1. タスクバーの「ScanSnap Manager」アイコンを右クリックし、「クイックメニューを使用」の左側にチェックが付いていることを確認します。



ヒント

オペレーティングシステムが Windows 7 の場合、タスクバーの  をクリックすると、「ScanSnap Manager」のアイコンが表示されます。

2. ScanSnap S300 / S510 に原稿をセットして読み取りボタンを押します。

⇒ 原稿の読み取りが開始されます。

読み取りが完了すると、「ScanSnap クイックメニュー」が表示されま
す。

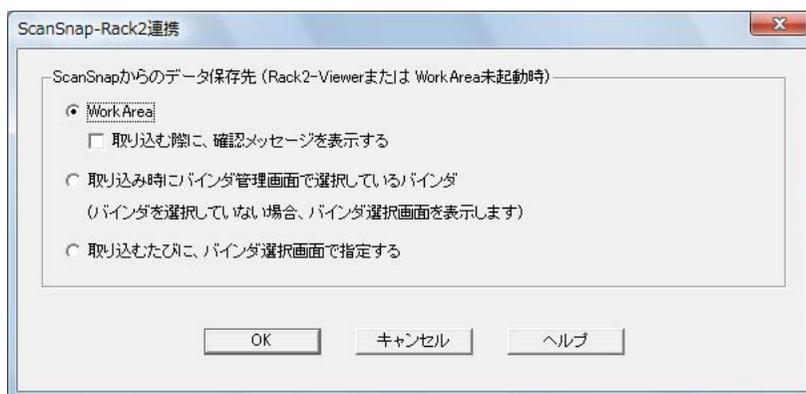
3. クイックメニューの左側の項目一覧から、「Rack2-Filerに保存」の上にマウスのポインタを移動します。

⇒動作説明が、「Rack2-Filerに保存」に関する説明に切り替わります。

4. 「Rack2-Filerに保存」に関する設定を変更する場合は、マウスのポインタを▶の上に移動し、表示される[設定]ボタンをクリックします。

設定を変更しない場合は、手順「6.」に進んでください。

⇒以下の設定画面が表示されます。

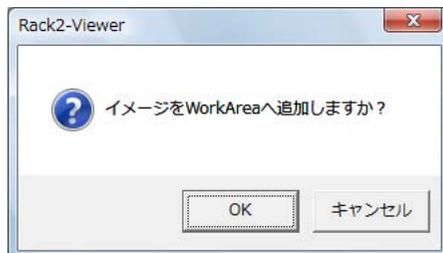


読み取ったイメージの保存先を指定します。

— WorkArea

読み取ったイメージを、Rack2-Filerの「WorkArea」に保存します。

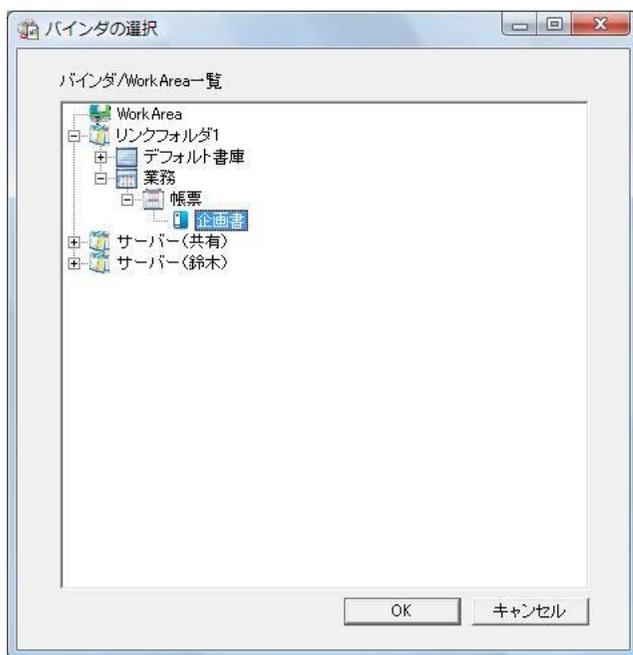
「取り込む際に、確認メッセージを表示する」チェックボックス
「WorkArea」に保存する際に、確認画面を表示します。



[OK] ボタン： 「WorkArea」に保存します。

[キャンセル] ボタン： 保存処理を中止します。

-
- 取り込み時にバイнда管理画面で選択しているバイнда
読み取ったイメージを、Rack2-Filer のバイнда管理画面で選択
されているバイндаに保存します。
 - 取り込むたびに、バイнда選択画面で指定する
「Rack2-Filer に保存」を実行するたびに、「バイндаの選択」画面
が表示されます。
この画面で、保存先となるバイндаを指定し、[OK] ボタンをク
リックすると、指定したバイндаに読み取ったイメージが保存さ
れます。
[キャンセル] ボタンをクリックすると、保存処理を中止します。



- ・ バイнда管理画面に表示されていないリンクフォルダの
場合、設定名称の前に「【非表示】」と表示されます。
- ・ 名刺バイндаの場合、タイトルの前に「【CARD】」と表
示されます。
- ・ 写真バイндаの場合、タイトルの前に「【写真】」と表示
されます。

5. [OK] ボタンをクリックします。

⇒ 「ScanSnap-Rack2 連携」画面が閉じられ、クイックメニューに戻ります。

6. 「Rack2-Filer に保存」をクリックします。

⇒ 読み取った原稿から PDF ファイルが作成され、手順「4.」で設定した保存先に保存されます。

第 6 章



バインダ管理画面での操作

この章では、バインダ管理画面でできる操作について説明します。

6.1 リンクフォルダを設定する

書庫、キャビネット、およびバインダを保存するためのリンクフォルダを設定します。

リンクフォルダは最大3個まで設定できます。



ヒント

リンクフォルダをネットワーク上の共有フォルダに設定することで、複数ユーザーで Rack2-Filer のデータを共有することができます。

ただし、他のユーザーが使用中のデータについては、操作が制限されます。詳細は、「2.2 ネットワーク共有時の制限」(46ページ)を参照してください。



まって!

リンクフォルダをローカルのコンピュータに指定する場合は、ローカルハードディスクまたは外付けハードディスクに設定してください。

USB メモリや MO などのリムーバブルディスクをリンクフォルダに指定した場合、正しく動作しないことがあります。

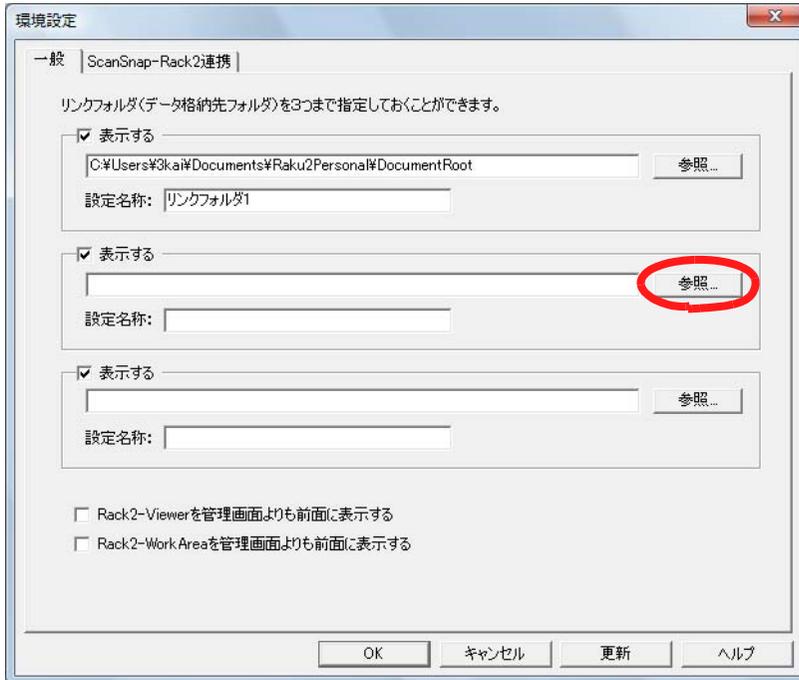


操作

1. リンクフォルダを選択し、 をクリックして、[環境設定] を選択します。

⇒ [環境設定] ダイアログボックスが表示されます。

2. [一般] タブの [参照] ボタン をクリックします。



⇒ [フォルダの参照] ダイアログボックスが表示されます。

3. リンクフォルダを設定し、[OK] ボタンをクリックします。

⇒ [フォルダの参照] ダイアログボックスが閉じ、入力域にリンクフォルダのパスが表示されます。

4. バインダ管理画面にリンクフォルダの内容を表示する場合、「表示する」にチェックを付けます。



必ず1つ以上のリンクフォルダで「表示する」にチェックを付けてください。

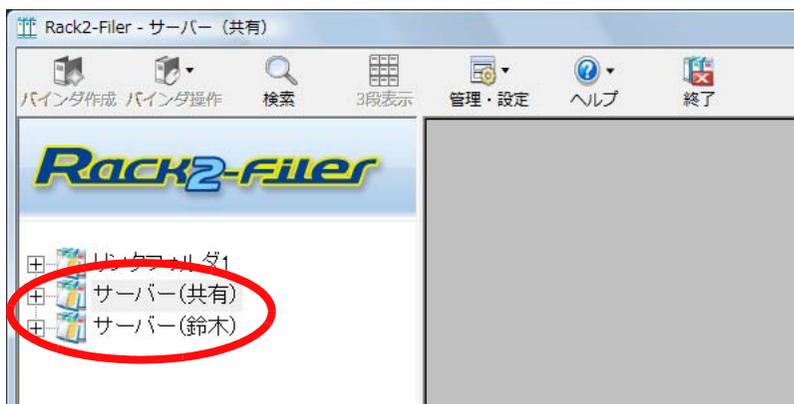


5.「設定名称」に、リンクフォルダの設定名称を、全角 15 文字（半角 30 文字）以内で入力します。

手順「4.」で「表示する」にチェックした場合、ここで指定した設定名称がバインダ管理画面に表示されます。

6.[OK] ボタンをクリックします。

⇒ リンクフォルダが設定されます。



6.2 リンクフォルダの表示順を変更する

フォルダビューに表示されているリンクフォルダの順番を変更します。

操作

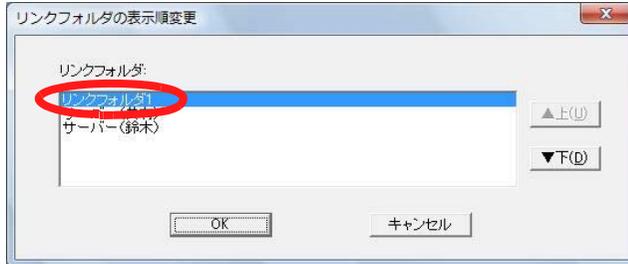


1.  をクリックし、[表示順の変更] - [リンクフォルダ] を選択します。

または、ツリーのリンクフォルダ上でマウスを右クリックし、[表示順の変更] を選択します。

⇒ [リンクフォルダの表示順変更] ダイアログボックスが表示されます。

2. 「リンクフォルダ」で、順番を変更したいリンクフォルダを選択します。



3. [▲上] ボタンと [▼下] ボタンで順番を変更します。

4. [OK] ボタンをクリックします。

⇒ リンクフォルダの表示順が変更されます。

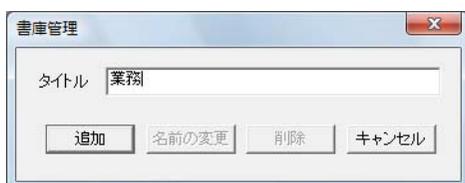
6.3 書庫を作成する

キャビネットを管理するための書庫を作成します。
書庫は、1つのリンクフォルダに対して、最大6個まで作成できます。



1. **管理・設定** をクリックし、**[書庫管理]** を選択します。
または、ツリーのリンクフォルダ上でマウスを右クリックし、**[書庫の作成]** を選択します。
⇒ **[書庫管理]** ダイアログボックスが表示されます。

2. 作成する書庫の名前を全角 20 文字（半角 40 文字）以内で入力します。



3. **[追加]** ボタンをクリックします。

⇒ 書庫が作成されます。



6.4 書庫の名前を変更する

作成した書庫の名前を変更します。

操作



1. 名前を変更したい書庫をツリーから選択します。



2.  **管理・設定** をクリックし、**[書庫管理]** を選択します。

または、ツリーの書庫上でマウスを右クリックし、**[名前の変更]** を選択します。

⇒ [書庫管理] ダイアログボックスが表示され、選択した書庫の名前が表示されます。

3.新しい書庫の名前を全角 20 文字（半角 40 文字）以内で入力します。



4.[名前の変更] ボタンをクリックします。

⇒ 書庫の名前が変更されます。



2.  **管理・設定** をクリックし、**[書庫管理]** を選択します。

⇒ **[書庫管理]** ダイアログボックスが表示され、選択した書庫の名前が表示されます。



ツリーの書庫上でマウスを右クリックし、**[削除]** を選択することによっても書庫を削除できます。この場合、すぐに手順4. のメッセージが表示されます。

3. **[削除]** ボタンをクリックします。



⇒ メッセージが表示されます。

4. **[OK]** ボタンをクリックします。



⇒ 書庫が削除されます。

6.6 書庫の表示順を変更する

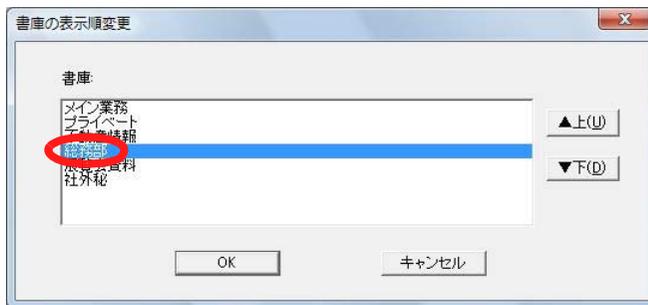
フォルダビューに表示されている書庫の順番を変更します。



1. 書庫を選択し、 をクリックして、[表示順の変更]— [書庫] を選択します。
または、ツリーの書庫上でマウスを右クリックし、[表示順の変更] を選択します。

⇒ [書庫の表示順変更] ダイアログボックスが表示されます。

2. 「書庫」で、順番を変更したい書庫を選択します。



3. [▲上] ボタンと [▼下] ボタンで順番を変更します。

4. [OK] ボタンをクリックします。

⇒ 書庫の表示順が変更されます。

6.7 キャビネットを作成する

書庫の中に、バインダを管理するためのキャビネットを作成します。
キャビネットは、1つの書庫に対して、最大20個まで作成できます。

操作



1. キャビネットを作成する書庫をツリーから選択します。



⇒ 選択した書庫の内容が表示されます。

2. **管理・設定** をクリックし、**[キャビネット管理]** を選択します。

または、ツリーの書庫上でマウスを右クリックし、**[キャビネットの作成]** を選択します。

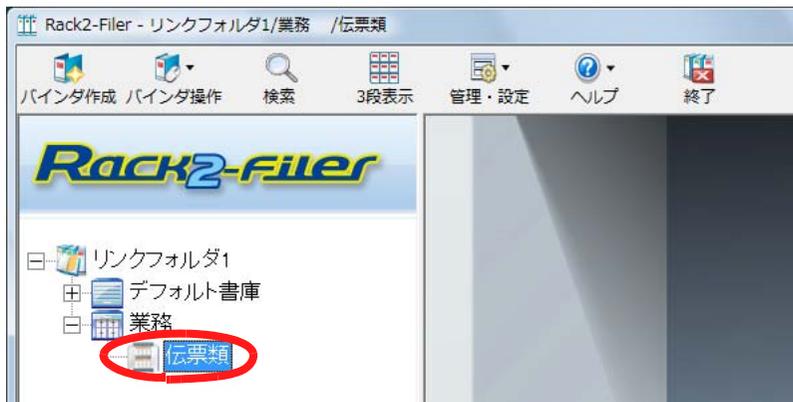
⇒ **[キャビネット管理]** ダイアログボックスが表示されます。

3.キャビネットの名前を全角 16 文字（半角 32 文字）以内で入力します。



4.[追加] ボタンをクリックします。

⇒ 書庫にキャビネットが作成されます。



6.8 キャビネットの名前を変更する

作成したキャビネットの名前を変更します。



1. 名前を変更するキャビネットをツリーから選択します。



2.  **管理・設定** をクリックし、[キャビネット管理] を選択します。
または、ツリーのキャビネット上でマウスを右クリックし、**[名前の変更]** を選択します。

⇒ [キャビネット管理] ダイアログボックスが表示され、選択したキャビネットの名前が表示されます。

3. 新しいキャビネットの名前を全角 16 文字（半角 32 文字）以内で入力します。



4. [名前の変更] ボタンをクリックします。

⇒ キャビネットの名前が変更されます。



6.9 キャビネットを削除する

不要になったキャビネットを、書庫から削除します。



キャビネット内にバインダが存在する場合は削除できません。
キャビネット内のバインダを削除してから、キャビネットを
削除してください。



1. 削除するキャビネットをツリーから選択します。



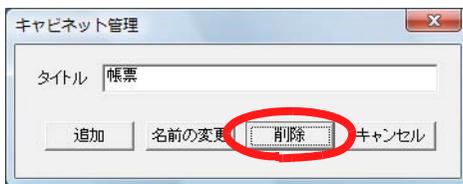
2. をクリックし、[キャビネット管理]を選択します。

⇒ [キャビネット管理] ダイアログボックスが表示され、選択したキャビネットの名前が表示されます。



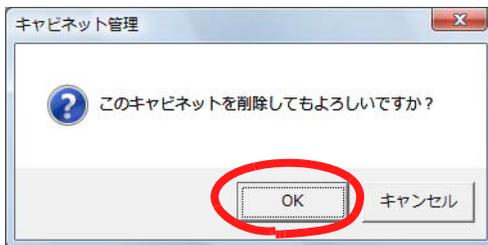
ツリーのキャビネット上でマウスを右クリックし、[削除]を選択してもキャビネットを削除できます。この場合、すぐに手順4.のメッセージが表示されます。

3. [削除] ボタンをクリックします。



⇒ メッセージが表示されます。

4. [OK] ボタンをクリックします。



⇒ キャビネットが書庫から削除されます。

6.10 キャビネットの表示順を変更する

フォルダビューに表示されているキャビネットの順番を変更します。

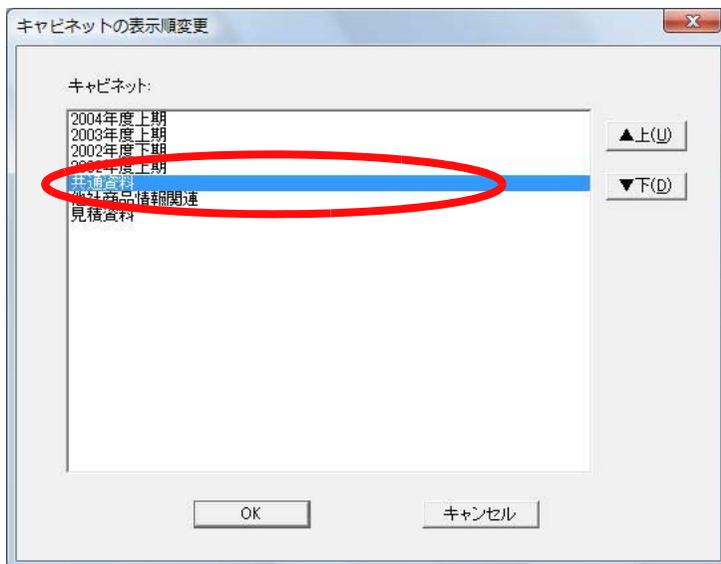


1. キャビネットを選択し、 をクリックして、[表示順の変更] - [キャビネット]を選択します。

または、ツリーのキャビネット上でマウスを右クリックし、[表示順の変更]を選択します。

⇒ [キャビネットの表示順変更] ダイアログボックスが表示されます。

2. 「キャビネット」で、順番を変更したいキャビネットを選択します。



3.[▲上] ボタンと [▼下] ボタンで順番を変更します。

4.[OK] ボタンをクリックします。

⇒ キャビネットの表示順が変更されます。

6.11 キャビネットの表示形式を切り替える

キャビネットの表示形式を「1 段表示」または「3 段表示」に切り替えます。切り替えのボタンは以下のように表示されています。

- 現在のキャビネットが「1 段表示」の場合は



- 現在のキャビネットが「3 段表示」の場合は



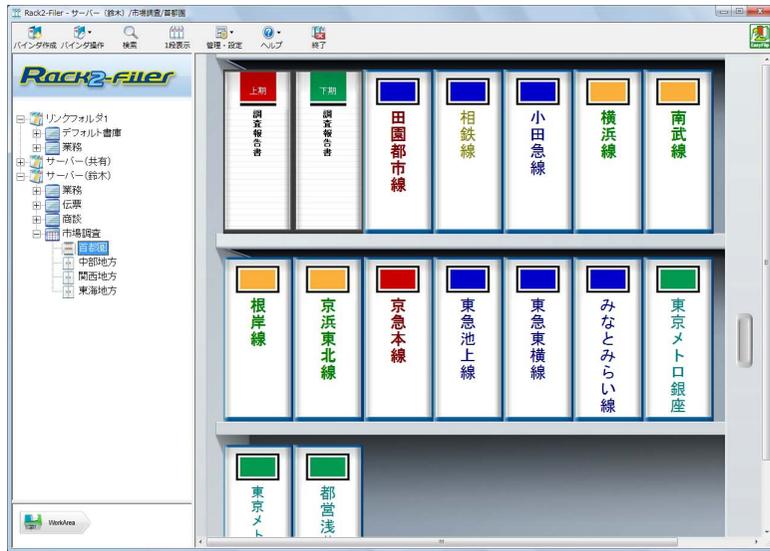
1.  または  をクリックします。

⇒ 「1 段表示」のときは「3 段表示」に、「3 段表示」のときは「1 段表示」に切り替わります。

- ・ 1 段表示



・ 3 段表示



キャビネット内の、バインダ以外の部分でマウスを右クリックし、[1 段表示] または [3 段表示] を選択することでも、キャビネットの表示形式を切り替えることができます。

6.12 キャビネットの背景パターンを変更する

キャビネットの背景パターンを変更します。

キャビネットの背景パターンは、キャビネットごとに変更できます。

操作



1. 背景パターンを変更するキャビネットをツリーから選択します。

⇒ 選択したキャビネットの内容が表示されます。

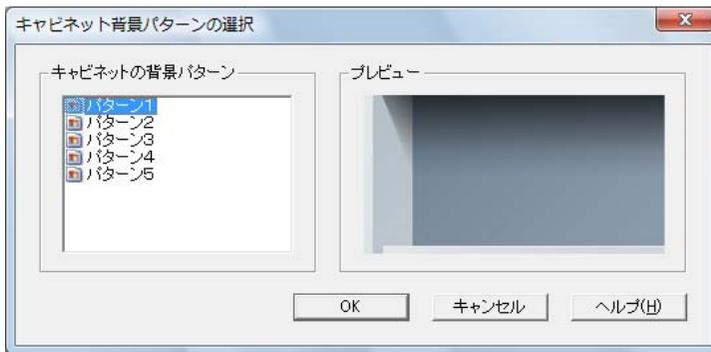
2. をクリックし、[キャビネット背景パターンの変更] を選択します。

または、以下の操作を行います。

- ・ ツリーからキャビネットを選択してマウスを右クリックし、[背景パターンの変更] を選択する
- ・ キャビネットの空きスペース上でマウスを右クリックし、[キャビネット背景パターンの変更] を選択する

⇒ [キャビネット背景パターンの選択] ダイアログボックスが表示されます。

3. キャビネットの背景パターンを選択し、[OK] ボタンをクリックします。



⇒ キャビネットの背景パターンが変更されます。

6.13 バインダを作成する

キャビネットの中に、バインダを作成します。
バインダは、1つのキャビネットに対して、最大21個まで作成できます。



1. バインダを作成するキャビネットをツリーから選択します。

⇒ 選択したキャビネットの内容が表示されます。

2. をクリックします。

または、キャビネットの空きスペース上でマウスを右クリックし、[バインダ作成]を選択します。

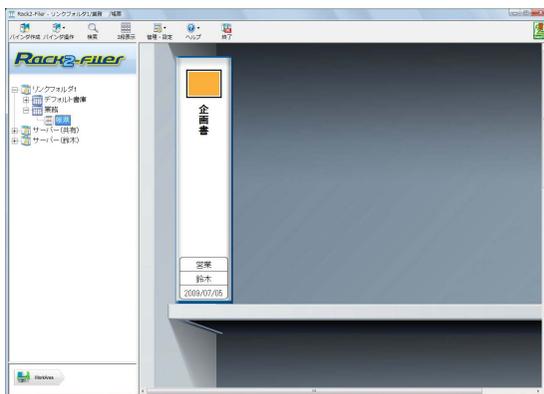
⇒ [バインダの編集] ダイアログボックスが表示されます。

3. バインダについて、各項目を設定します。

詳細は、「6.15 バインダを編集する」(112 ページ)を参照してください。

4. [OK] ボタンをクリックします。

⇒ バインダが作成されます。



6.14 名刺バイндаを作成する

名刺を専用に管理するためのバイндаを作成します。
名刺は、1 ページで 8 枚まで管理できます。

操作



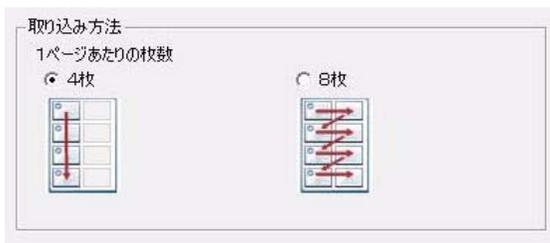
-  **1.** **バイнда作成** をクリックします。
または、キャビネットの空きスペース上でマウスを右クリックし、**[バイнда作成]** を選択します。
⇒ [バイндаの編集] ダイアログボックスが表示されます。
- 2.** **バイндаの種類**に「**名刺バイнда**」を選択し、その他の各項目を設定します。
詳細は、「6.15 バイндаを編集する」(112 ページ) を参照してください。
- 3.** **[OK]** ボタンをクリックします。
⇒ 名刺バイндаが作成されます。



- 名刺バイндаでは、以下の機能は使用できません。
 - 未読一覧の設定
 - ファイル取り込み時のインデックスの自動挿入
 - スキャナ読み取り時のインデックスの自動挿入
 - 元のファイル（電子データ）の取り込み
 - 他のアプリケーションからのデータの取り込み
 - Rack2 Folder Monitor Software からのデータの取り込み
 - オフィス文書への変換
 - WorkArea の機能（ただし、WorkArea に取り込んだ名刺データを名刺バイнда（Viewer）へドラッグ & ドロップで移動する機能のみ使用できます。）
- 名刺バイндаのエクスポートは、「Rack2 バインダ (*.rk2)」および「Viewer 付きデータファイル (*.exe)」でのみ可能です。



- 名刺バイндаは、背表紙上部に「CARD」と表示されます。
- 1 ページに取り込む名刺の枚数を 4 枚にするか 8 枚にするかを選択することができます。
ビューア画面の [動作環境の設定] ダイアログボックスの [名刺バイнда] タブで設定します。





- ・ 読み込んだ名刺データは、追加対象ページ内の左列の空いているところに上から順に追加されます。表面が名刺データで埋まったときは、裏面の空いているところに追加されます。1ページあたりの名刺の枚数を4枚に設定し、裏面の左列が埋まったときは、新しい名刺シート（両面）が追加され、続きが取り込まれます。
- ・ 名刺を移動させて、1ページあたり8枚までの名刺データを保存することができます。取り込んだ名刺データをページ内の目的の位置にドラッグ&ドロップしてください。

6.15 バインダを編集する

作成したバインダに対して、名前（タイトル）や日付を設定します。



1. 名前や日付を編集したいバインダが管理されているキャビネットをツリーから選択します。

⇒ 選択したキャビネットの内容が表示されます。

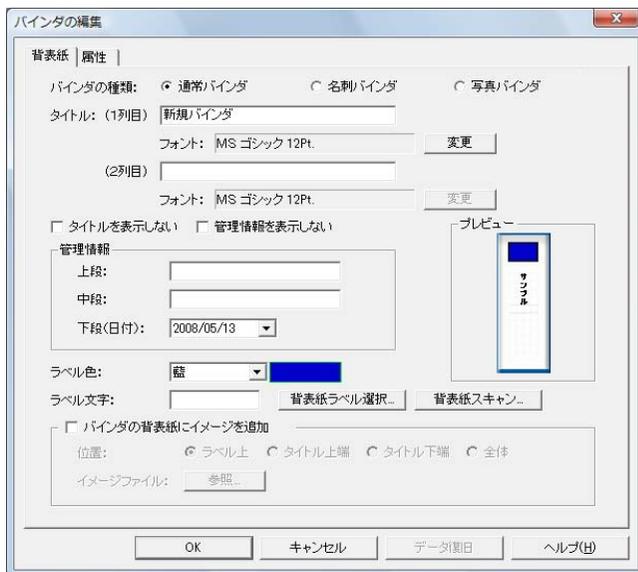
2. 編集するバインダを選択します。

3.  をクリックし、[バインダ編集] を選択します。

または、バインダの背表紙上でマウスを右クリックし、[編集] を選択します。

⇒ [バインダの編集] ダイアログボックスが表示されます。

4. 各項目を設定します。



- ・ 各項目の詳細は、ダイアログボックスの[ヘルプ]ボタンをクリックして、『バインダ管理画面のヘルプ』を参照してください。
- ・ バインダにパスワードを付けることができます。バインダにパスワードを付ける場合、[属性]タブの「パスワード/確認」にパスワードを入力してください。ここで入力したパスワードはバインダを開くときや編集するときに必要です。絶対に忘れないでください。
- ・ 背表紙ラベルのデザインを変更できます。



- ・ ScanSnap (S1100、S1300、S1500、S300、S510、S500) で読み取ったイメージをバインダの背表紙にすることができます。また、読み取った背表紙イメージの邪魔にならないよう、タイトルや管理情報を表示しないようにできます。
詳細については、「6.16 ScanSnap からイメージを読み取ってバインダの背表紙にする」(115 ページ) を参照してください。
上記の ScanSnap 以外のスキャナをご利用の場合は、スキャナで読み取ったイメージをファイル保存し、バインダの背表紙にイメージを貼り付けてください。
詳細は、「6.17 バインダの背表紙にイメージを貼り付ける」(118 ページ) を参照してください。
- ・ バインダの背表紙に以下のファイル形式のイメージを貼り付けることができます。
 - bmp
 - jpg
 - png
 - pdf (Rack2-Filel で出力された PDF、または ScanSnap で読み取った PDF)詳細は、「6.17 バインダの背表紙にイメージを貼り付ける」(118 ページ) を参照してください。
- ・ 以下の項目は、バインダの検索時に、検索条件として指定することができます。
 - タイトル
 - 管理情報
 - キーワード

5.[OK] ボタンをクリックします。

⇒ 指定した内容に従って、バインダの設定が変更されます。

6.16 ScanSnap からイメージを 読み取ってバインダの背表紙にする

ScanSnap (S1100、S1300、S1500、S300、S510、S500) からイメージを読み取って、バインダの背表紙にします。



スキャナからイメージを読み取って、バインダの背表紙に設定できる機種は、以下のとおりです。

- ・ S1100 ・ S1300 ・ S1500
- ・ S300 ・ S510 ・ S500

以下の機種は対象外となります。

- ・ fi-5110EOX2
- ・ fi-5110EOX



上記の ScanSnap 以外のスキャナをご利用の場合は、スキャナで読み取ったイメージをファイル保存し、バインダの背表紙にイメージを貼り付けることで、バインダの背表紙にできます。詳細は、「6.17 バインダの背表紙にイメージを貼り付ける」(118 ページ) を参照してください。



1. 読み取ったイメージを背表紙に設定するバインダを選択します。

2.  **バインダ操作** をクリックし、[バインダ編集] を選択します。

または、バインダの背表紙上でマウスを右クリックし、[編集] を選択します。

⇒ [バインダの編集] ダイアログボックスが表示されます。

3. 「タイトルを表示しない」 および 「管理情報を表示しない」 にチェックを付け、その他の項目を設定します。



背表紙イメージの邪魔にならないように、タイトルおよび管理情報を隠します。

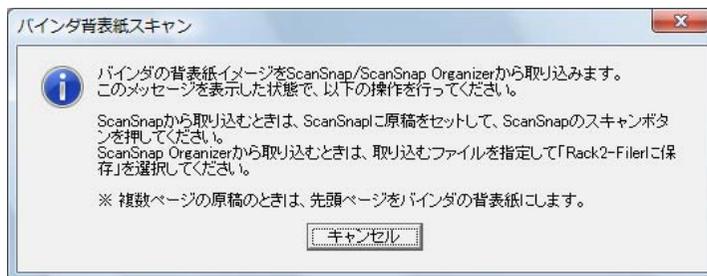
タイトルおよび管理情報を表示しない設定にした場合でも、バインダの検索時に、検索条件として指定することができます。

各項目の詳細は、ダイアログボックスの [ヘルプ] ボタンをクリックして、『バインダ管理画面のヘルプ』を参照してください。



4. [背表紙スキャン] ボタンをクリックします。

⇒ メッセージが表示されます。



5. ScanSnap でイメージを読み取ります。



ScanSnap Organizer からファイルのイメージを取り込んで、バインダの背表紙にすることもできます。
ScanSnap Organizer からファイルのイメージを取り込む場合、ScanSnap Organizer で取り込むファイルを指定して、「Rack2-Filer に保存」を選択します。
ScanSnap Organizer の操作方法については、ScanSnap Organizer のマニュアルを参照してください。

⇒ イメージが読み取られ、[バインダの編集]ダイアログボックスの「プレビュー」に、読み取られたバインダの背表紙イメージが表示されます。

6. [OK] ボタンをクリックします。

⇒ 読み取ったイメージがバインダの背表紙に設定されます。

6.17 バインダの背表紙にイメージを貼り付ける

バインダの背表紙にファイルのイメージを貼り付けます。



- ・ サポートしているファイル形式は、以下のとおりです。
 - － bmp
 - － jpg
 - － png
 - － pdf (Rack2-Filer で出力された PDF、または ScanSnap で読み取った PDF)
- ・ スキャナで読み取ったイメージをファイル保存し、バインダの背表紙にイメージを貼り付けることで、バインダの背表紙にできます。
- ・ 複数ページある PDF ファイルの場合、最初のページが貼り付けられます。



1. ファイルのイメージを背表紙に貼り付けるバインダを選択します。

2.  **バインダ操作** をクリックし、**[バインダ編集]** を選択します。

または、バインダの背表紙上でマウスを右クリックし、**[編集]** を選択します。

⇒ **[バインダの編集]** ダイアログボックスが表示されます。

3. 「バインダの背表紙にイメージを追加」にチェックを付けます。

⇒ 背表紙に貼り付けるイメージについての設定項目が表示されます。

4. 「位置」で、ファイルのイメージを貼り付ける位置を選択します。

5. [参照] ボタンをクリックします。

⇒ [ファイルを開く] ダイアログボックスが標示されます。

6. イメージを背表紙に貼り付けるファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。

⇒ [バインダの編集] ダイアログボックスの「プレビュー」に、選択されたファイルを貼り付けた背表紙イメージが表示されます。



背表紙イメージの邪魔にならないように、タイトルおよび管理情報を隠すことができます。

[バインダの編集] ダイアログボックスで、「タイトルを表示しない」および「管理情報を表示しない」にチェックを付けてください。

タイトルおよび管理情報を表示しない設定にした場合でも、バインダの検索時に、検索条件として指定することができます。



7. [OK] ボタンをクリックします。

⇒ 選択したファイルのイメージがバインダの背表紙に貼り付けられます。

6.18 バインダを削除する

不要になったバインダを、キャビネットから削除します。複数同時に削除することもできます。



バインダを削除すると、バインダ内のページも削除されます。



1.削除したいバインダが管理されているキャビネットをツリーから選択します。

⇒ 選択したキャビネットの内容が表示されます。

2.削除するバインダを選択します。



複数バインダの選択は、バインダビューで、選択したいバインダを囲むようにドラッグするか、[Ctrl] キーまたは [Shift] キー + マウスクリックによって行うことができます。



-
3.  **バインダ操作** をクリックし、**[バインダ削除]** を選択します。
または、バインダの背表紙上でマウスを右クリックし、**[削除]** を選択します。

⇒ メッセージが表示されます。

4. **[OK]** ボタンをクリックします。



⇒ キャビネットからバインダが削除されます。

6.19 バインダを移動する

バインダを、別のキャビネットに移動します。複数同時に移動することもできます。

■ ドラッグ & ドロップによるバインダの移動

操作



1. 移動するバインダが管理されているキャビネットをツリーから選択します。

⇒ 選択したキャビネットの内容が表示されます。

2. 移動するバインダをドラッグして、移動先のキャビネット上（ツリー上）にドロップします。

ヒント



複数バインダの選択は、バインダビューで、選択したいバインダを囲むようにドラッグするか、[Ctrl] キーまたは [Shift] キー + マウスクリックによって行うことができます。



⇒ 指定したキャビネットに、バインダが移動します。

■ [バインダの移動] ダイアログボックスによるバインダの移動



1. 移動するバインダが管理されているキャビネットをツリーから選択します。

⇒ 選択したキャビネットの内容が表示されます。

2. 移動するバインダを選択します。



複数バインダの選択は、バインダビューで、選択したいバインダを囲むようにドラッグするか、[Ctrl] キーまたは [Shift] キー + マウスクリックによって行うことができます。



3. をクリックし、[バインダ移動] を選択します。

または、バインダの背表紙上でマウスを右クリックし、[移動] を選択します。

⇒ [バインダの移動] ダイアログボックスが表示されます。



キャビネット内でバインダの並び順を変更する場合、移動したい場所まで、バインダをドラッグ&ドロップします。



6.20 バインダをコピー（複製）する

バインダをキャビネット内の任意の場所や他のキャビネットにコピー（複製）します。複数同時にコピーすることもできます。

■ ドラッグ & ドロップによるバインダのコピー

操作



1. コピーするバインダが管理されているキャビネットをツリーから選択します。

⇒ 選択したキャビネットの内容が表示されます。

2. コピーするバインダをドラッグして、[Ctrl] キーを押しながら、コピー先（キャビネット内の任意の場所、または他のキャビネット（ツリー上））にドロップします。



複数バインダの選択は、バインダビューで、選択したいバインダを囲むようにドラッグするか、[Ctrl] キーまたは [Shift] キー + マウスクリックによって行うことができます。



そのままキーを押しながら、コピー先にドロップします。

⇒ 指定した場所に、バインダがコピーされます。

■ [バインダの複製] ダイアログボックスによるバインダのコピー



1. コピーするバインダが管理されているキャビネットをツリーから選択します。

⇒ 選択したキャビネットの内容が表示されます。

2. コピーするバインダを選択します。



複数バインダの選択は、バインダビューで、選択したいバインダを囲むようにドラッグするか、[Ctrl] キーまたは [Shift] キー + マウスクリックによって行うことができます。





キャビネット内でバインダの並び順を変更する場合、移動したい場所まで、バインダをドラッグ&ドロップします。



6.21 バインダをアクセス日時の新しい順に並べ替える

キャビネット内のバインダを、アクセス日時の新しい順に自動で並べ替えられるようにすることができます。

操作



1. アクセス日時の新しい順に並べ替えて管理したいバインダが管理されているキャビネットをツリーから選択します。

⇒ 選択したキャビネットの内容が表示されます。

2. ツリーのキャビネット名の上でマウスを右クリックし、[バインダの整列] - [アクセス日時順] を選択します。

⇒ キャビネット内のバインダがアクセス日時の新しい順に、最上段の左側から並べ替えられます。

ヒント



- ・ アクセス日時は、バインダを開いたときに更新されます。なお、一度も開いていないバインダは、バインダの作成日時がアクセス日時として判断されます。
- ・ [バインダの整列] で [アクセス日時順] が選択されていると、以下の場合に、バインダがアクセス日時の新しい順に自動で並べ替えられます。
 - － キャビネットを開いたとき
 - － バインダを開いたとき
- ・ バインダがアクセス日時の新しい順に並べ替えられるモードを中止したい場合は、ツリーのキャビネット上でマウスを右クリックし、[バインダの整列] - [フリー] を選択してください。

6.22 バインダ内の全ページのテキストを抽出する

選択したバインダ内の全ページを対象にテキスト抽出を行います。



すでにテキスト抽出済みのページについては、テキスト情報が更新（上書き）されます。



操作



1. テキスト抽出したいバインダが管理されているキャビネットをツリーから選択します。
⇒ 選択したキャビネットの内容が表示されます。
2. テキスト抽出したいバインダを選択します。
3. バインダの背表紙上でマウスを右クリックし、[テキスト抽出]を選択します。
⇒ [テキスト情報抽出中] ダイアログボックスが表示され、テキストが抽出されます。

6.23 バインダに関する情報を確認する

バインダに関する以下の情報を確認します。

- ・ バインダの格納場所、およびバインダのフォルダ名
- ・ バインダ内にある原稿の枚数／総枚数
- ・ ファイルサイズ
- ・ バインダのバージョン
- ・ アクセス日時

操作



1. 情報を確認したいバインダが管理されているキャビネットをツリーから選択します。

⇒ 選択したキャビネットの内容が表示されます。

2. 情報を確認したいバインダを選択します。

3. バインダの背表紙上でマウスを右クリックし、[プロパティ]を選択します。

⇒ [プロパティ]ダイアログボックスが表示され、バインダの情報を確認できます。



各項目の詳細は、ダイアログボックスの[ヘルプ]ボタンをクリックして、『バイнда管理画面のヘルプ』を参照してください。

6.24 バインダを出力する（エクスポート）

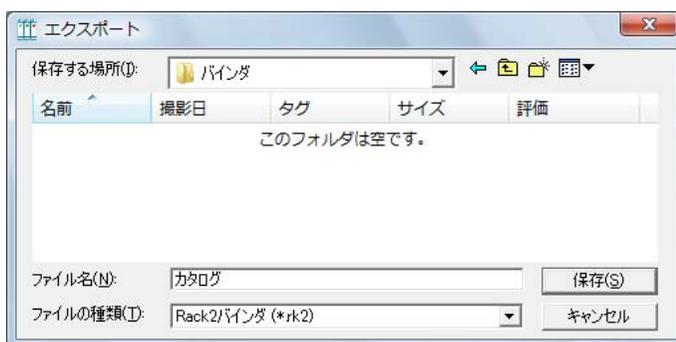
バインダをエクスポートすると、Rack2-Filer がインストールされていないコンピュータでも、バインダに格納したデータを見ることができます。エクスポートして出力されたバインダは、Adobe Acrobat、Adobe Reader、または閲覧用のビューア画面で表示できます。



- ・ 名刺バインダは「Rack2 バインダ (*.rk2)」および「Viewer 付きデータファイル (*.exe)」でのエクスポートのみ可能です。
- ・ 「Rack2 バインダ (*.rk2)」でエクスポートしたファイルは、Rack2-Filer V4.0 以降の場合にインポートできます。それ以前のバージョンを使用する場合は、「データファイル (*.pdf+*.ini+ 電子ファイル)」形式でエクスポートしてください。



1. エクスポート（出力）したいバインダを選択します。
2.  **バインダ操作** をクリックし、[エクスポート] を選択します。
または、バインダの背表紙上でマウスを右クリックし、[エクスポート] を選択します。
⇒ [エクスポート] ダイアログボックスが表示されます。
3. 出力するファイルを保存する場所やファイル名を指定して、[保存] ボタンをクリックします。



⇒ 指定した形式でバインダが出力されます。



- ・ 「ファイルの種類」に「Viewer 付きデータファイル (*.exe)」を選択した場合、ビューア付きのファイルが出力されます。このファイルは、Rack2-Fileer がインストールされていないコンピュータ上でも閲覧することができます。ビューア付きのファイル (*.exe) をダブルクリックすると、閲覧用のビューア画面が表示されます。
- ・ 「ファイルの種類」に「データファイル (*.pdf+*.ini+ 電子ファイル)」を選択した場合、出力されたファイルは Adobe Acrobat または Adobe Reader で表示することができます。ただし、この場合、以下の情報は表示されません。
 - － 目次ページ
 - － インデックスシート
 - － 編集情報



エクスポート機能によって生成された「Viewer 付きデータファイル (*.exe)」は、個人的な範囲を超える目的で、無断で複製・転用、およびネットワークを通じて配信することは禁止されています。

6.25 バインダを取り込む（インポート）

出力したバインダファイル（「*.pdf+*.ini+電子ファイル」または「*.rk2」）を再び取り込んでバインダ形式にし、Rack2-Filerで管理することができます。

取り込めるファイルは、バインダ管理画面のエクスポート機能で出力されたファイル、ビューア画面の保存機能で保存されたファイル、または WorkArea画面の保存機能で保存されたファイルです。



ビューア画面で「データファイル（*.pdf+*.ini）」形式で別名保存した名刺バインダをインポートすると、通常バインダとしてインポートされます。



- ・ 「データファイル（*.pdf+*.ini+電子ファイル）」形式でエクスポートしたバインダファイルをインポートする場合、*.pdfファイルと*.iniファイルが同じフォルダに格納されている必要があります。
- ・ エクスポートの詳細は「6.24 バインダを出力する（エクスポート）」（134 ページ）を、保存の詳細は「7.23 バインダ内のすべてのページを別名保存する」（223 ページ）を参照してください。

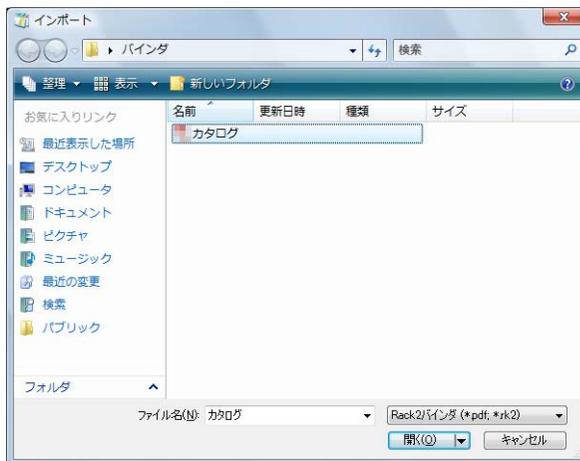


1. ファイルの取り込み先にするキャビネットを表示します。

2. をクリックし、[インポート]を選択します。

⇒ [開く] ダイアログボックスが表示されます（ダイアログボックスの名前は、オペレーティングシステムによって異なります）。

3. 取り込むファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします（ボタン名はオペレーティングシステムによって異なります）。



⇒ 読み込んだファイルがバインダ形式になり、キャビネットに追加されます。

6.26 バインダを検索する

目的のバインダを検索します。



- ・ 以下のバインダおよびページは検索対象となりません。
 - － パスワード付きのバインダ
 - － 内容が表示されていないパスワード付きの PDF ファイル
 - － 内容が表示されていない印刷制限付きの PDF ファイル
 - － 電子データ（電子データ付きのページは検索対象になります）
- ・ 検索機能は下の情報で使用できます。
 - － バインダ名
 - － バインダの管理情報
 - － 編集情報の文字
 - － インデックスの文字
 - － バインダに設定したキーワード
 - － 抽出／入力したテキスト
 - － 目次情報
 - － 写真／文書に設定したコメントの文字列



ここでは、検索されたバインダをキャビネットに表示する方法について説明します。

なお、検索された複数のバインダの検索結果（該当ページ）を1つのバインダにまとめることができます。1つのバインダにまとめると、各バインダを開きなおさずに、該当ページを参照することができます。

検索結果をまとめる方法については、「6.27 検索結果をバインダにまとめる」（143 ページ）を参照してください。



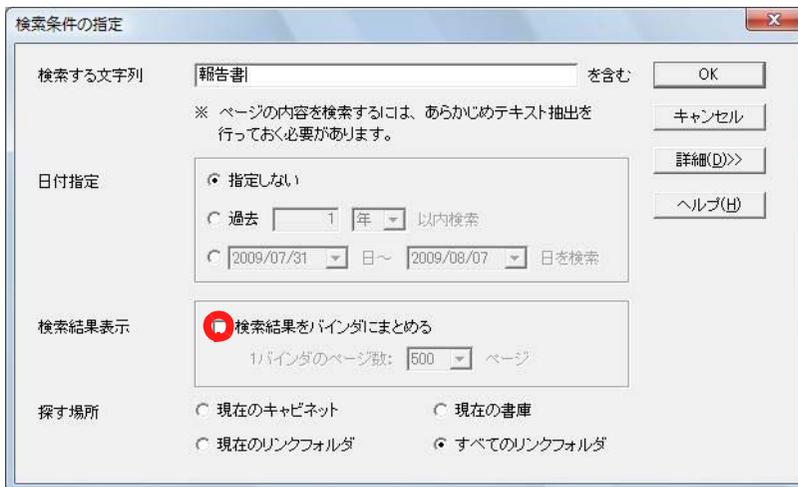
1. バインダが選択されていない状態で をクリックします。

⇒ [検索条件の指定] ダイアログボックスが表示されます。

2. 「検索結果をバインダにまとめる」のチェックをはずし、バインダを検索する条件を指定します。

複数の条件を指定した場合、指定したすべての条件に一致するバインダが検索されます。

ここでは、バインダのタイトルに「報告書」の文字が含まれるバインダを、すべてのリンクフォルダから検索します。



検索条件の指定

検索する文字列 を含む

※ ページの内容を検索するには、あらかじめテキスト抽出を行っておく必要があります。

日付指定

指定しない

過去 年

日 ~ 日

検索結果表示

検索結果をバインダにまとめる

1バインダのページ数: ページ

探す場所

現在のキャビネット

現在の書庫

現在のリンクフォルダ

すべてのリンクフォルダ

第6章 バインダ管理画面での操作

[詳細] ボタンをクリックすると、より詳細な検索条件を設定するダイアログボックスが表示されます。

The screenshot shows a dialog box titled "検索条件の指定" (Search Condition Specification). It contains several sections for configuring search criteria:

- タイトル** (Title): Text input field containing "報告書" (Report), with a "を含む" (Contains) button.
- 管理情報(上段)** (Management Information - Upper): Text input field, with a "を含む" (Contains) button.
- 管理情報(中段)** (Management Information - Middle): Text input field, with a "を含む" (Contains) button.
- 日付指定** (Date Specification):
 - Radio button selected: 指定しない (Do not specify)
 - Radio button: 過去 [1] 年 [年] 以内検索 (Search within the last [1] [年] years)
 - Radio button: [2009/07/31] 日 ~ [2009/08/07] 日を検索 (Search from [2009/07/31] to [2009/08/07])
- 目次/インデックス** (Table of Contents/Index): Text input field, with a "を含む" (Contains) button.
- 付箋紙情報/ハイパーリンク/スタンプ情報** (Sticker/Link/Stamp Information): Three text input fields, each with a "を含む" (Contains) button and a dropdown menu set to "また" (Again). A note states: "※「かつ」が「また」よりも優先されます。" (Note: "AND" is prioritized over "OR").
- バインダキーワード** (Binder Keyword): Text input field, with a "を含む" (Contains) button.
- テキスト情報** (Text Information): Text input field, with a "を含む" (Contains) button.
- 検索結果表示** (Search Result Display):
 - Radio button selected: 検索結果をバインダにまとめる (Summarize search results in binder)
 - Text: 1バインダのページ数: [500] ページ (Number of pages per binder: [500] pages)
 - Note: ※ ページの内容を検索するには、あらかじめテキスト抽出を行っておく必要があります。 (Note: To search page content, text extraction must be performed in advance.)
- 探す場所** (Search Location):
 - Radio button: 現在のキャビネット (Current cabinet)
 - Radio button: 現在の書庫 (Current library)
 - Radio button: 現在のリンクフォルダ (Current link folder)
 - Radio button selected: すべてのリンクフォルダ (All link folders)

Buttons on the right side: OK, キャンセル (Cancel), <<標準(S) (Standard), ヘルプ(H) (Help).



- ・ 複数のキーワードを指定し、バインダを検索することもできます。キーワードを半角空白で区切って指定してください。
- ・ 複数のキーワードを指定する場合、入力したキーワードがすべて含まれているページが検索されます。
- ・ キーワードに半角空白が含まれている場合、キーワードをダブルクォーテーション (") で囲んでください。
- ・ キーワードに半角ダブルクォーテーション (") が含まれている場合、キーワードを半角ダブルクォーテーション (") で囲み、文字列となる半角ダブルクォーテーション (") の前に円マーク (¥) を入力してください。

例) キーワードが「"AAA"」と「BBB」の場合

" ¥ "AAA ¥ "" BBB

- ・ [検索条件の指定] ダイアログボックスで「検索結果をバインダにまとめる」のチェックを付けた場合、検索結果は、検索結果バインダにまとまります。
詳細は、「6.27 検索結果をバインダにまとめる」(143 ページ) を参照してください。
- ・ 各項目の詳細は、ダイアログボックスの[ヘルプ] ボタンをクリックして、『バインダ管理画面のヘルプ』を参照してください。

3.[OK] ボタンをクリックします。

⇒ 指定した条件に一致したバインダが、キャビネットに表示されます。

第6章 バインダ管理画面での操作



検索結果バインダを選択すると、バインダ管理画面のタイトルバーに、以下の情報が表示されます。

- ・ リンクフォルダ名
- ・ 書庫名
- ・ キャビネット名



戻る

をクリックすると、検索結果表示が終了します。

6.27 検索結果をバインダにまとめる

目的のバインダを検索し、検索されたページを検索結果バインダにまとめます。

検索結果バインダにまとめると、各バインダを開きなおさずに検索されたページを参照することができます。また、検索結果バインダをキャビネットに移動／コピー（複製）して、通常のバインダとして使用することができます。

ここでは、検索されたページをバインダにまとめる方法について説明します。検索されたバインダをキャビネットに表示する方法については、「6.26 バインダを検索する」（138 ページ）を参照してください。



1. バインダが選択されていない状態で  をクリックします。

⇒ [検索条件の指定] ダイアログボックスが表示されます。

2. 「検索結果をバインダにまとめる」のチェックを付け、バインダを検索する条件を指定します。

各項目の詳細は、ダイアログボックスの [ヘルプ] ボタンをクリックして、『バインダ管理画面のヘルプ』を参照してください。

複数の条件を指定した場合、指定したすべての条件に一致するバインダが検索されます。

ここでは、ページに「報告書」の文字が含まれるバインダを、すべてのリンクフォルダから検索します。

第6章 バインダ管理画面での操作

検索条件の指定

検索する文字列 を含む

※ ページの内容を検索する際は、あらかじめテキスト抽出を行っておく必要があります。

日付指定

指定しない

過去 年 以内検索

2009/07/31 日 ~ 2009/08/07 日 を検索

検索結果表示

検索結果をバインダにまとめる

1バインダのページ数: ページ

探す場所

現在のキャビネット 現在の書庫

現在のリンクフォルダ すべてのリンクフォルダ

[詳細] ボタンをクリックすると、より詳細な検索条件を設定するダイアログボックスが表示されます。

検索条件の指定

タイトル を含む

管理情報(上段) を含む

管理情報(中段) を含む

日付指定

指定しない

過去 年 以内検索

2009/07/31 日 ~ 2009/08/07 日 を検索

目次/インデックス を含む

付箋情報/
ハイパーリンク/
スタンプ情報

を含む ※「かつ」が「または」

を含む よりも優先されます。

を含む

バインダキーワード を含む

テキスト情報 を含む

検索結果表示

検索結果をバインダにまとめる

1バインダのページ数: ページ

※ ページの内容を検索する際は、あらかじめテキスト抽出を行っておく必要があります。

探す場所

現在のキャビネット 現在の書庫

現在のリンクフォルダ すべてのリンクフォルダ



- ・ 複数のキーワードを指定し、バインダを検索することもできます。キーワードを半角空白で区切って指定してください。
- ・ 複数のキーワードを指定する場合、入力したキーワードがすべて含まれているページが検索されます。
- ・ キーワードに半角空白が含まれている場合、キーワードをダブルクォーテーション (") で囲んでください。
- ・ キーワードに半角ダブルクォーテーション (") が含まれている場合、キーワードを半角ダブルクォーテーション (") で囲み、文字列となる半角ダブルクォーテーション (") の前に円マーク (¥) を入力してください。
例) キーワードが「"AAA"」と「BBB」の場合
" ¥ "AAA ¥ "" BBB

3.1つの検索結果バインダにまとめるページ数を選択します。

選択できるページ数の範囲は、100 ページから 1000 ページ（100 ページ単位）です。

検索結果が指定した1バインダのページ数を超えた場合は、検索結果バインダが分割作成されます。

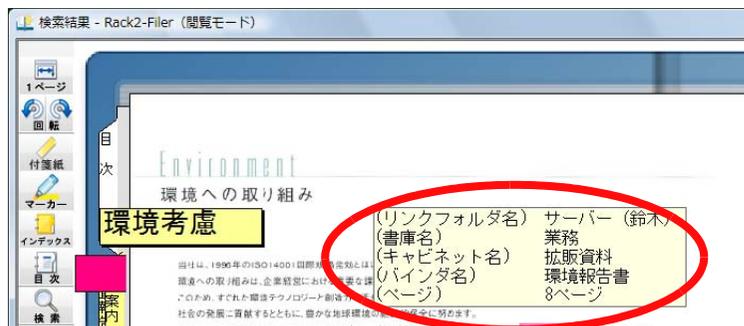
4.[OK] ボタンをクリックします。

⇒ バインダが検索され、検索結果バインダが表示されます。



検索結果バインダをビューア画面で表示し、検索結果を確認します。

- ・ ページ上にマウスをポイントすると、以下の情報が表示されます。
 - －リンクフォルダ名
 - －書庫名
 - －キャビネット名
 - －バインダ名
 - －表示ページのページ番号



- ・  をクリックすると、[検索] ダイアログボックスの「検索する文字列」に [検索条件の指定] ダイアログボックスで指定した検索文字列が入力された状態で表示されます。[次を検索] ボタンをクリックすると、検索文字列を含むページが検索されます。
- ・  をクリックすると、元のバインダのページが表示されます。

バイнда管理画面で  をクリックすると、検索結果表示が終了します。



をクリックすると、検索結果バイндаが表示されなくなります。

検索結果バイндаは、キャビネットに移動／コピー（複製）することで、通常のバイндаとして利用できます。

バイндаを移動する方法については、「■ [バイндаの移動] ダイアログボックスによる バイндаの移動」(123 ページ)を参照してください。

バイндаをコピー（複製）する方法については、「6.20 バイндаをコピー（複製）する」(126 ページ)を参照してください。



6.28 ページを検索する

バインダ内の目的のページを検索します。



検索機能は、以下の情報で使用できます。

- ・ 編集情報の文字
- ・ インデックスの文字
- ・ 抽出／入力したテキスト
- ・ 目次情報
- ・ 写真／文書に設定したコメントの文字列

詳細は「6.22 バインダ内の全ページのテキストを抽出する」
(131 ページ) を参照してください。



操作

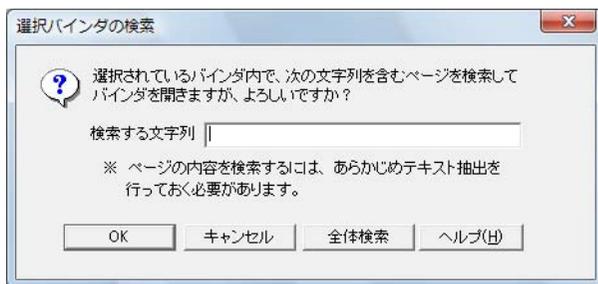


1. 検索したいバインダを選択し、 をクリックします。

または、バインダの背表紙上でマウスを右クリックし、[検索] を選択します。

⇒ [選択バインダの検索] ダイアログボックスが表示されます。

2. 検索する文字列を指定します。





- ・ 複数のキーワードを指定し、ページを検索することもできます。キーワードを半角空白で区切って指定してください。
- ・ 複数のキーワードを指定する場合、入力したキーワードがすべて含まれているページが検索されます。
- ・ キーワードに半角空白が含まれている場合、キーワードをダブルクォーテーション (") で囲んでください。
- ・ キーワードに半角ダブルクォーテーション (") が含まれている場合、キーワードを半角ダブルクォーテーション (") で囲み、文字列となる半角ダブルクォーテーション (") の前に円マーク (¥) を入力してください。
例) キーワードが「"AAA"」と「BBB」の場合
" ¥ "AAA ¥ "" BBB
- ・ [全体検索] ボタンをクリックするとバインダの検索に移ります。「6.26 バインダを検索する」(138 ページ) を参照してください。

3.[OK] ボタンをクリックします。

⇒ ビューア画面が開き、指定した文字列を含むページが表示されます。

6.29 WorkArea へ原稿を移動する

バインダ内の原稿を WorkArea に移動します。



名刺バインダの原稿およびパスワード付きのバインダの原稿は移動できません。



1. WorkArea へ原稿を移動するバインダを選択します。

2.  **バインダ操作** をクリックし、[WorkArea へ原稿移動] を選択します。または、バインダの背表紙上でマウスを右クリックし、[WorkArea へ原稿移動] を選択します。

⇒ バインダ内の原稿がすべて移動します。



移動された原稿は WorkArea の最後に配置されます。



6.30 WorkArea へ原稿をコピーする

バインダ内の原稿を WorkArea にコピーします。



まって!



名刺バインダの原稿およびパスワード付きのバインダの原稿はコピーできません。



操作



1. WorkArea へ原稿をコピーするバインダを選択します。

2.  **バインダ操作** をクリックし、[WorkArea へ原稿コピー] を選択します。または、バインダの背表紙上でマウスを右クリックし、[WorkArea へ原稿コピー] を選択します。

⇒ バインダ内の原稿がコピーされます。



ヒント



コピーされた原稿は WorkArea の最後に配置されます。



6.31 環境を設定する

以下の設定ができます。

- ・ **[一般] タブ**

リンクフォルダ（書庫・キャビネット・バインダのデータの格納先）を指定します。

初期状態では、インストール時に指定されたフォルダに設定されています。

- ・ **[ScanSnap — Rack2 連携] タブ**

ScanSnap（ScanSnap Organizer を含む）から送られてきたデータの保存先を選択します。

データは、以下のいずれかへ保存できます。

- ・ WorkArea
- ・ 管理画面で選択されているバインダ
- ・ バインダ選択画面を表示して選択したバインダ



ヒント

Rack2-Fileer が起動されていなくても、データを取り込むことができます。

■ [一般] タブでの設定

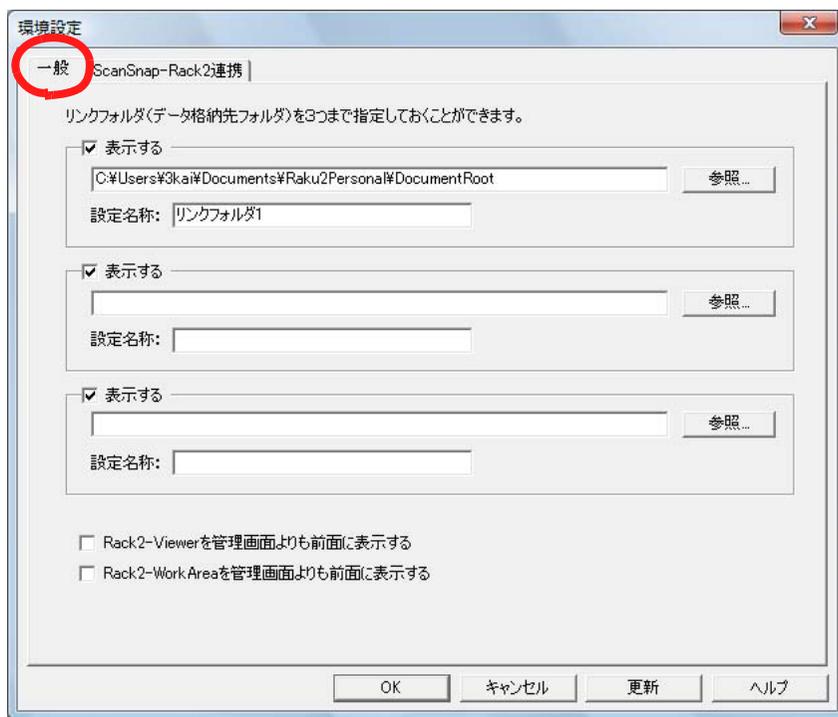
操作



1.  をクリックし、[環境設定] を選択します。

⇒ [環境設定] ダイアログボックスが表示されます。

2. [一般] タブで、各項目を設定します。



- ・ リンクフォルダを追加／変更する場合、[参照] ボタンをクリックして指定します。
 - － リンクフォルダは3つまで指定できます。
 - － 「設定名称」に指定した文字列は、バインダ管理画面に表示されません。
 - － 「表示する」にチェックを付けると、リンクフォルダの内容がバインダ管理画面に表示されます。



- ・ リンクフォルダにリムーバブルディスクを指定しないでください。
- ・ リンクフォルダと WorkArea のデータ格納先には同じフォルダを指定しないでください。また、リンクフォルダまたは WorkArea のデータ格納先のどちらかが親フォルダとなる指定もしないでください。
例：
 - ー リンクフォルダが「C:¥Temp1」で、WorkArea のデータ格納先が「C:¥Temp1¥WorkArea」
 - ー リンクフォルダが「C:¥Temp1¥DocumentRoot」で、WorkArea のデータ格納先が「C:¥Temp1」
WorkArea のデータ格納先の変更方法については、「7.53 動作環境を設定する」(291 ページ)を参照してください。
- ・ リンクフォルダにネットワークドライブを指定する場合は、Windows サーバを使用してください。
- ・ リンクフォルダにネットワークドライブを指定する場合は、アクセス許可設定に「フルコントロール」属性を付与してください。
- ・ リンクフォルダに格納されているデータを直接編集しないでください。Rack2-Filer でデータを正常に表示できなくなる可能性があります。

- ・ ビューア画面や WorkArea 画面を常にバインダ管理画面より前面に表示させるかどうかを、「Rack2-Viewer を管理画面よりも前面に表示する」と「Rack2-WorkArea を管理画面よりも前面に表示する」のチェックで選択します。

3.[OK] ボタンをクリックします。

⇒ リンクフォルダを新たに設定した場合、リンクフォルダに格納されているデータを直接編集するとデータが正常に動作しない可能性があるというメッセージが表示されます。

内容を確認して、[OK] ボタンをクリックしてください。

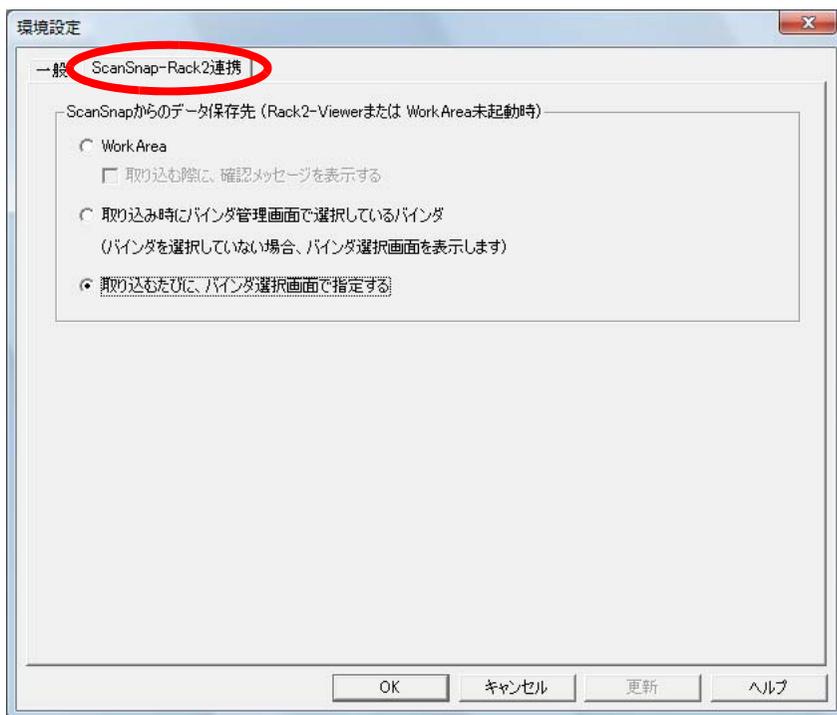
■ [ScanSnap-Rack2 連携] タブでの設定



1.  をクリックし、[環境設定] を選択します。

⇒ [環境設定] ダイアログボックスが表示されます。

2. [ScanSnap - Rack2 連携] タブで、データの保存先を選択します。





「ScanSnap からのデータ保存先」に「WorkArea」を選択した場合で、「取り込む際に、確認メッセージを表示する」にチェックがついていると、ScanSnap で読み取ったデータを WorkArea に追加するかどうかのメッセージが表示されます。

3. [OK] ボタンをクリックします。

⇒ 指定した場所に、データが保存されます。

6.32 データを退避する

リンクフォルダ内のすべてのデータを退避します。



ヒント

ここでは、リンクフォルダ単位でバックアップを行う方法について説明します。

ここで説明する方法以外に、Backup & Restore Tool を使用してデータを退避できます。

Backup & Restore Tool では、リンクフォルダ、書庫、キャビネット単位でデータのバックアップを行い、復元は、リンクフォルダ単位またはバインダ単位で行います。

詳細は、「11.4 バックアップを実行する」(390 ページ) を参照してください。

操作



1.  をクリックし、[環境設定] を選択します。

⇒ [環境設定] ダイアログボックスが表示されます。

2. [一般] タブで、退避したいリンクフォルダ（データ格納先フォルダ）の情報を確認します。

3. エクスプローラを起動して、手順「2.」で確認したフォルダを選択し、ツールバーの [整理] - 「コピー」を選択します。

⇒ フォルダがコピーされます。

4. 退避先のフォルダを開き、ツールバーの [整理] - 「貼り付け」を選択します。

⇒ フォルダが貼り付けされ、データが退避されます。

6.33 データを他のコンピュータに移行する

リンクフォルダ内のすべてのデータを、他のコンピュータに移行します。



1.  **管理・設定** をクリックし、**[環境設定]** を選択します。

⇒ [環境設定] ダイアログボックスが表示されます。

2. **[一般]** タブで、移行したいリンクフォルダ（データ格納先フォルダ）の情報を確認します。

3. エクスプローラを起動し、手順「2.」で確認したフォルダを、移行先のコンピュータにコピーします。



コピーする場合、リンクフォルダごと一括でコピーしてください。

リンクフォルダ配下のフォルダやファイルの一部をコピーするだけでは、動作しません。



4. 移行先のコンピュータで  **管理・設定** をクリックし、**[環境設定]** を選択します。

⇒ [環境設定] ダイアログボックスが表示されます。

5. **「リンクフォルダの選択」** でリンクフォルダにコピーしたリンクフォルダを指定し、**[OK]** ボタンをクリックします。

⇒ データが移行されます。

第7章



ビューア画面での操作

この章では、ビューア画面でできる操作について説明します。

<この章で使用しているマークについて>

見開きモードでの操作 : 見開きモードでページを表示している場合に、利用できる機能であることを示しています。

1ページモードでの操作 : 1ページモードでページを表示している場合に、利用できる機能であることを示しています。

7.1 業務用 イメージ スキャナ fi シリーズからページを読み取る

見開きモードでの操作

業務用 イメージ スキャナ fi シリーズ (TWAIN 対応のスキャナ) を使用して原稿を読み取って、バインダに追加します。



業務用 イメージ スキャナ fi シリーズと ScanSnap の両方とも接続されている場合で、業務用 イメージ スキャナ fi シリーズで読み取りを行うときは、ScanSnap の電源をオフにしてください。



1. スキャナに原稿をセットします。
2. 読み取り先のバインダのページを表示します。
3.  スキャナ をクリックします。
または、ページ上でマウスを右クリックし、[挿入] - [スキャナ読み取り] を選択します。
⇒ 読み取りが実行され、原稿がバインダに追加されます。



- ・ 読み取り時に、スキャナドライバ画面（TWAIN ドライバの画面）を表示することもできます。
スキャナの種類によっては、必ずスキャナドライバ画面が表示されます。
- ・ 読み取ったページが奇数の場合、最後のページの裏面として、白紙ページが追加されます。
- ・ スキャナ読み取り時の動作を設定できます。詳細は、「7.53 動作環境を設定する」（291 ページ）または
 **ヘルプ** をクリックして『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。
- ・ 続けて次の読み取りを行う場合、原稿をセットしてから「次の読み取りを行いますか？」のメッセージで[はい]ボタンをクリックします。直前に読み込んだ原稿の末尾にページが追加されます。
- ・ 両面読み取り用の ADF（自動給紙装置）スキャナをご使用の場合、両面を読み取りたいときは、スキャナドライバ画面（TWAIN ドライバ画面）で設定を変更してください。
- ・ 名刺バイндаの場合、1 ページに取り込む名刺の枚数を 4 枚にするか 8 枚にするかを選択することができます。
[動作環境の設定] ダイアログボックスの[名刺バイнда]タブで設定します。



- ・ 読み込んだ名刺データは、追加対象ページ内の左列の空いているところに上から順に追加されます。表面が名刺データで埋まったときは、裏面の空いているところに追加されます。1 ページあたりの名刺の枚数を 4 枚に設定し、裏面の左列が埋まったときは、新しい名刺シート（両面）が追加され、続きが取り込まれます。



- ・ 名刺をフラットベッドスキャナで読み取る場合は、[動作環境の設定]ダイアログボックスの[名刺バインダ]タブで読み取り方法を設定することができます。
- ・ 名刺を ADF で読み取る場合は、TWAIN ドライバの読み取りサイズが自動で「名刺サイズ」に切り替わります。
- ・ 縦長の名刺データが取り込まれた場合、左に 90 度回転した状態で表示されます。
- ・ 名刺サイズを超える場合は、自動的にフリー切り出し処理が行われ、名刺データが抽出されます。

7.2 ScanSnap からページを読み取る

見開きモードでの操作

ScanSnap (S1100、S1300、S1500、S300、S510、S500) を使用して原稿を読み取って、バインダに追加します。



ScanSnap からページを読み取る場合、Rack2-File と ScanSnap を連携する必要があります。Rack2-File と ScanSnap を連携する方法は、「第 5 章 ScanSnap と連携する」(67 ページ) を参照してください。



1. ScanSnap に原稿をセットします。
2. 読み取り先にするバインダのページを表示します。
3. ビューア画面が最前面に表示された状態で、ScanSnap の読み取りボタンを押します。

⇒ 読み取りが実行され、原稿がバインダに追加されます。



ScanSnap S1100 をご使用の場合、すべての原稿を読み取ったあとに、再び読み取りボタンを押すと読み取りが終了し、原稿がバインダに追加されます。





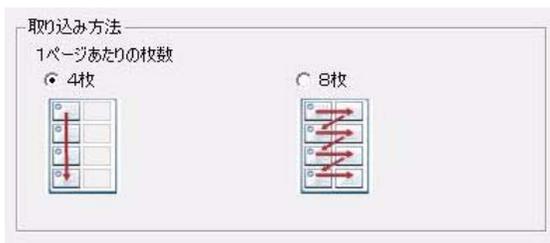
- ・ スキャナに ScanSnap を使用する場合、ビューア画面の



は使用しません。

- ・ 読み取ったページが奇数の場合、最後のページの裏面として、白紙ページが追加されます。
- ・ 名刺バインダの場合、1 ページに取り込む名刺の枚数を 4 枚にするか 8 枚にするかを選択することができます。

[動作環境の設定] ダイアログボックスの [名刺バインダ] タブで設定します。



- ・ 読み込んだ名刺データは、追加対象ページ内の左列の空いているところに上から順に追加されます。表面が名刺データで埋まったときは、裏面の空いているところに追加されます。1 ページあたりの名刺の枚数を 4 枚に設定し、裏面の左列が埋まったときは、新しい名刺シート（両面）が追加され、続きが取り込まれます。

7.3 ファイル（電子データ）を取り込む

見開きモードでの操作

コンピュータ上のフォルダからファイルを取り込んで、バインダに追加します。

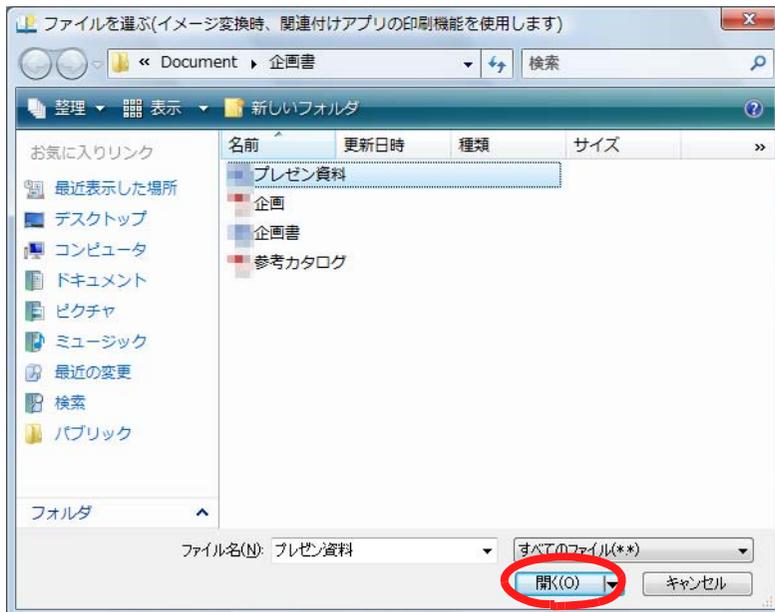


1. 取り込み先のバインダのページを表示しておいてから、 をクリックします。
または、ページ上でマウスを右クリックし、[挿入]－[ファイル取り込み]を選択します。

⇒ [ファイルを選ぶ] ダイアログボックスが表示されます。

2. 取り込みたいファイルを指定して、[開く] ボタンをクリックします。

ファイルは、キーボードの Shift キーや Ctrl キーを押しながら複数指定できます。



⇒ 取り込んだファイルがバインダに追加されます。



- ・ 複数ページのファイルや、高解像度のカラーの画像ファイルを取り込んだ場合、取り込みに時間がかかることがあります。
- ・ 画像形式のファイルを取り込む場合は、元のファイル（電子データ）を一緒に取り込むことはできません。



- ・ 取り込み先のバインダのページを表示しておき、取り込みたいファイル（複数可能）をページ上にドラッグ&ドロップすることによってもファイル取り込みができます。
- ・ 元のファイル（電子データ）も一緒に取り込んで、Rack2-Filer で管理する場合、[設定] ボタンをクリックして、[動作環境の設定] ダイアログボックスの[入力設定] タブの「元ファイル（変換前の電子ファイル）も取り込む」をチェックします。
- ・ ページを検索したい場合は、[動作環境の設定] ダイアログボックスの[入力設定] タブで、「取り込み（スキャナ、ファイル）時に自動的にテキスト抽出する」をチェックしてから取り込んでください。





- ・ パスワード付きの PDF ファイルや印刷制限付きの PDF ファイルを取り込む場合、[動作環境の設定] ダイアログボックスの [入力設定] タブの「パスワードまたは印刷制限付き PDF を取り込む場合、元ファイルを取り込み、ページ内容を表示しない」にチェックがついているかどうかで取り込み結果が異なります。[動作環境の設定] ダイアログボックスは [設定] ボタンをクリックすると表示されます。

ー チェックが付いている場合

パスワード付き PDF ファイルまたは印刷制限付きの PDF ファイルを取り込むと、ビューア画面に PDF ファイルの内容は表示されず、PDF ファイルのアイコンがページの下部に表示されます。PDF ファイルのアイコンにマウスカーソルを合わせると、取り込んだ PDF ファイルのファイル名が表示されます。PDF ファイルのアイコンをダブルクリックすると、Adobe Acrobat または Adobe Reader が起動されます。

Adobe Acrobat で取り込んだ PDF ファイルのパスワードをはずしたり、印刷制限を解除した場合、通常 of 原稿として更新され、PDF ファイルの内容がビューア画面に表示されます。また、バインダのページを印刷する場合、指定したページにパスワード付きの PDF ファイル、または印刷制限付きの PDF ファイルを取り込んだページが含まれていたときには、それらのページを除いて印刷されます。電子データとして取り込まれている PDF ファイルも印刷されません。



- ・ サポートしているファイル形式は、以下のとおりです。

BMP	: Windows および OS/2 ビットマップ
PCX	: Zsoft 形式 (シングルページ)
JPG, JPEG	: JPEG 形式
TIF, TIFF	: TIFF 形式 (マルチページを含む。 ZIP 圧縮形式は除きます。)
WMF	: Windows メタファイル
PSD	: Photoshop 3.0 形式
PNG	: Portable Network Graphics 形式
TGA	: Truevision TARGA 形式
PCD	: Photo CD 形式
FPX	: FlashPix 形式
PDF	: PDF 形式 (Rack2-Filer で出力された PDF、または ScanSnap で読み取っ た PDF。それ以外の PDF は、関連付 けアプリケーションの印刷機能で取 り込まれます。)

上記の他に、印刷機能を持つアプリケーションに関連付けされているファイルもサポートしています。

- ・ サポートしている画像形式以外のファイル (Microsoft Word や Microsoft Excel など) をイメージ変換^(*)して、取り込むときの色数と解像度を設定できます。詳細は、「7.53 動作環境を設定する」(291 ページ) または  ヘルプ をクリックして『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。

(*) イメージ変換では、ファイルに関連付けられているアプリケーションの印刷機能が使用されます。このため、アプリケーションによっては、印刷の画面が表示されたり、イメージ変換終了後に画面が表示されたままになることがあります。また、印刷確認のメッセージが表示された場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。



- ・ 関連付けアプリケーションの印刷機能によるイメージ変換が行われる場合、ファイルによっては、「(ファイル名) は変更されています。保存しますか？」のメッセージが表示されます。この場合、[いいえ] ボタンをクリックしてください。
- ・ インデックスシートの自動挿入が設定されている場合、ファイル名が長いと、インデックスシートのタグにファイル名が表示しきれないことがあります。タグの上にマウスポインタを重ねると、ツールチップにファイル名が表示されません。
- ・ 取り込んだページが奇数の場合、最後のページの裏面として、白紙ページが追加されます。
- ・ ファイル取り込み中にエラーが発生してプログラムが終了した場合、通常使うプリンタが「Raku2 ImageWriter」のままになっていることがあります。この場合、次のように元のプリンタを「通常使うプリンタに設定」に変更してください。
(* 操作は Windows Vista を例にしています。
[スタート]メニューから [コントロールパネル] の [プリンタと FAX] (または [プリンタ]) を開き、元のプリンタ名の上で右クリックして、「通常使うプリンタに設定」を選択してください。



- ・ 名刺バイндаの場合、1 ページに取り込む名刺の枚数を 4 枚にするか 8 枚にするかを選択することができます。
[動作環境の設定] ダイアログボックスの [名刺バイнда] タブで設定します。
- ・ 読み込んだ名刺データは、追加対象ページ内の左列の空いているところ从上から順に追加されます。表面が名刺データで埋まったときは、裏面の空いているところに追加されます。1 ページあたりの名刺の枚数を 4 枚に設定し、裏面の左列が埋まったときは、新しい名刺シート (両面) が追加され、続きが取り込まれます。



- ・ 名刺バイндаの場合、元のファイル (電子データ) の取り込みは行われません。
- ・ 名刺バイндаの場合、ファイル取り込み時のインデックスシートの自動挿入は行われません。

7.4 1 ページずつページをめくる

見開きモードでの操作

1 ページモードでの操作

操作



1. ビューア画面の左端または右端にマウスポインタを移動します。ページを 90 度回転して表示している場合は、ビューア画面の上端または下端にマウスポインタを移動します。

2. マウスポインタがになったときにクリックします。



- ・ 以下の方法でも、ページをめくることができます。
 - 、または  をクリックする
 - キーボードの→キー、または←キー（90 度回転して表示している場合は、↑キーまたは↓キー）を押す
 - マウスホイールを（前のページを表示する場合は上へ、次のページを表示する場合は下へ）動かす
- ・ ページ表示域でページ数を入力すると、入力したページが表示されます。
- ・ ページをめくる速さを設定できます。詳細は、「7.53 動作環境を設定する」（291 ページ）を参照してください。



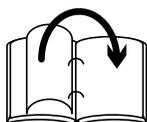
7.5 連続して自動でページをめくる

見開きモードでの操作

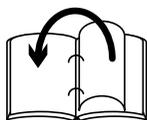
操作



1. 左のページを連続してめくる場合、 をクリックします。
または、ページ上でマウスを右クリックし、[表示] - [連続めくり] - [前ページへ] を選択します。



- 右のページを連続してめくる場合、 をクリックします。
または、ページ上でマウスを右クリックし、[表示] - [連続めくり] - [次ページへ] を選択します。



ヒント



- ・ 連続めくりを停止する場合、 をクリックするか、またはページ上でクリックします。
- ・ 末尾のページまでめくり終わると、再度、先頭からページめくりが開始されます。
- ・ ページをめくる速さや間隔を設定できます。詳細は、「7.53 動作環境を設定する」(291 ページ) を参照してください。

7.6 ページを上下反転する

見開きモードでの操作

ページを上下反転します。

操作



1. ページ上でマウスを右クリックし、[ページ編集] – [上下反転] を選択します。



ヒント

上下反転した場合、 上書き保存 をクリックして変更を保存するか、ビューア画面を終了するときに変更を保存すると、次回以降、上下反転された状態でページが表示されます。

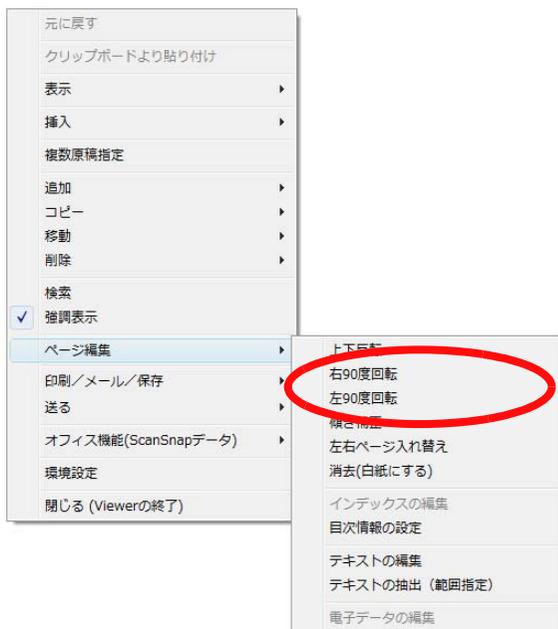
7.7 ページを90度回転する

見開きモードでの操作

ページを右または左に90度回転します。



1. ページ上でマウスを右クリックし、[ページ編集]—[右90度回転]または[左90度回転]を選択します。



ヒント

90度回転した場合、 **上書き保存** をクリックして変更を保存するか、ビューア画面を終了するときに変更を保存すると、次回以降、90度回転された状態でページが表示されます。

7.8 ページを左右入れ替える

見開きモードでの操作

左右のページを入れ替えます。



1. ページ上でマウスを右クリックし、[ページ編集] - [左右ページ入れ替え] を選択します。



左右のページを入れ替えた場合、 上書き保存 をクリックして変更を保存するか、ビューア画面を終了するときに変更を保存すると、次回以降、左右入れ替えた状態でページが表示されます。



7.9 ページの傾き補正をする

見開きモードでの操作

選択ページのデータ内容の傾きを判定して補正します。
選択ページが画像データの場合だけ有効です。



何度も繰り返して傾きを補正すると、画像のサイズや色が変
わる場合があります。



操作



1. ページ上でマウスを右クリックし、[ページ編集] - [傾き補正] を選択します。

7.10 ページの表示方法を変更する

ページの表示方法を変更したり、ページを回転させて表示したりできます。

■ ページの表示方法を変更する

ページの表示方法には、「見開きモード」と「1 ページモード」があります。

- ・ 見開きモード
見開きの状態で、ページが表示されます。



・ 1 ページモード

1 ページ単位で、ページが表示されます。





1.1 ページモードにする場合、 をクリック

します。または、マウスポインタが  になったときにページをダブルクリックします。

ページ上でマウスを右クリックし、[表示] - [1 ページ表示] を選択することによっても 1 ページモードにできます。

見開きモードにする場合、 をクリックします。

または、マウスポインタが  になったときにページをダブルクリックします。

ページ上でマウスを右クリックし、[見開き表示] を選択することによっても見開きモードにできます。



ヒント

1 ページモードの場合、ビューア画面には、ページの上部または下部だけが表示されます。

ビューア画面に表示されていない部分を表示させる方法は「7.11 ページの表示範囲を変更する」(184 ページ) を参照してください。





- ・ 1 ページモードの場合、目次は表示されません。
- ・ 1 ページモードの場合、以下の機能のみ使用できます。
 - － 右 90 度 / 左 90 度回転して表示
 - － ページ上部 / ページ下部の表示
 - － 前ページ / 次ページの表示
 - － テキストの編集 / テキストの抽出（範囲指定） / テキストの削除
 - － 上書き保存

■ ページを回転して表示する

見開きモードでの操作

1 ページモードでの操作

ページを回転して表示します。

内容が横向きの場合に、ページを回転させて表示すると見やすくなります。



1. 右に 90 度回転させて表示する場合、 をクリックします。
または、ページ上でマウスを右クリックし、[表示] - [右 90 度回転] を選択します。
- 左に 90 度回転させて表示する場合、 をクリックします。
または、ページ上でマウスを右クリックし、[表示] - [左 90 度回転] を選択します。



- ・ ページを回転して表示すると、が表示されます。

このボタンをクリックするか、またはページ上でマウスを右クリックし[戻る]を選択すると、元の表示に戻ります。

- ・ ページをめくる場合、マウスホイールを（前のページを表示する場合は上へ、次のページを表示する場合は下へ）動かします。



- ・ ページを回転して表示すると目次は表示されません。
- ・ ページを回転して表示した状態で、ページやインデックスを指定してめくることはできません。
- ・ ページを回転して表示した場合、以下の機能のみ使用できません。
 - 前ページ／次ページの表示
 - 上書き保存
 - 指定した範囲を拡大して表示

7.11 ページの表示範囲を変更する

1ページモードでの操作

ページの表示範囲を変更します。

操作



1. 次のように操作します。

- ・ ページの上部を表示する場合、 をクリックします。または、キーボードの↑キーを押します。
- ・ ページの下部を表示する場合、 をクリックします。または、キーボードの↓キーを押します。
- ・ 左側のページを表示する場合、 をクリックします。または、キーボードの←キーを押します。
- ・ 右側のページを表示する場合、 をクリックします。または、キーボードの→キーを押します。

ヒント



表示範囲の上下方向への変更は、ページ上で、マウスをドラッグしても行えます。

7.12 指定した範囲を拡大して表示する

見開きモードでの操作

ページ上で指定した範囲を、拡大して表示します。



画素数が小さいデータは拡大されない場合があります。

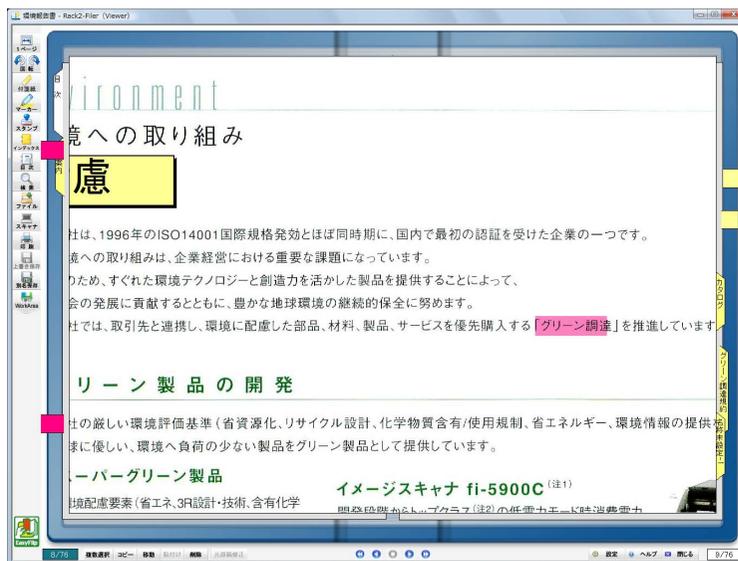


1. ページ上でマウスをドラッグし、拡大表示する範囲を決めます。



2. 拡大表示する範囲が決まったら、マウスの左ボタンを離します。

⇒ マウスでドラッグした範囲が、拡大表示されます。



- ・ 拡大表示をやめるときは、次の操作をします。
 - － ページ上でマウスを右クリックまたはダブルクリックする
 - － 他のページをめくる
- ・ 拡大表示しているときにページ上でドラッグして、ページの表示範囲を変更できます。

7.13 未読文書を表示する

見開きモードでの操作

バインダに新しく取り込まれたファイル（未読文書）は、表示するまで「未読一覧ページ」に掲載されます。

未読一覧ページは、目次ページの次のページに表示され、追加されたすべてのファイルをチェックできます。



- ・ 未読一覧ページを表示するには、バインダ管理画面の[バインダの編集]ダイアログボックスの[属性]タブの「未読一覧」で「あり」を選択する必要があります。
- ・ 未読一覧ページの状態は、バインダの変更を保存するかどうかにかかわらず、バインダを閉じたときに更新されます。
- ・ バインダをネットワーク共有して複数のユーザーで同一バインダを閲覧している場合、未読一覧の状態は最後にバインダを閉じたユーザーの操作によって変更されます（閲覧モードでバインダを開いていても未読一覧の状態は変更されます）。



1. 未読一覧ページを表示します。

2. 表示する文書をクリックします。

指定された文書に直接ジャンプします。

この時点で未読ではなくなり、未読一覧ページから消去されます。

7.14 ページに付箋紙を付ける

見開きモードでの操作

重要なページや何度も参照するページに、付箋紙を付けることができます。



画素数の小さいデータの場合、編集情報の位置がずれることがあります。



1.付箋紙を追加するページを表示します。

2.  をクリックします。

または、ページ上でマウスを右クリックし、[追加] - [付箋紙] を選択します。

⇒ 付箋紙の作成状態になり、マウスポインタの形が  になります。

3.付箋紙を付けたい位置でクリックします。

⇒ 付箋紙が付けられ、文字の入力状態になります。



4. 付箋紙に文字を入力します。



5. ページ上でクリックします。

⇒ 付箋紙の文字が確定します。



- ・ 付箋紙の文字は、全角 50 文字（半角 100 文字）以内で指定できます。
- ・ 付箋紙に入力した文字列は、バイнда検索時に、検索条件として指定することができます。
- ・ 編集情報は、1 ページあたり合わせて最大 10 個まで付けることができます。
- ・ 付箋紙の一部をページからはみ出して付けた場合、他のページを表示しているときに、付箋紙のはみ出た部分をクリックすると、そのページに移動できます。
- ・ バインダ編集時に、バイндаの「開き方向」を逆の方向に変更した場合、ページからはみ出して付けた付箋紙がバイндаの中央に表示されます。この場合、付箋紙の位置を移動してください。
- ・ 付箋紙をドラッグすると、付箋紙の位置を移動できます。
- ・ 付箋紙の四隅 (■) をドラッグすると、付箋紙のサイズを変更できます。
- ・ 付箋紙を編集または削除できます。詳細は、ヘルプ をクリックして『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。

7.15 ページにマーカーを引く

見開きモードでの操作

ページ内の重要な箇所にマーカーを引くことができます。



- ・ ページをまたがってマーカーを引くことはできません。
- ・ ページをはみ出してマーカーを引くことはできません。
- ・ 画素数の小さいデータの場合、編集情報の位置がずれることがあります。



操作



1. マーカーを引くページを表示します。

2.  マーカー をクリックします。

または、ページ上でマウスを右クリックし、[追加] - [マーカー] を選択します。

⇒ マーカーの作成状態になり、マウスポインタの形が  になります。

3. ページ上でドラッグして、マーカーの範囲を決めます。



4. マーカーの範囲が決まったら、マウスの左ボタンを離します。

⇒ マーカーが引かれます。





- ・ 編集情報は、1 ページあたり合わせて最大 10 個まで付けることができます。
- ・ マーカーをドラッグすると、マーカーの位置を移動できます。
- ・ マーカーの四隅（罫）をドラッグすると、マーカーのサイズを変更できます。
- ・ マーカーを編集または削除できます。詳細は、[ヘルプ](#) をクリックして『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。

7.16 ページにハイパーリンクを設定する

見開きモードでの操作

ページ上で選択した箇所に、Web ページやファイルへのハイパーリンクを設定することができます。



- ・ ページをまたがってハイパーリンクを設定することはできません。
- ・ ページをはみ出してハイパーリンクを設定することはできません。
- ・ ハイパーリンクの「表示文字列」のフォントサイズを大きくした場合、設定した枠のサイズによっては文字が表示されなくなることがあります。
- ・ 画素数の小さいデータの場合、編集情報の位置がずれることがあります。



操作



1.ハイパーリンクを設定するページを表示します。

2.ページ上でマウスを右クリックし、[追加] - [ハイパーリンク] を選択します。

⇒ ハイパーリンクの作成状態になり、マウスポインタの形が⁺になります。

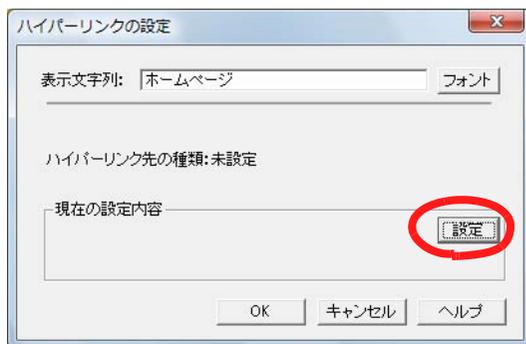
- 3.** ページ上でドラッグして、ハイパーリンクを設定する範囲を決めます。



- 4.** ハイパーリンクを設定する範囲が決まったら、マウスの左ボタンを離します。

⇒ [ハイパーリンクの設定] ダイアログボックスが表示されます。

- 5.** リンク範囲に表示する文字列を入力し、[設定] ボタンをクリックします。





- ・ 各項目の詳細は、[ハイパーリンクの設定] ダイアログボックスの[ヘルプ] ボタンをクリックして『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。
- ・ [ハイパーリンクの設定] ダイアログボックスで[フォント] ボタンをクリックすると、ハイパーリンクの文字列のフォントを設定できます。

⇒ [リンクの設定] ダイアログボックスが表示されます。

6. ハイパーリンク先として設定する URL、またはファイルのリンク先を入力します。



7. [OK] ボタンをクリックします。

⇒ [ハイパーリンクの設定] ダイアログボックスが表示されます。

8. [OK] ボタンをクリックします。

⇒ ハイパーリンクが設定されます。



- ・ ハイパーリンクの「表示文字列」に入力した文字列は、バインダ検索時に、検索条件として指定することができます。
- ・ 編集情報は、1 ページあたり合わせて最大 10 個まで付けることができます。
- ・ ハイパーリンクを右クリックすると表示される枠の四隅 (■) をドラッグすると、ハイパーリンクの設定範囲を変更できます。
- ・ ハイパーリンクの設定を編集または削除できます。詳細は、[ヘルプ](#) をクリックして『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。

7.17 ページにスタンプを押す

見開きモードでの操作

ページ上にスタンプを押すことができます。



- ・ ページをまたがってスタンプを押すことはできません。
- ・ ページをはみ出してスタンプを押すことはできません。
- ・ 本機能は閲覧モードでは使用できません。
- ・ 画素数の小さいデータの場合、編集情報の位置がずれることがあります。



1. スタンプを押すページを表示します。

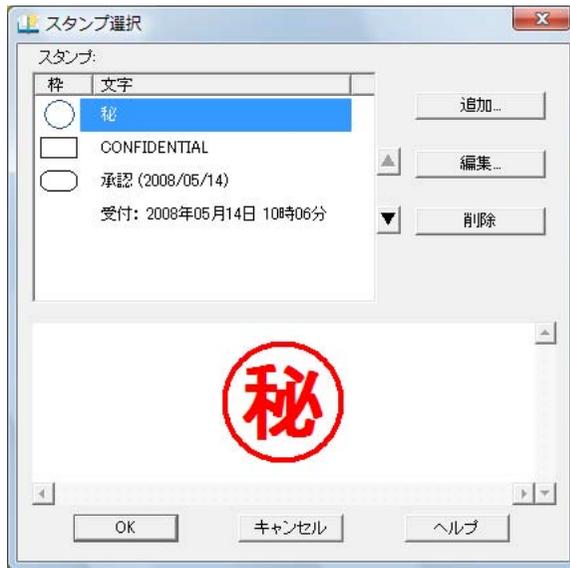
2.  をクリックします。

または、ページ上でマウスを右クリックし、[追加] - [スタンプ] を選択します。

⇒ スタンプ押下待ち状態になり、マウスポインタの形が  になります。

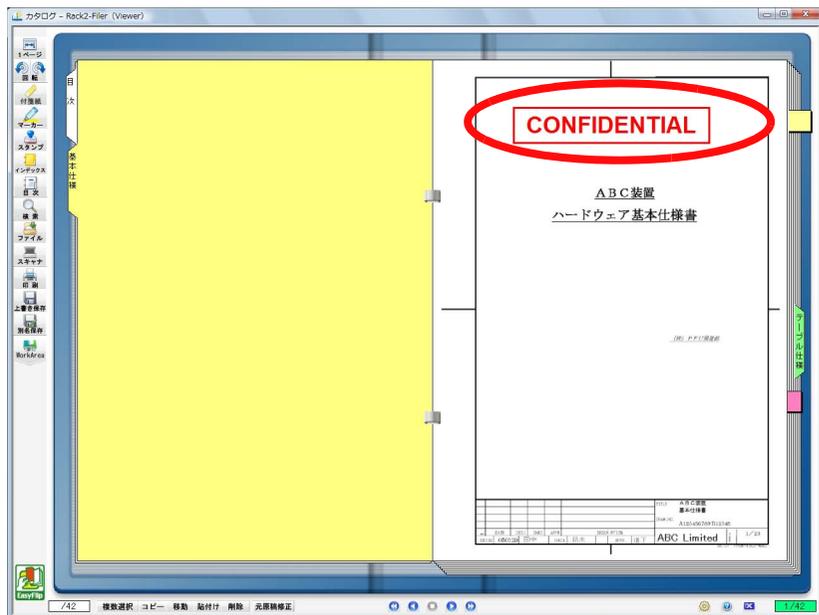
3. スタンプを押したい位置でクリックします。

⇒ [スタンプ選択] ダイアログボックスが表示されます。



4. [スタンプ選択] ダイアログボックスからスタンプを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

⇒ 手順3 でクリックした位置にスタンプが押されます。





- ・ 編集情報は、1 ページあたり合わせて最大 10 個まで付けることができます。
- ・ スタンプをドラッグすると、スタンプの位置を移動できます。
- ・ スタンプの四隅 (■) をドラッグすると、スタンプのサイズを変更できます。このとき、文字の拡大縮小は行われず、枠のみがサイズ変更します。また、枠は文字より小さくすることはできません。
- ・ スタンプを編集または削除できます。詳細は、 ヘルプ をクリックして『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。

7.18 目次情報を設定する

見開きモードでの操作

バインダ内の先頭に目次ページが作成されている場合、目次情報を設定できます。目次ページは、バインダの編集時に作成できます。バインダの編集方法は、「6.15 バインダを編集する」(112 ページ)を参照してください。



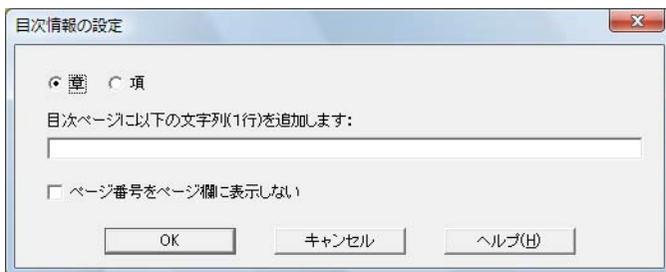
1. 目次情報を設定するページを表示します。

2.  をクリックします。

または、ページ上でマウスを右クリックし、[ページ編集] - [目次情報の設定] を選択します。

⇒ [目次情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。

3. 各項目を指定します。



- ・すでにページに目次情報が設定されている場合、設定されている内容が [目次情報の設定] ダイアログボックスに表示されます。
- ・目次ページの「テーマ」にする文字列は、全角 25 文字（半角 50 文字）以内で指定できます。



ヒント

- ・ 目次ページの「テーマ」にした文字列は、バインダ検索時に、検索条件として指定することができます。
- ・ 各項目の詳細は、[目次情報の設定]ダイアログボックスの[ヘルプ]ボタンをクリックして『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。

4.[OK] ボタンをクリックします。

⇒ 目次ページに、目次情報が設定されます。

章	項	テーマ	ページ
1		ミーティング資料	1
2		最後のページへ	



ヒント

- ・ 目次ページの「章」または「項」の番号は、自動で付加されます。
- ・ 目次ページの「テーマ」の文字列をクリックすると、該当するページに移動できます。

章	項	テーマ	ページ
1		ミーティング資料	1
2		最後のページへ	

- ・ 目次単位で、原稿の並び順を変更することができます。詳細は、「7.28 目次単位で原稿の並び順を変更する」(236 ページ)を参照してください。
- ・ 目次情報を編集または削除できます。詳細は、ヘルプ をクリックして『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。

7.19 テキストを抽出する

テキストの抽出方法は以下の5通りあります。

- ・ ページ内で範囲を選択して抽出する
- ・ 原稿を指定して抽出する
- ・ 取り込み時に自動的に抽出する
- ・ ScanSnap S1100 / S1300 / S1500 のマーカーキーワード機能で自動抽出する
- ・ バインダ内の全ページを抽出する

テキストを抽出すると、検索文字列が含まれるページを検索できるようになります。



- ・ 以下の条件に該当する活字が、抽出の対象になります。
 - フォント：明朝、ゴシック、楷書体
 - サイズ：8～24ポイント
 - 文字種：JIS第一水準漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号（一部）
- ・ お使いのコンピュータの環境によっては、処理に時間がかかる場合があります。
- ・ 以下のような原稿（文字）は、正しくテキスト認識できない場合があります。また、色数をカラーに変更したり、解像度を上げたりして取り込むことで、正しくテキスト認識できる場合があります。
 - － 手書き文字の原稿
 - － 低解像度で読み取った小さな文字
 - － 傾いた原稿
 - － イタリック文字で書かれた原稿
 - － 上下添え字、複雑な数式
 - － 文字の背景が不均一色の原稿
例) 網掛けされている文字
 - － 装飾文字が多い原稿
例) 影、白抜きなど装飾がされている文字
 - － 文字の背景に模様がある原稿
例) 絵や図と重なっている文字
 - － 下線や罫線に接触している文字が多い原稿
 - － 斜めに書かれた文字
- ・ 複雑なレイアウトの原稿、およびよごれや擦れの多い原稿では認識時間が非常にかかる場合があります。



- ・ ScanSnap で読み取る紙原稿や、電子データからテキストを抽出する場合、取り込み時にテキスト抽出するとき(*1)と、取り込み後にテキスト抽出するときでは、テキスト抽出の速度や認識率が異なります。

*1 : [動作環境の設定] ダイアログボックスの [入力設定] タブの、「取り込み (スキャナ、ファイル) 時に、自動的にテキスト抽出する」にチェックが付いているとき

[ScanSnap からデータを読み取る場合]

- ScanSnap Manager の設定画面で、[ファイル形式] タブの「検索可能な PDF にします」(または「テキスト認識して検索可能な PDF にします」) にチェックが付いている場合、取り込み時にテキスト抽出すると、Rack2-Filer に取り込んだデータを別名保存やメール添付するときに作成される PDF ファイルでテキスト選択/検索ができます。
- ScanSnap Manager の設定画面で、[ファイル形式] タブの「検索可能な PDF にします」(または「テキスト認識して検索可能な PDF にします」) にチェックが付いていない場合、取り込み時にテキスト抽出すると、Rack2-Filer でテキスト抽出するため、ScanSnap の設定をする必要がなく、Rack2-Filer に取り込み時のみテキスト抽出することができます。
- 取り込み後にテキスト抽出する場合、必要な範囲のみ指定してテキスト抽出できるため、不要な情報が入らず、範囲が狭まるため認識率が高くなります。

[電子データを取り込む場合]

- Microsoft Word、Microsoft Excel などテキスト情報を持つ電子データの場合、取り込み時にテキスト抽出すると、認識速度が速く認識率も高くなります。
- 取り込み後にテキスト抽出する場合、必要な範囲のみ指定してテキスト抽出できるため、不要な情報が入りません。



- ・ 抽出した文字列を編集または削除できます。
文字列の編集は、[テキスト編集]ダイアログボックスで行います。[テキスト編集]ダイアログボックスの表示方法は、「■検索対象となる文字列を設定する」(212 ページ)を参照してください。
- ・ テキスト抽出した文字列の並び順は、ページの見た目の並び順と異なる場合があります。ページの見た目の並び順と合わせたい場合は、抽出された文字列を編集してください。

■ ページ内で範囲を選択して抽出する

見開きモードでの操作

1 ページモードでの操作

操作



ページ内の範囲を指定してテキストを抽出します。

1. 文字列を抽出するページを表示します。
2. ページ上でマウスを右クリックし、[ページ編集] - [テキストの抽出 (範囲指定)] を選択します。
⇒ マウスポインタの形が⁺  になります。
3. ページ内で、文字列を抽出したい部分をマウスで範囲指定します。
⇒ 指定した範囲の文字列が抽出されます。



文字列の抽出範囲をマウスで範囲指定するとき、開始位置とマーカーが重ならないようにしてください。



■ 原稿を指定して抽出する

見開きモードでの操作

原稿を複数選択してテキストを抽出します。



すでにテキスト抽出済みのページについては、テキスト情報が更新（上書き）されます。



1. テキストを抽出する原稿を、複数原稿の指定手順で選択します。



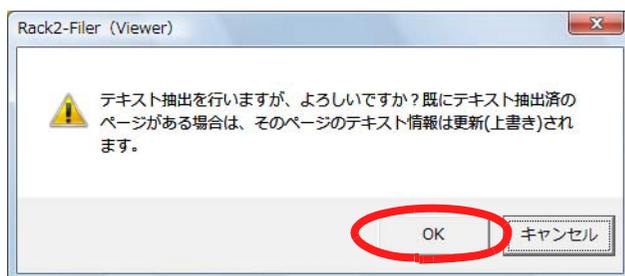
- ・ 1枚の場合も、複数原稿の指定手順で選択してください。
- ・ 複数原稿の指定については、「7.33 複数の原稿を指定する」(253 ページ) を参照してください。



2. ページ上でマウスを右クリックし、[ページ編集] - [テキスト抽出 (X ~ XX ページの原稿)] を選択します。

⇒ メッセージが表示されます。

3. [OK] ボタンをクリックします。



⇒ 選択した原稿の文字列が抽出されます。

■ 取り込み時に自動的に抽出する

見開きモードでの操作

スキャナ読み取り時およびファイルの取り込み時に、自動的にテキストを抽出します。

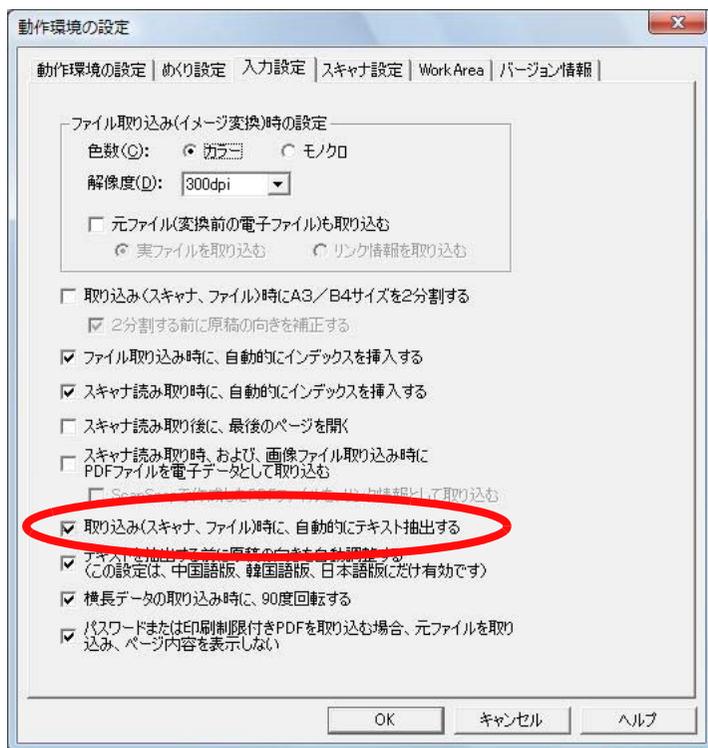


1. **設定** をクリックします。

または、マウスを右クリックし、[環境設定] を選択します。

⇒ [動作環境の設定] ダイアログボックスが表示されます。

2. [入力設定] タブの、「取り込み (スキャナ、ファイル) 時に、自動的にテキスト抽出する」をチェックします。



3. [OK] ボタンをクリックします。

⇒ 設定後、以下の操作を行うと自動的にテキストを抽出します。

- スキャナ読み取り
- ファイル取り込み
- WorkArea へのスキャナ読み取り
- WorkArea へのファイル取り込み
- Rack2 Folder Monitor Software からのファイル自動取り込み
- 他のアプリケーションからのデータ取り込み



電子データ取り込み時のテキスト抽出と、データの取り込み後とでは、文字認識精度が異なります。

■ ScanSnap S1100 / S1300 / S1500 のマーカーキーワード機能で自動抽出する

ScanSnap S1100 / S1300 / S1500 のマーカー部分の文字列をキーワードに設定する機能（マーカーキーワード機能）を使って、Rack2-Filer では取り込んだデータから自動的にテキストを抽出します。



- ・ ScanSnap S1100 / S1300 / S1500 のマーカーキーワード機能を使用するには、マーカーキーワード機能に対応している ScanSnap のソフトウェア（ScanSnap Manager）が必要です。
- ・ ScanSnap で読み取った PDF ファイルにパスワードを付けていると、キーワード情報が保存されない場合があります。キーワード情報を保存するには、[動作環境の設定] ダイアログボックスの [入力設定] タブで、「パスワードまたは印刷制限付き PDF を取り込む場合、元ファイルを取り込み、ページ内容を表示しない」のチェックをはずして取り込んでください。



- ・ マーカーキーワード機能については、ScanSnap S1100 / S1300 / S1500 に添付されている ScanSnap オペレーターガイドを参照してください。
- ・ マーカーキーワード機能を使用すると、[動作環境の設定] ダイアログボックスの [入力設定] タブで、「取り込み（スキャナ、ファイル）時に、自動的にテキスト抽出する」のチェックの有無にかかわらず、マーカーペンで印をつけた箇所のキーワードが抽出されます。



操作



1. マーカーペンで抽出するキーワードに印をつけて、スキャナで読み取ります。

⇒ マーカーペンで印をつけられた箇所が、検索時のキーワードとして自動で抽出されます。



ScanSnap から取り込むと同時に、マーカーキーワード機能でキーワードが抽出されます。

ScanSnap からデータを取り込んだあとで、ページで範囲を選択してテキストを抽出した場合、マーカーキーワード機能で抽出したキーワードの後ろにテキスト抽出結果が表示されます。

原稿を指定したり、バインダ内の全ページのテキストを抽出した場合は、マーカーキーワード機能で抽出されたキーワード情報はクリアされ、テキスト抽出結果が表示されません。



■ バインダ内の全ページのテキストを抽出する

選択したバインダ内の全ページを対象にテキストを抽出します。

「6.22 バインダ内の全ページのテキストを抽出する」（131 ページ）を参照してください。

7.20 ページを検索する

ページ内の文字列を指定して、目的のページを検索できます。

検索対象となる文字列は以下のとおりです。

- ・ 目次情報
- ・ インデックス
- ・ 付箋紙
- ・ スタンプ
- ・ ハイパーリンクの表示文字列
- ・ バインダ内で抽出および入力されたテキスト情報
- ・ 写真／文書に設定したコメントの文字列

ページを検索するには、まず、ページごとに、上記の検索対象となる文字列を設定しておく必要があります。文字列の設定を行ったページだけが検索の対象になります。

テキスト情報は、文字列を抽出するか、テキスト編集画面で文字列を入力して設定します。

検索条件（文字列）を指定して検索すると、その文字列が含まれるページが検索されます。

また、検索されたページを表示したときに、検索した文字列の該当箇所を色付きで表示することができます（強調表示）。検索文字列を強調表示すると、ビューア画面上で該当箇所が探しやすくなります。強調表示については、「**■**検索結果を強調表示する」（216 ページ）を参照してください。

■ 検索対象となる文字列を設定する

見開きモードでの操作

1ページモードでの操作

検索する文字列の設定方法は2通りあります。

- ・ テキストを抽出する
- ・ テキスト編集画面で文字列を入力する

テキストを抽出する方法については、「7.19 テキストを抽出する」(202 ページ)と「6.22 バインダ内の全ページのテキストを抽出する」(131 ページ)を参照してください。

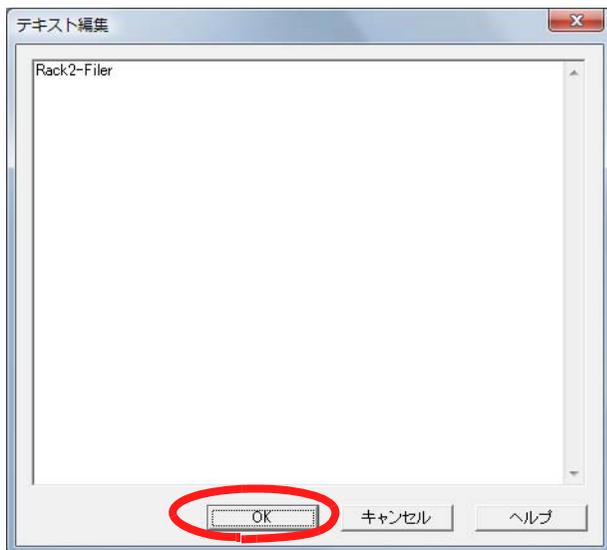
テキスト編集画面で文字列を入力する方法を説明します。

操作



1. 文字列を入力するページを表示します。
2. ページ上でマウスを右クリックし、[ページ編集] - [テキストの編集] を選択します。
⇒ [テキスト編集] ダイアログボックスが表示されます。

3. 文字列を入力して [OK] ボタンをクリックします。



⇒ 検索する文字列が設定されます。

4. 必要に応じて、他のページ上で手順「1.」～手順「3.」を行います。

■ 目的のページを検索する

見開きモードでの操作

操作



1. をクリックします。

または、ページ上でマウスを右クリックし、[検索]を選択します。

⇒ [検索] ダイアログボックスが表示されます。

2. 検索条件にする文字列を入力します。



検索した文字列の該当箇所を強調表示する場合は、「強調表示を有効にする」にチェックを付けます。

ヒント



- ・ 複数のキーワードを指定し、ページを検索することもできます。キーワードを半角空白で区切って指定してください。
- ・ 複数のキーワードを指定する場合、入力したキーワードがすべて含まれているページが検索されます。
- ・ キーワードに半角空白が含まれている場合、キーワードをダブルクォーテーション (") で囲んでください。
- ・ キーワードに半角ダブルクォーテーション (") が含まれている場合、キーワードを半角ダブルクォーテーション (") で囲み、文字列となる半角ダブルクォーテーション (") の前に円マーク (¥) を入力してください。
例) キーワードが「AAA」と「BBB」の場合
" ¥ "AAA ¥ "" BBB

3. [次を検索] ボタンをクリックします。

⇒ 検索条件として指定した文字列が含まれるページが表示されます。

「強調表示を有効にする」にチェックを付けた場合は、該当箇所が色付きで表示されます。

再度、[次を検索] ボタンをクリックすると、表示ページより後方にある該当ページが表示されます。

[前を検索] ボタンをクリックすると、表示ページより前方にある該当ページが表示されます。



- ・ バインダ管理画面からもページを検索することができます。詳細は、「6.28 ページを検索する」(148 ページ) を参照してください。
- ・ 「強調表示を有効にする」にチェックを付けた場合で、検索結果の該当箇所が強調表示されないときは、原稿を指定してテキスト抽出してください。テキスト抽出については、「7.19 テキストを抽出する」(202 ページ) を参照してください。

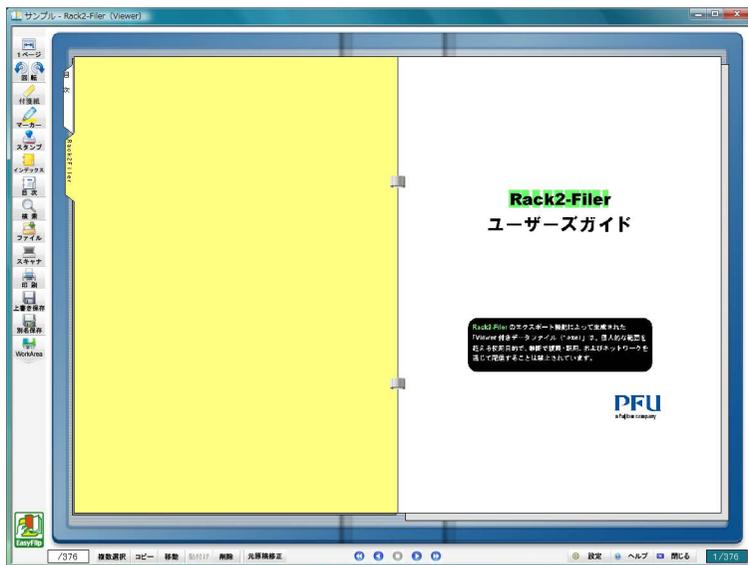


■ 検索結果を強調表示する

見開きモードでの操作

検索した文字列の該当箇所（文字列）を強調して表示することができます（強調表示）。強調表示すると、該当文字列に色がついて表示されるので、該当箇所がビューア画面上で簡単に見つけられます。

なお、名刺バイндаの場合、検索結果は強調表示されません。



複数の検索文字列を指定した場合は、色分けされて表示されます。

検索結果を強調表示する場合、以下の2つの準備が必要です。

① テキストを抽出する

検索結果を強調表示する場合は、以下のいずれかの方法でテキストを抽出する必要があります。

- ・ 原稿を指定して抽出する
- ・ 取り込み時に自動的に抽出する
- ・ バインダ内の全ページのテキストを抽出する



ヒント

本製品より前のバージョン／レベルで取り込んだ原稿は、強調表示されない場合があります。強調表示したい場合は、テキスト抽出しなおしてください。

テキスト抽出については、「7.19 テキストを抽出する」（202 ページ）および「6.22 バインダ内の全ページのテキストを抽出する」（131 ページ）を参照してください。

②強調表示をする／しないを設定する

[検索] ダイアログボックスの「強調表示を有効にする」をチェックすると、検索結果が強調表示されます。チェックをはずすと強調表示されなくなります。



また、ページ上でマウスを右クリックし、[強調表示] にチェックを付ける／はずすによって設定することもできます。



まって!

- ・ 通常バインダ以外は、強調表示されません。
- ・ テキスト抽出後、テキスト編集画面で検索文字列を追加／編集した場合、その文字列は強調表示されません。
- ・ 以下の方法でテキスト抽出した文字列は、強調表示されません。
 - － ページ内で範囲を選択して抽出する
 - － ScanSnap S1100 / S1300 / S1500 のマーカーキーワード機能で自動抽出する
- ・ 編集情報（付箋紙、スタンプ、ハイパーリンク）の文字列は、強調表示されません。

7.21 ページを印刷する

見開きモードでの操作

ページ（ページ、目次ページ）を印刷します。



以下の情報は、印刷できません。

- ・ インデックスシート
- ・ 未読一覧ページ
- ・ パスワード／印刷制限付きのページ
- ・ 検索文字列の強調表示



■ ページを印刷する



1.  **印刷** をクリックします。
または、ページ上でマウスを右クリックし、[印刷／メール／保存]－[印刷]を選択します。
⇒ [印刷] ダイアログボックスが表示されます。
2. 使用するプリンタや印刷範囲を指定して、[OK] ボタンをクリックします。



- ・ 編集情報（ハイパーリンクは表示文字列を設定してある場合）を印刷する場合、[印刷]ダイアログボックスの[オプション]ボタンをクリックし、[印刷オプション設定]ダイアログボックスの「編集情報（付箋紙、マーカー、スタンプ等）を含める」をチェックしてください。
このとき、ページの四辺の端の方にある編集情報（ページからはみ出させてある付箋紙など）は、印刷したときに文字が切れたり印刷されなかったりすることがありますのでご注意ください。編集情報を含めて印刷する場合、[印刷オプション設定]ダイアログボックスの「プリンタ装置の印刷可能領域に合わせる」をチェックすることをお勧めします。
- ・ 印刷する用紙に収まるように、ページを縮小して印刷する場合、[印刷]ダイアログボックスの[オプション]ボタンをクリックし、[印刷オプション設定]ダイアログボックスの「プリンタ装置の印刷可能領域に合わせる」をチェックしてください。
- ・ 元用の紙サイズで印刷する場合、[印刷]ダイアログボックスの[オプション]ボタンをクリックし、[印刷オプション設定]ダイアログボックスの「プリンタ装置の印刷可能領域に合わせる」のチェックをはずしてください。
- ・ 白紙ページを印刷しない場合、[印刷]ダイアログボックスの[オプション]ボタンをクリックし、[印刷オプション設定]ダイアログボックスの「白紙ページを印刷しない」をチェックしてください。ただし、白紙ページをスキャナで読み込んだページなど、Rack2-Filer で判断できない白紙ページについては、印刷される場合があります。
- ・ 印刷するページの画像解像度によっては、ビューア画面で表示されているサイズと異なって印刷される場合があります。
- ・ バインダのページを印刷する場合、指定したページにパスワード付きの PDF ファイル、または印刷制限付きの PDF ファイルを取り込んだページが含まれていたときには、それらのページを除いて印刷されます。電子データとして取り込まれている PDF ファイルも印刷されません。

■ 見開き印刷をする

見開き印刷では、現在開かれている見開き（左右）ページが結合して印刷されます。



以下の場合、見開き印刷を行うことはできません。

- ・ 目次ページの場合
- ・ 左右ページの原稿サイズが異なる場合



- 1.印刷したい見開きページを表示しておいてから、ページ上でマウスを右クリックし、[印刷／メール／保存]－[見開き印刷]を選択します。

⇒ [印刷] ダイアログボックスが表示されます。

- 2.使用するプリンタを指定して、[OK] ボタンをクリックします。

■ 目次ページを印刷する

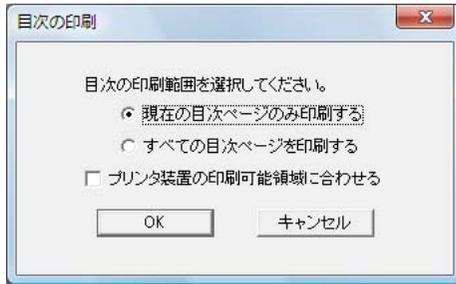
目次ページを印刷します。



- 1.目次ページ上でマウスを右クリックし、[目次ページ印刷]を選択します。

⇒ [目次の印刷] ダイアログボックスが表示されます。

2.印刷範囲を選択して、[OK] ボタンをクリックします。



⇒ [印刷] ダイアログボックスが表示されます。

3.使用するプリンタを指定して、[OK] ボタンをクリックします。

7.22 バインダを上書き保存する

見開きモードでの操作

1ページモードでの操作

バインダの変更を上書き保存します。

操作



1.  をクリックします。または、ページ上でマウスを右クリックし、[印刷/メール/保存] - [上書き保存 (バインダ全体)] を選択します。

⇒ バインダの変更が上書き保存されます。

7.23 バインダ内のすべてのページを別名保存する

見開きモードでの操作

バインダ内のすべてのページを別名保存します。

別名保存したファイルは、Adobe Acrobat、Adobe Reader、またはビューア画面で表示できます。



バインダのデータがインデックスシートだけの場合、別名保存できません。



- ・ 別名保存したデータを再び取り込んでバインダ形式にし、Rack2-Filerで管理することができます。詳細は、「6.25 バインダを取り込む（インポート）」（136ページ）を参照してください。
- ・ ビューア画面上で名刺バインダのすべてのページを「データファイル (*.pdf+*.ini)」形式で別名保存すると、通常バインダとして保存されます。名刺バインダとしてインポートする場合は、「Rack2 バインダ (*.rk2)」形式を選択して別名保存してください。「Rack2 バインダ (*.rk2)」形式で別名保存した名刺バインダは、名刺バインダとしてインポートできません。



操作



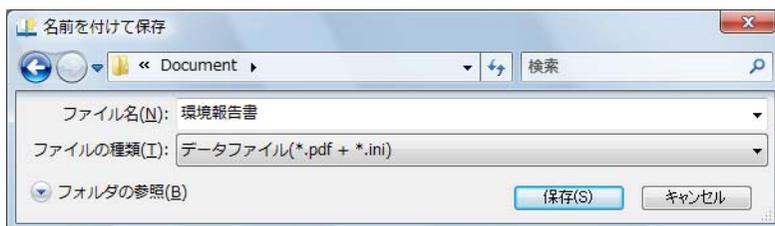
1.  をクリックします。

別名保存

または、ページ上でマウスを右クリックし、[印刷／メール／保存]－[名前を付けて保存（バインダ全体）]を選択します。

⇒ [名前を付けて保存]ダイアログボックスが表示されます。

2. 保存する場所やファイル名を指定して、[保存]ボタンをクリックします。





- ・ 選択したファイルの種類によって、別名保存されたファイルの表示方法が異なります。
 - － データファイル (*.pdf+*.ini) 形式
Adobe Acrobat または Adobe Reader で表示できます。
 - － Rack2 バインダ (*.rk2) 形式
ビューア画面で表示できます。
- ・ 「ファイルの種類」に「データファイル (*.pdf+*.ini)」形式を選択した場合、以下の情報も保存されます。
 - － 目次ページ
 - － インデックスシート
 - － 編集情報
 - － テキスト情報
 - － 未読一覧ページ

上記の情報は、Adobe Acrobat および Adobe Reader では表示できません。[動作環境の設定] ダイアログボックスの [動作環境の設定] タブで「ビューア画面（本製品）の起動」を選択して、ビューア画面と PDF ファイルを関連付けすると表示できます。ビューア画面と PDF ファイルを関連付けると、PDF ファイルをダブルクリックするだけで、閲覧用のビューア画面が起動されるようになります。関連付けの詳細は、「7.53 動作環境を設定する」（291 ページ）または

 **ヘルプ** をクリックして『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。

7.24 原稿を選択して別名保存する

見開きモードでの操作

選択した原稿を別名保存します。

別名保存したファイルは、Adobe Acrobat、Adobe Reader、またはビューア画面で表示できます。



- ・ 別名保存したデータを再び取り込んでバインダ形式にし、Rack2-Filer で管理することができます。詳細は、「6.25 バインダを取り込む（インポート）」（136 ページ）を参照してください。
- ・ ビューア画面上で名刺バインダの原稿を「データファイル (*.pdf+*.ini)」形式で別名保存すると、通常バインダとして保存されます。名刺バインダとしてインポートする場合は、「Rack2 バインダ (*.rk2)」形式を選択して別名保存してください。「Rack2 バインダ (*.rk2)」形式で別名保存した名刺バインダは、名刺バインダとしてインポートできます。



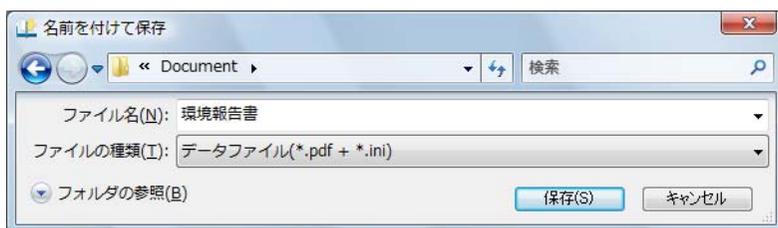
■ 1 枚の原稿を選択して別名保存する



1. 別名保存する原稿を選択します。
2. ページ上でマウスを右クリックし、[印刷/メール/保存] - [名前を付けて保存 (原稿)] を選択します。

⇒ [名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

3. 保存する場所やファイル名を指定して、[保存] ボタンをクリックします。



- ・ 選択したファイルの種類によって、別名保存されたファイルの表示方法が異なります。

- データファイル (*.pdf+*.ini) 形式

Adobe Acrobat または Adobe Reader で表示できます。

- Rack2 バインダ (*.rk2) 形式

閲覧用のビューア画面で表示できます。

- ・ 「ファイルの種類」に「データファイル (*.pdf+*.ini)」形式を選択した場合、以下の情報も保存されます。

- 目次ページ

- インデックスシート

- 編集情報

- テキスト情報

- 未読一覧ページ

上記の情報は、Adobe Acrobat および Adobe Reader では表示できません。[動作環境の設定] ダイアログボックスの [動作環境の設定] タブで「ビューア画面（本製品）の起動」を選択して、ビューア画面と PDF ファイルを関連付けすると表示できます。ビューア画面と PDF ファイルを関連付けすると、PDF ファイルをダブルクリックするだけで、閲覧用のビューア画面が起動されるようになります。関連付けの詳細は、「7.53 動作環境を設定する」（291 ページ）または

 **ヘルプ** をクリックして『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。



ヒント

- ・ 指定した原稿に電子データ付きの原稿がすべて含まれている場合、原稿の画像データおよび電子ファイル进行处理するか、原稿の画像データだけ进行处理するかを確認するメッセージが表示されます。
- ・ 指定した原稿に電子データ付きの原稿の一部が含まれている場合、原稿の画像データだけが保存されます（電子ファイルは保存されません）。

■ 複数の原稿を選択して別名保存する

操作



1. 別名保存したい原稿を、複数原稿の指定手順で選択します。

複数の原稿を指定する場合は、「7.33 複数の原稿を指定する」（253 ページ）を参照してください。

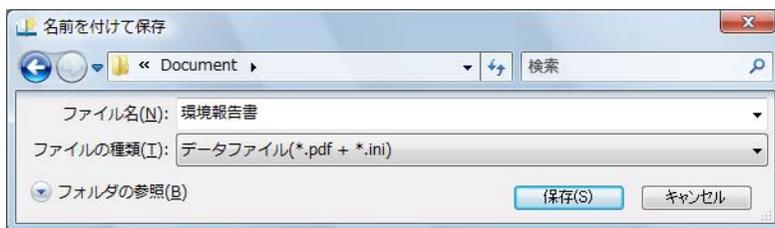
2. ページ上でマウスを右クリックし、[名前を付けて保存（X～XX ページの原稿）]を選択します。

Xには、指定している原稿の開始ページが表示されます。

XXには、指定している原稿の終了ページが表示されます。

⇒ [名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

3. 保存する場所やファイル名を指定して、[保存]ボタンをクリックします。





- ・ 選択したファイルの種類によって、別名保存されたファイルの表示方法が異なります。
 - － データファイル (*.pdf + *.ini) 形式
Adobe Acrobat または Adobe Reader で表示できます。
 - － Rack2 バインダ (*.rk2) 形式
閲覧用のビューア画面で表示できます。
- ・ 「ファイルの種類」に「データファイル (*.pdf+*.ini)」形式を選択した場合、以下の情報も保存されます。
 - － 目次ページ
 - － インデックスシート
 - － 編集情報
 - － テキスト
 - － 未読一覧ページ

上記の情報は、Adobe Acrobat および Adobe Reader では表示できません。[動作環境の設定]ダイアログボックスの[動作環境の設定]タブで「ビューア画面（本製品）の起動」を選択して、ビューア画面とPDFファイルに関連付けすると表示できます。ビューア画面とPDFファイルに関連付けすると、PDFファイルをダブルクリックするだけで、閲覧用のビューア画面が起動されるようになります。関連付けの詳細は、「7.53 動作環境を設定する」（291 ページ）または

 **ヘルプ** をクリックして『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。

- ・ 指定した原稿に電子データ付きの原稿がすべて含まれている場合、原稿の画像データおよび電子ファイル进行处理するか、原稿の画像データだけ进行处理するかを確認するメッセージが表示されます。
- ・ 指定した原稿に電子データ付きの原稿の一部が含まれている場合、原稿の画像データだけが保存されます（電子ファイルは保存されません）。

7.25 インデックスシートを付ける

見開きモードでの操作

バインダ内の原稿を区分するために、インデックスシートを付けることができます。インデックスシートは、現在見開きで表示しているページの間追加されます。



電子データ付きのページが連続している場合、そのページの間
にインデックスシートを付けることはできません。
たとえば、電子データ付きのページが10ページ目と11ページ目
にある場合、この間にインデックスシートを付けることはできま
せん。

操作



1.インデックスシートを挿入したいページを表示します。

2.  をクリックします。

または、ページ上でマウスを右クリックし、[挿入]－[インデックス]を選択します。

⇒ [インデックスの編集]ダイアログボックスが表示されます。

3.インデックスシートについて各項目を設定します。

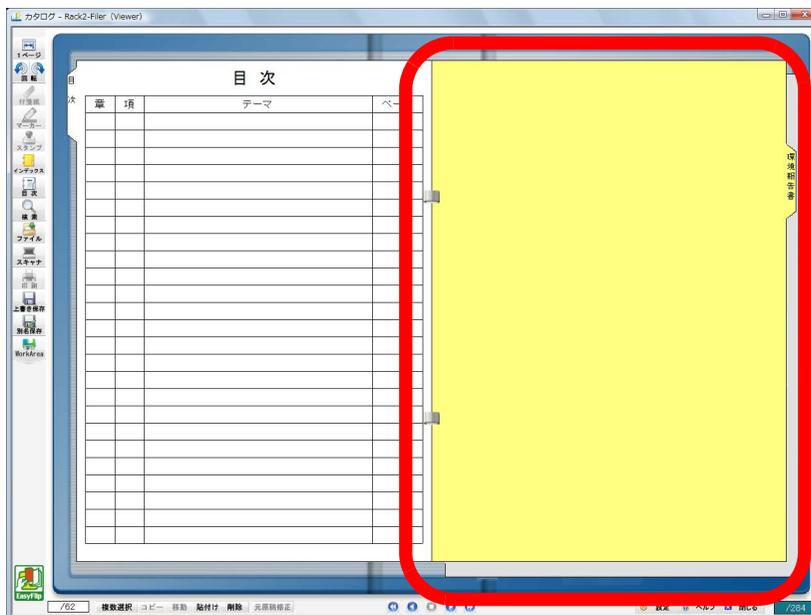
インデックスシートの次の設定を設定できます。

- ・ 文字（タグに表示する文字）
- ・ 色（インデックスシートの色）
- ・ 幅（タグの長さ）
- ・ 位置（タグの位置）

各項目の詳細は、ダイアログボックスの[ヘルプ]ボタンをクリックして、『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。

4.[OK] ボタンをクリックします。

⇒ インデックスシートが追加されます。



ヒント

- ・ インデックスシート上に、インデックスシートで区切られた範囲内の原稿をサムネイル（縮小された画像）で表示できます。詳細は、「7.26 サムネイルを表示する」（232 ページ）を参照してください。
- ・ インデックスシートに入力した文字列は、バイнда検索時に、検索条件として指定することができます。
- ・ 原稿の有無にかかわらず、インデックスを挿入できます。
- ・ 連続してインデックスを挿入できます。
- ・ インデックスシートを編集または削除できます。詳細は、 **ヘルプ** をクリックして『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。
- ・ スキャナ読み取り時やファイル取り込み時に、自動的にインデックスシートを挿入することができます。詳細は、 **ヘルプ** をクリックして『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。

7.26 サムネイルを表示する

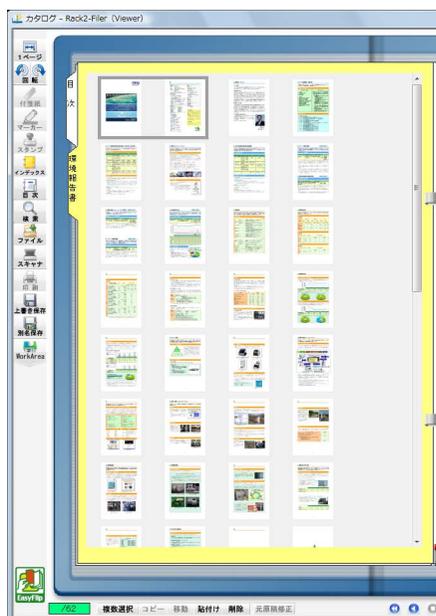
見開きモードでの操作

インデックスシートを付けた場合、インデックスシートで区分けられた範囲内の原稿を、インデックスシート上にサムネイル（縮小された画像）で表示できます。



1. インデックスシート上でマウスを右クリックし、[サムネイル表示]を選択します。

⇒ インデックスシート上に、サムネイルが表示されます。





- ・ サムネイル表示は、一時的な表示機能です。
このため、他のページを表示したり、ビューア画面を終了すると、サムネイルは消えます。
- ・ ページ数が多い場合、処理の速度が遅くなる場合があります。



サムネイルの表示順を変更して、原稿の並び順を変更できます。詳細は、「7.27 原稿の並び順を変更する」(234 ページ)を参照してください。



7.27 原稿の並び順を変更する

見開きモードでの操作

原稿の並び順を変更します。



原稿の並び順は、以下の単位で変更できます。

- ・ 原稿（2 ページ）単位
- ・ 目次（章、項）単位

ここでは、原稿（2 ページ）単位で原稿の並び順を変更する方法について説明します。

目次単位で原稿の並び順を変更する方法については、「7.28 目次単位で原稿の並び順を変更する」（236 ページ）を参照してください。



インデックスシート上にサムネイル（縮小された画像）を表示した場合、サムネイルの表示順を変更して、原稿の並び順を変更することができます。



- ・ 電子データ付きの原稿は、並び順を変更できません。
- ・ 並び順の変更は、原稿の単位（2 ページ単位）で行われます（表面または裏面だけのページの並び順を変更することはできません）。

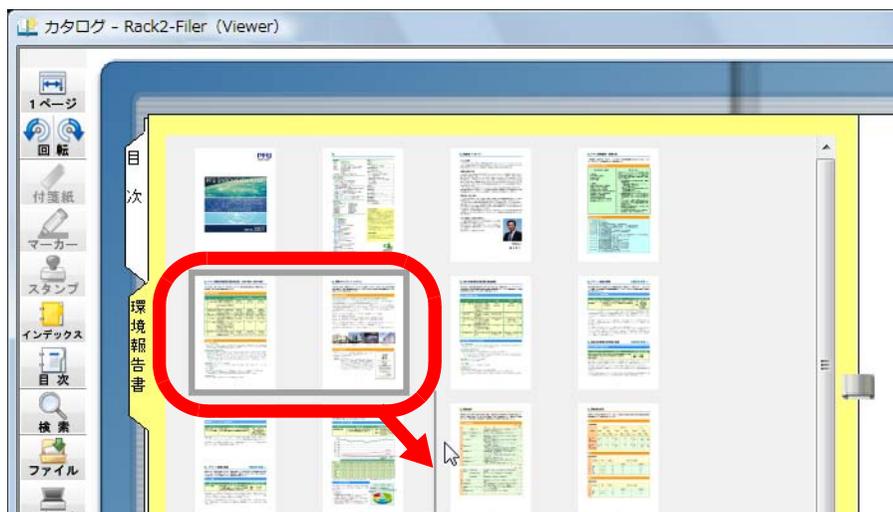


1. インデックスシートにサムネイルを表示します。

詳細は、「7.26 サムネイルを表示する」（232 ページ）を参照してください。

2. 並び順を変更したい原稿のサムネイルを選択します。

3. 原稿を移動する位置まで、サムネイルをドラッグ&ドロップします。



⇒ サムネイルの表示順が変更され、原稿の並び順が変更されます。



原稿の並び順を変更した場合、 をクリックして変更を保存

したり、ビューア画面を終了するときに変更を保存すると、次回以降、原稿の並び順が変更された状態で表示されます。

7.28 目次単位で原稿の並び順を変更する

目次（章、項）単位で、原稿の並び順を変更します。



ヒント

- ・ 目次の並び順を変更すると、原稿の並び順も変更されます。
- ・ 目次の作成方法については、「7.18 目次情報を設定する」（200 ページ）を参照してください。
- ・ 目次の表示順を変更すると移動されるページが奇数となる場合、白紙ページが追加されます。

操作



1. 目次ページを表示します。
2. 並び順を変更したい原稿の目次を移動する位置まで、ドラッグ&ドロップします。

章	項	テーマ	ページ
1		はじめに	0
2		会社情報	4
3		事業内容	5
	1	ソリューション	7
	2	サービス	8
	3	イメージビジネス	9
	4	ProDeS (開発製造サービス)	10
4		プロフィール	12
5		メッセージ	14
6		技術	16



- ・ 電子データ付きの原稿の間には、目次を移動することはできません。
- ・ 目次をドラッグしているときはページをめくることができません。
別の目次ページに目次を移動する場合、以下の手順で目次を移動してください。
 1. 並び順を変更したい原稿の目次でマウスを右クリックし、[目次情報（原稿）移動]を選択します。
 2. 目次を移動する位置でマウスを右クリックし、[目次情報（原稿）挿入]を選択します。



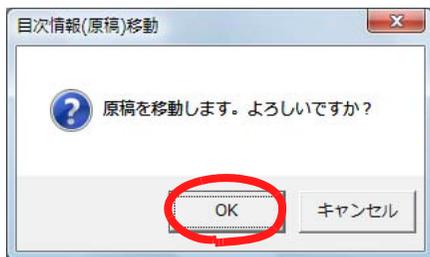
- ・ 章目次を移動した場合は、章に含まれるすべての目次と原稿が移動されます。

章	項	テーマ	ページ
1		(はじめに)	3
3		事業内容	5
1		ソリューション	7
2		サービス	8
3		イメージビジネス	9
4		ProDeS(開発製造サービス)	10

- ・ 目次情報の移動状態を解除する場合は、以下のいずれかの操作を行ってください。
 - － キーボードの ESC キーを押す
 - － マウスを右クリックし、[キャンセル]を選択する
 - － 目次ページ以外のページを表示する

⇒ 原稿を移動しても良いかを確認するメッセージが表示されます。

3.[OK] ボタンをクリックします。



⇒ 目次の表示順が変更され、目次に含まれている原稿の並び順が変更されます。

7.29 原稿を削除する

見開きモードでの操作

バインダから原稿を削除します。

■ 1 枚の原稿を削除する



- ・ 電子データ付きの原稿を削除すると、取り込み時の [動作環境の設定] ダイアログボックスの設定によって、以下のようになります。
 - － [入力設定] タブの「元ファイル（変換前の電子ファイル）も取り込む」で「実ファイルを取り込む」にチェックを付けて取り込んだ場合は、同時に取り込んだ元ファイルも削除されます。
 - － [入力設定] タブの「元ファイル（変換前の電子ファイル）も取り込む」で「リンク情報を取り込む」にチェックを付けて取り込んだ場合は、リンク先の元のファイルは削除されません。
- ・ 電子データ付きの原稿の一部だけ選択した場合、選択した原稿だけでなく、同じ電子ファイルの原稿がすべて削除されます。



1. 削除する原稿を表示します。

2. 削除 をクリックします。

または、削除する原稿上でマウスを右クリックし、[削除]－[原稿]を選択します。

⇒ メッセージが表示されます。

3. [OK] ボタンをクリックします。



⇒ 原稿が削除されます。

■ 複数の原稿を削除する



1. 削除したい原稿を、複数原稿の指定手順で選択します。

複数の原稿を指定する方法は、「7.33 複数の原稿を指定する」(253 ページ)を参照してください。

2. 削除 をクリックします。

または、削除する原稿上でマウスを右クリックし、[削除 (X ~ XX ページの原稿)]を選択します。

Xには、指定している原稿の開始ページが表示されます。

XXには、指定している原稿の終了ページが表示されます。

⇒ メッセージが表示されます。

3. [OK] ボタンをクリックします。



⇒ 原稿が削除されます。



インデックス単位で原稿を削除できます。

インデックス単位で原稿を削除する場合、削除する原稿上でマウスを右クリックし、[削除] - [インデックス単位の原稿] を選択します。



■ 原稿の片面をまとめて削除する

指定した範囲の原稿の、表面または裏面だけをまとめて削除します。

原稿の表面とは奇数ページのこと、裏面とは偶数ページのことです。



電子データ付きの原稿の場合、表面と裏面が同じ電子データで関連付けされているページは削除されません。



1. 片面削除する範囲を、複数原稿の指定手順で選択します。

複数の原稿を指定する方法は、「7.33 複数の原稿を指定する」(253 ページ)を参照してください。

- 2.**削除する原稿上でマウスを右クリックし、
[表面の削除 (X ~ XX ページの原稿)] または [裏面の削除 (X ~ XX ページの原稿)] を選択します。

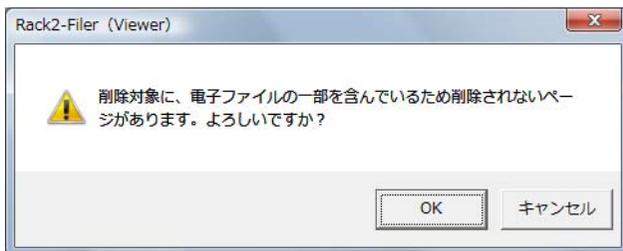


Xには、指定している原稿の開始ページが表示されます。
XXには、指定している原稿の終了ページが表示されます。

⇒ 削除を確認するメッセージが表示されます。



削除対象ページの中に、表面と裏面が同じ電子データで関連付けされているページがあった場合は、以下のメッセージが表示されます。



- 3.**[OK] ボタンをクリックします。

⇒ 指定した範囲の表面または裏面のページがすべて削除されます。

7.30 原稿を移動（切り取り）する

見開きモードでの操作

原稿を移動します。

まって!



電子データ付きの原稿の一部だけ選択した場合、選択した原稿だけでなく、同じ電子ファイルの原稿がすべて移動されます。

■ 別バインダへの原稿の移動

操作



1. 移動したい原稿を、複数原稿の指定手順で選択します。

ヒント



- ・ 1枚の場合も、複数原稿の指定手順で選択してください。
- ・ 複数原稿の指定については、「7.33 複数の原稿を指定する」（253 ページ）を参照してください。

2. 選択した原稿をドラッグして、移動先のバインダの背表紙、またはビューア画面のバインダページ上にドロップします。

⇒ 指定したバインダに、原稿が移動します。

■ クリップボードへの移動（1枚の原稿）

1枚の原稿を切り取って、クリップボードに移動します。

操作



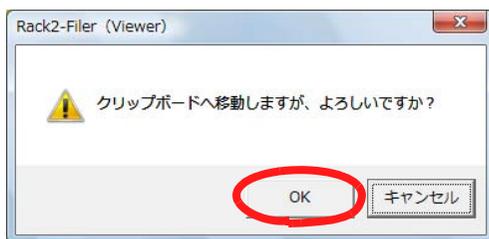
1. クリップボードに移動する原稿を表示します。

2. **移動** をクリックします。

または、原稿上でマウスを右クリックし、[移動]－[原稿をクリップボードへ]を選択します。

⇒ メッセージが表示されます。

3. [OK] ボタンをクリックします。



⇒ 原稿が切り取られ、クリップボードに移動します。



- ・すでに、クリップボードに移動した原稿がある場合は、クリップボードの原稿を上書きするかどうかのメッセージが表示されます。
- ・クリップボードに移動した原稿を、他のページの前に貼り付けることができます。詳細は、「7.32 原稿を貼り付ける」(252 ページ) を参照してください。
- ・指定した原稿に電子データ付きの原稿がすべて含まれている場合、原稿の画像データおよび電子ファイル进行处理するか、原稿の画像データだけ进行处理するかを確認するメッセージが表示されます。
- ・指定した原稿に電子データ付きの原稿の一部が含まれている場合、電子ファイルおよび関連するページも移動されます。
- ・インデックス単位で原稿をクリップボードに移動できます。インデックス単位で原稿をクリップボードに移動する場合、移動する原稿上でマウスを右クリックし、[移動] - [インデックス単位の原稿をクリップボードへ] を選択します。

■ クリップボードへの移動（複数の原稿）

複数の原稿を切り取って、クリップボードに移動します。



1. クリップボードに移動したい原稿を、複数原稿の指定手順で選択します。

複数の原稿を指定する方法は、「7.33 複数の原稿を指定する」(253 ページ) を参照してください。

2. **移動** をクリックします。

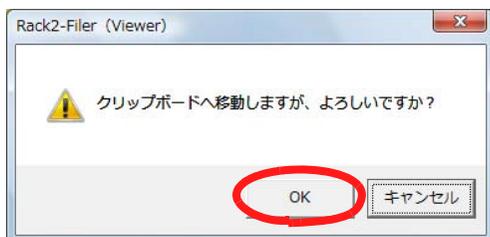
または、原稿上でマウスを右クリックし、[移動]ー[クリップボードへ移動 (X ~ XX ページの原稿)] を選択します。

Xには、指定している原稿の開始ページが表示されます。

XXには、指定している原稿の終了ページが表示されます。

⇒ メッセージが表示されます。

3. [OK] ボタンをクリックします。



⇒ 原稿が切り取られ、クリップボードに移動します。



- ・ すでに、クリップボードに移動した原稿がある場合は、クリップボードの原稿を上書きするかどうかのメッセージが表示されます。
- ・ クリップボードに移動した原稿を、他のページの前に貼り付けることができます。詳細は、「7.32 原稿を貼り付ける」(252 ページ) を参照してください。
- ・ 指定した原稿に電子データ付きの原稿がすべて含まれている場合、原稿の画像データおよび電子ファイル进行处理するか、原稿の画像データだけ进行处理するかを確認するメッセージが表示されます。
- ・ 指定した原稿に電子データ付きの原稿の一部が含まれている場合、電子ファイルおよび関連するページも移動されます。
- ・ インデックス単位で原稿をクリップボードに移動できます。インデックス単位で原稿をクリップボードに移動する場合、移動する原稿上でマウスを右クリックし、[移動]ー[インデックス単位の原稿をクリップボードへ] を選択します。

■ WorkArea への移動

操作



1. 移動したい原稿があるビューア画面と、WorkArea 画面を開きます。

2. 複数原稿の指定手順で原稿を選択します。



- ・ 1枚の場合も、複数原稿の指定手順で選択してください。
- ・ 複数原稿の指定については、「7.33 複数の原稿を指定する」(253 ページ)を参照してください。

3. 選択した原稿をドラッグして、WorkArea 画面の挿入したい位置にドロップします。

⇒ 原稿が移動します。



- ・ ビューア画面上で右クリックし、[移動]－[原稿を WorkArea へ] (インデックス単位の原稿を WorkArea に移動する場合は [移動]－[インデックス単位の原稿を WorkArea へ]) を選択することでも原稿の移動ができます。
- ・ 選択した原稿が電子データ付きの原稿の一部である場合、選択した原稿だけでなく、同じ電子ファイルの原稿すべて、およびその原稿を含むページも対象としてドラッグしても良いかを確認するメッセージが表示されます。

7.31 原稿をコピーする

見開きモードでの操作

クリップボードや WorkArea に原稿をコピーします。

■ クリップボードへのコピー（1枚の原稿）

操作



1. クリップボードにコピーする原稿を表示します。
2. **コピー** をクリックします。
または、原稿上でマウスを右クリックし、**[コピー]** – **[原稿をクリップボードへ]** を選択します。
⇒ 原稿がクリップボードにコピーされます。



- ・すでに、クリップボードにコピーした原稿がある場合は、クリップボードの原稿を上書きするかどうかのメッセージが表示されます。
- ・クリップボードにコピーした原稿を、他のページの前に貼り付けることができます。
詳細は、「7.32 原稿を貼り付ける」(252 ページ) を参照してください。
- ・指定した原稿に電子データ付きの原稿がすべて含まれている場合、原稿の画像データおよび電子ファイル进行处理するか、原稿の画像データだけ进行处理するかを確認するメッセージが表示されます。
- ・指定した原稿に電子データ付きの原稿の一部が含まれている場合、原稿の画像データだけがコピーされます(電子ファイルはコピーされません)。
- ・インデックス単位で原稿をコピーできます。
インデックス単位で原稿をコピーする場合、コピーする原稿上でマウスを右クリックし、[コピー] - [インデックス単位]の原稿をクリップボードへ]を選択します。

■ クリップボードへのコピー (複数の原稿)

操作



1. クリップボードにコピーしたい原稿を、複数原稿の指定手順で選択します。

インデックス単位で原稿をコピーする場合は、複数の原稿を指定する必要はありません。

複数の原稿を指定する方法は、「7.33 複数の原稿を指定する」(253 ページ) を参照してください。

2. コピーをクリックします。

または、原稿上でマウスを右クリックし、[コピー]－[クリップボードへコピー (X～XX ページの原稿)] を選択します。

Xには、指定している原稿の開始ページが表示されます。

XXには、指定している原稿の終了ページが表示されます。

⇒ 原稿がクリップボードにコピーされます。



ヒント

- ・すでに、クリップボードにコピーした原稿がある場合は、クリップボードの原稿を上書きするかどうかのメッセージが表示されます。
- ・クリップボードにコピーした原稿を、他のページの前に貼り付けることができます。
詳細は、「7.32 原稿を貼り付ける」(252 ページ) を参照してください。
- ・指定した原稿に電子データ付きの原稿がすべて含まれている場合、原稿の画像データおよび電子ファイル进行处理するか、原稿の画像データだけ进行处理するかを確認するメッセージが表示されます。
- ・指定した原稿に電子データ付きの原稿の一部が含まれている場合、原稿の画像データだけがコピーされます (電子ファイルはコピーされません)。
- ・インデックス単位で原稿をコピーできます。
インデックス単位で原稿をコピーする場合、コピーする原稿上でマウスを右クリックし、[コピー]－[インデックス単位の原稿をクリップボードへ] を選択します。

■ WorkArea へのコピー（1枚の原稿）



1. WorkArea へコピーする原稿を表示します。
2. ビューア画面上でマウスを右クリックし、[コピー] - [原稿を WorkArea へ] を選択します。
⇒ 原稿がコピーされます。

■ WorkArea へのコピー（複数の原稿）



1. WorkArea へコピーしたい原稿を、複数原稿の指定手順で選択します。
複数の原稿を指定する方法は、「7.33 複数の原稿を指定する」（253 ページ）を参照してください。
2. ビューア画面上でマウスを右クリックし、[WorkArea へコピー（X ~ XX ページの原稿）] を選択します。
X には、指定している原稿の開始ページが表示されます。
XX には、指定している原稿の終了ページが表示されます。
⇒ 原稿がコピーされます。

7.32 原稿を貼り付ける

見開きモードでの操作

クリップボードに移動またはコピーした原稿を、現在表示しているページの前に貼り付けます。



- ・ 同じ電子データ付きの原稿のページの間には、クリップボードに移動またはコピーした原稿を貼り付けることはできません。



操作



1. 貼り付け先にするページを表示します。
2. **貼付け** をクリックします。
または、ページ上でマウスを右クリックし、[クリップボードより貼り付け] を選択します。
⇒ クリップボードの原稿が貼り付けられます。

7.33 複数の原稿を指定する

見開きモードでの操作

複数の原稿を指定して、以下の操作ができます。

- ・ クリップボードへ移動
- ・ クリップボードへコピー
- ・ WorkArea へ移動
- ・ WorkArea へコピー
- ・ テキスト抽出
- ・ 削除
- ・ 名前を付けて保存
- ・ ScanSnap で読み取った原稿をオフィス文書に変換
- ・ 原稿を 1 ページに割り付け



複数の原稿を指定してできる操作の詳細は、以下を参照してください。

- ・ クリップボードへ移動
「7.30 原稿を移動（切り取り）する」（243 ページ）
- ・ クリップボードへコピー
「7.31 原稿をコピーする」（248 ページ）
- ・ WorkArea へ移動
「■ WorkArea への移動」（247 ページ）
- ・ WorkArea へコピー
「■ WorkArea へのコピー（1 枚の原稿）」（251 ページ）
- ・ テキスト抽出
「7.19 テキストを抽出する」（202 ページ）
- ・ 削除
「7.29 原稿を削除する」（239 ページ）
- ・ 名前を付けて保存
「7.24 原稿を選択して別名保存する」（226 ページ）
- ・ ScanSnap で読み取った原稿をオフィス文書に変換
「7.41 オフィス文書に変換する（ScanSnap データ）」（273 ページ）
- ・ 原稿を 1 ページに割り付け
「7.34 原稿を 1 ページに割り付ける」（258 ページ）

ここでは、複数の原稿を指定して、まとめて削除する操作を例に説明します。



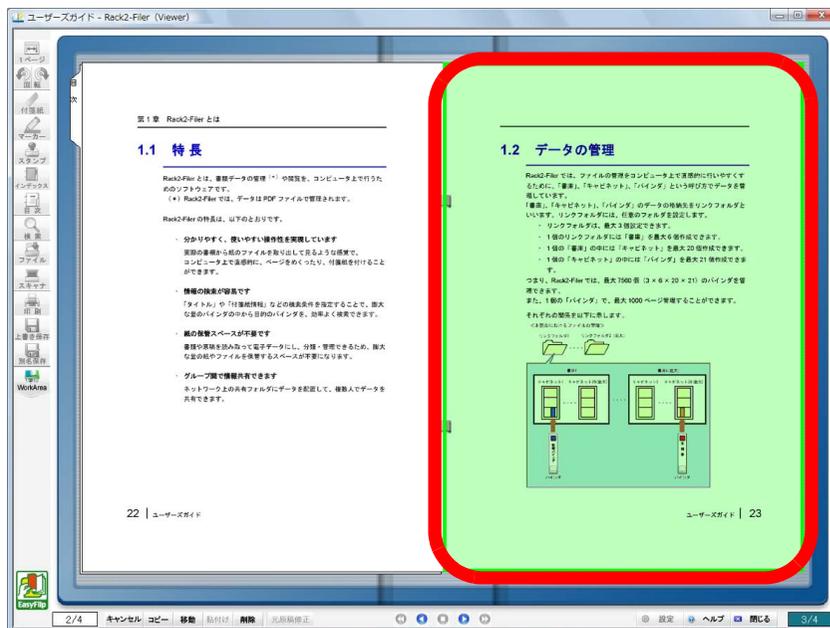
1. 削除したい原稿の開始ページを表示します。

2. 複数選択 をクリックします。

または、原稿上でマウスを右クリックし、[複数原稿指定] を選択します。

⇒ 原稿が指定されます。

指定されているページは、緑色になります。



3. 削除したい原稿の最終ページまでページをめくります。



複数原稿の指定状態を解除したい場合は、**キャンセル** をクリックしてください。

または、原稿上でマウスを右クリックし、[キャンセル] を選択してください。



⇒ めくったページだけ、原稿が指定されます。

4. **削除** をクリックします。

または、削除する原稿上でマウスを右クリックし、[削除 (X ~ XX ページの原稿)] を選択します。

Xには、指定している原稿の開始ページが表示されます。

XXには、指定している原稿の終了ページが表示されます。

⇒ メッセージが表示されます。

5. [OK] ボタンをクリックします。



⇒ 手順「3.」で指定した原稿が削除されます。



指定した原稿に電子データ付きの原稿が含まれている場合、以下のように処理されます。

	電子データ付きの原稿がすべて含まれている場合	電子データ付きの原稿が一部分だけ含まれている場合
クリップボードへ移動	◎	○
クリップボードへコピー	◎	画像のみ
WorkAreaへ移動	○	○
WorkAreaへコピー	○	○
削除	○	○(*1)
名前を付けて保存	◎	画像のみ
原稿を1ページに割り付ける	○(*2)	○

◎ : 原稿の画像データおよび電子ファイル进行处理するか、原稿の画像データだけ进行处理するかを選択できます。

○ : 原稿の画像データおよび電子ファイルが処理されます。この場合、同じ電子ファイルの電子データ付きの原稿がすべて処理されます。

画像のみ : 原稿の画像データだけが処理されます。

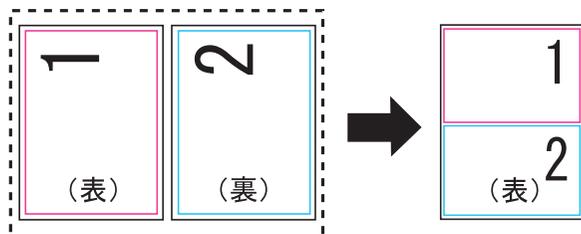
*1 : 原稿の片面だけ削除する場合は、処理されません。

*2 : 表面と裏面に異なる電子データが関連付けされている場合は、電子データは削除されて処理されます。

7.34 原稿を1ページに割り付ける

見開きモードでの操作

取り込み後の原稿を、2ページずつ1ページ内に割り付けたページに変換することができます。1ページ内に割り付けると、Microsoft PowerPointなどで作成したスライドの横長ページなどを、見やすくファイリングすることができます。



以下に、複数ページの原稿を2ページずつ1ページ内に割り付ける操作と、割り付け後のページについて説明します。

■ 2ページを1ページ内に割り付ける



1.2 ページずつ1ページ内に割り付ける原稿の範囲を、複数原稿の指定手順で選択します。

複数の原稿を指定する方法は、「7.33 複数の原稿を指定する」(253ページ)を参照してください。

2. 原稿上でマウスを右クリックし、[2 ページを 1 ページに割り付け] を選択します。



⇒ 指定した範囲の原稿が、2 ページずつ 1 ページ内に割り付けられます。



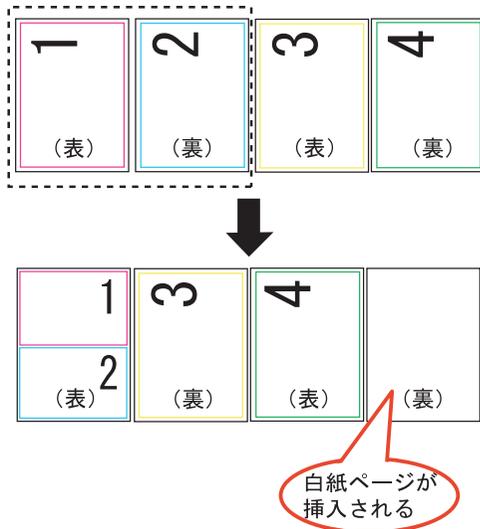
割り付けたページは、元の 2 ページの状態に戻せません。再度、取り込みなおすか、または元のファイル（電子データ）を編集してください。ただし、操作直後のみ、原稿上でマウスを右クリックし [元に戻す] を選択して元に戻すことができます。



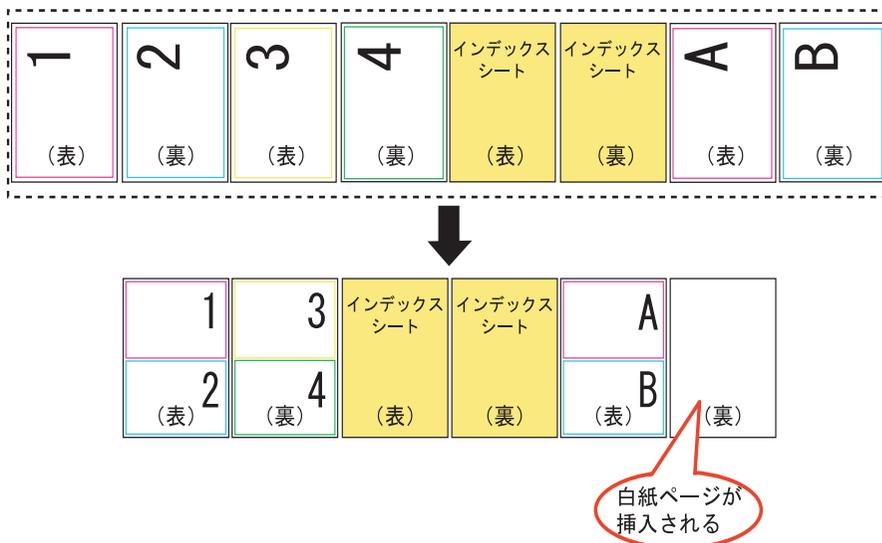
■ 割り付け後のページについて

2 ページを 1 ページに割り付けたあとの原稿の状態について説明します。

- ・ 奇数枚数の原稿を選択した場合
最後のページは白紙ページになります。

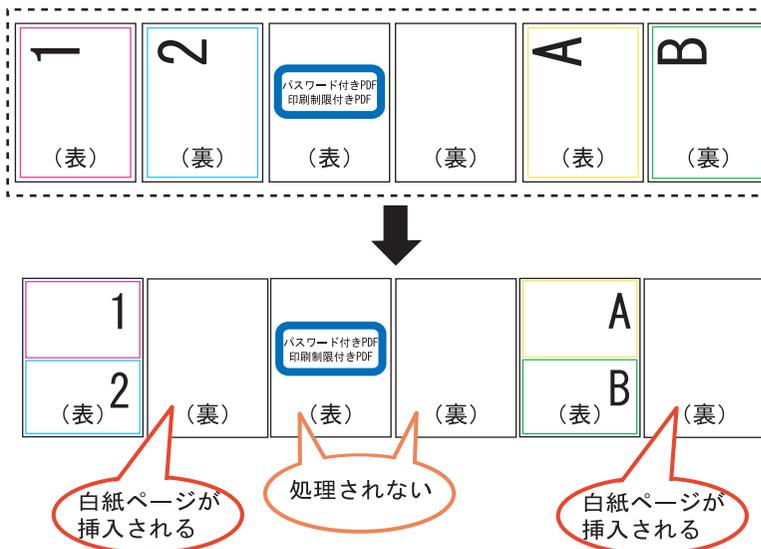


- ・ インデックスシートが含まれている場合
インデックスシートは、割り付けの対象になりません。インデックスシートが含まれている場合は、インデックスシートの前後で変換されます。

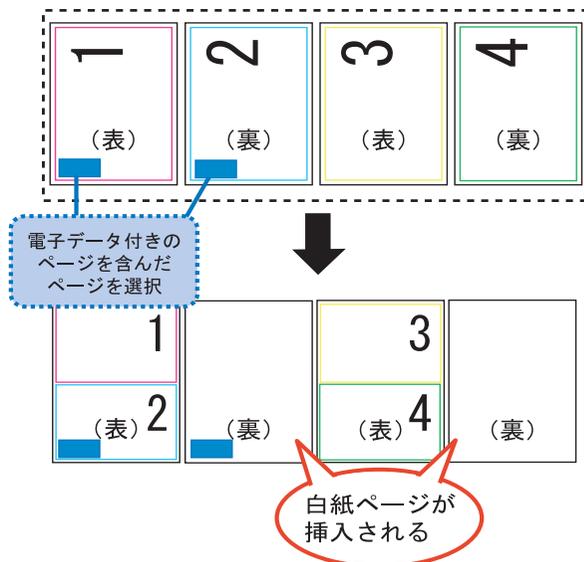


- ・ パスワード付きの PDF ファイル、または印刷制限付きの PDF ファイルの場合

該当ページは割り付けの対象になりません。



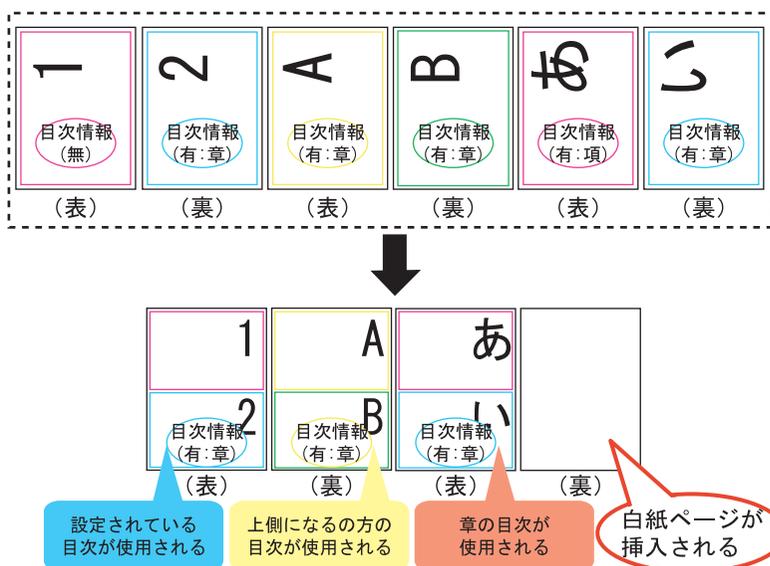
- 電子データ付きの原稿・ページの場合
割り付けられる2ページに同じ電子データが付いている場合、電子データは削除されません。
割り付けられる2ページに異なる電子データが付いている場合（[動作環境の設定]ダイアログボックスの[入力設定]タブで「スキャナ読み取り時、および、画像ファイル取り込み時にPDFファイルを電子データとして取り込む」にチェックを付けて取り込んだPDFの場合）、電子データが削除されるため、操作の継続を確認するメッセージが表示されます。



- 編集情報が付いている原稿・ページの場合
編集情報は削除されます。
- テキスト抽出した原稿・ページの場合
抽出したテキスト情報は保持されます。ただし、2ページ分のテキスト情報が、上限（半角30,000文字）を超えた場合、超えた文字列は削除されます。

・ 目次情報について

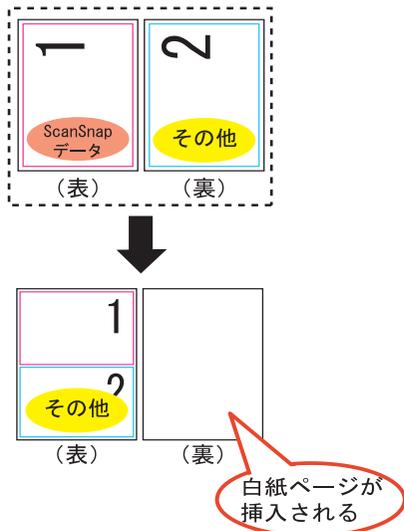
1 ページに割り付ける 2 ページのうち、片方のページにだけ目次情報が設定されている場合は、設定されている目次情報が使用されます。1 ページに割り付ける 2 ページのうち、両方のページに目次情報が設定されている場合で、目次情報が同じとき（章と章など）は、割り付け後、上側になるページの目次情報が使用されます。1 ページに割り付ける 2 ページのうち、1 ページには目次情報（章）が、もう一方のページには目次情報（項）が設定されている場合、目次情報（章）が使用されます。



- ・ ScanSnap で読み取ったページについて

ScanSnap で読み取ったページ同士を1ページ内に割り付けた場合は、そのまま ScanSnap で読み取ったページとして扱われます。

ScanSnap で読み取ったページとそうでないページを1ページ内に割り付けた場合は、ScanSnap で読み取ったページとして扱われなくなるため、オフィス文書への変換およびマーカー切り出しができなくなります。



7.35 ページをコピーする

見開きモードでの操作

クリップボードや WorkArea に、バインダ内のページをコピーします。

■ クリップボードにページをコピーする

操作



1. クリップボードにコピーするページを表示します。
2. ページ上でマウスを右クリックし、[コピー] - [ページをクリップボードへ] を選択します。

⇒ 選択したページがクリップボードにコピーされます。



- ・ すでに、クリップボードにコピーしたページがある場合は、クリップボードのページを上書きするかどうかのメッセージが表示されます。
- ・ クリップボードにコピーしたページを、他のページに上書きで貼り付けたり、追加することができます。詳細は、「7.36 ページを貼り付ける」(267 ページ) を参照してください。
- ・ 指定したページに電子データ付きのページが含まれている場合、ページの画像データだけがコピーされます (電子ファイルはコピーされません)。



■ WorkArea にページをコピーする

操作



1. WorkArea にコピーするページを表示します。
2. ビューア画面上でマウスを右クリックし、[コピー]－[ページを WorkArea へ]を選択します。
⇒ 選択したページが WorkArea にコピーされます。

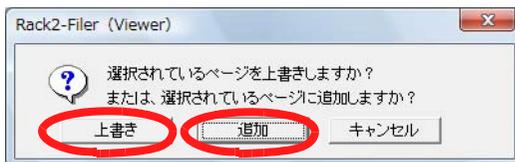
7.36 ページを貼り付ける

見開きモードでの操作

クリップボードにコピーしたページを貼り付けます。現在表示しているページに上書きするか、現在表示しているページの前に追加します。



1. 貼り付け先のページを表示します。
2. **貼付け** をクリックします。
または、ページ上でマウスを右クリックし、[クリップボードより貼り付け]を選択します。
⇒ メッセージが表示されます。
3. 上書きするときは[上書き]ボタンを、ページを追加するときには[追加]ボタンをクリックします。



⇒ クリップボードのページが貼り付けられて、ページが上書きまたは追加されます。



電子データ付きのページには、クリップボードにコピーしたページを貼り付けることはできません。クリップボードにコピーしたページは、既存の原稿にだけ貼り付けることができます。空のバイнда、インデックスシート、原稿を含んでいないインデックスには貼り付けることはできません。

7.37 ページを消去する（白紙にする）

見開きモードでの操作

選択したページの内容を消去します。この場合、消去されたページは白紙になります。



電子データ付きのページを消去することはできません。



操作



1. 消去するページを表示します。
2. ページ上でマウスを右クリックし、[ページ編集] - [消去（白紙にする）] を選択します。
⇒ 選択されたページの内容が消去されて白紙になります。

7.38 ページを削除する

見開きモードでの操作

選択したページを削除します。この場合、削除した分、同一インデックス内の以降のページが前に詰められ、末尾ページが白紙になります。



原稿の片面のページだけを削除することもできます。片面削除については、「■原稿の片面をまとめて削除する」(241 ページ)を参照してください。



- ・ 削除したページの後ろが電子データ付きのページの場合は、以降のページは前に詰められません。
- ・ 同一インデックス内の以降のページに、A3/B4 データの 2 分割されたページがある場合は、削除によりページずれが起こり、見開き表示できなくなる場合があります。



操作



1. 削除するページを表示します。
2. ページ上でマウスを右クリックし、[削除] - [ページ] を選択します。
⇒ 選択したページが削除されます。

7.39 白紙ページを追加する

見開きモードでの操作

原稿を2ページ単位で管理するために、現在表示しているページの前に白紙ページを追加することができます。この場合、追加した分、同一インデックス内の以降のページが後ろにずれます。



- ・ 電子データ付きの複数のページの間には、白紙ページを追加することはできません。
- ・ 同一インデックス内の以降のページに、A3/B4 データの2分割されたページがある場合は、白紙ページの追加によりページずれが起こり、見開き表示できなくなる場合があります。



1. 白紙ページを追加するページを表示します。
2. ページ上でマウスを右クリックし、[挿入] - [白紙ページ] を選択します。
⇒ 選択されたページの前に白紙ページが追加されます。

7.40 ページをメール送信する

見開きモードでの操作

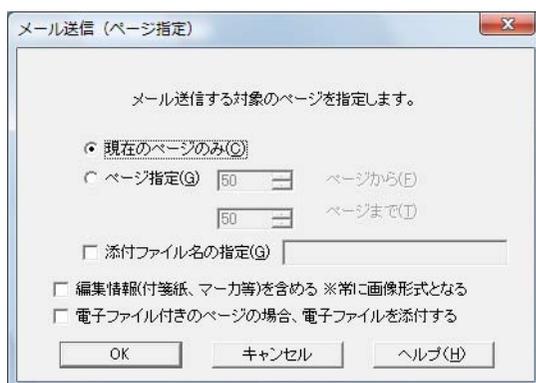
バインダ内のページを添付して、メールを送信します。



1. メール送信するページ上でマウスを右クリックし、[印刷／メール／保存]－[メール送信]を選択します。

⇒ [メール送信 (ページ指定)] ダイアログボックスが表示されます。

2. メール送信するページの範囲を指定します。

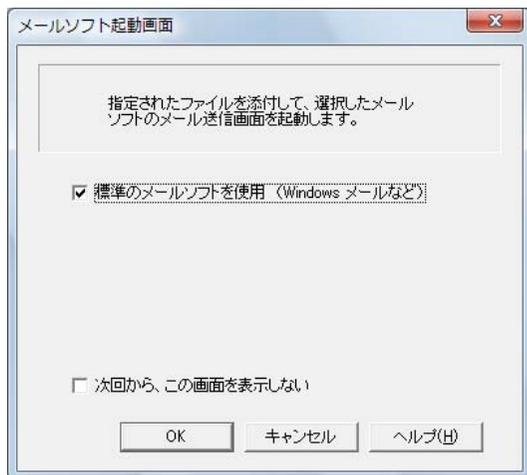


各項目の詳細は、ダイアログボックスの[ヘルプ]ボタンをクリックして、『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。

3. [OK] ボタンをクリックします。

⇒ メールソフト起動画面が表示されます。

4.各項目を設定します。



各項目の詳細は、ダイアログボックスの[ヘルプ]ボタンをクリックして、『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。

5.[OK] ボタンをクリックします。

⇒ 手順「4.」で選択したメールソフトのメール送信画面が起動され、指定したページが添付ファイル（PDF ファイル）として、メールに添付されます。手順「2.」で電子ファイルを添付するよう指定した場合には、電子ファイルが添付されます。



- ・ 標準のメールソフトを使用する場合、メール送信画面の「件名」に「バインダのタイトル_ (指定したページ) .pdf」と入力されます。
- ・ バインダのページをメール送信する場合、指定したページにパスワード付きの PDF ファイル、または印刷制限付きの PDF ファイルを取り込んだページが含まれていたときには、それらのページを除いてメール送信されます。電子データとして取り込まれている PDF ファイルもメール送信されません。

7.41 オフィス文書に変換する (ScanSnap データ)

見開きモードでの操作

ScanSnap で原稿を読み取った場合、ビューア画面から Word / Excel / PowerPoint 文書に変換できます。



- ・ 本機能を使用するには、ご使用のコンピュータに ABBYY FineReader for ScanSnap 3.0 以降がインストールされている必要があります。
なお、PowerPoint 文書に変換する場合は、ABBYY FineReader for ScanSnap 4.0 以降が必要です。
- ・ 本機能の使用時に、ABBYY FineReader の警告メッセージが表示される場合があります。
- ・ 以下の条件をすべて満たすページだけが Word / Excel / PowerPoint 文書に変換できます。
 - － ScanSnap を使って読み込まれたページ
 - － Rack2-Filer V4.0 以降を使って読み込まれたページただし、上記の条件を満たしていても [設定ページごとに PDF ファイルを作ります] が選択されている状態で取り込んだページは ScanSnap で読み取ったページとして認識されず、Word / Excel / PowerPoint 文書に変換できない場合があります。
- ・ 本機能は、名刺バイндаでは使用できません。
- ・ ビューア画面の設定で「ファイル取り込み時に A3 / B4 サイズを 2 分割する」がチェックされている場合、A3 原稿を取り込むと見開きで取り込まれるため、前後に白紙ページが入る場合があります。
これを複数原稿指定すると、選択順は「白紙」、「原稿左」「原稿右」、「白紙」という並びになるため、Word / Excel / PowerPoint 文書に変換すると先頭に白紙ページが入ります。
不要な場合は、手動で白紙ページを取り除いてください。





- ・ サポートする Microsoft Word、Microsoft Excel、または Microsoft PowerPoint のバージョンについては、『ABBYY FineReader for ScanSnap ユーザーズガイド』を参照してください。
- ・ ScanSnap からページを読み取る方法については、「7.2 ScanSnap からページを読み取る」（163 ページ）を参照してください。
- ・ 本機能を使用する場合は、ScanSnap で以下の設定を行うことをお勧めします。
 - － 画質の選択：スーパーファイン
 - － カラーモードの選択：カラー



1. Word / Excel / PowerPoint 文書に変換するページを表示します。



複数原稿を指定することもできます。
複数原稿を指定した場合、変換時に1つの文書に結合されます。
指定した複数原稿内に1ページでも ScanSnap で読み取っていないページが存在する場合は、Word / Excel / PowerPoint 文書に変換できません。
複数原稿の指定については、「7.33 複数の原稿を指定する」（253 ページ）を参照してください。

2. Word 文書に変換する場合は、ページ上でマウスを右クリックし、**[オフィス機能 (ScanSnap データ)] - [Word 文書に変換]** を選択します。

Excel 文書に変換する場合は、ページ上でマウスを右クリックし、**[オフィス機能 (ScanSnap データ)] - [Excel 文書に変換]** を選択します。

PowerPoint 文書に変換する場合は、ページ上でマウスを右クリックし、**[オフィス機能 (ScanSnap データ)] - [PowerPoint(R) 文書に変換]** を選択します。

⇒ Microsoft Word、Microsoft Excel、または Microsoft PowerPoint が起動され、ページが Word / Excel / PowerPoint 文書に変換されて表示されます。



- ・ ページ上でマウスを右クリックしたときに、**[オフィス機能 (ScanSnap データ)] - [回転して OCR へわたす]** にチェックが付いている場合、縦に表示されているページを横に回転して変換します。回転しない場合は、**[回転して OCR へわたす]** のチェックをはずしてください。文字が正しい方向（正立）でないページの場合、文字認識が上手くできない場合があります。そのようなページを出力する場合、ページ上でマウスを右クリックし、**[オフィス機能 (ScanSnap データ)] - [回転して OCR へわたす]** にチェックを付けてください。ページを回転する必要がない場合、**[回転して OCR へわたす]** のチェックをはずしてください。

なお、ビューアの設定で、「横長データの取り込み時に、90度回転する」をチェックして横長データを取り込んだ場合、文字が横になっています。そのまま文字を回転させずに (**[回転して OCR へわたす]** にチェックを付けずに) Word / Excel / PowerPoint 文書に変換すると、文字認識が上手くできない場合があります。

- ・ 複数ページ指定をしてページ上でマウスを右クリックした場合、**[回転して OCR へわたす]** が表示されません。各ページの設定情報に従って処理されます。



- Word / Excel / PowerPoint 文書に変換できるページ (ScanSnap で読み取ったページ) には、以下の手順で ScanSnap のアイコンをページの下部に表示できます。
 - ページ上でマウスを右クリックし、[オフィス機能 (ScanSnap データ)] - [ScanSnap マークの表示] を選択し、チェックを付けます。
 - ScanSnap のアイコンがページの下部に表示されます。
- Microsoft Word、Microsoft Excel、または Microsoft PowerPoint がインストールされていない環境では、ファイルとして保存します。

Word 文書の場合は RTF 形式 (.rtf)、Excel 文書の場合は XLS 形式 (.xls)、PowerPoint 文書の場合は PPT 形式 (.ppt) で保存されます。ファイルの保存先を確認する画面が表示されますので、ファイルの保存先フォルダを指定してください。



ABBYY FineReader for ScanSnap の文字変換機能について

- ・ 文字変換機能には、以下のような特性があります。
変換処理を行う前に、対象となる原稿を確認してください。
 - Word 文書への変換に適している原稿
 - 段落が 1～2 段組のレイアウトが単純な文書
 - Excel 文書への変換に適している原稿
 - すべての罫線が表の外枠まで届いている単純な表
 - PowerPoint 文書への変換に適している原稿
 - 背景が白または薄い色の一色で、文字と単純な図表で構成された文書
 - × Word 文書への変換に適していない原稿
 - 図／表／文書が入り混じったカタログ、雑誌、新聞のような、レイアウトが複雑な原稿
 - × Excel 文書への変換に適していない原稿
 - 罫線で仕切られていない表／間仕切りが多い複雑な表／表の中に表があるような入り組んだ表／図／グラフ／写真／縦書きの文章を含む原稿
(図／グラフ／写真／縦書きの文章は再現されません。)
 - × PowerPoint 文書への変換に適していない原稿
 - 文字が図や絵と複雑に入り組んだ文書／文字の背景に写真や模様のある原稿／文字よりも背景の色が濃い原稿



- 変換結果において、以下の情報は原稿どおりに再現できない場合があります。Microsoft Word および Microsoft Excel を使用して、変換した結果をご確認して、必要な場合は編集するなどして、ご使用いただくことをお勧めします。
 - 文字のサイズおよびフォント
 - 文字間隔および行間隔
 - 下線付き文字、ボールド文字（太字）、イタリック文字
 - 上下添え字以下のような原稿（文字）は、正しく文字認識できない場合があります。このようなときは、カラー設定や解像度（画質）を上げることで認識できるようになる場合があります。
 - 手書き文字を含んだ原稿
 - 小さな文字（10 ポイント未満）の原稿
 - 傾いた原稿
 - 指定された言語以外で書かれた原稿
 - 文字の背景に不均一色の背景や模様がある原稿
（影付き、白抜きなどの装飾が施された文字、網掛け内の文字）
 - 複雑なレイアウトの原稿や、ノイズが多い原稿
（認識処理に非常に時間がかかる場合があります。）
- Microsoft Word、Microsoft Excel、または Microsoft PowerPoint での作業中に本機能を実行しないでください。また、本機能を実行中に Microsoft Word、Microsoft Excel、または Microsoft PowerPoint を操作しないでください。これらの作業を同時に行うと「呼び出し先が呼び出しを拒否しました」などのメッセージが表示され、変換結果が表示されない場合があります。
- Excel 文書に変換する場合は、認識結果が 65536 行を超えると、それ以降の結果は出力されません。

7.42 元のファイルを修正する

見開きモードでの操作

ファイル取り込み時に、元のファイル（電子データ）も一緒に取り込んだ場合、ビューア画面から、ファイルに関連付けされているアプリケーションを起動して、ファイルを修正できます。



- ・ ファイル取り込み時に元のファイル（電子データ）も一緒に取り込む場合、[動作環境の設定]ダイアログボックスの[入力設定]タブで「元ファイル（変換前の電子ファイル）を取り込む」をチェックしておく必要があります。詳細は、「7.53 動作環境を設定する」（291 ページ）を参照してください。
- ・ 画像形式のファイルは修正できません。
- ・ ファイルに関連付けされているアプリケーションでファイルを上書き保存すると、ビューア画面のページが更新されます。
- ・ ファイルの内容を修正して保存した場合、同じ電子データの原稿にある編集情報は消去されます。
- ・ 2 ページを 1 ページに割り付けしている場合、元のファイルを修正すると割り付けは解除されます。



1. ファイルを修正するページを表示します。



修正できるページには、関連付けされているアプリケーションのアイコンがページの下部に表示されています。



2. **元原稿修正** をクリックします。

または、ページ上のアプリケーションのアイコンをダブルクリックします。

または、ページ上でマウスを右クリックし、[ページ編集] – [電子データの編集] を選択します。

⇒ ファイルに関連付けされているアプリケーションが起動され、ファイルの先頭ページが表示されます。

3. ファイルの内容を修正して、上書き保存します。

⇒ 元のファイルが修正されます。

修正後、アプリケーションを閉じてください。

7.43 元のファイルを削除する

見開きモードでの操作

ファイル取り込み時に、元のファイル（電子データ）も一緒に取り込んだあとで、元のファイルが不要になった場合、ビューア画面からファイルを削除できます。



- ・ ファイル取り込み時に元のファイル（電子データ）も一緒に取り込む場合、[動作環境の設定]ダイアログボックスの[入力設定]タブで「元ファイル（変換前の電子ファイル）を取り込む」をチェックしておく必要があります。
詳細は、「7.53 動作環境を設定する」（291 ページ）を参照してください。
- ・ 電子データ付きの原稿を削除すると、取り込み時の[動作環境の設定]ダイアログボックスの設定によって、以下のようになります。
 - － [入力設定]タブの「元ファイル（変換前の電子ファイル）も取り込む」で「実ファイルを取り込む」にチェックを付けて取り込んだ場合は、同時に取り込んだ元ファイルも削除されます。
 - － [入力設定]タブの「元ファイル（変換前の電子ファイル）も取り込む」で「リンク情報を取り込む」にチェックを付けて取り込んだ場合は、リンク先の元のファイルは削除されません。



操作



1. ファイルを削除するページを表示します。
2. ページ上でマウスを右クリックし、[削除]－[電子データ]を選択します。
⇒ ファイルが削除されます。

7.44 名刺シート（名刺用の原稿）を作成する

見開きモードでの操作

名刺を配置するための白紙の原稿（名刺シート）を新規に作成します。

操作



1. 名刺シートを新規に作成したいページの上でマウスを右クリックします。
2. [挿入]－[名刺シート]を選択します。
⇒ 名刺シートが作成されます。

7.45 名刺を上下反転する

見開きモードでの操作

名刺を上下反転します。



1. 名刺の上でマウスを右クリックし、[上下反転]を選択します。



ヒント

- ・ 上下反転を元に戻すには、再度、名刺の上でマウスを右クリックし、[ページ編集]－[上下反転]を選択します。
- ・ 上下反転した場合、ビューア画面を終了するときに変更を保存すると、次回以降、上下反転された状態で名刺が表示されます。

7.46 名刺を移動（切り取り）する

見開きモードでの操作

名刺を切り取って、クリップボードに移動します。

操作



1. 名刺の上でマウスを右クリックし、[クリップボードへ移動] を選択します。

⇒ 名刺が切り取られ、クリップボードに移動します。



ヒント

- ・ すでに、クリップボードに移動した名刺がある場合は、クリップボードの名刺を上書きするかどうかのメッセージが表示されます。
- ・ クリップボードにコピーした名刺を、他の位置または名刺シートに貼り付けることができます。
- ・ 名刺を選択し、ドラッグ&ドロップして移動することもできます。名刺を選択し、名刺シートの外側にドラッグすると、別の名刺シートに移動できます。



7.47 名刺をコピーする

見開きモードでの操作

クリップボードに名刺をコピーします。



1. 名刺の上でマウスを右クリックし、[クリップボードへコピー]を選択します。

⇒ 選択した名刺がクリップボードにコピーされます。



- ・ すでに、クリップボードにコピーした名刺がある場合は、クリップボードの名刺を上書きするかどうかのメッセージが表示されます。
- ・ クリップボードにコピーした名刺シートを、他の位置または名刺シートに貼り付けることができます。

7.48 名刺を貼り付ける

見開きモードでの操作

クリップボードにコピーした名刺を、現在表示している名刺シートに貼り付けます。



1. 貼り付け先の名刺シートを表示します。
2. 名刺シートの上でマウスを右クリックし、[クリップボードより名刺貼り付け]を選択します。
⇒ クリップボードの名刺が貼り付けられます。

7.49 名刺を削除する

見開きモードでの操作

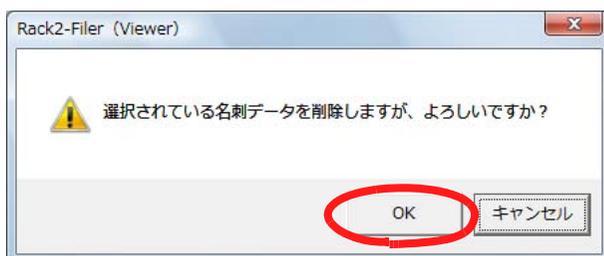
名刺を削除します。



1. 名刺の上でマウスを右クリックし、[削除]を選択します。

⇒ 選択されている名刺を削除してもよいか確認するメッセージが表示されます。

2. [OK] ボタンをクリックします。



⇒ 名刺が削除されます。

7.50 名刺を保存する

見開きモードでの操作

選択した名刺を PDF または TIFF にして、保存します。

保存した PDF ファイルは、Adobe Acrobat または Adobe Reader で表示できません。



まって!

編集情報は保存されません。



操作



1.名刺の上でマウスを右クリックし、[名前を付けて保存] を選択します。

⇒ [名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

2.ファイルの種類 (PDF または TIFF) を選択して、[保存] ボタンをクリックします。

7.51 名刺を印刷する

見開きモードでの操作

名刺を印刷します。



編集情報は印刷されません。



- 1.印刷する名刺を選択して  をクリックします。または、名刺の上でマウスを右クリックし、[印刷]を選択します。

⇒ [印刷] ダイアログボックスが表示されます。

- 2.使用するプリンタや印刷範囲を指定して、[OK] ボタンをクリックします。



印刷する名刺の解像度によっては、ビューア画面で表示されているサイズと異なって印刷される場合があります。



7.52 名刺をメール送信する

見開きモードでの操作

バインダ内の名刺を添付して、メール送信します。

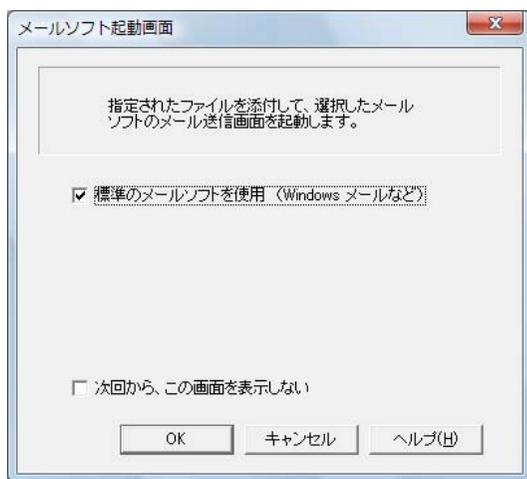


1. 名刺の上でマウスを右クリックし、[メール送信]を選択します。

⇒ メールソフト起動画面が表示されます。

2. 各項目を設定します。

各項目の詳細は、ダイアログボックスの[ヘルプ]ボタンをクリックして、『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。



3. [OK] ボタンをクリックします。

⇒ 手順「2.」で選択したメールソフトのメール送信画面が起動され、指定したページが添付ファイル（PDF ファイル）として、メールに添付されます。

7.53 動作環境を設定する

見開きモードでの操作

以下の設定ができます。

◇ 動作環境の設定

- ・ **Rack2-Fileer と PDF ファイルの関連付け**
PDF ファイルを Rack2-Fileer のビューア画面と関連付けするかどうかを設定します。
関連付けを行うと、PDF ファイルをダブルクリックするだけでビューア画面が起動され、内容を表示できるようになります。
- ・ **ビューア画面の表示モード**
以下の設定ができます。
 - － ビューア画面に、操作ボタン（左側と下部のボタン）を表示させるかどうか
 - － バインダ中央の金具（2 個）を表示させるかどうか
- ・ **ページをメール送信するときに、メールソフト起動画面を表示するかどうかの設定**
ページをメール送信するときに、メールソフトを選択する画面を表示するかどうかを設定します。
- ・ **空き原稿数が XX（0 ～ 500）枚以下のバインダ起動時にメッセージを表示するかどうかの設定**
バインダを開くとき（閲覧モードは除く）に、空き原稿枚数を表示するかどうか、また、空き原稿枚数が何枚以下になったら表示するかを指定します。

◇ めくり設定

- ・ **ページをめくるときの動作**
ページをめくるときのアニメーションを有効にするかどうかを設定します。

- ・ **ページをめくるときの速さ**
ページをめくるときの速さを設定します。
- ・ **連続して自動でページをめくるときの間隔**
連続して自動でページをめくるときの、ページをめくる間隔を設定します。

◇ 入力設定

- ・ **ファイル取り込み時の動作**
以下を設定します。
 - － イメージ変換してファイルを取り込むときの色数と解像度
 - － ファイル取り込み時に元のファイル（電子データ）も一緒に取り込まれるようにするかどうか
- ・ **A3、B4 サイズのファイルを2分割するかどうかの設定**
A3 または B4 サイズのファイルを、2分割して取り込むかどうかを設定します。また、2分割して取り込む際に、原稿の向きを補正するかどうかも設定できます。
アプリケーションによっては、A3 または B4 サイズのファイルを取り込むと、上下反転して取り込まれることがあるため、取り込み時に原稿の向きを補正することをお勧めします。
- ・ **ファイル取り込み時に、自動的にインデックスシートを挿入するかどうかの設定**
ファイル取り込み時に、取り込んだデータの先頭にインデックスシートを自動で挿入するかどうかを設定します。
- ・ **スキャナ読み取り時に、自動的にインデックスシートを挿入するかどうかの設定**
スキャナ読み取り時に、取り込んだデータの先頭にインデックスシートを自動で挿入するかどうかを設定します。
- ・ **スキャナ読み取り後に、最後のページを開くかどうかの設定**
原稿を読み込んだあと、取り込んだ原稿の最後のページを表示するのか、最初のページを表示するのかを設定します。
1度に読み込めない原稿がある場合、最後のページを表示するように設定することをお勧めします。

- ・ **テキスト抽出する前に、原稿の向きを自動的に補正するかどうかの設定**

テキスト抽出する前に、自動的に原稿の向きを補正するかどうかを設定します。

- ・ **横長データの取り込み時に、90度回転するかどうかの設定**

横長のイメージデータが入力された場合に、回転して取り込むか、横長のまま取り込むか設定します。

ページが横長か縦長かは、ページの内容ではなく縦横比で判断されません。

そのため、ScanSnap で「原稿の向きを自動的に補正します」を有効にして読み取った場合、予期しない結果になる場合があります。



取り込み後に、ページを90度回転することができます。
ページの90度回転については、「7.7 ページを90度回転する」(176 ページ)を参照してください。



- ・ **パスワード付きのPDFファイルや印刷制限付きのPDFファイルを取り込む場合、ページ内容を表示するかどうかの設定**

パスワード付きのPDFファイルや印刷制限付きのPDFファイルを取り込む場合に、PDFファイルの内容をビューア画面に表示するか、元のファイル（電子データ）を取り込んでPDFファイルの内容をビューア画面に表示しないかどうかを設定します。

なお、パスワード付きPDFファイルを取り込む場合、あらかじめ Adobe Acrobat または Adobe Reader がインストールされている必要があります。また、印刷制限付きのPDFファイルは取り込むことはできません。PDFファイルを取り込む場合は Adobe Acrobat で印刷制限をはずして取り込んでください。

◇ スキャナ設定

TWAIN 対応スキャナ設定

この設定は業務用 イメージ スキャナ fi シリーズ使用時に有効です。
ScanSnap には対応しません。

- ・ **スキャナ読み取り時に、ドライバ画面を表示するかどうかの設定**
スキャナ読み取り時に、スキャナドライバ画面（TWAIN ドライバの画面）を表示させるかどうかを設定します。また、使用するスキャナ
の選択もできます。
- ・ **スキャナ読み取り時に、読み取った画像が白紙の場合、自動的に削除するかどうかの設定**
スキャナ読み取り時に、読み取った画像が白紙の場合、そのページを
削除するかどうかを設定します。
- ・ **スキャナ読み取り時に、読み取った画像の傾きを自動的に補正するかどうかの設定**
スキャナ読み取り時に、読み取った画像の画像内容からデータ内容の
傾きを判定し、補正するかどうかを設定します。
名刺バイндаでは無効となります。
- ・ **スキャナ読み取り時に、自動的に天地を補正するかどうかの設定**
スキャナ読み取り時に、読み取った画像の画像内容から天地が逆さま
と判断した場合、180 度回転して取り込むかどうかを設定します。

ScanSnap 設定

この設定は ScanSnap 使用時に有効です。

- ・ **ScanSnap の設定**

ScanSnap Manager 設定画面を表示して、ScanSnap の読み取り動作
を設定します。

◇ 名刺バイнда

- ・ **名刺読み取りの設定**
フラットベッドスキャナを使用して名刺データを取り込む場合の、読
み取り方法（名刺の置き方）を設定します。
名刺バイндаを開いた場合に設定できます。

・ 名刺取り込み方法の設定

名刺データを取り込む場合の取り込み方法（1 ページあたりの名刺の枚数）を設定します。

名刺バイндаを開いた場合に設定できます。

◇ WorkArea

・ WorkArea のデータの格納先

WorkArea のデータの格納先を設定します。



- ・ WorkArea のデータ格納先には、ネットワーク先およびリムーバブルディスクを指定しないでください。
- ・ リンクフォルダと WorkArea のデータ格納先には同じフォルダを指定しないでください。また、リンクフォルダまたは WorkArea のデータ格納先のどちらかが親フォルダとなる指定もしないでください。

例：

- ー リンクフォルダが「C: ¥ Temp1」で、WorkArea のデータ格納先が「C: ¥ Temp1 ¥ WorkArea」
 - ー リンクフォルダが「C: ¥ Temp1 ¥ DocumentRoot」で、WorkArea のデータ格納先が「C: ¥ Temp1」
- リンクフォルダの変更方法については、「6.31 環境を設定する」（152 ページ）を参照してください。



WorkArea のデータ格納先に空のフォルダを指定すると、変更前まで使用していたデータをコピーして使用することができます。なお、コピーするかどうかは確認メッセージで選択できます。





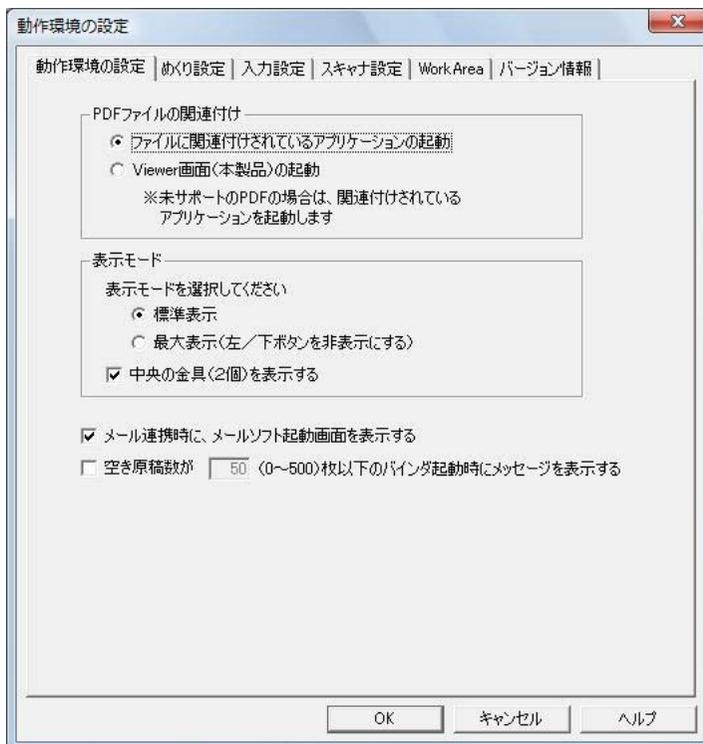
ヒント

- ・ 詳細は、**ヘルプ** をクリックして『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。
- ・ [動作環境の設定] ダイアログボックスの各タブの [ヘルプ] ボタンをクリックすると、各項目の詳細を参照できます。

操作



1. **設定** をクリックします。
または、マウスを右クリックし、[環境設定] を選択します。
⇒ [動作環境の設定] ダイアログボックスが表示されます。
2. 各タブをクリックし、各項目を設定します。



- ・ 以下を設定する場合、[動作環境の設定]タブをクリックします。
 - － Rack2-Filer と PDF ファイルの関連付け
 - － ビューア画面の表示モード
 - － ページをメール送信するときに、メールソフト起動画面を表示するかどうか
 - － 空き原稿数が XX (0 ~ 500) 枚以下のバインダ起動時にメッセージを表示するかどうか
- ・ 以下を設定する場合、[めくり設定]タブをクリックします。
 - － ページをめくるときのアニメーションを有効にするか
 - － ページをめくるときの速さ
 - － 連続して自動でページをめくるときの間隔
- ・ 以下を設定する場合、[入力設定]タブをクリックします。
 - － イメージ変換してファイルを取り込むときの色数と解像度
 - － ファイル取り込み時に元のファイル(電子データ)も一緒に取り込まれるようにするかどうか
 - － A3 または B4 サイズのデータを 2 分割するかどうか
 - － A3 または B4 サイズのデータを 2 分割する際に原稿の向きを補正するかどうか
 - － ファイル取り込み時に、自動的にインデックスシートを挿入するかどうか
 - － スキャナ読み取り時に、自動的にインデックスシートを挿入するかどうか
 - － スキャナ読み取り後に、最後のページを開くかどうか
 - － スキャナ読み取り時、および画像ファイル取り込み時に PDF ファイルを電子データとして取り込むかどうか
 - － スキャナ読み取り時、およびファイル取り込み時に、自動的にテキスト抽出するかどうか
 - － テキスト抽出する前に、原稿の向きを自動的に補正するかどうか
 - － 横長データの取り込み時に、90 度回転するかどうか
 - － パスワード付きの PDF ファイルや印刷制限付きの PDF ファイルを取り込む場合、ページ内容を表示するかどうか

-
- ・ 以下を設定する場合、[スキャナ設定]タブをクリックします。
 - － スキャナ読み取り時に使用するスキャナ
 - － スキャナ読み取り時にスキャナドライバ画面を表示するかどうか
 - － スキャナ読み取り時に、読み取った画像が白紙の場合、自動的に削除するかどうか
 - － スキャナ読み取り時に、読み取った画像の傾きを自動的に補正するかどうか
 - － スキャナ読み取り時に自動的に天地を補正するかどうか
 - － ScanSnap Manager 設定画面の表示
 - ・ 以下を設定する場合、[名刺バイнда]タブをクリックします。
 - － フラットベッドスキャナを使用して名刺データを取り込む場合の読み取り方法（名刺の置き方）を、1枚置きにするかフリーにするか
 - － 1ページに取り込む名刺データの枚数を、4枚にするか8枚にするか
 - ・ WorkArea のデータ格納先を設定する場合、[WorkArea]タブをクリックします。
 - ・ Rack2-Viewer のバージョン情報を参照する場合、[バージョン情報]タブをクリックします。

3.[OK] ボタンをクリックします。

⇒ [動作環境の設定]ダイアログボックスが閉じ、動作環境が設定されます。



名刺バイндаの、フラットベッドでの読み取り方法をフリーにした場合、名刺の種類（色、柄など）によっては、名刺を正しく抽出できない場合があります。

第 8 章

クラウド／モバイルに送る

この章では、Rack2-Filer のデータを PDF ファイルとしてクラウド・ストレージやモバイル機器に送る機能について説明します。

本書では、「Evernote」、「Google ドキュメント」、「Salesforce Chatter」、「SugarSync」のことをまとめて「クラウド」と表記しています。

本書では、iPad/iPhone/iPod touch などの機器を「モバイル」または「モバイル機器」と表記しています。

クラウドに送る場合の対象サービスは、以下のとおりです。

- ・ Evernote
- ・ Google ドキュメント
- ・ Salesforce Chatter
- ・ SugarSync



- ・ 本機能を使用するために必要なソフトウェアについては、「**■クラウド／モバイルを利用するために必要なソフトウェア**」(44 ページ)を参照してください。
- ・ Evernote およびモバイルに送るためには、事前設定が必要です。事前設定の詳細については「**■Evernote に送る**」(305 ページ) および「**■事前設定**」(320 ページ)を参照してください。



ダイアログボックスの各項目の詳細は、[ヘルプ] ボタンをクリックして表示されるヘルプを参照してください。



8.1 送るデータを選択する

Rack2-Filer のデータをクラウド／モバイルに送るには、以下の 3 つの方法があります。

- ① バインダを選択して送る
- ② ページを送る
- ③ サムネイルを送る

■ バインダを選択して送る

バインダ管理画面で選択しているバインダ内のすべてのページを PDF ファイルとして送ります。

操作



1. バインダ管理画面でクラウド／モバイルに送るバインダを選択します。

2.  **バインダ操作** をクリック、またはバインダの背表紙上でマウスを右クリックし、以下のメニューを選択します。

- ・ Evernote に送る場合
[送る] - [Evernote]
- ・ Google ドキュメントに送る場合
[送る] - [Google ドキュメント (TM)]
- ・ Salesforce Chatter に送る場合
[送る] - [Salesforce Chatter]
- ・ SugarSync に送る場合
[送る] - [SugarSync]
- ・ モバイルに送る場合
[送る] - [iPad/iPhone/iPod touch]

3. 選択した送り先に関するダイアログボックスが表示されます。

以降の操作については、「8.2 クラウドに送る」(305 ページ) および「8.3 モバイルに送る」(319 ページ) の各操作を参照してください。

■ ページを送る

ビューア画面で表示しているページを PDF ファイルとして送ります。



1. ビューア画面でクラウド／モバイルに送るページを表示します。

2. ページ上でマウスを右クリックし、以下のメニューを選択します。

- ・ Evernote に送る場合
[送る] – [Evernote]
- ・ Google ドキュメントに送る場合
[送る] – [Google ドキュメント (TM)]
- ・ Salesforce Chatter に送る場合
[送る] – [Salesforce Chatter]
- ・ SugarSync に送る場合
[送る] – [SugarSync]
- ・ モバイルに送る場合
[送る] – [iPad/iPhone/iPod touch]

3. 選択した送り先に関するダイアログボックスが表示されます。

以降の操作については、「8.2 クラウドに送る」(305 ページ) および「8.3 モバイルに送る」(319 ページ) の各操作を参照してください。

■ サムネイルを送る

WorkArea で選択しているサムネイルを PDF ファイルとして送ります。

操作



1. WorkArea でクラウド／モバイルに送るサムネイルを選択します。

サムネイルは、キーボードの Shift キーや Ctrl キーを押しながら複数選択できます。



複数のサムネイルを選択した場合は、サムネイルごとに PDF ファイルが作成されます。



2. をクリック、またはサムネイル上でマウスを右クリックし、以下のメニューを選択します。

- ・ Evernote に送る場合
[送る] – [Evernote]
- ・ Google ドキュメントに送る場合
[送る] – [Google ドキュメント (TM)]
- ・ Salesforce Chatter に送る場合
[送る] – [Salesforce Chatter]
- ・ SugarSync に送る場合
[送る] – [SugarSync]
- ・ モバイルに送る場合
[送る] – [iPad/iPhone/iPod touch]

3. 選択した送り先に関するダイアログボックスが表示されます。

以降の操作については、「8.2 クラウドに送る」(305 ページ) および「8.3 モバイルに送る」(319 ページ) の各操作を参照してください。

8.2 クラウドに送る

選択したデータを送る手順について、送り先のサービス・製品ごとに説明します。

■ Evernote に送る

Windows XP 以降で、かつ Evernote for Windows 3.5 以降をインストールして Evernote と連携した場合、選択したデータを PDF ファイルとして Evernote に送ることができます。



本機能を利用する場合、事前に Evernote for Windows のサインイン画面で、サインインしておく必要があります。サインインしていない場合は、手順「2.」でサインイン画面が表示されます。

以下のいずれかの方法で送るデータを選択します。

- ① バインダを選択して送る
- ② ページを送る
- ③ サムネイルを送る

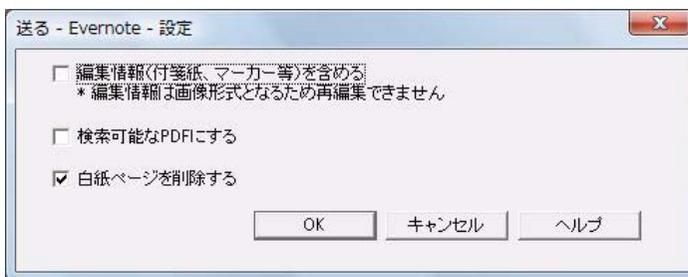
それぞれの方法については「8.1 送るデータを選択する」（302 ページ）を参照してください。

操作

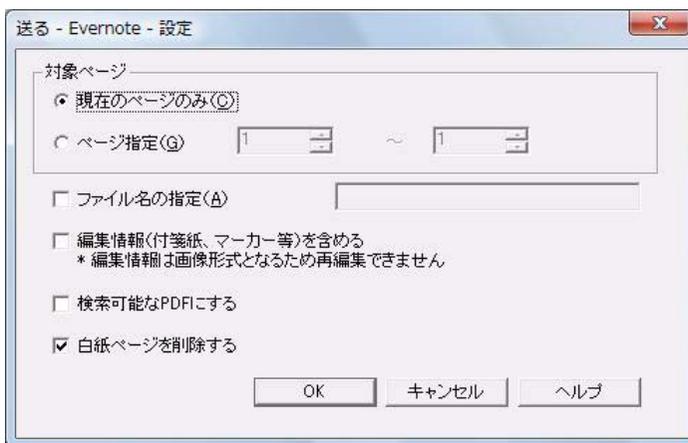


1. [送る - Evernote - 設定] ダイアログボックスの各項目を設定します。

①または③の方法でデータを選択した場合、以下の画面が表示されます。



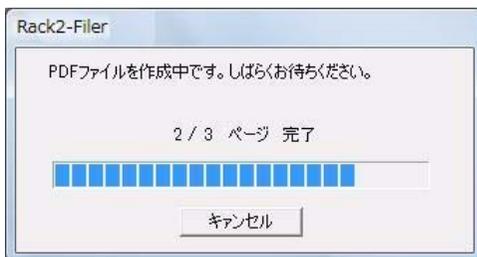
②の方法でデータを選択した場合、以下の画面が表示されます。



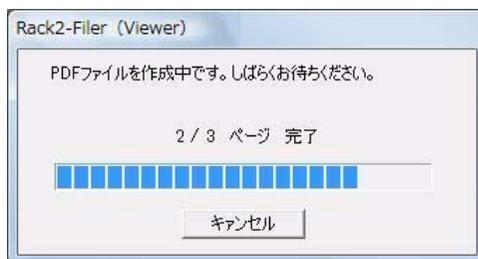
2.[OK] ボタンをクリックします。

⇒ PDF ファイルの作成が開始されます。

①の方法でデータを選択した場合、以下の画面が表示されます。



②の方法でデータを選択した場合、以下の画面が表示されます。



③の方法でデータを選択した場合、以下の画面が表示されます。



⇒ PDF ファイルの作成が完了すると、Evernote for Windows が起動し、ファイルが送られます。



同期（アップロード）は Evernote for Windows の設定に従って行われます。

■ Google ドキュメントに送る

.NET Framework 3.0 がインストールされている場合、選択したデータを PDF ファイルとして Google ドキュメントに送ることができます。

Google ドキュメントの詳細は、Google ドキュメントの Web サイトを参照してください。



本機能は、インターネット接続時に認証が必要なプロキシ環境下では使用できません。

以下のいずれかの方法で送るデータを選択します。

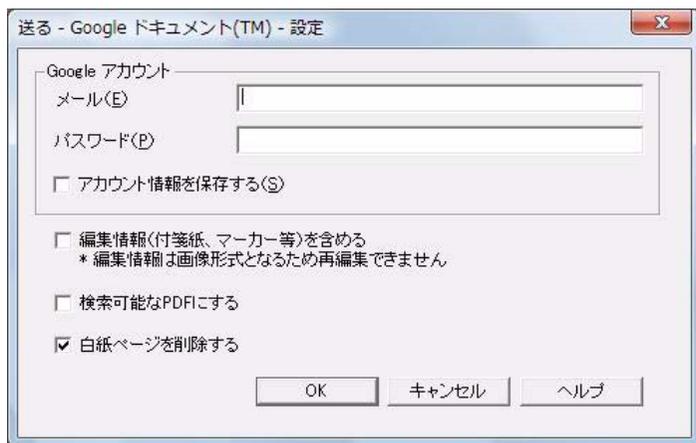
- ① バインダを選択して送る
- ② ページを送る
- ③ サムネイルを送る

それぞれの方法については「8.1 送るデータを選択する」（302 ページ）を参照してください。

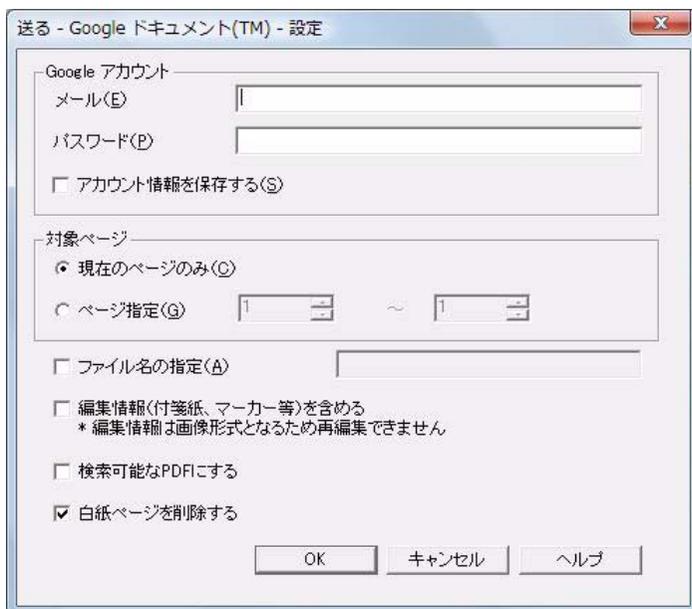


1. [送る - Google ドキュメント (TM) - 設定] ダイアログボックスの各項目を設定します。

- ① または③の方法でデータを選択した場合、以下の画面が表示されます。



②の方法でデータを選択した場合、以下の画面が表示されます。



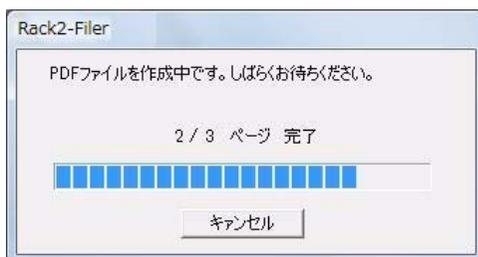
コンピュータを共用している場合、「アカウント情報を保存する」チェックボックスにチェックすると、次回、Google ドキュメントに送るときに、アカウント情報が入力された状態で表示されるため、第三者が Google ドキュメントにログインできるようになります。

そのため、この画面で「アカウント情報を保存する」チェックボックスにチェックしない運用をお勧めします。

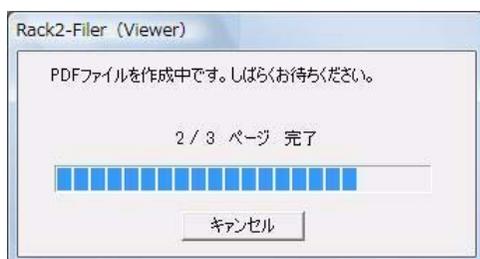
2.[OK] ボタンをクリックします。

⇒ PDF ファイルの作成が開始されます。

①の方法でデータを選択した場合、以下の画面が表示されます。



②の方法でデータを選択した場合、以下の画面が表示されます。



③の方法でデータを選択した場合、以下の画面が表示されます。



⇒ PDF ファイルの作成が完了すると、送信が開始され、以下の画面が表示されます。



⇒ ファイルの送信が完了すると、以下の画面が表示されます。





送った PDF ファイルを確認する場合は、Web ブラウザを起動し Google ドキュメントにログインして確認してください。

■ Salesforce Chatter に送る

.NET Framework 3.0 がインストールされている場合、選択したデータを PDF ファイルとして Salesforce Chatter に送ることができます。



本機能は、インターネット接続時に認証が必要なプロキシ環境下では使用できません。

以下のいずれかの方法で送るデータを選択します。

- ① バインダを選択して送る
- ② ページを送る
- ③ サムネイルを送る

それぞれの方法については「8.1 送るデータを選択する」(302 ページ) を参照してください。

操作



1. [送る - Salesforce Chatter - 設定] ダイアログボックスの各項目を設定します。

①または③の方法でデータを選択した場合、以下の画面が表示されます。

送る - Salesforce Chatter - 設定

アカウント

ユーザ名(U)

パスワード(P)

セキュリティトークン(T)

アカウント情報を保存する(S)

編集情報(付箋紙、マーカー等)を含める
* 編集情報は画像形式となるため再編集できません

白紙ページを削除する

OK キャンセル ヘルプ

②の方法でデータを選択した場合、以下の画面が表示されます。

送る - Salesforce Chatter - 設定

アカウント

ユーザ名(U)

パスワード(P)

セキュリティトークン(T)

アカウント情報を保存する(S)

対象ページ

現在のページのみ(Q)

ページ指定(G) ~

ファイル名の指定(A)

編集情報(付箋紙、マーカー等)を含める
* 編集情報は画像形式となるため再編集できません

白紙ページを削除する

OK キャンセル ヘルプ



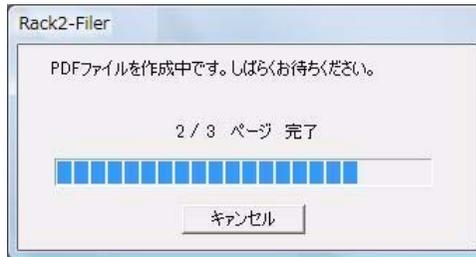
コンピュータを共用している場合、「アカウント情報を保存する」チェックボックスにチェックすると、第三者が Salesforce Chatter にログインできるようになります。そのため、この画面で「アカウント情報を保存する」チェックボックスにチェックしない運用をお勧めします。



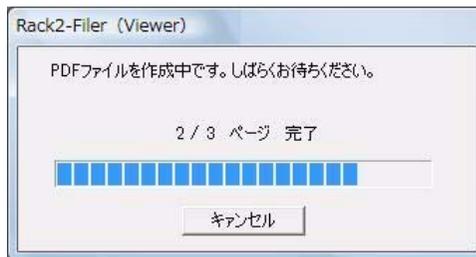
2.[OK] ボタンをクリックします。

⇒ PDF ファイルの作成が開始されます。

①の方法でデータを選択した場合、以下の画面が表示されます。



②の方法でデータを選択した場合、以下の画面が表示されます。

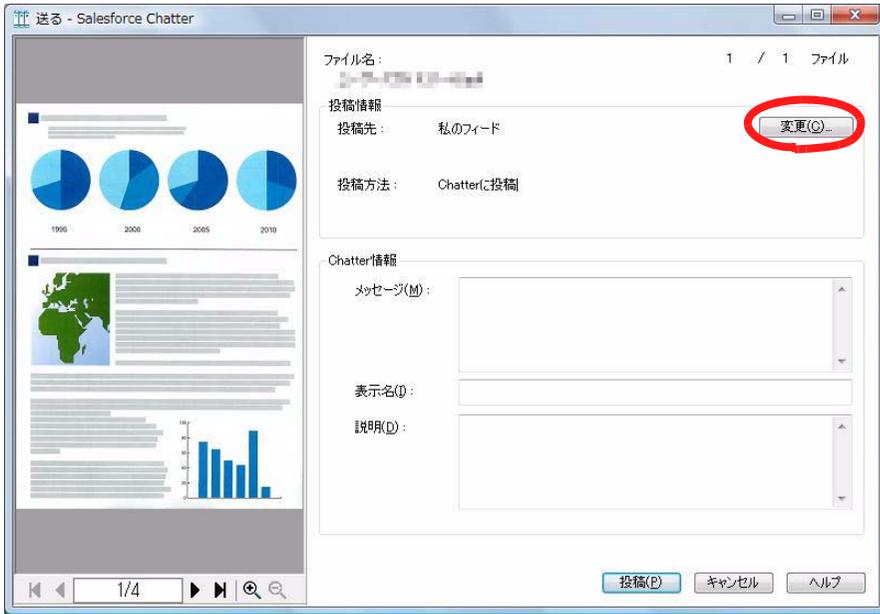


③の方法でデータを選択した場合、以下の画面が表示されます。



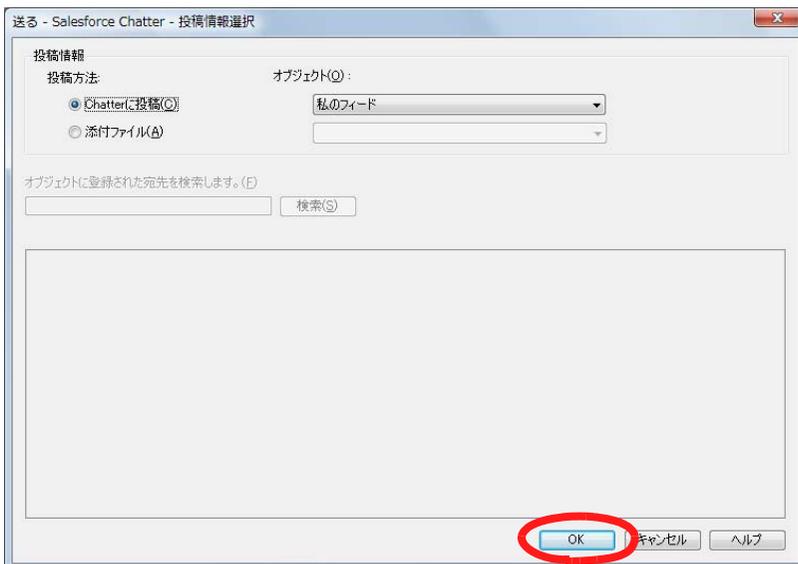
⇒ PDF ファイルの作成が完了すると、[送る - Salesforce Chatter] ダイアログボックスが表示されます。

3. [変更] ボタンをクリックします。



⇒ [送る - Salesforce Chatter - 投稿情報選択] ダイアログボックスが表示されます。

4. 投稿先、投稿方法を設定し、[OK] ボタンをクリックします。



⇒ [送る - Salesforce Chatter] ダイアログボックスに戻ります。

5. [投稿] ボタンをクリックします。

⇒ 投稿が開始され、以下の画面が表示されます。



⇒ 投稿が完了すると、以下の画面が表示されます。



送った PDF ファイルを確認する場合は、Web ブラウザを起動し Salesforce にログインして確認するか、専用のアプリケーションなどで確認してください。

■ SugarSync に送る

SugarSync Manager for Windows がインストールされている場合、選択したデータを PDF ファイルとして SugarSync に送ることができます。

以下のいずれかの方法で送るデータを選択します。

- ①バインダを選択して送る
- ②ページを送る
- ③サムネイルを送る

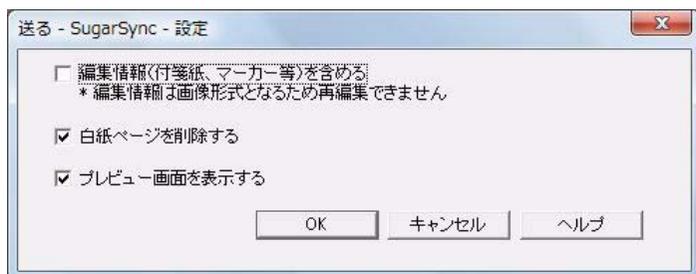
それぞれの方法については「8.1 送るデータを選択する」(302 ページ)を参照してください。

操作

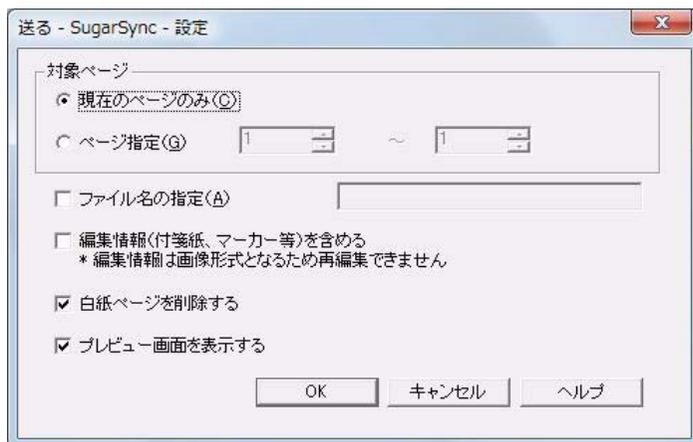


1. [送る - SugarSync - 設定] ダイアログボックスの各項目を設定します。

①または③の方法でデータを選択した場合、以下の画面が表示されます。



②の方法でデータを選択した場合、以下の画面が表示されます。



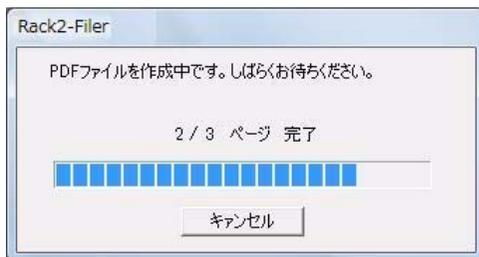


この画面で「プレビュー画面を表示する」のチェックをはずした場合、[送る - SugarSync] ダイアログボックスが表示されずに、SugarSync にファイルが送られます。

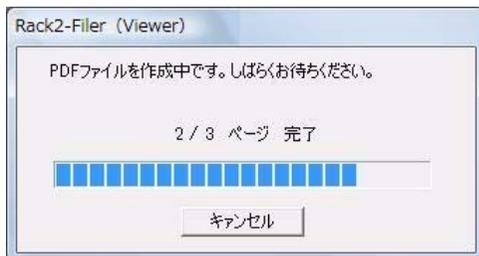
2. [OK] ボタンをクリックします。

⇒ PDF ファイルの作成が開始されます。

①の方法でデータを選択した場合、以下の画面が表示されます。



②の方法でデータを選択した場合、以下の画面が表示されます。



③の方法でデータを選択した場合、以下の画面が表示されます。



⇒ PDF ファイルの作成が完了すると、[送る - SugarSync] ダイアログボックスが表示されます。

3. ファイル名および保存先フォルダを確認し、[保存] ボタンをクリックします。



初期値では、以下の SugarSync の同期フォルダが、フォルダの保存先として設定されています。次回起動時からは、前回のファイルの保存先が表示されます。

- ・ Windows 7 / Windows Vista の場合
ドライブ名 (C など) : ¥ Users ¥ (ユーザー名)
¥ Documents ¥ (マジックブリーフケース) ¥ Rack2
- ・ Windows XP の場合
ドライブ名 (C など) : ¥ Documents and Settings ¥ (ユーザー名) ¥ My Documents ¥ (マジックブリーフケース)
¥ Rack2

⇒ 処理が完了すると以下の画面が表示され、SugarSync にファイルが送られます。



8.3 モバイルに送る

.NET Framework 3.0 がインストールされている場合、選択したデータを PDF ファイルとしてタブレット型端末やスマートフォンなどのモバイル機器に送ることができます。

本機能を使用するには、接続するモバイル機器に「ScanSnap Connect Application」がインストールされている必要があります。また、データの送受信には無線 LAN 環境を使用します。各モバイル機器用の「ScanSnap Connect Application」は、アプリケーションマーケット（App Store など）からダウンロードしてください。

モバイル機器用の「ScanSnap Connect Application」が動作するオペレーティングシステムは、iOS 4.2.1 以降です。モバイル機器側の機能および使用方法についての詳細は、「ScanSnap Connect Application ユーザーズガイド」を参照してください。

ここでは、モバイルに送る場合に必要な事前設定、および送る操作について説明します。



- ・ Rack2-Fileer と ScanSnap Manager / ScanSnap Organizer を同じコンピュータにインストールすると、Rack2-Fileer は ScanSnap の「モバイルに保存」と連携してモバイル機器と通信します。ScanSnap の「モバイルに保存」の設定方法は、ScanSnap のマニュアルまたはヘルプを参照してください。
- ・ Rack2-Fileer と ScanSnap Manager / ScanSnap Organizer を同じコンピュータにインストールして、モバイルに送る場合は、「■ Rack2-Fileer と ScanSnap がインストールされているコンピュータでモバイルに送る場合の留意事項」（334 ページ）を参照してください。

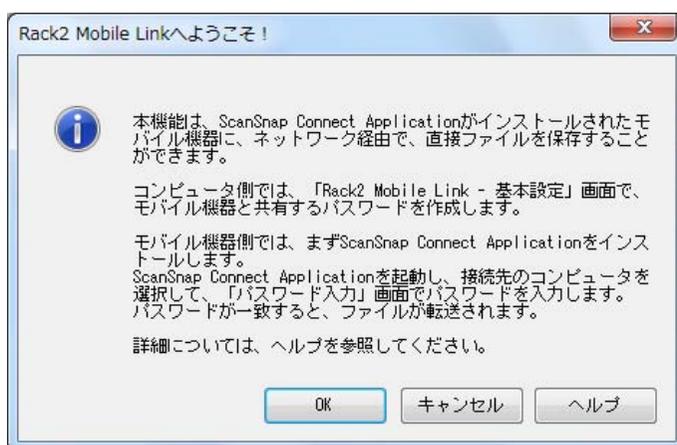
■ 事前設定

モバイルに送る場合に必要な事前設定について説明します。



1. Windows のスタートメニューから [すべてのプログラム] - [Rack2-File] - [Rack2 Mobile Link] を選択します。

⇒ [Rack2 Mobile Link へようこそ！] の画面が表示されます。



2. 画面の内容を確認して、[OK] ボタンをクリックします。

⇒ [Rack2 Mobile Link - 基本設定] ダイアログボックスが表示されます。





- ・ この画面で「コンピュータへのログオン時に「Rack2 Mobile Link」を起動する」チェックボックスにチェックすると、次の起動時から Rack2 Mobile Link が自動的に起動します。
- ・ Rack2 Mobile Link の初回起動時にこの画面で設定を行うと、次回以降、モバイルに送るときにこの画面が表示されなくなります。この画面を再び表示する場合は、タスクバーの Rack2 Mobile Link のアイコンを右クリックし、[設定] を選択してください。



- ・ 指定したポート番号がすでに使用されている場合以外は、変更する必要はありません。
- ・ コンピュータ側のパスワードを変更した場合、同じパスワードをモバイル機器から入力する必要があります。
- ・ コンピュータを共用している場合、第三者のモバイル機器からコンピュータに接続される場合があります（モバイル機器がパスワードを保持しているため、コンピュータ側のパスワードを変更しない間は、接続したことのある第三者のモバイル機器から接続できます）。
そのため、以下のどちらかの運用をお勧めします。
 - 送信ごとにパスワードを変更してから送信する。
 - 「送信」ボタンを押すまで、送信を待ち合わせる」にチェックして、接続されているモバイル機器を確認してから送信する。

3. モバイル機器と連携するためのパスワードおよびその他の項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

⇒ Rack2 Mobile Link が起動し、タスクバーにアイコン () が表示されます。この操作は、一度行えば、次回以降は不要です。



Rack2 Mobile Link の初回起動時は、ファイアウォールのブロックの警告が表示されることがあります。警告が表示された場合は、内容を確認し「アクセスを許可する」や「承諾する」などを選択してください。対処方法の詳細については、「**■**トラブルが発生した場合の対処方法」(329 ページ) を参照してください。



■ Rack2 Mobile Link のアイコンと右クリックメニュー

◇ Rack2 Mobile Link のアイコン

Rack2 Mobile Link が起動されている場合は、タスクバーに Rack2 Mobile Link のアイコンが表示されています。

アイコンは、コンピュータとモバイル機器との通信状態を示しています。以下に、通信状態のアイコンの一覧を示します。

通信状態	アイコン
受付待ち	
待機中	
送信中	
送信中エラー	
受付不可	



- ・ オペレーティングシステムが Windows 7 の場合、タスクバーの  をクリックすると、Rack2 Mobile Link のアイコンが表示されます。
タスクバーに Rack2 Mobile Link のアイコンを常に表示させるには、Rack2 Mobile Link のアイコンをタスクバーにドラッグ&ドロップしてください。
- ・ コンピュータとモバイル機器の接続が変更されたとき、ポップアップバルーンで通知されます。

◇ 右クリックメニュー

Rack2 Mobile Link のアイコンを右クリックすると、右クリックメニューを表示できます。



各メニューの説明は、以下のとおりです。

項目	機能
開く	[Rack2 Mobile Link] ダイアログボックスが表示されます。 アイコンが「受付不可」の状態の場合、この項目は選択できません。
設定	[Rack2 Mobile Link - 基本設定] ダイアログボックスが表示されます。 Rack2 Mobile Link の各種設定およびモバイル機器に接続するための基本情報を設定します。 アイコンが「待機中」、「送信中」、および「送信中エラー」の場合、この項目は選択できません。

項目	機能
更新	<p>ネットワークのポートのオープンに失敗して Rack2 Mobile Link のアイコンが「受付不可」の状態になっている場合、ポートのオープンを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポートのオープンに成功した場合 アイコンが「受付待ち」に変更されます。 ・ ポートのオープンに失敗した場合 アイコンは「受付不可」のままです。「受付待ち」に変更されない場合は、ネットワークの状態を確認してください。 <p>この項目を選択できるのは、アイコンが「受付不可」の状態、かつ [Rack2 Mobile Link - 基本設定] ダイアログボックスが表示されていない場合だけです。それ以外の場合は、この項目を選択できません。「受付不可」の状態のアイコンをダブルクリックした場合も、更新されます。</p>
ヘルプ	『ビューア画面のヘルプ』が表示されます。
Rack2 Mobile Link について	<p>[Rack2 Mobile Link- バージョン情報] の画面が表示されます。</p>  <p>Rack2 Mobile Link のバージョンを参照できます。</p>
終了	<p>コンピュータとモバイル機器との接続を終了します。Rack2 Mobile Link を終了すると、タスクバーのアイコンも削除されます。アイコンが「待機中」、「送信中」、および「送信中エラー」の場合、この項目は選択できません。</p>

■ モバイルに送る



1. Rack2 Mobile Link が起動していることを確認して、モバイル機器上で「ScanSnap Connect Application」を起動します。

⇒ 接続先が検出されると、モバイル機器上にパスワードを入力する画面が表示されます。



「■事前設定」(320 ページ) の手順「3.」で [Rack2 Mobile Link - 基本設定] ダイアログボックスの「ポート番号」を変更した場合は、モバイル機器と接続できません。モバイル機器上で「ScanSnap Connect Application」を起動する前に、モバイル機器側のポート番号を確認してください。確認方法は、「ScanSnap Connect Application ユーザーズガイド」を参照してください。



2. 「■事前設定」(320 ページ) の手順「3.」で指定したパスワードを入力します。

⇒ コンピュータ上のタスクバーアイコンが以下のように変更されます。



3. Rack2-Filer を起動し、送るデータを選択します。

選択方法については「8.1 送るデータを選択する」(302 ページ) を参照してください。

⇒ [送る - iPad/iPhone/iPod touch - 設定] ダイアログボックスが表示されます。

4. [送る - iPad/iPhone/iPod touch - 設定] ダイアログボックスの各項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

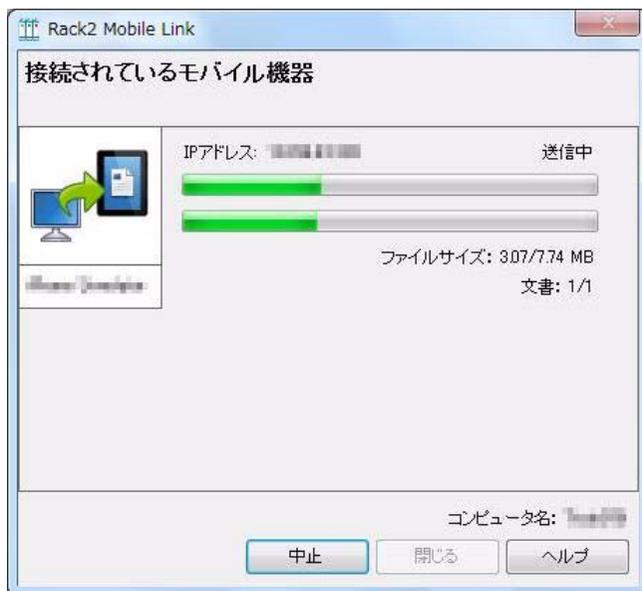
「8.1 送るデータを選択する」(302 ページ) の①または③の方法でデータを選択した場合、以下の画面が表示されます。



「8.1 送るデータを選択する」(302 ページ) の②の方法でデータを選択した場合、以下の画面が表示されます。



⇒ PDF ファイルの作成が完了すると、[Rack2 Mobile Link] ダイアログボックスが表示され、ファイルの送信が開始されます。



[Rack2 Mobile Link - 基本設定] ダイアログボックスの「送信」ボタンを押すまで、送信を待ち合わせる」チェックボックスにチェックした場合、[Rack2 Mobile Link] ダイアログボックスの [送信] ボタンをクリックすると、ファイルの送信が開始されます。



⇒ 送信が完了すると、画面の表示が以下ようになります。



- ・ 通信の切断による送信エラーの場合、モバイル機器から再接続すると、自動的に未送信のファイルが送信されます。
- ・ 送信エラーの場合、「送信失敗あり（エラーファイル一覧）」をクリックすると、[Rack2 Mobile Link - エラーファイル一覧] ダイアログボックスが表示されます。送信に失敗したモバイル機器とファイル名を確認できます。



- ・ [送信] ボタンが表示されていない場合、送信可能な PDF ファイルは、コンピュータに接続されているモバイル機器へ自動的に送信されます。
- ・ ファイルが送信前／送信中の場合、および送信に失敗したファイルがある場合、[閉じる] ボタンは選択できません。[中止] ボタンをクリックすると、モバイル機器への送信が中止され、[閉じる] ボタンが有効となります。

■ トラブルが発生した場合の対処方法

◇ モバイル機器と接続できない場合

以下を確認してください。

- ・ 基本環境（ネットワーク環境など）
- ・ モバイル連携環境
- ・ モバイル連携アプリケーションの状態

- ・ **基本環境（ネットワーク環境など）の確認方法**

無線 LAN 環境に接続されているかどうか

- ⇒
- ・ 複数の無線ルータがある場合、コンピュータとモバイル機器が接続する無線ルータが一致しているか確認してください。
 - ・ 無線 LAN 環境の設定を確認し、モバイル機器が接続されているネットワーク内の無線 LAN 環境に接続してください。

セキュリティソフトで、「Rack2 Mobile Link」のネットワーク接続がブロックされていないかどうか

- ⇒
- セキュリティソフトのファイアウォールの設定を確認してください。設定方法（例外登録など）の詳細については、使用しているセキュリティソフトのマニュアルまたはヘルプを参照してください。

Windows のファイアウォールの設定で、「Rack2 Mobile Link」がブロックされていないかどうか

- ⇒ Windows のファイアウォールの設定で、「Rack2 Mobile Link」のブロックを解除してください。Rack2 Mobile Link を起動するときに、ファイアウォールの対処を明示したメッセージが表示される場合があります。



[OK] ボタンをクリックしたあとに表示されるファイアウォールのブロックの警告では、メッセージに従って対応してください。メッセージ以外の対応をした場合は、以下を行ってください。

- ・ Windows 7 で、[キャンセル] ボタンをクリックした場合
 1. [スタート]メニューから[コントロールパネル]－[システムとセキュリティ]－[Windows ファイアウォール]を選択します。
[Windows ファイアウォール]画面が表示されます。
 2. 画面の左側に表示された、「Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する」を選択します。
[許可されたプログラム]画面が表示されます。
 3. 「設定の変更」をクリックします。
 4. 「許可されたプログラムおよび機能」一覧にある「Rack2 Mobile Link」チェックボックスにチェックします。
 5. [OK] ボタンをクリックします。

-
- ・ Windows Vista で、[ブロックする] ボタンをクリックした場合
 1. [スタート]メニューから[コントロールパネル]－[セキュリティ]－[Windows ファイアウォール]を選択します。
[Windows ファイアウォール]画面が表示されます。
 2. 画面の左側に表示された、「Windows ファイアウォールによるプログラムの許可」を選択します。
 3. 「例外を有効とするプログラムまたはポート」一覧にある「Rack2 Mobile Link」チェックボックスにチェックします。
 4. [OK] ボタンをクリックします。
 - ・ Windows XP で、[ブロックする] ボタンをクリックした場合
 1. [スタート]メニューから[コントロールパネル]－[ネットワークとインターネット接続]－[Windows ファイアウォール]を選択します。
[Windows ファイアウォール]画面が表示されます。
 2. [例外]タブの「プログラムおよびサービス」一覧にある「Rack2 Mobile Link」チェックボックスにチェックします。
 3. [OK] ボタンをクリックします。
- 注意) [後で確認する] ボタンを選択した場合は、次回の起動時に、再びファイアウォールのブロックの警告が表示されます。



- ・ ウイルス対策ソフトなどで警告メッセージが表示された場合は、ウイルス対策ソフトなどのマニュアルを参照してください。
- ・ 警告メッセージで許可する「Rack2 Mobile Link」のプログラムの名前は、「Rack2 Mobile Link」か「ScantoMobileTrans」です。

・ モバイル連携環境の確認方法

コンピュータと接続するモバイル機器に、「ScanSnap Connect Application」がインストールされているかどうか

- ⇒ コンピュータと接続するモバイル機器に、「ScanSnap Connect Application」をインストールしてください。
- モバイル機器用の「ScanSnap Connect Application」は、アプリケーションマーケット（App Store など）からダウンロードしてください。

ポート番号が正しく設定されているかどうか

- ⇒ コンピュータ側およびモバイル機器側のポート番号を確認し、使用されていないポート番号を設定してください。
- ・ 接続用のポート番号（コンピュータ側）
 1. コンピュータにインストールされている Rack2 Mobile Link の「Rack2 Mobile Link - 基本設定」画面で指定しているポート番号を確認します。
 2. 設定されているポート番号が、すでに使用されている場合、ポート番号を変更します。

注意)

 - － コンピュータ側とモバイル機器側で同じポート番号を設定してください。
 - － ポート番号は、49152 ～ 65535 の範囲で設定できます。
 - ・ 接続用のポート番号（モバイル機器側）

モバイル機器側のポート番号を確認してください。確認方法は、「ScanSnap Connect Application ユーザーズガイド」を参照してください。

・ モバイル連携アプリケーションの状態確認方法

コンピュータの「Rack2 Mobile Link」アプリケーションが起動されているかどうか

⇒ コンピュータのタスクバーに「Rack2 Mobile Link」のアイコンが表示されているか確認してください。表示されていない場合、以下の手順で「Rack2 Mobile Link」を起動してください。

1. Windows の [スタート] メニューから [すべてのプログラム] - [Rack2-Filer] - [Rack2 Mobile Link] を選択します。

モバイル機器の「ScanSnap Connect Application」が起動しているかどうか

⇒ モバイル機器の「ScanSnap Connect Application」を起動して、コンピュータと接続してください。

[Rack2 Mobile Link - 基本設定] ダイアログボックスを開いていないかどうか

⇒ [Rack2 Mobile Link - 基本設定] ダイアログボックスが開いている場合は、モバイル機器から接続できません。
[Rack2 Mobile Link - 基本設定] ダイアログボックスを閉じて、モバイル機器から接続してください。

すでにモバイル機器が接続されていないかどうか

⇒ 接続できるモバイル機器は 1 台です。モバイル機器から接続を切断してから、接続してください。

ユーザー切り替えで、他のユーザーがモバイル機器と接続していないかどうか

⇒ モバイル機器と接続しているユーザーに切り替え、モバイル機器から接続を切断してよいかを確認し、モバイル機器から接続を切断してください。
そのあと、元のユーザーに切り替え、モバイル機器を接続してください。

◇ 「Rack2 Mobile Link - 基本設定」ダイアログボックスが表示されない場合

[Rack2 Mobile Link] ダイアログボックスが表示されていないかどうか

- ⇒ モバイル機器が接続されていると、[Rack2 Mobile Link - 基本設定] ダイアログボックスは表示されません。
- ・ モバイル機器と接続されている場合
以下の手順で操作してください。
 1. モバイル機器から接続を切断します。
 2. [Rack2 Mobile Link] ダイアログボックスを閉じます。
 3. [Rack2 Mobile Link - 基本設定] ダイアログボックスを表示してください。
 - ・ モバイル機器と接続されていない場合
[Rack2 Mobile Link] ダイアログボックスを閉じてから、[Rack2 Mobile Link - 基本設定] ダイアログボックスを表示してください。

■ Rack2-Filer と ScanSnap がインストールされているコンピュータでモバイルに送る場合の留意事項

Rack2-Filer と ScanSnap Manager / ScanSnap Organizer がインストールされているコンピュータで、Rack2-Filer のデータをモバイル機器に送る場合は、ScanSnap のマニュアルおよび『モバイルに保存のヘルプ』を参照してください。

◇ インストール時の留意事項

- ・ Rack2-Filer がインストールされているコンピュータに ScanSnap をインストールした場合、Rack2-Filer の「Rack2 Mobile Link」の設定内容が保持されます。

-
- ・ ScanSnap がインストールされているコンピュータに Rack2-Filer をインストールした場合、ScanSnap の「モバイルに保存」の以下の設定内容が保持されます。
 - － コンピュータへのログオン時に「モバイルに保存」を起動する
 - － 「送信」ボタンを押すまで、送信を待ち合わせる
 - － パスワード
 - － ポート番号

◇ アンインストール時の留意事項

Rack2-Filer と ScanSnap Manager / ScanSnap Organizer がインストールされているコンピュータで、いずれかの製品をアンインストールしても、使用していた設定内容が有効な状態で利用できます。



製品をアンインストールしたあとに、[Rack2 Mobile Link - 基本設定] ダイアログボックスの「コンピュータのログオン時に「Rack2 Mobile Link」(ScanSnap の場合は「モバイルに保存」)を起動する」のチェックがはずれる場合があります。製品をアンインストールしたあとで、ログオン時に「Rack2 Mobile Link」(または「モバイルに保存」)が起動しない場合は、再度、チェックを付けてください。

◇ 接続設定時の留意事項

コンピュータ側でモバイル機器との接続を設定する場合は、ScanSnap の「モバイルに保存」の [モバイルに保存 - 基本設定] ダイアログボックスで設定を行ってください。設定内容は、Rack2-Filer および ScanSnap Manager / ScanSnap Organizer で共有して使用されます。

◇ モバイルに送る時の留意事項

Rack2-Filer と ScanSnap Manager / ScanSnap Organizer がインストールされているコンピュータでモバイルに送ると、ScanSnap の「モバイルに保存」が起動されます。

各操作で起動される画面およびアイコンは、以下のとおりです。

- ・ Windows のスタートメニューから [すべてのプログラム] - [Rack2-Filer] - [Rack2 Mobile Link] を選択すると、初回起動時は ScanSnap の [モバイルに保存 - 基本設定] ダイアログボックスが起動されます。
- ・ [Rack2 Mobile Link - 基本設定] ダイアログボックスの「コンピュータのログオン時に「Rack2 Mobile Link」を起動する」にチェックをした状態でコンピュータにログオンすると、ログオン時に ScanSnap の「モバイルに保存」のアイコンがタスクバーに表示されます。
また、モバイル機器への接続時に、このアイコンから「ScanSnap と連携できるモバイル機器が接続されました。」というメッセージが表示されます。

第9章



写真アルバムを作成する

この章では、Rack2-Filer に写真やカタログなどの文書を取り込み、写真アルバムを作成する操作、および写真アルバムの活用操作について説明します。



ダイアログボックスの各項目の詳細は、[ヘルプ] ボタンをクリックして表示されるヘルプを参照してください。



9.1 写真アルバム機能とは

写真アルバム機能は、写真バイндаに写真／文書を取り込み、Rack2-Fileer 上でアルバムを作成する機能です。

ここでは、写真アルバム機能の特長および写真アルバム作成の流れについて説明します。

■ 写真アルバム機能の特長

コンピュータ上のデジタルカメラのデータを取り込み、アルバムを作成できます
⇒ 「◇ コンピュータ上の電子ファイルを取り込む」(346 ページ)

ScanSnap を使って写真やカタログを取り込み、レイアウトできます
⇒ 「◇ ScanSnap を使って写真や紙文書（カタログなど）を取り込む」(344 ページ)

写真／文書にコメントを設定して、思い出の記録を残すことができます
⇒ 「◇ コメントを編集する」(354 ページ)

この他にも以下のような特長があります。

- ・ 写真／文書の位置やサイズをページ内で自由にレイアウトできます
⇒ 「・ 写真／文書の表示サイズ・位置を変更する」(353 ページ)
- ・ ページの背景色を変えることができます
⇒ 「◇ ページの背景色を設定する」(351 ページ)
- ・ バインダに取り込んだ写真／文書を JPEG ファイルまたは PDF ファイルとして取り出すことができます
⇒ 「9.3 写真バイнда内の写真／文書を取り出す」(359 ページ)

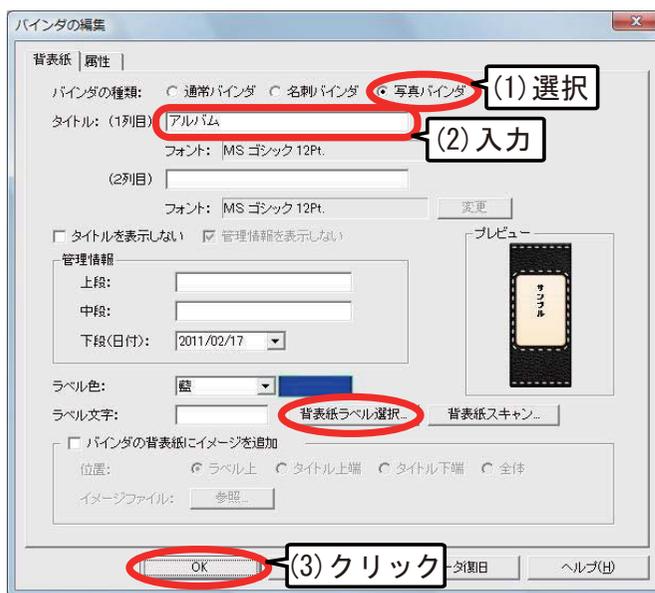
■ 写真アルバム作成の流れ

1. 写真バイндаを作成します

① バインダ管理画面で **バイнда作成** をクリックします。



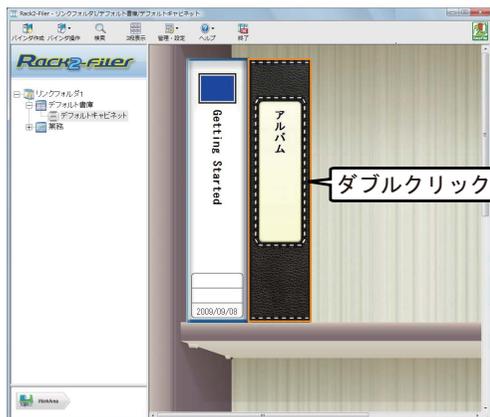
② [バイндаの編集] ダイアログボックスのバイндаの種類で「写真バイнда」を選択し、タイトルを入力します。背表紙ラベルを変更する場合は、[背表紙ラベル選択] ボタンをクリックし、背表紙ラベルを選択してから [OK] ボタンをクリックします。



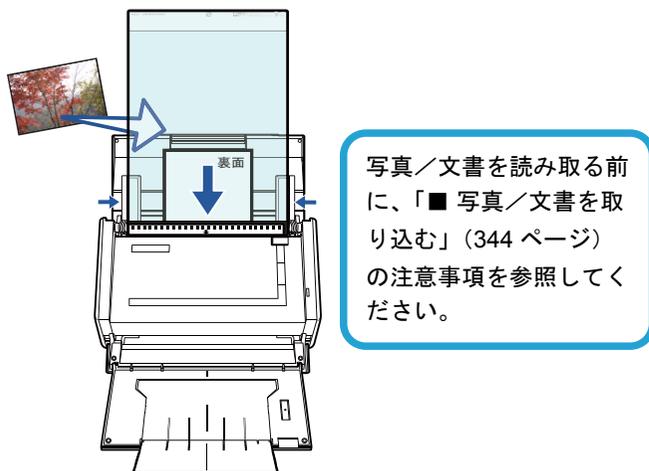
[OK] ボタンをクリックすると、スキャナで写真を読み取る場合の注意事項がメッセージとして表示されます。

2. ScanSnap で写真や紙文書（カタログなど）を読み取ります

① 写真バイндаをビューア画面で表示します。



② ScanSnap に写真やカタログをセットし、読み取りボタンを押します。

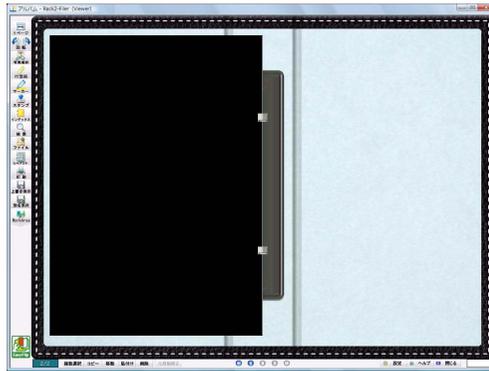


読み取りが終わると写真やカタログがバイндаに表示されます。

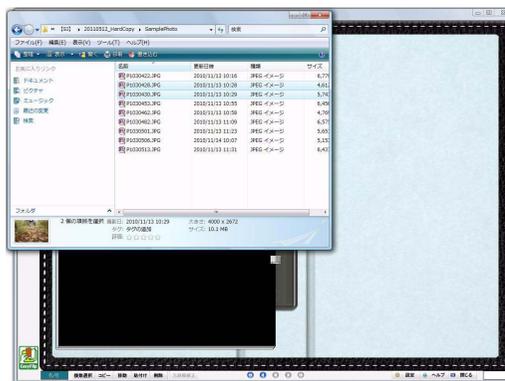


3. 電子ファイルを取り込みます

①写真バイндаをビューア画面で表示します。



②コンピュータ上の電子ファイル（デジタルカメラのデータなど）を選択して、ページ上にドラッグ&ドロップします。



取り込みが終わると電子ファイルがバイндаに表示されます。



4. ビューア画面でページを編集します

写真を並べ替えます
⇒「◇ 写真／文書を移動する（同一バインダ内）」（348 ページ）

写真／文書の表示サイズや位置を変更します
⇒「・ 写真／文書の表示サイズ・位置を変更する」（353 ページ）

コメントを入力します
⇒「・ コメントを入力・追加する」（354 ページ）

入力したコメントのフォントを変更します
⇒「・ コメントのフォント、文字サイズ、文字色などを設定する」（356 ページ）

ページの背景色を変更します
⇒「◇ ページの背景色を設定する」（351 ページ）



ヒント

写真アルバム内の写真／文書は、JPEG ファイルまたは PDF ファイルとして取り出すことができます。操作については「■ 写真／文書を選択して保存する」（359 ページ）を参照してください。

9.2 写真アルバムを作成する

写真アルバム専用のバインダ（写真バインダ）を作成し、写真／文書を取り込む操作、および取り込み後の編集操作について説明します。

■ 写真バインダを作成する

写真／文書を取り込むためのバインダを作成します。



1.バインダを作成するキャビネットをツリーから選択します。

⇒ 選択したキャビネットの内容が表示されます。

2.  をクリックします。

または、キャビネットの空きスペース上でマウスを右クリックし、[バインダ作成]を選択します。

⇒ [バインダの編集]ダイアログボックスが表示されます。

3.バインダの種類に「写真バインダ」を選択し、その他の各項目を設定します。

詳細は、「6.15 バインダを編集する」（112 ページ）を参照してください。

4.[OK] ボタンをクリックします。

⇒ 写真バインダが作成されます。

■ 写真／文書を取り込む

作成した写真バイндаに写真／文書を取り込む方法は以下の2つがあります。

- ・ ScanSnap を使って写真や紙文書（カタログなど）を取り込む
- ・ コンピュータ上の電子ファイルを取り込む



大切な写真や薄い原稿、折れ／破れのある原稿を直接 ScanSnap にセットして読み取ると、原稿を傷付けたり、正常に読み取れなかったりすることがあります。A3 キャリアシートにセットして読み取ることをお勧めします。

A3 キャリアシートを使用する読み取りについては、ScanSnap に添付されているオペレーターガイドを参照してください。

注意) ScanSnap S1300 / S300 では A3 キャリアシートを使用できません。

写真の読み取りは、お客様の責任において行ってください。



◇ ScanSnap を使って写真や紙文書（カタログなど）を取り込む

写真やカタログなどの紙文書を写真バイндаに取り込む方法について説明します。



- ・ ScanSnap から写真や紙文書（カタログなど）を読み取る場合、Rack2-Filer と ScanSnap を連携する必要があります。Rack2-Filer と ScanSnap を連携する方法は、「第5章 ScanSnap と連携する」（67 ページ）を参照してください。
- ・ 横向きの写真を読み取る場合は、横向きにセットしてください。読み取ったときの向きでページに表示されます。
- ・ 複数の写真をまとめて読み取る場合は、上下の向きを揃えて読み取ることをお勧めします。





写真の裏面に文字などが印刷されていると、写真の裏面も読み取ることがあります。

裏面を読み取らないようにする場合は、ScanSnap Manager で以下のように設定することをお勧めします。

- ・ 「ScanSnap Manager」アイコンを右クリックし、「片面読み取り」にチェックを付ける
- ・ ScanSnap Manager の設定画面で [読み取りモード] タブの「読み取り面の選択」で、「片面読み取り」を選択する



1. ScanSnap に写真や紙文書（カタログなど）をセットします。

2. 読み取り先の写真バイндаのページを表示します。



写真／文書を取り込む前に、レイアウトの既定値を設定すると、取り込み後にレイアウトを変更する必要がないので便利です。レイアウトの既定値の設定については、「◇ レイアウトの既定値を設定する」（351 ページ）を参照してください。



3. ビューア画面が最前面に表示された状態で、ScanSnap の読み取りボタンを押します。

⇒ 読み取りが実行され、写真や紙文書（カタログなど）がバイндаに追加されます。



ScanSnap S1100 をご使用の場合、すべての原稿を読み取ったあとに、再び読み取りボタンを押すと読み取りが終了し、写真や紙文書（カタログなど）がバインダに追加されます。

写真や紙文書（カタログなど）を写真バインダに取り込んだあとは、写真／文書にコメントを設定したり、写真／文書の表示サイズや位置を変更したりしてバインダのページを編集します。「■ ページを編集する」（348 ページ）を参照して、写真アルバムを作成してみましょう。



ScanSnap と連携して WorkArea に写真や紙文書（カタログなど）を取り込むことができます。WorkArea に取り込む方法については、以下を参照してください。

- －『WorkArea 画面のヘルプ』－「ScanSnap からページを読み取る」
- －「5.1 S1100 / S1300 / S1500 と連携する」（68 ページ）および「5.2 S300 / S510 / S500 と連携する」（76 ページ）

◇ コンピュータ上の電子ファイルを取り込む

コンピュータに保存したデジタルカメラのデータや、Microsoft Office 製品などで作成した電子ファイル（Word / Excel / PowerPoint 文書）を写真バインダに取り込む方法について説明します。

電子ファイルは、ビューア画面および WorkArea に取り込むことができます。取り込み方法については、以下を参照してください。

- ・ ビューア画面に取り込む
 - －「7.3 ファイル（電子データ）を取り込む」（165 ページ）

-
- ・ WorkArea に取り込む
 - －『WorkArea 画面のヘルプ』－「WorkArea ヘファイルを取り込む（エクスプローラから取り込む）」
 - －『WorkArea 画面のヘルプ』－「WorkArea ヘファイルを取り込む（[取り込み]メニューで取り込む）」

電子ファイルを写真バインダに取り込んだあとは、写真／文書にコメントを設定したり、写真／文書の表示サイズや位置を変更したりしてバインダのページを編集します。「■ ページを編集する」（348 ページ）を参照して、写真アルバムを作成してみましょう。

サポートしているファイル形式は、以下のとおりです。

BMP	: Windows および OS/2 ビットマップ
PCX	: Zsoft 形式（シングルページ）
JPG, JPEG	: JPEG 形式
TIF, TIFF	: TIFF 形式（マルチページを含む。 ZIP 圧縮形式は除きます。）
WMF	: Windows メタファイル
PSD	: Photoshop 3.0 形式
PNG	: Portable Network Graphics 形式
TGA	: Truevision TARGA 形式
PCD	: Photo CD 形式
FPX	: FlashPix 形式
PDF	: PDF 形式（Rack2-Filer で出力された PDF、または ScanSnap で読み取った PDF。それ以外の PDF は、関連付けアプリケーションの印刷機能で取り込まれます。）

上記の他に、印刷機能を持つアプリケーションに関連付けされているファイルもサポートしています。

■ ページを編集する

写真アルバムのページをビューア画面上で編集する操作について説明します。

◇ 写真／文書を移動する（同一バインダ内）

同一バインダ内で写真／文書をドラッグ&ドロップして移動する方法について説明します。ドラッグ&ドロップによる移動は、同一バインダ内でのみ可能です。



1. **写真選択** をクリックします。

または、ページ上でマウスを右クリックし、[写真／文書選択モード] を選択します。



⇒「写真／文書とコメントの選択モード」が **写真選択** に切り替わりま

2. 移動したい写真／文書を選択します。
3. 移動したい位置に、写真／文書をドラッグ&ドロップします。
⇒写真／文書が移動されます。

◇ 写真／文書を移動する（別バインダ）

ビューア画面で表示している写真／文書を別のバインダへ移動する方法について説明します。別のバインダに移動する場合、以下の2つの方法があります。

- ・ クリップボードを利用して写真／文書を移動する
- ・ WorkArea を利用して写真／文書を移動する



WorkArea を利用して写真バインダ内の写真／文書を通常バインダに移動すると、1つの写真／文書が1ページとして取り込まれます。

また、写真バインダ内の写真／文書を名刺バインダに移動できません。



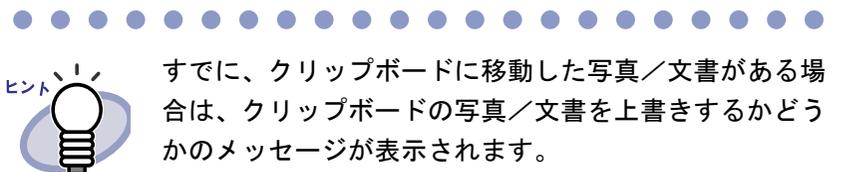
・ クリップボードを利用して写真／文書を移動する



1. **写真選択** をクリックします。
または、ページ上でマウスを右クリックし、[写真／文書選択モード]を選択します。

⇒「写真／文書とコメントの選択モード」が  に切り替わります。

2. 移動したい写真／文書の上でマウスを右クリックし、[クリップボードへ写真／文書を移動]を選択します。
⇒メッセージが表示されます。
3. [OK] ボタンをクリックします。
⇒写真／文書が切り取られ、クリップボードに移動します。
4. 移動先のバイндаをビューア画面で表示します。
5. ページ上でマウスを右クリックし、[クリップボードより写真／文書を貼り付け]を選択します。
⇒クリップボードの写真／文書が貼り付けられます。



すでに、クリップボードに移動した写真／文書がある場合は、クリップボードの写真／文書を上書きするかどうかのメッセージが表示されます。

・ WorkArea を利用して写真／文書を移動する



1. **写真選択** をクリックします。
または、ページ上でマウスを右クリックし、[写真／文書選択モード]を選択します。

⇒「写真／文書とコメントの選択モード」が  に切り替わります。

2. 移動したい写真／文書の上でマウスを右クリックし [WorkAreaへ写真／文書を移動]を選択します。
⇒メッセージが表示されます。
3. [OK] ボタンをクリックします。
⇒写真／文書が切り取られ、WorkAreaに移動します。
4. 移動先のバイндаをビューア画面で表示します。

5. WorkArea を表示します。
⇒写真／文書が移動されています。
6. WorkArea で移動したい写真／文書を選択し、移動先のビューア画面にドロップします。
⇒写真／文書が、WorkArea から移動先のバインダに移動されます。



ヒント

- ・ 写真／文書を移動する場合、設定したコメントも移動します。
- ・ 写真／文書を移動する場合、写真／文書の枠線やコメントは保持されます。ただし、以下の情報は、移動先バインダやページのレイアウト設定に従って変更されます。
 - － ページ内に配置できる写真の数とコメントの有無
 - － 写真／文書の位置、サイズ
 - － コメントの位置、サイズ
- ・ 移動先ページに写真／文書を配置できるスペースがない場合、ページに配置されている写真／文書を移動または削除するか、新しい台紙／白紙ページを追加してから移動してください。
新しい台紙を追加する場合、写真／文書を配置したいページ上でマウスを右クリックし、[挿入]－[台紙]を選択してください。
白紙ページの追加については「7.39 白紙ページを追加する」(270 ページ)を参照してください。

◇ 表示しているページのレイアウトを変更する

表示しているページのレイアウトパターン（1 ページに配置する写真／文書の数や位置、コメントの有無）を変更します。



1. レイアウトを変更したいページを表示し、**レイアウト** をクリックします。または、ページ上でマウスを右クリックし、[ページ編集]－[レイアウト設定]を選択します。
⇒[レイアウトの設定]ダイアログボックスが表示されます。

2. レイアウトパターンを選択し、[OK] ボタンをクリックします。



- ・ 写真／文書を取り込む前に、レイアウトの既定値を設定することができます。取り込む前に既定値を設定すると、取り込み後にレイアウトを変更する必要がないので便利です。
既定値の設定については、「◇ レイアウトの既定値を設定する」(351 ページ) を参照してください。
- ・ 複数の原稿を指定して、レイアウトを変更することもできます。
 1. レイアウトを変更する原稿を、複数原稿の指定手順で選択します。複数原稿の指定については、「7.33 複数の原稿を指定する」(253 ページ) を参照してください。
 2. 原稿上でマウスを右クリックし、[レイアウト設定 (X ~ XX ページの原稿)] を選択します。
⇒ [レイアウトの設定] ダイアログボックスが表示されます。
 3. レイアウトパターンを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

◇ レイアウトの既定値を設定する

バインダにレイアウトの既定値を設定すると、同じレイアウトパターンで写真／文書を取り込むことができます。

1. 既定値を設定したいバインダのページ上でマウスを右クリックし、[レイアウトの既定値を設定] を選択します。
⇒ [レイアウトの設定 (既定値)] ダイアログボックスが表示されます。
2. レイアウトパターンを選択し、[既定値に設定] ボタンをクリックします。

◇ ページの背景色を設定する

1. 背景色を変更したいページ上でマウスを右クリックし、[ページ編集] - [ページ背景色] を選択します。
⇒ [色の設定] ダイアログボックスが表示されます。

2. 背景色を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



- 写真／文書を取り込む前に、背景色の既定値を設定することができます。取り込む前に既定値を設定すると、取り込み後に各ページの背景色を変更する必要がないので便利です。
以下の手順で、背景色の既定値を設定できます。
 - 既定値を設定したいバインダのページ上でマウスを右クリックし、[レイアウトの既定値を設定]を選択します。
⇒ [レイアウトの設定 (既定値)] ダイアログボックスが表示されます。
 - [ページの設定] タブをクリックし、[ページ背景色] ボタンをクリックします。
⇒ [色の設定] ダイアログボックスが表示されます。
 - 背景色を選択し、[OK] ボタンをクリックします。
⇒ [レイアウトの設定 (既定値)] ダイアログボックスに戻ります。
 - [既定値に設定] ボタンをクリックします。
- 複数の原稿を指定して、背景色を変更することもできます。
 - 背景色を変更する原稿を、複数原稿の指定手順で選択します。複数原稿の指定については、「7.33 複数の原稿を指定する」(253 ページ)を参照してください。
 - 原稿上でマウスを右クリックし、[ページ背景色 (X ~ XX ページの原稿)] を選択します。
⇒ [色の設定] ダイアログボックスが表示されます。
 - 背景色を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



ヒント

以下の手順でも [色の設定] ダイアログボックスを表示できます。

1. 背景色を設定したいページを表示し、



レイアウト をクリックします。

2. [ページの設定] タブをクリックし、[ページ背景色] ボタンをクリックします。

◇ 写真／文書を編集する

以下の操作を行う場合、 をクリック、またはページ上でマウスを右クリックし、[写真／文書選択モード] を選択して、「写真／文書とコメントの選

択モード」を  にしてください。

- ・ **写真／文書を削除する**

写真／文書の上でマウスを右クリックし、[削除] を選択します。



ヒント

削除した写真／文書を元に戻す場合は、写真／文書の上でマウスを右クリックし、[元に戻す] を選択します。

- ・ **写真／文書を回転する**

写真／文書の上でマウスを右クリックし、[右 90 度回転]、[180 度回転] または [左 90 度回転] を選択します。

- ・ **写真／文書の表示サイズ・位置を変更する**

写真／文書を選択し、マウスでドラッグ&ドロップして表示サイズを変更したり、移動したりします。

・ 写真／文書の枠線を設定する

1. 写真／文書の上でマウスを右クリックし、[枠線] を選択します。
⇒ [枠線] ダイアログボックスが表示されます。
2. 表示の有無、色、および太さを設定し、[OK] ボタンをクリックします。



ヒント

以下の手順でも [枠線] ダイアログボックスを表示できます。

1. 枠線を設定したいページを表示し、



レイアウト をクリックします。

2. [ページの設定] タブをクリックし、「写真／文書」の [枠線] ボタンをクリックします。

◇ コメントを編集する



以下の操作を行う場合、**写真選択** をクリック、またはページ上でマウスを右クリックし、[写真／文書選択モード] を選択して、「写真／文書とコメントの選



択モード」を **写真選択** にしてください。

・ コメントを入力・追加する

1. 写真／文書の上でマウスを右クリックし、[コメントの編集] を選択します。
または、コメントの上でマウスを右クリックし、[編集] を選択します。
⇒コメントが入力状態になります。
コメントが設定されていない場合は、コメントが追加され、入力状態になります。
2. コメントに文字を入力します。
入力後、ページ上でクリックするとコメントの文字が確定します。



コメントの文字は、全角 250 文字（半角 500 文字）以内で指定できます。

- ・ **コメントを削除する**

コメントが入力状態でないことを確認してからコメントの上でマウスを右クリックし、[削除]を選択します。



写真／文書にコメントを再度追加したい場合は、写真／文書の上でマウスを右クリックし、[コメントの編集]を選択します。

- ・ **コメントの横位置を設定する**

コメントが入力状態でないことを確認します。コメントの上でマウスを右クリックし、[右揃え]、[中央揃え]、または[左揃え]を選択します。

- ・ **コメントの縦位置を設定する**

コメントが入力状態でないことを確認します。コメントの上でマウスを右クリックし、[上揃え]、[中央揃え]、または[下揃え]を選択します。

- ・ **コメントの表示サイズ・位置を変更する**

コメントが入力状態でないことを確認します。コメントを選択し、マウスでドラッグ&ドロップして表示サイズを変更したり、移動したりします。

- ・ **コメントの背景色を設定する**

1. コメントが入力状態でないことを確認してからコメントの上でマウスを右クリックし、[背景色...]を選択します。
⇒ [色の設定] ダイアログボックスが表示されます。
2. 背景色を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

- ・ コメントのフォント、文字サイズ、文字色などを設定する
 1. コメントが入力状態でないことを確認してからコメントの上でマウスを右クリックし、[フォント...]を選択します。
⇒[フォント]ダイアログボックスが表示されます。
 2. 各項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。
- ・ コメントの枠線を設定する
 1. コメントが入力状態でないことを確認してからコメントの上でマウスを右クリックし、[枠線...]を選択します。
⇒[枠線]ダイアログボックスが表示されます。
 2. 表示の有無、色、および太さを設定し、[OK] ボタンをクリックします。



ヒント

以下の手順でも、コメントの枠線、背景色、フォント、および文字の位置を設定できます。

1. 枠線を設定したいページを表示し、



- レイアウト をクリックします。
2. [ページの設定] タブをクリックし、「コメント」の各項目を設定します。
3. [OK] ボタンをクリックします。

◇ 写真／文書をコピーする

ビューア画面で表示している写真／文書をコピーする方法について説明します。コピーする方法は、以下の2つがあります。

- ・ クリップボードにコピーする
- ・ WorkArea にコピーする
- ・ クリップボードにコピーする



1. 写真選択 をクリックします。
または、ページ上でマウスを右クリックし、[写真／文書選択モード]を選択します。

⇒「写真／文書とコメントの選択モード」が  に切り替わります。

-
2. コピーしたい写真／文書の上でマウスを右クリックし、[クリップボードへ写真／文書をコピー]を選択します。
⇒写真／文書がクリップボードにコピーされます。



写真／文書を選択して **コピー** をクリックしても、写真／文書をコピーできません。



- ・ すでに、クリップボードにコピーした写真／文書がある場合は、クリップボードの写真／文書を上書きするかどうかのメッセージが表示されます。
- ・ コピーした写真／文書を貼り付ける場合は、ページ上でマウスを右クリックし [クリップボードより写真／文書を貼り付け] を選択します。

・ WorkArea にコピーする



1. **写真選択** をクリックします。
または、ページ上でマウスを右クリックし、[写真／文書選択モード] を選択します。

⇒「写真／文書とコメントの選択モード」が  **写真選択** に切り替わります。

2. コピーしたい写真／文書の上でマウスを右クリックし、[WorkAreaへ写真／文書をコピー]を選択します。
⇒メッセージが表示されます。
3. [OK] ボタンをクリックします。
⇒写真／文書が WorkArea にコピーされます。



- ・ 写真／文書をコピーする場合、設定したコメントもコピーされます。
- ・ 写真／文書をコピーする場合、写真／文書の枠線やコメントは保持されます。ただし、以下の情報は、貼り付け先バインダやページ、または移動先バインダやページのレイアウト設定に従って変更されます。
 - － ページ内に配置できる写真の数とコメントの有無
 - － 写真／文書の位置、サイズ
 - － コメントの位置、サイズ
- ・ コピーした写真／文書を貼り付けるページ、または移動するページに写真／文書を配置できるスペースがない場合、ページに配置されている写真／文書を移動または削除するか、新しい台紙／白紙ページを追加してから移動してください。
新しい台紙を追加する場合、写真／文書を配置したいページ上でマウスを右クリックし、[挿入]－[台紙]を選択してください。
白紙ページの追加については「7.39 白紙ページを追加する」(270 ページ)を参照してください。

上記の他に、以下の編集情報を追加することもできます。

- ・ 「7.14 ページに付箋紙を付ける」(188 ページ)
- ・ 「7.15 ページにマーカーを引く」(190 ページ)
- ・ 「7.16 ページにハイパーリンクを設定する」(193 ページ)
- ・ 「7.17 ページにスタンプを押す」(197 ページ)

9.3 写真バイнда内の写真／文書を取り出す

写真アルバム内に取り込んだ写真／文書を JPEG ファイルまたは PDF ファイルとして保存できます。保存する方法は、以下の 2 つがあります。

- ・ 写真／文書を選択して保存する
- ・ 複数の写真／文書を指定して保存する



- ・ ファイルの形式に JPEG を指定して保存すると、取り込んだ写真／文書データを JPEG（24 ビットカラー）に変換して保存します。
また、ファイルの形式に PDF を指定して保存すると、取り込んだ写真／文書データを PDF に変換して保存します。
- ・ ビューア画面上で写真／文書の回転（右 90 度回転、左 90 度回転、または 180 度回転）やテキスト抽出を行っても、保存されるファイルに操作は反映されません。



■ 写真／文書を選択して保存する

1 枚の写真／文書を 1 つの JPEG ファイルまたは PDF ファイルに保存します。



1. ビューア画面の  をクリックします。

または、ページ上でマウスを右クリックし、[写真／文書選択モード] を選択します。

⇒ 「写真／文書とコメントの選択モード」が  に切り替わります。

2. 写真／文書の上でマウスを右クリックし、
[名前を付けて保存（写真／文書）]を選択します。

⇒ [名前を付けて保存]ダイアログボックスが表示されます。

3. 保存する場所、ファイル名、およびファイルの種類を指定して、
[保存]ボタンをクリックします。

■ 複数の写真／文書を指定して保存する

複数ページ内の写真／文書をまとめて保存することができます。

選択するファイルの種類によって、保存されるファイルの内容が異なります。

- ・ JPEG 形式

1枚の写真／文書を1つのJPEGファイルに保存します。

- ・ PDF 形式

複数の写真／文書を1つのPDFファイルにまとめて保存します。

操作



1. ビューア画面で取り出したい写真／文書があるページを表示します。

2. ページ上でマウスを右クリックし、[印刷／メール／保存]－
[名前を付けて保存（写真／文書）]を選択します。

⇒ [写真／文書の保存]ダイアログボックスが表示されます。

3. 対象ページと保存方法を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

現在のページのみを保存する場合は、「現在のページのみ」にチェックをします。

複数の写真／文書を保存する場合は、「写真／文書指定」にチェックを付けて、ページと写真を指定します。写真／文書の番号（1または2）は、写真／文書の上にマウスポインタを重ねると表示されるツールチップを指定してください。

保存方法によって、表示されるダイアログボックスが異なります。

- ・ 「JPEG 24 ビットカラー」を選択した場合
[フォルダの参照]ダイアログボックスが表示されます。
- ・ 「PDF」を選択した場合
[名前を付けて保存]ダイアログボックスが表示されます。

4.保存する場所やファイル名を指定して、[OK] ボタンまたは [保存] ボタンをクリックします。

9.4 写真バイндаの使用時の注意事項

写真バイндаには、使用時に注意が必要な操作および利用できない操作があります。

■ 注意の必要な操作

◇ バイндаの出力／取り込み

- ・ 写真バイндаは、「Rack2 バイнда (*.rk2)」形式および「Viewer 付きデータファイル (*.exe)」形式でのエクスポートのみ可能です。
⇒ 「6.24 バイндаを出力する (エクスポート)」(134 ページ)
- ・ 「Rack2 バイнда (*.rk2)」形式でのみインポート可能です。
⇒ 「6.25 バイндаを取り込む (インポート)」(136 ページ)

◇ 保存

- ・ バイнда内のすべてのページを「データファイル (*.pdf+*.ini)」形式で別名保存すると、通常バイндаとして保存され、写真／文書を編集できなくなります。
「データファイル (*.pdf+*.ini)」形式で別名保存したバイндаをインポートすると、通常バイндаとしてインポートされます。「Rack2 バイнда (*.rk2)」形式で別名保存した写真バイндаは、写真バイндаとしてインポートできます。
⇒ 「7.23 バイнда内のすべてのページを別名保存する」(223 ページ)
- ・ 原稿を選択して「データファイル (*.pdf+*.ini)」形式で別名保存すると、通常バイндаとして保存され、写真／文書を編集できなくなります。
「データファイル (*.pdf+*.ini)」形式で別名保存したバイндаをインポートすると、通常バイндаとしてインポートされます。「Rack2 バイнда (*.rk2)」形式で別名保存した写真バイндаは、写真バイндаとしてインポートできます。
⇒ 「7.24 原稿を選択して別名保存する」(226 ページ)

◇ 原稿の編集

- ・ 原稿を通常バインダに移動すると、通常バインダの原稿として取り込まれます (*1)。
⇒ 「■ 別バインダへの原稿の移動」 (243 ページ)
- ・ 原稿を WorkArea へ移動すると、写真／文書単位で移動します。コメントは保持されます (*2)。
⇒ 「■ WorkArea への移動」 (247 ページ)
- ・ 原稿を WorkArea にコピーすると、写真／文書単位でコピーされます。コメントは保持されます (*2)。
⇒ 「■ WorkArea へのコピー (1 枚の原稿)」 (251 ページ)
⇒ 「■ WorkArea へのコピー (複数の原稿)」 (251 ページ)
- ・ 原稿を写真バインダおよび通常バインダに貼り付けできます (*1)。名刺バインダには貼り付けできません。
⇒ 「7.32 原稿を貼り付ける」 (252 ページ)

◇ ページの編集

- ・ WorkArea にページをコピーすると、写真／文書単位でコピーされません。コメントは保持されます (*2)。
⇒ 「■ WorkArea にページをコピーする」 (266 ページ)
- ・ ページを写真バインダおよび通常バインダに貼り付けできます (*1)。名刺バインダには貼り付けできません。
⇒ 「7.36 ページを貼り付ける」 (267 ページ)

*1 : 写真バインダの原稿やページを通常バインダに移動／貼り付けすると、通常バインダの原稿やページとして取り込まれ、写真／文書を編集できなくなります。

*2 : 写真バインダの原稿やページを WorkArea へ移動／コピーすると、写真／文書単位で移動／コピーされます。このとき、写真／文書に設定したコメントは保持されますが、以下の情報は削除されます。

- － インデックス
- － 白紙ページ
- － 編集情報
- － テキスト情報

◇ テキストの抽出

- ・ ページ内に配置した写真／文書の大きさによってテキスト抽出の認識率が異なります。ページ内に写真／文書を小さく配置すると、テキストの認識率が低下します。
 - ⇒ 「6.22 バインダ内の全ページのテキストを抽出する」(131 ページ)
 - ⇒ 「■ ページ内で範囲を選択して抽出する」(205 ページ)
 - ⇒ 「■ 原稿を指定して抽出する」(206 ページ)

■ 利用できない操作

通常バインダと比較して、写真バインダでは以下の操作が利用できません。

◇ データの取り込み

- ・ 業務用 イメージ スキャナ fi シリーズからの写真／文書の読み取り
- ・ 他のアプリケーションの印刷メニューからのデータ取り込み
- ・ Rack2 Folder Monitor Software (ファイルの自動取り込み)

◇ ページの補正

- ・ ページの上下反転
- ・ ページの 90 度回転
- ・ ページの傾き補正

◇ 目次の利用

- ・ 目次情報の設定
- ・ 目次ページの印刷
- ・ 目次単位での原稿の並べ替え

◇ 検索

- ・ 取り込み時のテキスト抽出
- ・ 検索結果の強調表示

◇ 原稿の編集

- ・ 原稿の片面削除

◇ 元のファイル（電子データ）の利用

- ・ 元のファイル（電子データ）の取り込み

◇ 未読一覧ページの利用

- ・ 未読文書の表示

◇ ScanSnap データの利用

- ・ オフィス文書への変換

第 10 章



その他の機能

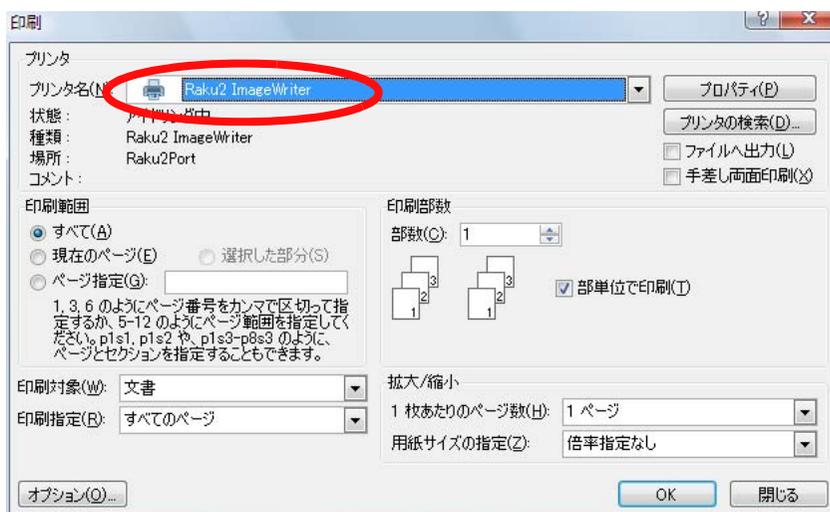
この章では、その他の機能について説明します。

10.1 他のアプリケーションからデータを取り込む

他のアプリケーションの印刷メニューから、印刷するのと同じ感覚でデータを取り込むことができます。



1. アプリケーション（Microsoft Word など）を起動し、メニューから印刷を実行します。

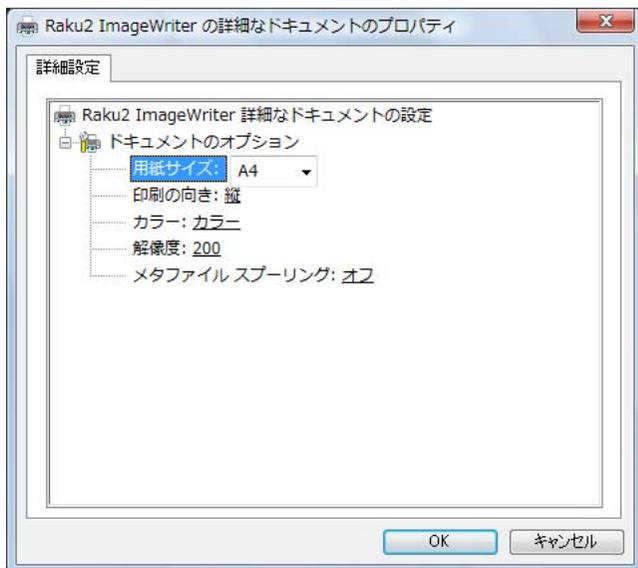


⇒ [印刷] ダイアログボックスが表示されます。

2. プリンタ名に「Raku2 ImageWriter」を指定し、[プロパティ] ボタンをクリックします。

⇒ [Raku2 ImageWriter の詳細なドキュメントのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

3. 各項目を設定します。



- ・ **用紙サイズ**
印刷実行時の用紙サイズを選択します。
アプリケーションによっては有効にならない場合があります。
- ・ **印刷の向き**
印刷実行時の印刷の向きを、縦と横から選択します。
アプリケーションによっては有効にならない場合があります。
- ・ **カラー**
印刷実行時のカラーを、モノクロとカラーから選択します。
アプリケーションによっては有効にならない場合があります。
- ・ **解像度**
印刷実行時の解像度を選択します。
アプリケーションによっては有効にならない場合があります。
- ・ **メタファイル スプーリング**
通常はオフを選択してください。

4.[OK] ボタンをクリックします。

⇒ [印刷] ダイアログボックスに戻ります。

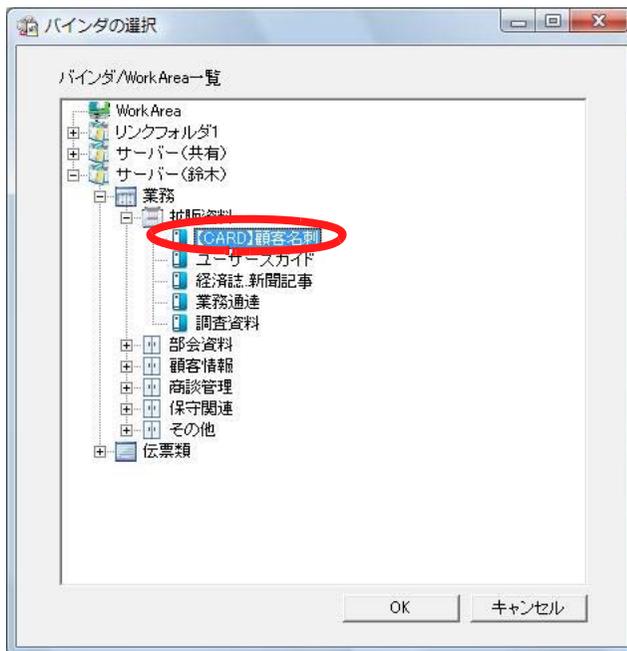
5.[OK] ボタンをクリックします。

⇒ [バインダの選択] ダイアログボックスが表示されます。



[バインダの選択] ダイアログボックスの「バインダー一覧」の表示順は、実際のキャビネット内のバインダの表示順と異なる場合があります。同一タイトル名のバインダが存在する場合はご注意ください。

6.追加先バインダを選択して [OK] ボタンをクリックします。





- ・ バインダ管理画面に表示されていないリンクフォルダの場合、設定名称の前に「【非表示】」と表示されます。
- ・ 名刺バインダの場合、タイトルの前に「【CARD】」と表示されます。
- ・ 写真バインダの場合、タイトルの前に「【写真】」と表示されます。

⇒ 指定したバインダにデータが追加されます。

10.2 Rack2 Folder Monitor Software

Rack2 Folder Monitor Software を利用すると、ビューア画面を表示することなく、デスクトップ上のアイコンにファイルをドロップするだけで、あらかじめ設定したバインダや WorkArea に、ファイルを追加することができます。また、対象フォルダを設定して、そこへコピーまたは移動したファイルを自動的にバインダに追加することもできます。

Rack2 Folder Monitor Software を利用するには、製品 CD-ROM に同梱されている「Rack2 Folder Monitor Software」をインストールする必要があります。

ここでは、「Rack2 Folder Monitor Software」のインストール方法、アンインストール方法、設定方法、および使い方について説明します。



- ・ 本機能は、「Rack2 Folder Monitor Software」をインストールしたユーザーのみ使用できます。
- ・ Rack2-Filer および Rack2-Viewer がインストールされていることを確認してください。インストールされていない場合は、先に Rack2-Filer をインストールしてください。



■ インストールする



1. 製品 CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットします。

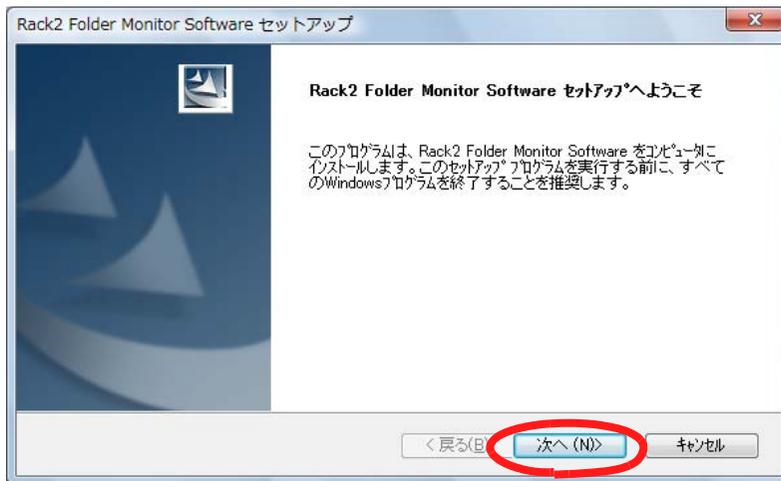


⇒ Rack2-Fileer Setup 画面が表示されます。

2. [Rack2 Folder Monitor Software のインストール] ボタンをクリックします。

⇒ インストールを開始する画面が表示されます。

3. [次へ] ボタンをクリックします。



⇒ 「製品使用許諾契約」の画面が表示されます。

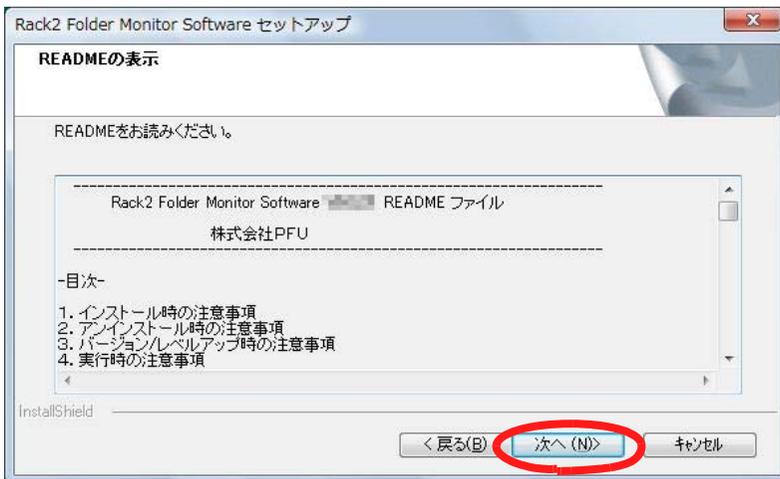
4. 「製品使用許諾契約」の内容を確認して、[はい] ボタンをクリックします。



[いいえ] ボタンをクリックすると、インストールが中止されます。「Rack2 Folder Monitor Software」をインストールする場合は、製品使用許諾契約に同意してください。
⇒ [はい] ボタンをクリックすると、「README の表示」の画面が表示されます。

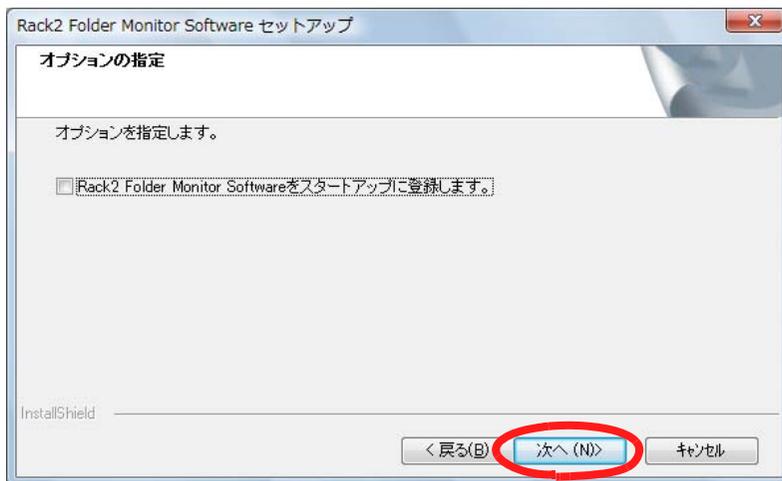
5. 「README」の内容を確認して、[次へ] ボタンをクリックします。

「README」には、インストール時の注意事項など、本書には記載されていない留意事項や参考になる情報が記載されています。必ず確認してください。



⇒ 「オプションの指定」の画面が表示されます。

6. 必要なオプションを指定して、[次へ] ボタンをクリックします。



⇒ 「ファイルコピーの開始」の画面が表示されます。



7. [次へ] ボタンをクリックします。

⇒ Rack2 Folder Monitor Software がインストールされます。

インストールが完了すると「InstallShield Wizard の完了」の画面が表示されます。

8. [完了] ボタンをクリックします。

■ アンインストールする

操作



1. [スタート] ボタンをクリックし、[コントロール パネル] を選択します。

⇒ コントロールパネルが表示されます。

2. 「プログラムのアンインストール」をクリックします。

⇒ 「プログラムのアンインストールまたは変更」の画面が表示されます。

3. インストールされているプログラムの一覧から、「Rack2-Filer Folder Monitor Software」を選択します。

4. [アンインストール] をクリックします。

⇒ ファイルの削除を確認するメッセージが表示されます。

5. [OK] ボタンをクリックします。

⇒ Rack2-Filer Folder Monitor Software がアンインストールされます。
アンインストールが終了すると、アンインストールが終了したことを知らせる画面が表示されます。

6. [完了] ボタンをクリックします。

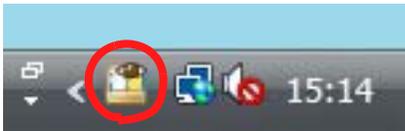
⇒ Rack2-Filer Folder Monitor Software のアンインストールが完了します。

■ 設定する



1. デスクトップ上に作成された、Rack2 Folder Monitor Software

のプログラムアイコン () をダブルクリックします。
または、タスクバーアイコンをダブルクリックします。

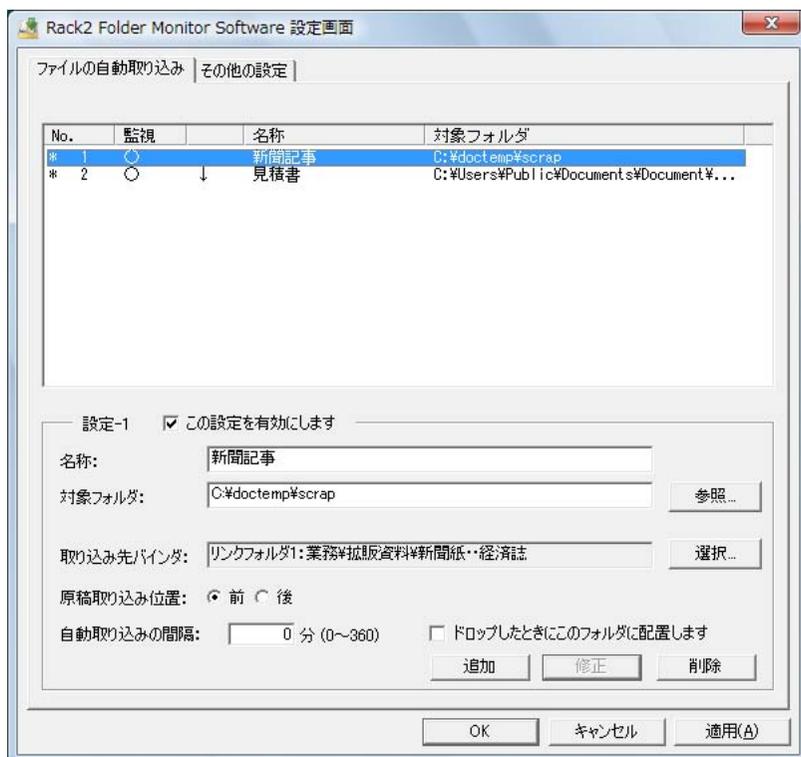


オペレーティングシステムが Windows 7 の場合、タスクバーの  をクリックすると、Rack2 Folder Monitor Software のプログラムアイコン

() が表示されます。

⇒ 「Rack2 Folder Monitor Software 設定画面」が表示されます。

2. 各項目を設定します。



- ・ **この設定を有効にします**
自動取り込みを行う設定にチェックします。
- ・ **名称**
監視設定の名称を設定します。
- ・ **対象フォルダ**
自動取り込みの対象となるフォルダを指定します。
[参照] ボタンをクリックし、[フォルダの参照] ダイアログボックスから指定してください。
- ・ **取り込み先バイнда**
対象フォルダ内のファイルを、どのバイндаへ登録するかを指定します。
[選択] ボタンをクリックし、[バイндаの選択] ダイアログボックスから選択してください。

- ・ **原稿取り込み位置**

取り込まれた原稿を、バインダの前に挿入するか後ろに挿入するか設定します。

- ・ **自動取り込みの間隔**

自動取り込みを行う間隔を、0～360分の範囲で指定します。初期値は0分です。

- ・ **ドロップしたときにこのフォルダに配置します**

ファイルをデスクトップの Rack2 Folder Monitor Software のアイコン上にドロップしたとき、どの設定で取り込みを行うのかを選択します。

- ・ **追加**

「設定 -1」の他に設定を追加する場合、「名称」や「対象フォルダ」などの設定内容を指定したあとにクリックします。
設定は最大 30 まで可能です。

- ・ **修正**

設定を修正する場合、設定内容を修正したあとにクリックします。

- ・ **削除**

設定を削除する場合、削除したい設定を選択したあとにクリックします。

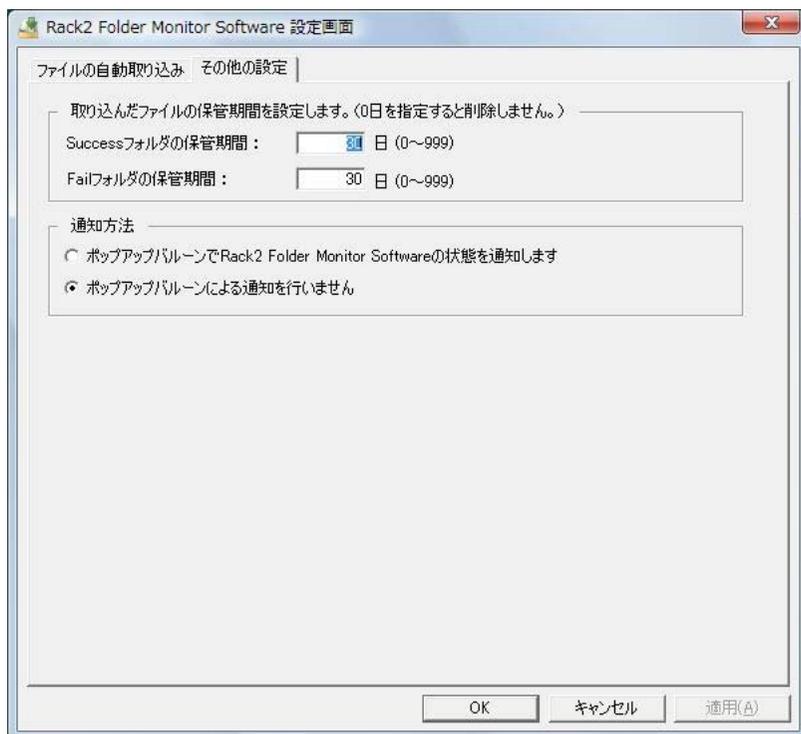
- ・ **適用**

設定を適用する場合、クリックします。



設定の変更・追加・修正は、設定一覧に反映されても、すぐには有効になりません。[OK] ボタンをクリックして設定画面を閉じたときに有効になります。





・ Success フォルダの保管期間

取り込みに成功した場合、対象フォルダ下の「Success」フォルダ内に日付を表す名前のフォルダが作成され、その中にファイルのコピーが保管されます。この保管されたファイルの保管期間を設定します。

0 ~ 999 日の範囲で指定でき、初期値は 30 日です。

0 日を指定した場合、ファイルは削除されません。

・ Fail フォルダの保管期間

取り込みに失敗した場合、対象フォルダ下の「Fail」フォルダ内に日付を表す名前のフォルダが作成され、その中にファイルのコピーが保管されます。この保管されたファイルの保管期間を設定します。

0 ~ 999 日の範囲で指定でき、初期値は 30 日です。

0 日を指定した場合、ファイルは削除されません。

・ ポップアップバルーンで Rack2 Folder Monitor Software の状態を通知します

Rack2 Folder Monitor Software の状態を、ポップアップバルーンに表示する場合に選択します。

-
- ・ ポップアップバルーンによる通知を行いません

Rack2 Folder Monitor Software の状態を、ポップアップバルーンに通知しない場合を選択します。

3. [OK] ボタンをクリックします。

⇒ 設定されます。

■ データを取り込む

操作



1. Rack2-Filer へ登録したいファイルを、対象フォルダへコピー、または移動します。

または、Rack2 Folder Monitor Software のデスクトップアイコン () にドロップします。

⇒ ファイルは、取り込み先バイндаへ登録されます。

登録が成功すると、ファイルのコピーは、対象フォルダ内の「Success」フォルダへ移動されます。失敗すると、「Fail」フォルダへ移動されます。



ヒント

- ・ ドロップした場合、ファイルは、対象フォルダにコピーされ、取り込み先バイндаへ登録されます。
- ・ ドロップ時の対象フォルダおよび取り込み先バイндаの設定は、「■設定する」(377 ページ) を参照してください。





- ・ ファイルのドロップは、ビューア画面を閉じた状態で行ってください。
- ・ 複数のファイルを一度にドラッグ&ドロップする場合、Rack2-Fileerに登録されるファイル順は任意となります。
- ・ 登録がすべて完了した場合、「Success」フォルダや「Fail」フォルダ内に退避されたファイルを削除することをお勧めします。
- ・ 解像度が大きいカラーデータ（400dpi 以上）を登録する際、登録完了するまでに時間がかかる場合があります（特に、横長データを含む場合）。
- ・ パスワード付きの PDF ファイルや印刷制限付きの PDF ファイルを取り込む場合、ビューア画面で [設定] ボタンをクリックして、[動作環境の設定] ダイアログボックスの [入力設定] タブで「パスワードまたは印刷制限付き PDF を取り込む場合、元ファイルを取り込み、ページ内容を表示しない」にチェックを付けてください。チェックが付いている場合、パスワード付き PDF ファイルまたは印刷制限付きの PDF ファイルを取り込むと、ビューア画面に PDF ファイルの内容は表示されず、PDF ファイルのアイコンがページの下部に表示されます。PDF ファイルのアイコンをダブルクリックすると、Adobe Acrobat または Adobe Reader が起動されます。
チェックが付いていない場合、ファイルの取り込みに失敗し、「Fail」フォルダにファイルが移動されます。
- ・ パスワード付きの Microsoft® Office® ファイルを取り込む場合、パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力して [OK] ボタンをクリックすると、ファイルが取り込まれます。パスワード入力画面で [キャンセル] ボタンをクリックすると、ファイルは取り込まれず、「Fail」フォルダに移動されます。パスワード入力画面が表示されている状態では Rack2 Folder Monitor Software のファイルを取り込めないため、取り込むファイルにはパスワードをつけないことをお勧めします。



第 11 章

Backup & Restore Tool

この章では、データのバックアップ／復元方法について説明します。

Backup & Restore Tool では、不測の事態に備えて書庫・キャビネット・バイ
ンダのバックアップを行い、バックアップされたデータから復元することがで
きます。

また、WorkArea のデータのバックアップと復元を行うこともできます。



- ・ Rack2-Filer をインストールしたユーザーのみ、Backup & Restore Tool を起動することができます。
- ・ Rack2-Filer を終了してから、バックアップ／復元を行ってください。
- ・ バックアップ／復元を行っている間は、Rack2-Filer を起動しないでください。



11.1 Backup & Restore Tool を起動／終了する

Backup & Restore Tool の起動方法と終了方法について説明します。

■ Backup & Restore Tool を起動する

操作



1. [スタート] – [すべてのプログラム] – [Rack2-Filer] – [Backup & Restore Tool] を選択します。

⇒ Backup & Restore Tool が起動されます。

■ Backup & Restore Tool を終了する

操作



1. ウィンドウ右上の [×] ボタンをクリックします。

⇒ Backup & Restore Tool が終了されます。

11.2 バックアップ設定画面を表示する

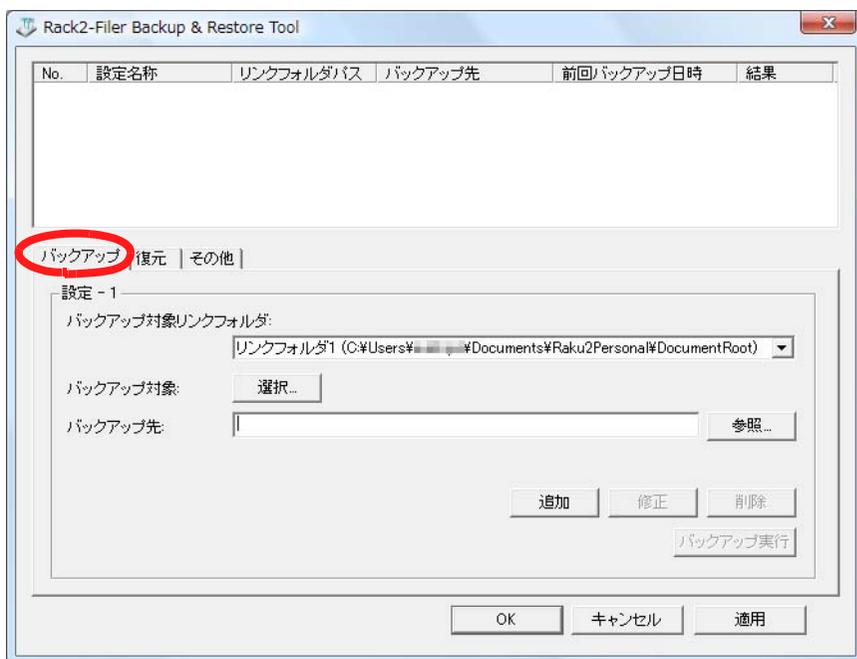
バックアップを設定する画面を表示します。

バックアップ設定画面では、バックアップの対象やバックアップ先を指定します。



1. [Backup & Restore Tool] ダイアログボックスの [バックアップ] タブをクリックします。

⇒ 以下の画面が表示されます。



項目	機能
設定名称	Rack2-Filer で設定されているリンクフォルダ名称です。
リンクフォルダパス	Rack2-Filer で設定されているリンクフォルダパスです。

項目	機能
バックアップ先	バックアップデータを保存する対象フォルダパス
前回バックアップ日時	バックアップが行われた最終日時
結果	前回行われたバックアップの実行結果を、○（成功）、×（失敗）、—（未実施）のいずれかで表示します。
バックアップ対象 リンクフォルダ	バックアップ対象とするリンクフォルダを選択します。 WorkArea をバックアップする場合、「WorkArea」を選択します。
バックアップ対象 [選択 ...] ボタン	バックアップ対象を選択する画面を表示します。 バックアップ対象リンクフォルダに「WorkArea」を選択した場合は選択できません。
バックアップ先	バックアップデータを保存するフォルダのパスを表示します。 [参照 ...] をクリックして、バックアップ先を選択します。
[追加] ボタン	新たにバックアップ設定情報を追加します。
[修正] ボタン	登録されているバックアップ設定情報を修正します。
[削除] ボタン	確認画面での内容に従って削除処理を行います。
[バックアップ実行] ボタン	設定一覧で選択された行についてバックアップを実行します。
[OK] ボタン	設定を保存して終了します。
[キャンセル] ボタン	設定を保存しないで終了します。
[適用] ボタン	設定した情報を適用して、設定を保存します。

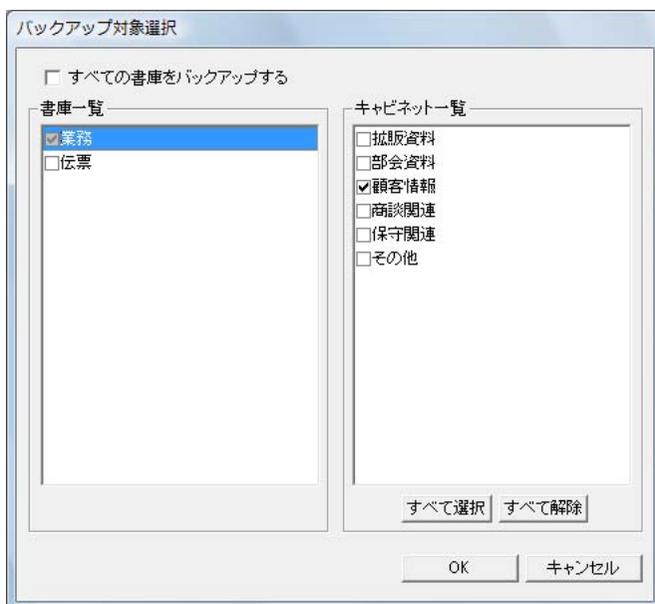
11.3 バックアップ設定情報を作成する

バックアップ設定情報（バックアップ対象、バックアップ先）を作成します。

操作

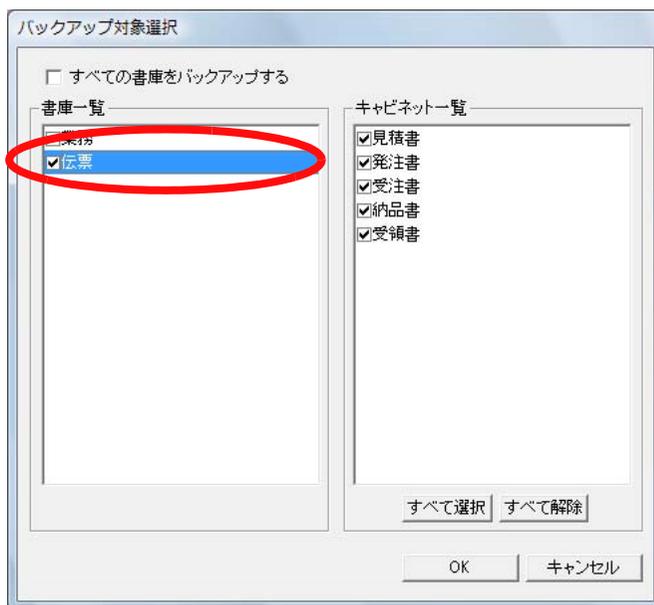


1. [Backup & Restore Tool] ダイアログボックスで [バックアップ] タブをクリックします。
⇒ [バックアップ] タブが表示されます。
2. 「バックアップ対象リンクフォルダ」で、バックアップするデータが格納されているリンクフォルダを選択します。
3. 「バックアップ対象」の [選択 ...] ボタンをクリックします。
⇒ [バックアップ対象選択] ダイアログボックスが表示されます。



項目	機能
「すべての書庫をバックアップする」チェックボックス	チェック時は、すべての書庫内のすべてのキャビネット（リンクフォルダ全体）をバックアップ対象とします。
書庫一覧	書庫が一覧表示されます。 書庫のチェックボックスを有効にすると、その書庫内のすべてのキャビネットをバックアップ対象とします。
キャビネット一覧	書庫一覧で選択された書庫内のキャビネットが一覧表示されます。
すべて選択	キャビネットの一覧のすべてのチェックボックスをチェック状態にします。
すべて解除	キャビネットの一覧のすべてのチェックボックスを未チェック状態にします。
[OK] ボタン	情報を保持して画面を閉じます。
[キャンセル] ボタン	画面を閉じます。

4. バックアップ対象を選びます。



リンクフォルダ内のデータを一括してすべてバックアップ／復元する場合、「すべての書庫をバックアップする」をチェックしてください。この場合、バックアップされたデータからリンクフォルダ内のすべてのデータを一括で復元することができます。

選択された書庫・キャビネット内のバインダを復元する場合、バインダ単位で復元を行うこととなります。

5. [OK] ボタンをクリックします。

⇒ [バックアップ対象選択] ダイアログボックスが閉じます。



- ・ バックアップは、リンクフォルダ・書庫・キャビネット単位で行われます。
- ・ 「すべての書庫をバックアップする」がチェックされている場合、設定後に新規追加された書庫・キャビネットもバックアップされます。
- ・ 「書庫一覧」における書庫のチェック状態については、以下のとおりです。

チェックあり: 設定後に新規追加されたキャビネットもバックアップされます。

チェックなし: 「キャビネット一覧」でチェックされたキャビネットだけがバックアップ対象となります。設定後に追加されたキャビネットがあっても、それらはバックアップされません。



6. 「バックアップ先」で、バックアップ先を指定します。

7. [追加] ボタンをクリックします。

⇒ バックアップ設定情報が作成されます。

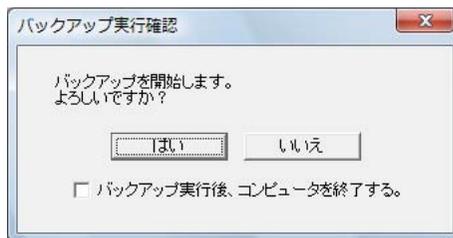
11.4 バックアップを実行する

バックアップを実行します。



1. [Backup & Restore Tool] ダイアログボックスの [バックアップ] タブで、[バックアップ実行] ボタンをクリックします。

⇒ [バックアップ実行確認] ダイアログボックスが表示されます。

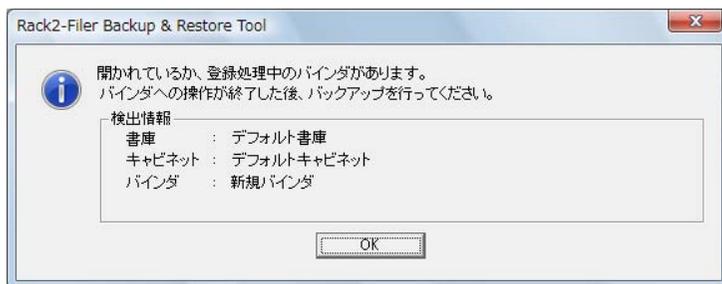


項目	機能
[はい] ボタン	バックアップ処理を開始します。
[いいえ] ボタン	バックアップ設定画面に戻ります。
「バックアップ実行後、コンピュータを終了する」チェックボックス	チェック時は、バックアップ終了後、使用コンピュータをシャットダウンします。

2. [はい] ボタンをクリックします。



- ・ [バックアップ実行] ボタンをクリックした際、バインダが開かれている場合や編集処理が行われている場合は、以下のメッセージが表示され、バックアップを行うことはできません。



この場合、Rack2-Filer を終了したあとで、[バックアップ実行] ボタンをクリックしてバックアップを行ってください。

- ・ バックアップ実行中は、バックアップ先フォルダにアクセスしないでください。
- ・ バックアップ選択画面で指定された書庫・キャビネットだけがバックアップフォルダに保存されます。バックアップ選択画面で指定されていない書庫・キャビネットがバックアップフォルダにある場合、それらのデータは削除されます。
- ・ バックアップ先フォルダを格納するドライブには、バックアップ対象データの総サイズの2倍以上の空き領域が必要です。

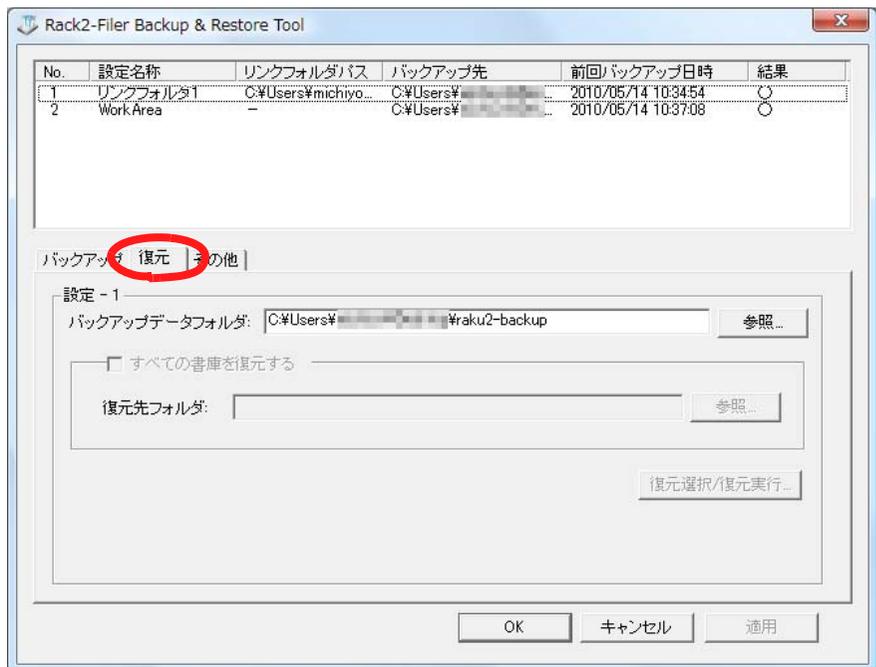
11.5 復元画面を表示する

復元画面を表示します。



1. [Backup & Restore Tool] ダイアログボックスの [復元] タブをクリックします。

⇒ [復元] タブ（復元画面）が表示されます。



項目	機能
バックアップ データフォルダ	選択された行のバックアップフォルダのパスを表示します。ここに表示されているパス内のデータが復元に使用されます。 [参照...] をクリックして、使用するデータを変更します。

項目	機能
「すべての書庫を復元する」チェックボックス	すべての書庫をバックアップした場合に表示されます。 チェック時は、すべての書庫内のすべてのキャビネットを復元対象とします。
復元先フォルダ	「すべての書庫を復元する」チェックボックスにチェックがついている場合に表示されます。 [参照...]をクリックして、復元データを保存する対象フォルダパスを指定します。
[復元選択 / 復元実行 ...] ボタン	復元処理を行う画面を表示します。



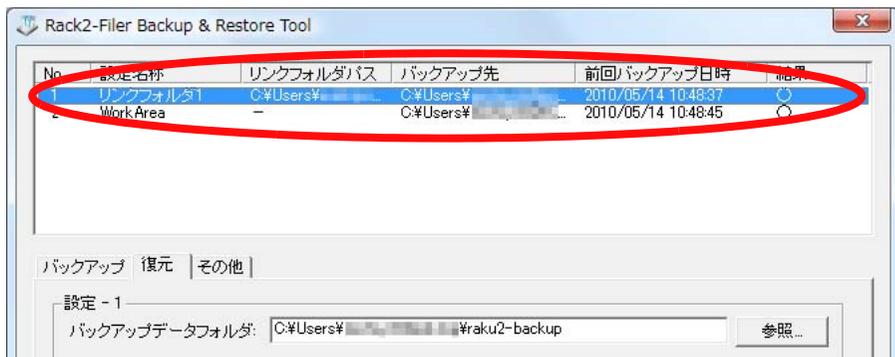
復元は、バインダ／リンクフォルダ（すべての書庫）単位で行うことができます。

11.6 リンクフォルダ内のデータを一括して復元する

退避したデータを、リンクフォルダ単位で一括で復元します。



1. [Backup & Restore Tool] ダイアログボックスの [復元] タブで、一覧からバックアップ対象を選択します。



2. 「すべての書庫を復元する」をチェックし、「復元先フォルダ」に復元先のフォルダを指定します。

3. [復元選択 / 復元実行] ボタンをクリックします。

⇒ 復元処理を開始しても良いか確認するメッセージが表示されます。

4. [OK] ボタンをクリックします。

⇒ データが「復元先フォルダ」に指定したフォルダに復元されます。

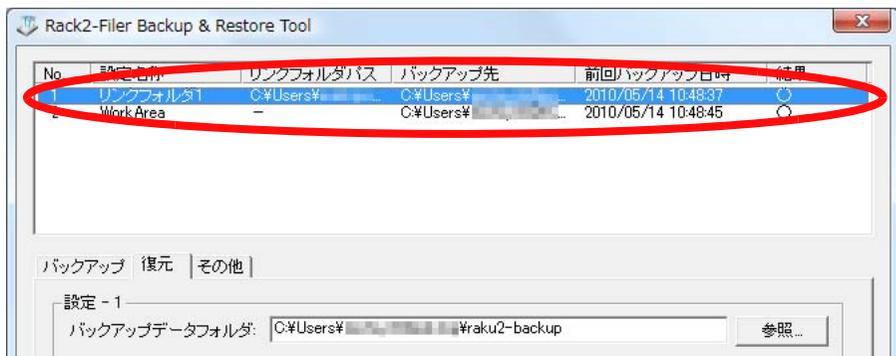
11.7 バインダを指定して復元する

バックアップしたバインダを指定して、復元します。

操作



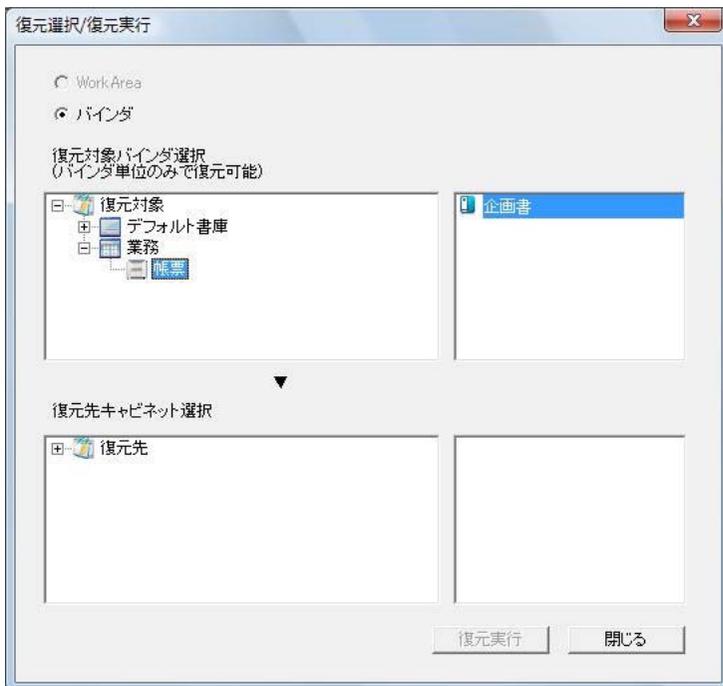
1. [Backup & Restore Tool] ダイアログボックスの [復元] タブで、一覧からバックアップ対象を選択します。



⇒ 「バックアップデータフォルダ」にフォルダのパスが表示されます。

2. [復元選択 / 復元実行 ...] ボタンをクリックします。

⇒ [復元選択 / 復元実行] ダイアログボックスが表示されます。



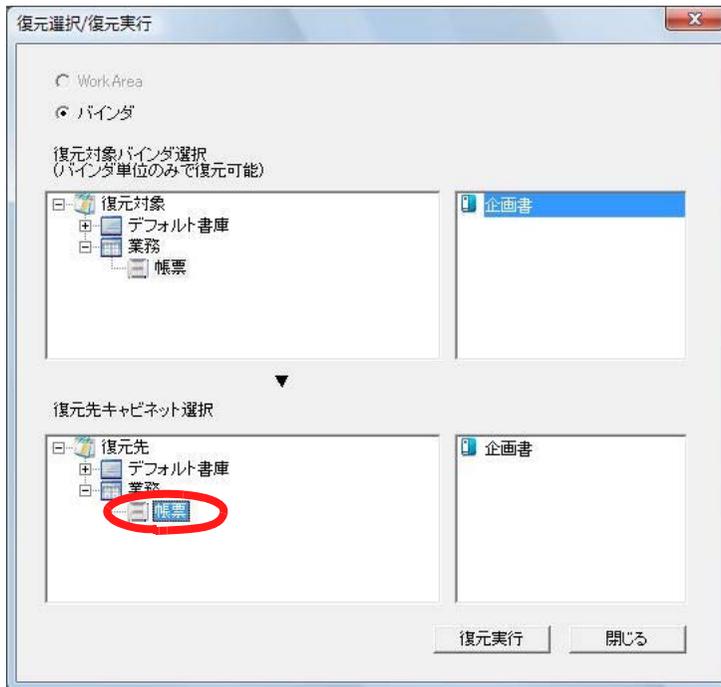
項目	機能
復元対象バインダ選択	バックアップされた書庫・キャビネット・バインダがツリー構造で表示されます。
復元先キャビネット選択	Rack2-Filer の現在の構成が表示されます。
[復元実行] ボタン	復元処理を実行します。
[閉じる] ボタン	復元選択 / 復元実行画面を閉じます。

3. 復元したいバインダを選択します。



- ・ 復元対象バインダ選択画面のツリーのルートには、バックアップされた時点の設定名称が表示されます。
- ・ バックアップの失敗したバインダは表示されません。
- ・ リンクフォルダを変更していないデータの場合、WorkArea の復元処理を行うと、WorkArea のデータフォルダ配下すべてがバックアップデータと置き換えられます。

4. 復元先となるキャビネットを選択します。



表示されるバイнда名称を選択することはできません。



5. [復元実行] ボタンをクリックします。

⇒ バイндаをキャビネットに復元するという確認メッセージが表示されます。

6. [はい] ボタンをクリックします。

⇒ データが復元されます。

11.8 復元バイндаを表示する

バイнда管理画面にて、復元されたバイндаを表示します。
復元されたバイндаのラベル文字には「復元」と表示されます。



まって!



- ・ バックアップ時点のバイндаにラベル名が入力されていた場合でも、ラベル名が「復元」とされるため、バイндаのラベル名はバックアップ/復元対象に含まれません。
- ・ バイндаを復元したことにより不要となった元バイндаは、自動的に削除されません。

ヒント



復元後、ラベル名「復元」は他の名称に変更することができます。

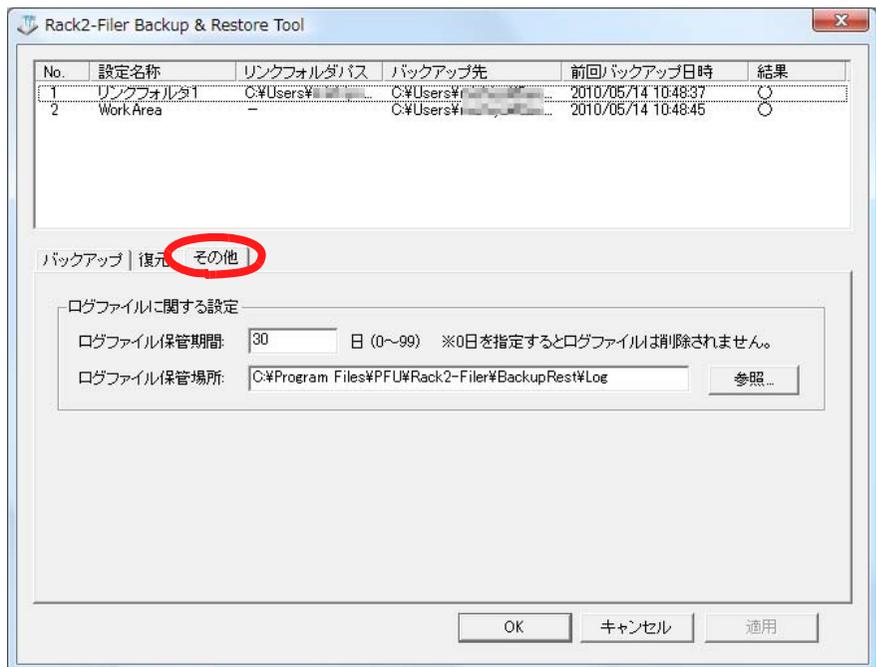
11.9 ログファイル設定画面を表示する

ログファイルの設定画面を表示します。



1. [Backup & Restore Tool] ダイアログボックスの [その他] タブをクリックします。

⇒ ログファイルの設定画面が表示されます。



項目	機能
ログファイル保管期間	ログファイルを保管する期間を設定します。保管期間を超えたログファイルは削除されます。0日を指定した場合、ファイルは削除されません。
ログファイル保管場所	ログファイルを保管するフォルダを選択します。[参照...]をクリックして、[フォルダの参照]ダイアログボックスから選択してください。



- ・ ログファイルには、実行されたバックアップ／復元についての結果情報が記載されています。
- ・ ログファイルに記載されている「成功」、「失敗」、「スキップ」の内容は以下のとおりです。
 - 成功 : バックアップ／復元を行ってコピーされたファイル数
 - 失敗 : バックアップ／復元に失敗したファイル数
 - スキップ : ファイルが変更されていなかったため、コピーの対象外とされたファイル数

第 12 章



困ったときには

この章では、Rack2-Filer の操作中にトラブルが発生した場合の対処方法について説明します。

《現象》

Rack2-Viewer（ビューア画面）をインストールしたときに、「Raku2 ImageWriter のインストールに失敗しました。」のメッセージが表示される。また、画像形式以外のファイル取り込みができない。

⇒ 以下の手順で「Raku2 ImageWriter」をインストールしてください（オペレーティングシステムによって、ボタン名や選択項目名が異なります）。

1. コンピュータを再起動します。
2. [スタート]メニューから[コントロールパネル]－[プリンタとFAX]を選択し、[プリンタの追加]をクリックします。
プリンタの追加ウィザード画面が表示されます。
3. 「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。
4. 「プリンタポートの選択」の画面で「次のポートを使用」を選択し、ポートのリストから「LPT1：（推奨プリンタポート）」または「Raku2Port」を選択します。
5. [次へ]ボタンをクリックします。
6. 「プリンタソフトウェアのインストール」の画面で、[ディスクを使用]ボタンをクリックし、Rack2-Viewer がインストールされているフォルダ(C:¥Program Files ¥PFU ¥Raku2 ¥)の以下のファイルを選択します。
 - ・ Windows XP または Windows 2000 の場合
RklImageWriter ¥ ForWin2000Xp ¥ RklImageWriter2k.inf
 - ・ Windows Vista（32 ビット版）／Windows 7（32 ビット版）の場合
RklImageWriter ¥ ForVista ¥ RklImageWriter2k.inf
 - ・ Windows Vista（64 ビット版）／Windows 7（64 ビット版）の場合
RklImageWriter ¥ ForVista64 ¥ RklImageWriter64.inf
7. ウィザード画面に従って、操作を進めます。
8. ハードウェアのインストール画面が表示されたら、[続行]ボタンをクリックします。

これで、プリンタに「Raku2 ImageWriter」が追加されます。

《現象》

スキャナ（TWAIN 対応）で原稿を読み取る場合、常に同じ設定条件（読み取り面、色数、解像度など）で読み込まれてしまう。

- ⇒ ビューア画面の [動作環境の設定] ダイアログボックスの [スキャナ設定] タブで、「スキャナ読み取り時に、ドライバ画面を表示します」をチェックします。
- チェック後、スキャナ読み取りを実行すると、ドライバ画面が表示され、条件を指定して読み取ることができます。
- また、「スキャナ読み取り時に、ドライバ画面を表示します」のチェックをはずすと、指定した条件が有効なまま、スキャナドライバ画面を表示せずに読み取ることができます。

《現象》

スキャナで読み取る場合、原稿が上下反転されて読み込まれてしまう。

- ⇒ 「7.6 ページを上下反転する」（175 ページ）を参照し、上下反転された原稿を修正してください。
- 原稿によっては、スキャナ読み取り時に天地が正しく補正されないことがあります。その場合、ビューア画面の [動作環境の設定] ダイアログボックスの [スキャナ設定] タブを表示し、「スキャナ読み取り時に、自動的に天地を補正する」のチェックをはずしてください。

《現象》

ScanSnap で写真を読み取ると、写真の裏面も取り込まれてしまう。

- ⇒ 写真の裏面に文字などが印刷されていたり、汚れていたりする場合、ScanSnap の設定で「白紙ページを自動的に削除します」を選択していても、写真の裏面も読み取ることがあります。
- 裏面を読み取らないようにする場合は、ScanSnap Manager で以下のよう設定してください。
- ・ 「ScanSnap Manager」アイコンを右クリックし、「片面読み取り」にチェックを付ける
 - ・ ScanSnap Manager の設定画面で [読み取りモード] タブの「読み取り面の選択」で、「片面読み取り」を選択する

《現象》

ScanSnap で写真を読み取ると、読み取った写真の周りに余白がついたり、写真が小さく取り込まれたりする。

⇒ ScanSnap Organizer で写真を適切なサイズに修正してから取り込んでください。

1. 写真を ScanSnap Organizer に取り込みます。
取り込み方法については、ScanSnap のマニュアルを参照してください。
2. 取り込んだ写真を ScanSnap Organizer ビューアで開き、トリミングなどを行って適切なサイズに修正します。
ScanSnap Organizer での操作については、ScanSnap Organizer のヘルプを参照してください。
3. 編集した写真を保存します。
4. 保存した写真を選択し、「オフィス機能」の「ピクチャフォルダに保存」を使って、JPEG ファイルに変換して保存します。
PDF ファイルに変換したデータを Rack2-Filer に取り込むと、再び余白がついてしまうため、必ず JPEG ファイルに変換してください。
5. 保存した JPEG ファイルを Rack2-Filer に取り込みます。

《現象》

ファイル取り込みで取り込まれたイメージの文字がにじんで見えたり、かすれて見えたりする。

⇒ ビューア画面で、[動作環境の設定] ダイアログボックスの[入力設定] タブの「解像度」を、高く設定してください。ただし、この場合、データのサイズが大きくなります。

《現象》

ファイルの取り込み時、取り込まれずにプリンタから出力されてしまう。

⇒ 対象ファイルを作成したアプリケーションが起動されています。
アプリケーションを終了してからファイル取り込みしてください。

《現象》

ファイルの取り込み時、正常にデータが取り込まれない。

- ⇒ 対象ファイルを作成したアプリケーションが起動されています。
アプリケーションを終了してからファイル取り込みしてください。

《現象》

ファイルの取り込みに時間がかかる

- ⇒ ビューア画面で、次のいずれかの対処をしてください。
 - ・ [動作環境の設定] ダイアログボックスの [入力設定] タブの「解像度」を、低く設定してください（推奨値は 200dpi です）。
 - ・ [動作環境の設定] ダイアログボックスの [入力設定] タブの「色数」を、「モノクロ」にしてください。

《現象》

[動作環境の設定] ダイアログボックスで、「色数」の設定を「モノクロ」にしても、ファイル取り込みを行うと、カラーになって取り込まれる。

- ⇒ ビューア画面の [動作環境の設定] ダイアログボックスの [入力設定] タブの「色数」と「解像度」の設定は、イメージ変換してファイル取り込みされる場合（ScanSnap が作成した PDF 以外のファイルを取り込む場合など）にだけ有効です。

《現象》

ファイルを取り込むと、「Raku2 ImageWriter は現在、使用中です。」というエラーメッセージが表示される。

- ⇒ 他のバインダでファイルを取り込んでいる最中は、その取り込み処理が終了するのを待ってから、再度実行してください。
他のバインダでファイルを取り込んでいないのにエラーが表示される場合は、Raku2 ImageWriter が異常終了している可能性があります。
システムを再起動してください。それでもエラーが表示される場合は、Rack2-Viewer のインストールに失敗していることが考えられます。
Rack2-Viewer を再インストールしてください。

《現象》

Microsoft Excel のファイル (.xls) を取り込んだとき、1 シートの表示が 2 ページにまたがってしまう。

- ⇒ 以下の手順で Microsoft Excel の設定を変更し、再度、ファイルを取り込んでください。
1. 対象の Excel ファイルを開きます。
 2. [ファイル]メニューから [印刷] を選択します。
 3. 印刷画面の「プリンタ」の「名前」で「Raku2 ImageWriter」を選択して、[印刷プレビュー] ボタンをクリックします。
 4. 1 シートの表示が 1 ページに収まっていない場合は、余白や設定を調整して、[閉じる] ボタンをクリックします。
 5. Excel ファイルを保存して、終了します。

《現象》

Microsoft Word のファイル (.doc) を取り込んだとき、図の位置などが元の表示内容と異なる。

- ⇒ 以下の手順で Microsoft Word の設定を変更し、再度、ファイルを取り込んでください。
1. 対象の Word 文書を開きます。
 2. [ファイル]メニューから [印刷] を選択します。
 3. 印刷画面の「プリンタ」の「プリンタ名」で「Raku2 ImageWriter」を選択して、[閉じる] ボタンをクリックします。
 4. [印刷プレビュー] ボタンをクリックします。
 5. 元の表示内容と異なる箇所があれば、余白や設定を調整して、[閉じる] ボタンをクリックします。
 6. Word 文書を保存して、終了します。

《現象》

PDF ファイルを取り込むと、データ内の一部が文字化けしてしまう。

- ⇒ PDF ファイルの名前が半角 30 文字以上（全角 15 文字以上）の場合、半角 30 文字目（全角 15 文字目）の次の文字が全角文字であれば、半角文字に変更してから、再度ファイルを取り込んでください。

《現象》

PDF ファイルを取り込むと、一部が欠けて取り込まれてしまう。

⇒ A4 縦サイズより大きいサイズの PDF ファイルを取り込むと、A4 縦サイズの範囲に収まらない領域が欠けてしまう場合があります。A4 縦サイズより大きい PDF ファイルを取り込む場合、以下の手順で取り込んでください。

1. 任意の PDF ファイルを Adobe Acrobat または Adobe Reader で表示します。
2. [ファイル]メニューから [印刷] を選択します。
3. 印刷画面の「ページ処理」の「PDF のページサイズに合わせて用紙を選択」にチェックを付けます。
4. 印刷を実行し、設定を保存します。
5. Adobe Acrobat または Adobe Reader を終了し、PDF ファイルを再度取り込みます。

上記の手順でも一部が欠けてしまう場合は、以下の手順で取り込んでください。

1. 任意の PDF ファイルを Adobe Acrobat または Adobe Reader で表示します。
2. [ファイル]メニューから [印刷] を選択します。
3. 印刷画面の「ページ処理」で、「ページの拡大 / 縮小」の「用紙に合わせる」を選択し、「自動回転と中央表示」にチェックを付けます。
4. 印刷を実行し、設定を保存します。
5. [ファイル]メニューから [閉じる] を選択します。
Adobe Acrobat または Adobe Reader は終了しないで、起動したままにしておきます。
6. 該当ファイルを通常の手順で Rack2-Filer に取り込みます。

《現象》

ファイル取り込みを行うと、「イメージ変換中です。しばらくお待ちください。」のメッセージが表示されたまま、取り込まれない。

⇒ 取り込み対象ファイルの関連付けアプリケーションが表示している画面（印刷画面など）が背面に隠れている場合があります。タスクバーを確認して、該当する画面があれば、クリックして前面に表示させて、[OK] ボタンなどをクリックしてください。

《現象》

ファイルを自動取り込みしたが、バインダに登録されない。

- ⇒ 対象フォルダを確認してください。
ファイルのコピーが、「Success」フォルダに移動されずに残っている場合は、設定画面を開き、チェックボックスにチェックされているか確認してください。
ファイルのコピーが「Fail」フォルダに移動されていた場合は、そのファイルを対象フォルダへ移動して、再度確認してください。

《現象》

他のアプリケーションからのデータ取り込み時、ScanSnap 連携時、またはファイルの自動取り込み時に、「リンクフォルダ (データ格納先フォルダ) にアクセスすることができません。環境設定で指定されているリンクフォルダの状態 (存在、属性等) を確認してください。」というメッセージが表示される。

- ⇒ リンクフォルダに指定されているデータ格納先フォルダの状態 (存在、属性など) を確認してください。
リンクフォルダに指定されているデータ格納先フォルダのパスは、



をクリックし、[環境設定] を選択して表示される [環境設定] ダイアログボックスの [一般] タブで確認できます。

《現象》

ページめくりを行う場合のアニメーション速度が遅い。

- ⇒ ビューア画面で、[動作環境の設定] ダイアログボックスの [めくり設定] タブの値を、速い設定にしてください。

《現象》

保存またはエクスポート機能で保存した PDF ファイルをビューア画面で開けない。

- ⇒ ビューア画面で、[動作環境の設定] ダイアログボックスの [動作環境の設定] タブの「PDF ファイルの関連付け」を、「ビューア画面（本製品）の起動」にしてください。
このように設定しておくで、PDF ファイルをダブルクリックすると、ビューア画面が起動されるようになります。

《現象》

元のファイル（電子データ）の修正時、正常にデータが反映されない。

- ⇒ 対象ファイルを修正したアプリケーションが起動されている場合は、アプリケーションを終了させてください。
対象ファイルを修正したアプリケーションが常駐モードに設定されている場合は、常駐モードを解除してください。

《現象》

Word / Excel / PowerPoint 文書に変換できない。

⇒ Word / Excel / PowerPoint 文書に変換しようとしているページが、以下の可能性があります。

- ・ ScanSnap から読み取ったページでない。
- ・ Rack2-Filer V4.0 以降で保存されたページでない。
- ・ ScanSnap の設定で、[設定ページごとに PDF ファイルを作ります] が選択されている状態で取り込んだページである。

変換できるページには、ScanSnap マークが表示されます。[オフィス機能 (ScanSnap データ)] - [ScanSnap マークの表示] をチェックし、ScanSnap マークが表示されるかどうか確認してください。

表示されない場合は、再度 ScanSnap から読み取りを行い、Rack2-Filer V4.0 以降で保存してください。

ScanSnap マークが表示されているのに変換できない場合は、ABBYY FineReader for ScanSnap がインストールされていない可能性があります。ABBYY FineReader for ScanSnap をインストールしてください。ScanSnap S1100 / S1300 / S1500 / S510 をご使用の方は、ScanSnap S1100 / S1300 / S1500 / S510 に ABBYY FineReader for ScanSnap が同梱されています。

ABBYY FineReader for ScanSnap は最新のアップデートを適用してください。

第 13 章



メッセージ

この章では、Rack2-Filer の操作中に表示されるメッセージとその対処方法について説明します。メッセージは五十音順に記載しています。

13.1 バインダ管理画面のメッセージ

バインダ管理画面の操作中に表示される主なメッセージと、その対処方法について説明します。

このバインダは本製品よりも新しいバージョン / レベルの Rack2-Filer で作られています。本製品でサポートしていない情報が表示されない場合や、一部の操作ができない場合があります。操作を続けますか？

対 処 本製品よりも新しいバージョン / レベルの Rack2-Filer で作成されたバインダであるため、本製品でサポートしていない情報が表示されなかったり、一部の操作ができなかったりすることがあります。
本製品での操作を続ける場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。

このバインダは本製品よりも新しいバージョン / レベルの Rack2-Filer で作られているため、起動できません。

対 処 本製品よりも新しいバージョン / レベルの Rack2-Filer で作成されたバインダであり、本製品でサポートしていない機能が使われているため、ビューア画面を起動できません。アップデートパックが公開されているかを確認し、プログラムを更新（アップデート）してください。

注意）プログラムを更新してもメッセージが表示される場合は、Rack2-Filer のバージョンアップ（有償）が必要です。

このバインダは本製品よりも新しいバージョン / レベルの Rack2-Filer で作られているため、この操作はできません。

対 処 本製品よりも新しいバージョン / レベルの Rack2-Filer で作成されたバインダであり、本製品でサポートしていない機能が使われています。アップデートパックが公開されているかを確認し、プログラムを更新（アップデート）してください。

注意）プログラムを更新してもメッセージが表示される場合は、Rack2-Filer のバージョンアップ（有償）が必要です。

このバインダは本製品よりも新しいバージョン/レベルの Rack2-Filer で作られているため、選択できません。

他のバインダを選択してください。

対 処 本製品よりも新しいバージョン/レベルの Rack2-Filer で作成されたバインダであり、本製品でサポートしていない機能が使われています。アップデートパックが公開されているかを確認し、プログラムを更新（アップデート）してください。

注意）プログラムを更新してもメッセージが表示される場合は、Rack2-Filer のバージョンアップ（有償）が必要です。

写真バインダに保存した写真/文書データを WorkArea へ移動しますか？
移動を行うと以下の情報は削除されます。

- ・ インデックス
- ・ 白紙ページ
- ・ テキスト情報
- ・ 編集情報（付箋紙やマーカーなど）

対 処 写真バインダの写真/文書データを WorkArea へ移動する場合、以下の情報は削除されます。処理を続ける場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。

- ・ インデックスシート
- ・ 白紙ページ
- ・ テキスト情報
- ・ 編集情報（付箋紙やマーカーなど）

移動すると、移動元の写真バインダにある情報が削除されます。

写真バインダに保存した写真／文書データを WorkArea へコピーしますか？

なお、以下の情報はコピーされません。

- ・ インデックス
- ・ 白紙ページ
- ・ テキスト情報
- ・ 編集情報 (付箋紙やマーカーなど)

対 処 写真バインダの写真／文書データを WorkArea へコピーする場合、以下の情報は削除されます。処理を続ける場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。

- ・ インデックスシート
- ・ 白紙ページ
- ・ テキスト情報
- ・ 編集情報 (付箋紙やマーカーなど)

写真バインダのため、インポートすることができません。

対 処 写真バインダのため、インポートすることができません。写真バインダは「Rack2 バインダ (*.rk2)」形式でのみインポート可能です。

処理中にエラーが発生しました。

再度実行してください。

対 処 以下の対処を行ってください。

- ・ 不要なプログラムを終了するか、またはシステムの再起動を行ってから、再度実行してください。
- ・ Rack2-Filer をアンインストールして、再度インストールしてください。

選択されたバインダが処理中のため、操作することができません。

しばらく待ってから、再度実行してください。

対 処 しばらく待ってから、再度実行してください。

選択したバインダ内には、送ることができるページが存在しないため、実行できません。

- 対 処 選択したバインダに送ることができるページがありません。
以下のページはクラウド／モバイルに送れません。
- ・ 目次ページ
 - ・ インデックスシート
 - ・ パスワード／印刷制限付きのページ
 - ・ 白紙ページ（「白紙ページを削除する」にチェックが付いている場合）
- 送ることが可能なバインダを選択して、再度実行してください。

選択したバインダ内のページは、すべてパスワード／印刷制限付きのページであるため、実行できません。

- 対 処 選択したバインダに送ることができるページがありません。
パスワード／印刷制限付きのページは、クラウド／モバイルに送れません。
送ることが可能なバインダを選択して、再度実行してください。

**追加先のバインダは本製品よりも新しいバージョン／レベルの Rack2-Filer で作られているため、データ登録することはできません。
他のバインダを選択してください。**

- 対 処 本製品よりも新しいバージョン／レベルの Rack2-Filer で作成されたバインダであり、本製品でサポートしていない機能が使われています。アップデートパックが公開されているかを確認し、プログラムを更新（アップデート）してください。
注意）プログラムを更新してもメッセージが表示される場合は、Rack2-Filer のバージョンアップ（有償）が必要です。

**入力されたキャビネット名が既に存在します。
別の名前に変更してください。**

- 対 処 キャビネット名を別の名前に変更してください。

入力された書庫名が既に存在します。
別の名前に変更してください。

対 処 書庫名を別の名前に変更してください。

バインダを選択してください。

対 処 バインダを選択してから、再度、操作してください。

バインダの操作でエラーが発生しました。

以下の理由が考えられます。

- ・ キャビネットが見つからない
- ・ ネットワークが切断されている
- ・ ディスク容量が不足している
- ・ 読み取り専用のリンクフォルダが指定されている

キャビネットの存在、ネットワーク環境およびリンクフォルダの状態
(存在、属性等)を確認してください。

対 処 以下を確認し、再度、ファイル进行操作してください。

- ・ リンクフォルダや一時フォルダの空き容量が不足していないか
- ・ リンクフォルダに書き込み権限があるか (リンクフォルダに新規ファイルを作成できるか)
- ・ リンクフォルダがネットワーク上にある場合、接続が切断されていないか
- ・ キャビネットが存在するか (バインダ管理画面で [F5] キーを押すと最新の状態に更新されます)

必要なファイルが見つかりません。

ビューアを再インストールしてください。

対 処 正しくインストールされていない可能性があります。
Rack2-Viewer をアンインストールして、再度インストールしてください。

ビューアがインストールされていません。インストールを行ってください。

対 処 Rack2-Viewer をインストールしてください。

表示するリンクフォルダが選択されていません。設定を確認してください。

対 処 リンクフォルダのすべてを非表示にすることはできません。
必ず1つ以上のリンクフォルダで「表示する」にチェックを付けてください。

プログラムエラーが発生しました。

システムの再起動を行ってから、再度実行してください。

対 処 システムの再起動を行ってから、再度実行してください。

**ページ数が最大登録ページ数（XXX）を超えるため、移動できません。
最大登録ページ数を超えないようにして再度実行してください。**

対 処 選択したページをバインダに移動すると、移動先バインダの最大登録ページ数を超えてしまいます。
移動するページ数を減らすか、移動先バインダの不要なページを削除してから、再度実行してください。
XXXには、バインダ管理画面の[バインダの編集]ダイアログボックスの[属性]タブの「バインダサイズ」で選択したバインダの最大登録ページ数が表示されます。このダイアログボックスの指定によって、以下の値が表示されます。
「500 ページ」が選択されている場合：500
「1000 ページ」が選択されている場合：1000

他で同じ操作が行われているため、実行できません。

他での処理が完了してから、再度実行してください。

対 処 実行中の処理が完了してから再度実行してください。

本製品よりも新しいバージョン / レベルの Rack2-Filer で作られたバインダは、検索できません。

対 処 本製品よりも新しいバージョン / レベルの Rack2-Filer で作成されたバインダであり、本製品でサポートしていない機能が使われているため、検索できません。アップデートパックが公開されているかを確認し、プログラムを更新（アップデート）してください。

注意）プログラムを更新してもメッセージが表示される場合は、Rack2-Filer のバージョンアップ（有償）が必要です。

本製品よりも新しいバージョン / レベルの Rack2-Filer で作られたページを追加しようとしています。この操作をすると、新しいバージョン / レベルのバインダに更新されるため、一部の操作ができなくなる場合があります。

操作を続けますか？

対 処 本製品よりも新しいバージョン / レベルの Rack2-Filer で取り込まれたページを、本製品にコピー / 移動などの操作で追加した場合、追加先の本製品のバインダも新しいバージョン / レベルのバインダに更新されるため、一部の操作ができなくなる場合があります。

操作を続ける場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。

PDF の作成処理中にエラーが発生しました。

再度実行してください。

対 処 以下を確認してください。

- ・ 一時フォルダの空き容量が不足していないか
- ・ 一時フォルダに書き込み権限があるか
- ・ 暗号化ソフトがインストールされていないか

13.2 ビューア画面のメッセージ

ビューア画面の操作中に表示される主なメッセージと、その対処方法について説明します。

印刷処理でエラーが発生しました。

対 処 プログラムを終了してから、再度、印刷してください。

拡大表示処理でエラーが発生しました。

対 処 プログラムを終了してから、再度、拡大表示してください。

クリップボードへのコピー処理でエラーが発生しました。

対 処 Rack2-Viewer を終了してから、再度、クリップボードに原稿をコピーしてください。

このバインダは本製品よりも新しいバージョン / レベルの Rack2-Filer で作られているため、この操作はできません。

対 処 本製品よりも新しいバージョン / レベルの Rack2-Filer で作成されたバインダであり、本製品でサポートしていない機能が使われています。アップデートパックが公開されているかを確認し、プログラムを更新（アップデート）してください。

注意）プログラムを更新してもメッセージが表示される場合は、Rack2-Filer のバージョンアップ（有償）が必要です。

**このバインダは本製品よりも新しいバージョン / レベルの Rack2-Filer で作られているため、選択できません。
他のバインダを選択してください。**

対 処 本製品よりも新しいバージョン / レベルの Rack2-Filer で作成されたバインダであり、本製品でサポートしていない機能が使われています。アップデートパックが公開されているかを確認し、プログラムを更新（アップデート）してください。

注意）プログラムを更新してもメッセージが表示される場合は、Rack2-Filer のバージョンアップ（有償）が必要です。

**これ以上ページに写真 / 文書データを配置できません。
現在配置されている写真 / 文書データを移動または削除するか、新しいページを追加してから再度移動を行ってください。**

対 処 移動先ページに配置できる写真 / 文書データの最大を超えてしまうため、移動できません。

- ・ 配置先ページの写真 / 文書データを移動してから移動してください。
- ・ 配置先ページに不要な写真 / 文書データがある場合は、削除してから移動してください。
- ・ 移動先ページの前後に台紙または白紙ページを挿入して、移動先ページを追加してから写真 / 文書データを移動してください。

削除対象に、電子ファイルの一部を含んでいるため削除されないページがあります。よろしいですか？

対 処 原稿の表面の削除、または裏面の削除をしようとしたときに、表面と裏面が同じ電子データで関連付けされているページは削除されません。

処理を続ける場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。

指定したページには、送ることができるページが存在しないため、実行できません。

- 対 処 選択したページ内に送ることができるページがありません。
以下のページはクラウド／モバイルに送れません。
- ・ 目次ページ
 - ・ インデックスシート
 - ・ パスワード／印刷制限付きのページ
 - ・ 白紙ページ（「白紙ページを削除する」にチェックが付いている場合）
- 送ることが可能なページを選択して、再度実行してください。

指定したページは、すべてパスワード / 印刷制限付きのページであるため、実行できません。

- 対 処 選択したページ内に、送ることができるページがありません。
パスワード／印刷制限付きのページはクラウド／モバイルに送れません。
送ることが可能なページを選択して、再度実行してください。

**指定の場所に移動することはできません。
他のページを開いてから、OK ボタンを押してください。**

- 対 処 他のページを開いて、[OK] ボタンをクリックしてください。
ビューア画面の背景、または目次の表紙面以外の場所にドラッグ & ドロップをしてください。

指定範囲は 10 ～ 30 です。再度入力してください。

- 対 処 インデックスシートのタグ（凸部）の長さは、インデックスシートの縦幅に対して、10 ～ 30%の範囲で指定してください。

写真／文書データの保存に失敗しました。

- 対 処 以下の対処を行ってください。
- ・ 保存先を変更して、再度実行してください。
 - ・ 不要なプログラムを終了するか、またはシステムの再起動を行ってから、再度実行してください。

写真／文書データを WorkArea へ移動しますか？

移動を行うと以下の情報は削除されます。

- ・ インデックス
- ・ 白紙ページ
- ・ テキスト情報
- ・ 編集情報 (付箋紙やマーカーなど)

対 処 写真バインダの写真／文書データを WorkArea へ移動する場合、以下の情報は削除されます。処理を続ける場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。

- ・ インデックスシート
- ・ 白紙ページ
- ・ テキスト情報
- ・ 編集情報 (付箋紙やマーカーなど)

移動すると、移動元の写真バインダにある情報が削除されます。

写真／文書データを WorkArea へコピーしますか？

なお、以下の情報はコピーされません。

- ・ インデックス
- ・ 白紙ページ
- ・ テキスト情報
- ・ 編集情報 (付箋紙やマーカーなど)

対 処 写真バインダの写真／文書データを WorkArea へコピーする場合、以下の情報は削除されません。処理を続ける場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。

- ・ インデックスシート
- ・ 白紙ページ
- ・ テキスト情報
- ・ 編集情報 (付箋紙やマーカーなど)

**処理中にエラーが発生しました。
再度実行してください。**

- 対 処 以下の対処を行ってください。
- ・ 不要なプログラムを終了するか、またはシステムの再起動を行ってから、再度実行してください。
 - ・ Rack2-Filer をアンインストールして、再度インストールしてください。

選択された原稿が、電子ファイルの一部を含んでいるため、電子ファイル及び関連ページが全て対象となりますが、よろしいですか？

- 対 処 選択された原稿には電子ファイルの一部が含まれているため、その電子ファイル、および関連するページ（同じファイルのページ）が操作の対象となります。操作を続ける場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。

**選択されたバイндаが処理中のため、操作することができません。
しばらく待ってから、再度実行してください。**

- 対 処 しばらく待ってから、再度実行してください。

選択されたページが、電子ファイルの一部を含んでいるため、電子ファイル及び関連ページが全て対象となりますが、よろしいですか？

- 対 処 選択されたページには電子ファイルの一部が含まれているため、その電子ファイル、および関連するページ（同じファイルのページ）が操作の対象となります。操作を続ける場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。

選択した原稿は、パスワード / 印刷制限付きページ、またはインデックスのみであるため、割り付けできません。

- 対 処 選択した原稿内に、割り付け可能な原稿がありません。
割り付けできない原稿は、以下のとおりです。
- ・ インデックスシート
 - ・ パスワード / 印刷制限付きのページ
- 割り付け可能な原稿を選択して、再度実行してください。

選択した原稿を割り付けます。

割り付け後は以下の情報が削除される場合があります。よろしいですか？

- ・ 編集情報
- ・ 電子データ
- ・ ScanSnap データ
- ・ 目次情報
- ・ テキスト情報

対 処 原稿を 2 ページずつ 1 ページ内に割り付ける場合、原稿の以下の情報が削除されることがあります。処理を続ける場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。

- ・ 編集情報
- ・ 電子データ
- ・ ScanSnap データ
- ・ 目次情報
- ・ テキスト情報

なお、各情報が削除される場合の条件については、「7.34 原稿を 1 ページに割り付ける」（258 ページ）の「割り付け後のページについて」（260 ページ）を参照してください。

追加先のバインダは本製品よりも新しいバージョン / レベルの Rack2-Filer で作られているため、データ登録することはできません。

他のバインダを選択してください。

対 処 本製品よりも新しいバージョン / レベルの Rack2-Filer で作成されたバインダであり、本製品でサポートしていない機能が使われています。アップデートパックが公開されているかを確認し、プログラムを更新（アップデート）してください。

注意）プログラムを更新してもメッセージが表示される場合は、Rack2-Filer のバージョンアップ（有償）が必要です。

通常バインダとして保存します。

元のバインダ種別のままデータを保存したい場合は、ファイルの種類で **Rack2 バインダ (*.rk2)** を選択して保存してください。

対 処 名刺バインダおよび写真バインダを「データファイル (*.pdf+*.ini)」形式で保存すると、通常バインダに変換して保存します。

出力したバインダファイルを再び取り込んで Rack2-Fileer で管理する場合は、「Rack2 バインダ (*.rk2)」形式を選択して保存するか、バインダ管理画面のエクスポート機能で「Rack2 バインダ (*.rk2)」形式を選択してエクスポートしてください。

データの取得処理でエラーが発生しました。

対 処 リンクフォルダ配下にフォルダやファイルを作成したり、リンクフォルダに格納されているデータをエクスプローラなどで直接変更するなどが原因で、管理情報に不整合が発生した可能性があります。サポートセンターへご連絡ください。

**電子データ付きのページの間、移動することはできません。
他のページを開いてから、OK ボタンを押してください。**

対 処 電子データ付き以外のページを開いて、[OK] ボタンをクリックしてください。

電子データの修正中にエラーが発生しました。

対 処 Rack2-Viewer を終了してから、再度、電子データを修正してください。

バインダの操作でエラーが発生しました。

以下の理由が考えられます。

- ・ キャビネットが見つからない
- ・ ネットワークが切断されている
- ・ ディスク容量が不足している
- ・ 読み取り専用のリンクフォルダが指定されている

キャビネットの存在、ネットワーク環境およびリンクフォルダの状態 (存在、属性等) を確認してください。

対 処 以下を確認し、再度、ファイル进行操作してください。

- ・ リンクフォルダや一時フォルダの空き容量が不足していないか
- ・ リンクフォルダに書き込み権限があるか (リンクフォルダに新規ファイルを作成できるか)
- ・ リンクフォルダがネットワーク上にある場合、接続が切断されていないか
- ・ キャビネットが存在するか (バインダ管理画面で [F5] キーを押すと最新の状態に更新されます)

パスワード / 印刷制限付きの PDF は、写真バインダには取り込めません。

対 処 パスワード付きの PDF ファイル、または印刷制限付きの PDF ファイルは、写真バインダに取り込めません。

貼り付け処理でエラーが発生しました。

対 処 Rack2-Viewer を終了してから、再度、原稿を貼り付けてください。

貼り付け処理でエラーが発生しました。

ディスクの状況 (空き容量, 属性, 接続状態) を確認して、再度実行してください。

対 処 以下を確認し、再度貼り付け操作を行ってください。

- ・ 一時フォルダの空き容量が不足していないか
- ・ 一時フォルダに書き込み権限があるか (一時フォルダに新規ファイルを作成できるか)

必要なファイルが見つかりません。

ビューアを再インストールしてください。

対処 正しくインストールされていない可能性があります。
Rack2-Viewer をアンインストールして、再度インストールしてください。

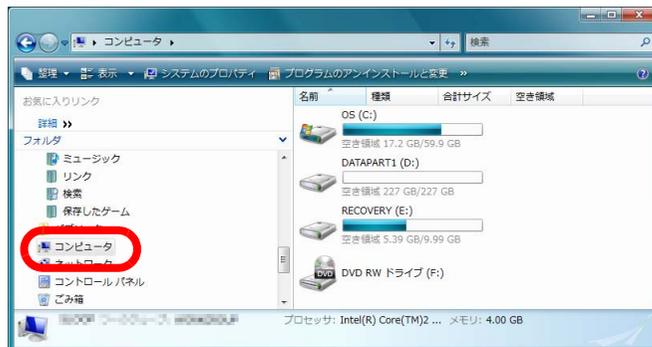
ファイルの書き込みに失敗しました。

ディスクの空き容量が不足しているか、または出力フォルダ内のファイルが読み取り専用である可能性があります。

ディスクの空き容量、ファイルを確認して、再度実行してください。

対処 以下を確認し、再度、実行してください。

- ・ システムドライブやリンクフォルダのあるドライブの空き容量を確認してから、再度、実行してください。
ドライブの空き容量を確認する場合は、エクスプローラを起動し、「コンピュータ」をクリックします。



表示された画面のドライブを右クリックして[プロパティ]を選択します。[全般]タブを選択すると、空き容量が表示されます。

空き領域が少ない場合は、不要なファイルなどを削除するか、またはディスクのクリーンアップを行ってください。

- ・ ファイルが読み取り専用になっていないか
ファイルが読み取り専用であるかどうかを確認する場合は、ファイルを右クリックすると表示されるメニューから [プロパティ] を選択します。[全般] タブの「属性」の「読み取り専用」にチェックが付いている場合は、チェックをはずしてください。



ファイルの保存処理でエラーが発生しました。
ディスクの状況 (空き容量 , 属性 , 接続状態) を確認して、再度実行してください。

- 対処 以下を確認し、再度、ファイルを保存してください。
- ・ リンクフォルダや一時フォルダの空き容量が不足していないか
 - ・ リンクフォルダに書き込み権限があるか (リンクフォルダに新規ファイルを作成できるか)
 - ・ リンクフォルダがネットワーク上にある場合、接続が切断されていないか

ファイルの読み込みに失敗しました。
ファイルの内容やディスクの状況を確認して、再度実行してください。

- 対 処 以下を確認し、再度、ファイルを読み込んでください。
- ・ ファイルにアクセスできるか
 - ・ ファイルが他のアプリケーションで開かれていないか
 - ・ ファイルのファイルサイズが0ではないか
 - ・ ファイルのパスの長さが最大長（半角 256 文字）を超えていないか
 - ・ ファイルが壊れていないか（関連付けされているアプリケーションで正しく表示できるか）

付箋紙の保存処理でエラーが発生しました。

- 対 処 Rack2-Viewer を終了してから、再度、付箋紙を付けてください。

プログラムエラーが発生しました。
システムの再起動を行ってから、再度実行してください。

- 対 処 システムの再起動を行ってから、再度実行してください。

ページ数が最大登録ページ数（XXX）を超えるため、移動できません。
最大登録ページ数を超えないようにして再度実行してください。

- 対 処 選択したページをバインダに移動すると、移動先バインダの最大登録ページ数を超えてしまいます。
移動するページ数を減らすか、移動先バインダの不要なページを削除してから、再度実行してください。

XXX には、バインダ管理画面の [バインダの編集] ダイアログボックスの [属性] タブの「バインダサイズ」で選択したバインダの最大登録ページ数が表示されます。このダイアログボックスの指定によって、以下の値が表示されます。

「500 ページ」が選択されている場合：500

「1000 ページ」が選択されている場合：1000

ページ数が最大登録ページ数（XXX）を超えるため、保存できません。
最大登録ページ数を超えないようにして再度実行してください。

対 処 不要なページを削除し、取り込み後の総ページ数が最大登録ページ数を超えないようにしてから、再度、取り込みなおしてください。

XXX には、バイнда管理画面の [バイндаの編集] ダイアログボックスの [属性] タブの「バイндаサイズ」で選択したバイндаの最大登録ページ数が表示されます。このダイアログボックスの指定によって、以下の値が表示されます。

「500 ページ」が選択されている場合：500

「1000 ページ」が選択されている場合：1000

ページ数が最大登録ページ数（XXX）を超えるため、レイアウトを変更できません。

不要なページを削除してから再度実行してください。

対 処 [レイアウトの設定] ダイアログボックスで、ページに配置する写真／文書の数が少ないレイアウトパターンに変更した場合、取り込んだ写真／文書を配置するためにページを自動的に追加することがあります。この処理によって、ページ数が最大登録ページ数を超えてしまうことがあります。その場合、レイアウトを変更するページ数を減らすか、不要なページを削除してから、再度実行してください。

XXX には、バイнда管理画面の [バイндаの編集] ダイアログボックスの [属性] タブの「バイндаサイズ」で選択したバイндаの最大登録ページ数が表示されます。このダイアログボックスの指定によって、以下の値が表示されます。

「500 ページ」が選択されている場合：500

「1000 ページ」が選択されている場合：1000

**編集情報の最大数は 10 個のため、追加することができません。
不要な編集情報を削除して、再度実行してください。**

対 処 編集情報（付箋紙、マーカー、スタンプ、ハイパーリンク）は、
1 ページあたり合わせて最大 10 個まで追加できます。
不要な編集情報を削除してから、再度追加してください。

**他で同じ操作が行われているため、実行できません。
他での処理が完了してから、再度実行してください。**

対 処 実行中の処理が完了してから再度実行してください。

**本製品よりも新しいバージョン / レベルの Rack2-Filer で作られたバインダ
は、検索できません。**

対 処 本製品よりも新しいバージョン / レベルの Rack2-Filer で作成
されたバインダであり、本製品でサポートしていない機能が使
われているため、検索できません。アップデートパックが公開
されているかを確認し、プログラムを更新（アップデート）し
てください。

注意）プログラムを更新してもメッセージが表示される場合
は、Rack2-Filer のバージョンアップ（有償）が必要
です。

**本製品よりも新しいバージョン / レベルの Rack2-Filer で作られたページを
追加しようとしています。この操作をすると、新しいバージョン / レベル
のバインダに更新されるため、一部の操作ができなくなる場合があります。
操作を続けますか？**

対 処 本製品よりも新しいバージョン / レベルの Rack2-Filer で取り
込まれたページを、本製品にコピー / 移動などの操作で追加し
た場合、追加先の本製品のバインダも新しいバージョン / レベ
ルのバインダに更新されるため、一部の操作ができなくなる場
合があります。
操作を続ける場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。

**メモリの確保に失敗しました。
不要なアプリケーションを終了して、再度起動してください。**

対 処 不要なアプリケーションを終了して、再度起動してください。

**リソースファイルが見つかりません。
Rack2-Filer をアンインストールした後、再度インストールしてください。**

対 処 Rack2-Filer の実行に必要なファイルが見つかりません。システムを再起動してください。
それでもエラーが表示される場合は、インストールに失敗していることが考えられます。Rack2-Filer を再インストールしてください。

**1 ページや回転表示モードでは、ページを移動することができません。
見開きモードへ切り替えてから、OK ボタンを押してください。**

対 処 見開きモードでページを開いて、[OK] ボタンをクリックしてください。ページを移動する場合は、見開きモードで操作を行ってください。

**DLL の読み込みに失敗しました。
アンインストールして再起動した後、再度インストールしてください。**

対 処 正しくインストールされていない可能性があります。
Rack2-Filer をアンインストールして、再度インストールしてください。

**PDF の作成処理中にエラーが発生しました。
再度実行してください。**

対 処 以下を確認してください。

- ・ 一時フォルダの空き容量が不足していないか
- ・ 一時フォルダに書き込み権限があるか
- ・ 暗号化ソフトがインストールされていないか

Raku2 ImageWriter は現在、使用中です。終了するのを待って、再度実行してください。

対 処 他のバインダでファイルを取り込んでいる最中は、その取り込み処理が終了するのを待ってから、再度実行してください。他のバインダでファイルを取り込んでいないのにエラーが表示される場合は、Raku2 ImageWriter が異常終了している可能性があります。システムを再起動してください。それでもエラーが表示される場合は、Rack2-Viewer のインストールに失敗していることが考えられます。Rack2-Filer を再インストールしてください。

13.3 WorkArea 画面のメッセージ

WorkArea 画面の操作中表示される主なメッセージと、その対処方法について説明します。

一度に取り込めるファイルの最大ページ数 (1000) を超えたため、WorkArea へ取り込めませんでした。

対 処 ファイルのページ数が最大ページにならないように分割してから再度実行するか、またはファイルを直接開いてプリンタに Raku2 ImageWriter を指定し、最大ページ数を超えないように分割して印刷を実行し、WorkArea 画面に取り込んでください。

**印刷処理が行われなかったため、取り込めませんでした。
関連のアプリケーションが起動されている場合は、アプリケーションを終了してください。**

対 処 以下の対処を行ってください。

- ・ 関連のアプリケーションが起動されている場合は、アプリケーションを終了してから、再度実行してください。
- ・ ファイルを直接開いて、アプリケーションの印刷機能で、プリンタに Raku2 ImageWriter を指定して WorkArea へ取り込んでください。
- ・ パスワード付きの PDF ファイル、または印刷制限付きの PDF ファイルを取り込んだ場合、パスワード入力画面で [キャンセル] ボタンをクリックすると、このメッセージが表示されます。
- ・ PDF ファイルの取り込み時にパスワードを入力するか、またはビューア画面の [動作環境の設定] ダイアログボックスで「パスワードまたは印刷制限付き PDF を取り込む場合、元ファイルを取り込み、ページ内容を表示しない」にチェックを付けて、再度実行してください。

関連付けられている電子ファイルが見つからないページがありました。
ファイル取り込み後に電子ファイルが削除されたか、別の場所へ移動された可能性があります。

そのまま処理を続行しますか？

対 処 メール送信時、添付ファイルに電子ファイルを指定した場合、電子ファイルが見つからないページがありました。電子データがリンク情報の場合、リンク先のファイルが存在するか確認してください。

また、一部添付ファイルが作成できないまま処理を続行する場合は、[はい] ボタンをクリックしてください。

このバインダは本製品よりも新しいバージョン / レベルの Rack2-Filer で作られているため、移動できません。

他のバインダを選択してください。

対 処 本製品よりも新しいバージョン / レベルの Rack2-Filer で作成されたバインダであり、本製品でサポートしていない機能が使われています。アップデートパックが公開されているかを確認し、プログラムを更新（アップデート）してください。

注意）プログラムを更新してもメッセージが表示される場合は、Rack2-Filer のバージョンアップ（有償）が必要です。

このバインダは本製品よりも新しいバージョン / レベルの Rack2-Filer で作られているため、この操作はできません。

対 処 本製品よりも新しいバージョン / レベルの Rack2-Filer で作成されたバインダであり、本製品でサポートしていない機能が使われています。アップデートパックが公開されているかを確認し、プログラムを更新（アップデート）してください。

注意）プログラムを更新してもメッセージが表示される場合は、Rack2-Filer のバージョンアップ（有償）が必要です。

**このバインダは本製品よりも新しいバージョン / レベルの Rack2-Filer で作られているため、選択できません。
他のバインダを選択してください。**

対 処 本製品よりも新しいバージョン / レベルの Rack2-Filer で作成されたバインダであり、本製品でサポートしていない機能が使われています。アップデートパックが公開されているかを確認し、プログラムを更新（アップデート）してください。

注意）プログラムを更新してもメッセージが表示される場合は、Rack2-Filer のバージョンアップ（有償）が必要です。

このページは、パスワード / 印刷制限付きのページであるため、マーカ一切り出しできません。

対 処 パスワード付きの PDF ファイル、または印刷制限付きの PDF ファイルのページは、ScanSnap のマーカ一切り出し機能を使用して切り抜きできません。
別のページ（ScanSnap で取り込んだページのみ）を指定して、再度実行してください。

サムネイルの最大個数 (100) を超えるため、指定された操作は実行できません。

最大個数を超えないようにして再度実行してください。

対 処 不要なサムネイルを削除して、再度実行してください。
また、サムネイルの分割時に対象のサムネイルが最大個数を超える場合は、操作できません。この場合、不要なページを取り出して削除したり、取り出したサムネイルをまとめるなど、サムネイルの最大個数を超えないようにしてください。

サムネイルの最大ページ数 (1000) を超えるため、指定された操作は実行できません。

最大ページ数を超えないようにして再度実行してください。

対 処 最大ページ数を超えないようにして、再度実行してください。

システムメモリが不足しているため、処理を行うことができません。
不要なプログラムを終了するか、または、システムの再起動を行ってから、再度実行してください。

対 処 不要なプログラムを終了するか、またはシステムの再起動を行ってから、再度実行してください。

指定した印刷範囲には、印刷対象のページが存在しないため、印刷できません。

指定したページがパスワード / 印刷制限付きのページや白紙ページでないことを確認してください。

対 処 指定したページ内に印刷可能なページがありません。
印刷できないページは以下のとおりです。

- ・ 白紙ページ（白紙ページを印刷しない場合）
- ・ パスワード / 印刷制限付きのページ

印刷可能なページを指定して、再度実行してください。

指定したページには、送ることができるページが存在しないため、実行できません。

対 処 選択したページ内に送ることができるページがありません。
以下のページはクラウド / モバイルに送れません。

- ・ 目次ページ
- ・ インデックスシート
- ・ パスワード / 印刷制限付きのページ
- ・ 白紙ページ（「白紙ページを削除する」にチェックが付いている場合）

送ることが可能なページを選択して、再度実行してください。

処理中にエラーが発生しました。

再度実行してください。

対 処 以下の対処を行ってください。

- ・ 不要なプログラムを終了するか、またはシステムの再起動を行ってから、再度実行してください。
- ・ Rack2-Filer をアンインストールして、再度インストールしてください。

選択された原稿が、電子ファイルの一部を含んでいるため、電子ファイル及び関連ページが全て対象となりますが、よろしいですか？

対 処 電子ファイルおよび関連ページすべてを対象として移動させる場合は、「はい」を選択してください。実行した動作をキャンセルする場合は、「いいえ」を選択してください。

選択されたサムネイル内に、ScanSnap で取り込まれていないページ、または、V4.0L10 以前で取り込まれたページが含まれているため、オフィス機能をご利用できません。

対 処 オフィス機能を使用できるのは、ScanSnap を使って読み取り、Rack2-Filer V4.0 以降に取り込まれたページです。ScanSnap で取り込まれていないページを取り出してから、再度実行してください。



表示 をクリックし、[ScanSnap マークの表示] を選択す

ると、ScanSnap で読み取ったページの下部に ScanSnap のアイコンが表示されます。

選択されたバインダが処理中のため、操作することができません。しばらく待ってから、再度実行してください。

対 処 しばらく待ってから、再度実行してください。

選択したサムネイル内にパスワード / 印刷制限付きのページがあるため、写真バインダに移動できません。

対 処 パスワード付きの PDF ファイル、または印刷制限付きの PDF ファイルは、写真バインダに取り込めません。

選択したサムネイル内にはマーカーク切り出しの対象ページが存在しません。(ScanSnap で取り込んだページが存在しないか、または、パスワード / 印刷制限付きのページであるため。)

対処 以下を確認してください。

- ・ 選択したサムネイル内に、ScanSnap で読み取ったページが存在するか



をクリックし、[ScanSnap マークの表示] を選

択すると、ScanSnap で読み取ったページの下部に ScanSnap のアイコンが表示されます。

- ・ パスワード付きの PDF ファイル、または印刷制限付きの PDF ファイルを取り込んだページではないか

選択したサムネイル内には、印刷対象のページが存在しないため、印刷できません。

対処 指定したページ内に印刷可能なページがありません。印刷できないページは以下のとおりです。

- ・ 白紙ページ（白紙ページを印刷しない場合）
- ・ パスワード / 印刷制限付きのページ

印刷可能なページを指定して、再度実行してください。

選択したサムネイル内には、保存対象のページが存在しないため、保存できません。

対処 選択したサムネイル内にページが存在するか確認してください。なお、インデックスシートのみサムネイルは保存できません。

選択したサムネイル内には、メール送信の対象ページや電子ファイルが存在しないため、メール送信できません。

対処 選択したサムネイル内にページが存在するか確認してください。また、添付ファイルに電子ファイルを指定した場合、選択したサムネイル内に電子ファイルが存在するか確認してください。

選択したサムネイル内の電子データ付きページは、すべてパスワード／印刷制限付きのページであるため、削除できません。

対 処 パスワード付きの PDF ファイル、または印刷制限付きの PDF ファイルのページに関連付けされている電子データは削除できません。
 選択したサムネイル内には、削除できる電子データが存在しません。

選択したサムネイル内のページは、すべてパスワード / 印刷制限付きのページであるため、印刷できません。

対 処 パスワード付きの PDF ファイル、または印刷制限付きの PDF ファイルを取り込んだページは、印刷できません。

選択したサムネイル内のページは、すべてパスワード / 印刷制限付きのページであるため、実行できません。

対 処 選択したサムネイル内に、送ることができるページがありません。パスワード／印刷制限付きのページはクラウド／モバイルに送れません。
 送ることが可能なサムネイルを選択して、再度実行してください。

選択したサムネイル内のページは、すべてパスワード / 印刷制限付きのページであるため、メール送信できません。

対 処 パスワード付きの PDF ファイル、または印刷制限付きの PDF ファイルを取り込んだページは、メール送信できません。

選択したサムネイルの総ページ数が 1000 ページを超えるため、印刷できません。

1000 ページを超えないように再度選択しなおしてください。

対 処 サムネイルの総ページ数が上限を超えないように再度実行してください。

選択したサムネイルを写真／文書データとして写真バインダに取り込みます。

取り込みを行うと、以下の情報は削除されます。

- ・ インデックス
- ・ 白紙ページ
- ・ テキスト情報
- ・ 編集情報 (付箋紙やマーカーなど)

なお、「元に戻す」を行うことで、操作前の状態に戻すことができます。

対 処 WorkArea のサムネイルを写真バインダへコピー／移動する場合、以下の情報は削除されます。処理を続ける場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。

- ・ インデックスシート
- ・ 白紙ページ
- ・ テキスト情報
- ・ 編集情報 (付箋紙やマーカーなど)

移動すると、移動元の写真バインダにある情報が削除されます。

追加先のバインダは本製品よりも新しいバージョン / レベルの Rack2-Filer で作られているため、データ登録することはできません。

他のバインダを選択してください。

対 処 本製品よりも新しいバージョン / レベルの Rack2-Filer で作成されたバインダであり、本製品でサポートしていない機能が使われています。アップデートパックが公開されているかを確認し、プログラムを更新 (アップデート) してください。

注意) プログラムを更新してもメッセージが表示される場合は、Rack2-Filer のバージョンアップ (有償) が必要です。

**データの保存処理でエラーが発生しました。
ディスクの状況 (空き容量 , 属性 , 接続状態) を確認して、再度実行してください。**

- 対 処 以下を確認してください。
- ・ WorkArea のデータ格納先のディスク容量が不足していないか
 - ・ WorkArea のデータ格納先に書き込み権限があるか
 - ・ リンクフォルダがネットワーク上にある場合、接続が切断されていないか
 - ・ 暗号化ソフトがインストールされていないか

電子データが含まれるページは、写真バインダには取り込めません。

- 対 処 電子データを削除してから写真バインダに取り込んでください。
元のページやサムネイルの電子データを削除したくない場合は、
ページをコピーまたは複製してから電子データを削除し、写真バインダに取り込んでください。

電子データ付きのページの間には、挿入することはできません。

- 対 処 電子データ付きのページの間以外に挿入してください。

添付ファイルが処理可能なファイル数の上限 (10 ファイル) を超えてしまうため、処理を行うことができません。

- 対 処 メール送信では、添付ファイルの上限があります。
添付ファイルに PDF ファイルを指定した場合は、サムネイル単位で PDF ファイルが作成されますので、上限を超えないように、サムネイルをまとめるか、または処理を分けて、再度実行してください。
添付ファイルに電子ファイルを指定した場合は、選択したサムネイル内の電子ファイルがすべて添付ファイルとなりますので、上限を超えないようにサムネイルを分けて、再度実行してください。

バインダの操作でエラーが発生しました。

以下の理由が考えられます。

- ・ キャビネットが見つからない
- ・ ネットワークが切断されている
- ・ ディスク容量が不足している
- ・ 読み取り専用のリンクフォルダが指定されている

キャビネットの存在、ネットワーク環境およびリンクフォルダの状態 (存在、属性等) を確認してください。

対 処 以下を確認し、再度、ファイル进行操作してください。

- ・ リンクフォルダや一時フォルダの空き容量が不足していないか
- ・ リンクフォルダに書き込み権限があるか (リンクフォルダに新規ファイルを作成できるか)
- ・ リンクフォルダがネットワーク上にある場合、接続が切断されていないか
- ・ キャビネットが存在するか (バインダ管理画面で [F5] キーを押すと最新の状態に更新されます)

バックアップ、または、復元処理中のため、WorkArea を起動できません。

対 処 バックアップ、または復元処理が終了してから、再度実行してください。

必要なファイルが見つかりません。

ビューアを再インストールしてください。

対 処 正しくインストールされていない可能性があります。
Rack2-Viewer をアンインストールして、再度インストールしてください。

**ファイルの取り込みに失敗しました。
ファイルの内容やディスクの状況を確認して、再度実行してください。**

- 対 処 以下を確認し、再度、ファイルを取り込んでください。
- ・ ファイルにアクセスできるか
 - ・ ファイルが他のアプリケーションで開かれていないか
 - ・ ファイルのファイルサイズが 0 ではないか
 - ・ ファイルのパスの長さが最大長（半角 256 文字）を超えていないか
 - ・ ファイルが壊れていないか（関連付けされているアプリケーションで正しく表示できるか）
 - ・ WorkArea のデータ格納先に書き込み権限があるか

**プログラムエラーが発生しました。
システムの再起動を行ってから、再度実行してください。**

- 対 処 システムの再起動を行ってから、再度実行してください。

**ページ数が最大登録ページ数（XXX）を超えるため、移動できません。
最大登録ページ数を超えないようにして再度実行してください。**

- 対 処 選択したサムネイルのページをバインダに移動すると、移動先バインダの最大登録ページ数を超過してしまいます。移動するサムネイルのページ数を減らすか、移動先バインダの不要なページを削除してから、再度実行してください。XXX には、バインダ管理画面の [バインダの編集] ダイアログボックスの [属性] タブの「バインダサイズ」で選択したバインダの最大登録ページ数が表示されます。このダイアログボックスの指定によって、以下の値が表示されます。
- 「500 ページ」が選択されている場合：500
 - 「1000 ページ」が選択されている場合：1000

**他で同じ操作が行われているため、実行できません。
他での処理が完了してから、再度実行してください。**

- 対 処 実行中の処理が完了してから再度実行してください。

他でデータ更新処理中のため実行できません。
しばらく待ってから、再度実行してください。

対 処 しばらく待ってから、再度実行してください。

本製品よりも新しいバージョン/レベルの Rack2-Filer で作られたページを追加しようとしています。この操作をすると、新しいバージョン/レベルのバインダに更新されるため、一部の操作ができなくなる場合があります。操作を続けますか？

対 処 本製品よりも新しいバージョン/レベルの Rack2-Filer で取り込まれたページを、本製品にコピー/移動などの操作で追加した場合、追加先の本製品のバインダも新しいバージョン/レベルのバインダに更新されるため、一部の操作ができなくなる場合があります。操作を続ける場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。

未サポートのファイル形式です。

対 処 未サポートのファイル形式であるか、または関連のアプリケーションに外部印刷機能がありません。

サポートしているファイル形式は、以下のとおりです。

BMP	: Windows および OS/2 ビットマップ
PCX	: Zsoft 形式 (シングルページ)
JPG,JPEG	: JPEG 形式
TIF,TIFF	: TIFF 形式 (マルチページを含む。 ZIP 圧縮形式は除きます。)
WMF	: Windows メタファイル
PSD	: Photoshop 3.0 形式
PNG	: Portable Network Graphics 形式
TGA	: Truevision TARGA 形式
PCD	: Photo CD 形式
FPX	: FlashPix 形式
PDF	: PDF 形式 (Rack2-Fileer で出力された PDF、または ScanSnap で読み取っ た PDF。それ以外の PDF は、関連付 けアプリケーションの印刷機能で取 り込まれます。)

エクスプローラでファイルを指定し、印刷メニューが表示されることを確認してください。

印刷メニューが表示されない場合は、ファイルを関連付けられているアプリケーションで開き、プリンタに「Raku2 ImageWriter」を指定して取り込むことができます。

PDF の作成処理中にエラーが発生しました。

再度実行してください。

対 処 以下を確認してください。

- ・ 一時フォルダの空き容量が不足していないか
- ・ 一時フォルダに書き込み権限があるか
- ・ 暗号化ソフトがインストールされていないか

WorkArea のデータ格納先フォルダにアクセスできません。
WorkArea のデータ格納先に指定されているフォルダの状態 (存在、属性等) を確認してください。
WorkArea のデータ格納先は、[編集]-[設定] より、[動作環境の設定] ダイアログボックス ([WorkArea] タブ) で確認できます。

- 対 処 以下を確認してください。
- ・ WorkArea のデータ格納先フォルダが存在するか
 - ・ フォルダに新規ファイルを作成できるか

索引



数字

- 1 ページずつページをめくる
..... 173
- 1 ページモード32, 180
- 2 ページずつ割り付ける 258
- 2 ページを 1 ページ内に割り付ける
..... 258

B

- Backup & Restore Tool の起動 .. 384
- Backup & Restore Tool の終了 .. 384

E

- Evernote 305
- Excel 文書 273

G

- Google ドキュメント 307

I

- iPad/iPhone/iPod touch 319

P

- PDF 保存 (名刺) 288

- PowerPoint 文書 273

R

- Rack2 Folder Monitor Software
..... 372
- Rack2 Mobile Link 320
- Rack2-Filer に保存75, 84
- Rack2-Filer の画面 27
- Rack2-WorkArea 8

S

- S1100 と連携する 68
- S1300 と連携する 68
- S1500 と連携する 68
- S300 と連携する 76
- S500 と連携する 76
- S510 と連携する 76
- Salesforce Chatter 311
- ScanSnap 44
- ScanSnap からイメージを読み取って
 バインダの背表紙にする 115
- ScanSnap からページを読み取る
..... 163
- ScanSnap と連携
 (S1100 / S1300 / S1500) ... 68

ScanSnap と連携
 (S300 / S510 / S500) 76
 SugarSync 315

T

TIFF 保存 (名刺) 288

W

Word 文書 273
 WorkArea 画面 27, 36
 WorkArea 画面の画面構成 36
 WorkArea 画面の起動 64
 WorkArea 画面の終了 66
 WorkArea 画面のメッセージ 436

あ

アクセス日時を確認する 132
 アップグレード 57
 アップデート 58
 アンインストール 55

い

移動 (原稿) 150, 243
 移動 (バインダ) 122
 移動 (名刺) 284
 印刷する 218
 印刷する (名刺) 289
 インストール 50
 インデックスシートを付ける 230

インポート 136

う

裏面の削除 242
 上書き保存 222

え

エクスポート 134
 閲覧モード 47

お

オフィス文書 273
 表面の削除 242

か

回転して表示する 182
 拡大して表示する 185
 画面 27
 画面構成 (WorkArea 画面) 36
 画面構成 (バインダ管理画面) 29
 画面構成 (ビューア画面) 32
 環境設定 152
 環境 (ソフトウェア) 43
 環境 (ハードウェア) 42

き

起動 (Backup & Restore Tool)
 384
 起動 (WorkArea 画面) 64

起動（バインダ管理画面）	62
キャビネット	25
キャビネットの名前を変更する	98
キャビネットの背景パターンを 変更する	106
キャビネットの表示形式を 切り替える	104
キャビネットの表示順を変更する	102
キャビネットを削除する	100
キャビネットを作成する	96
強調表示	216
強調表示をする／しないの設定	217
強調表示を有効にする	217

く

クラウド連携	305
--------	-----

け

原稿	8
原稿の片面をまとめて削除する	241
原稿の並び順を変更する	234
原稿を1ページに割り付ける	258
原稿をコピーする	248
原稿を削除する	239
原稿を貼り付ける	252
原稿を別名保存する	226
検索結果を強調表示する	216
検索する文字列を入力する	212
検索対象を設定する	212
検索（バインダ）	138

検索（ページ）	148, 214
---------	----------

こ

コピー（原稿）	151, 248
コピー（バインダ）	126
コピー（ページ）	265
コピー（名刺）	285
困ったときには	403

さ

削除（キャビネット）	100
削除（原稿）	239
削除（書庫）	93
削除（バインダ）	120
削除（ページ）	269
削除（名刺）	287
削除（元のファイル）	281
作成（キャビネット）	96
作成（写真バインダ）	343
作成（書庫）	90
作成（バインダ）	108
作成（名刺シート）	282
作成（名刺バインダ）	109
作成（リンクフォルダ）	86
サムネイルを表示する	232

し

指定した範囲を拡大する	185
写真アルバム	337
写真バインダを作成する	343

終了 (Backup & Restore Tool)	384
終了 (WorkArea 画面)	66
終了 (バインダ管理画面)	62
終了 (ビューア画面)	63
消去 (ページ)	268
書庫	25
書庫の名前を変更する	91
書庫の表示順を変更する	95
書庫を削除する	93
書庫を作成する	90

す

スキャナの動作環境	44
スタンプを押す	197
すべてのページを PDF 保存する	223

せ

背表紙にイメージを貼り付ける	114
----------------	-----

そ

ソフトウェアの環境	43
-----------	----

て

データを他のコンピュータに 移行する	158
電子データを削除する	281

電子データを修正する	279
電子データを取り込む	165

と

動作環境	42, 291
動作環境 (スキャナ)	44
動作環境 (ソフトウェア)	43
動作環境 (ハードウェア)	42
特長	24
トラブルシューティング	403

な

名前の変更 (キャビネット)	98
名前の変更 (書庫)	91
並べ替え (バインダ)	130
並び順を変更する	234

は

ハードウェアの環境	42
ハイパーリンクを設定する	193
バインダ	25
バインダ管理画面	27, 29
バインダ管理画面の画面構成	29
バインダ管理画面の起動	62
バインダ管理画面の終了	62
バインダ管理画面のメッセージ	414
バインダ内にある原稿の枚数を 確認する	132

バインダに関する情報を	
確認する	132
バインダにパスワードを付ける	
.....	113
バインダの格納場所を確認する	
.....	132
バインダの背表紙にイメージを貼る	
.....	118
バインダの背表紙を ScanSnap で	
読み取る	115
バインダの並び順を変更する	125
バインダのバージョンを確認する	
.....	132
バインダをアクセス日時の新しい順に	
並べ替える	130
バインダを移動する	122
バインダを上書き保存する	222
バインダを検索する	138
バインダをコピーする	126
バインダを削除する	120
バインダを作成する	108
バインダを出力する	134
バインダを取り込む	136
バインダを編集する	112
パスワードを付ける	113
バックアップ設定画面を表示する	
.....	385
バックアップ設定情報を作成する	
.....	387
バックアップを実行する	390
貼り付け（原稿）	252
貼り付け（名刺）	286

ひ

ビューア画面	27, 32
ビューア画面の画面構成	32
ビューア画面の終了	63
ビューア画面の表示	63
ビューア画面のメッセージ	421
表示形式の変更（キャビネット）	
.....	104
表示順の変更（キャビネット）	
.....	102
表示順の変更（書庫）	95
表示順の変更（リンクフォルダ）	
.....	89
表示範囲を変更する	184
表示方法を変更する	179
表示（ビューア画面）	63

ふ

ファイルサイズを確認する	132
ファイルを取り込む	165
復元画面を表示する	392
復元バインダを表示する	399
複数の原稿を指定する	253
複製（バインダ）	126
付箋紙を付ける	188

へ

ページ	8
ページにスタンプを押す	197

ページにハイパーリンクを 設定する	193
ページに付箋紙を付ける	188
ページにマーカーを引く	190
ページの表示範囲を変更する	184
ページの表示方法を変更する	179
ページ表示域	32
ページ読み取り (ScanSnap)	163
ページ読み取り (業務用 イメージ スキャナ fi シリー ズ)	160
ページを 1 ページ単位で表示する	180
ページを 90 度回転する	176
ページを印刷する	218
ページを回転して表示する	182
ページを検索する	148, 214
ページをコピーする	265
ページを上下反転する	175
ページを見開きにする	179
ページをメール送信する	271
ページをめくる (1 ページずつ)	173
ページをめくる (自動)	174
別名保存 (指定した原稿)	226
別名保存 (すべてのページ)	223
変更 (リンクフォルダ)	86
編集情報	8
編集 (バインダ)	112

ま

マーカーキーワード機能	209
マーカーを引く	190

み

未読一覧ページ	187
未読文書を表示する	187
見開きモード	33, 179

め

名刺シート (名刺用の原稿) を 作成する	282
名刺バインダを作成する	109
名刺を PDF 保存する	288
名刺を TIFF 保存する	288
名刺を印刷する	289
名刺をコピーする	285
名刺を削除する	287
名刺を上下反転する	283
名刺を貼り付ける	286
名刺をメール送信する	290
メール送信 (ページ)	271
メール送信 (名刺)	290
メッセージ (WorkArea 画面) ...	436
メッセージ (バインダ管理画面)	414
メッセージ (ビューア画面)	421

も

目次情報を設定する	200
目次の並び順を変更する	236
元のファイルを削除する	281
元のファイルを修正する	279
モバイル連携	319

り

リンクフォルダ	25
リンクフォルダ内のデータを 一括して復元する	394
リンクフォルダの表示順を変更する	89
リンクフォルダを設定する	86

れ

連続して自動でページをめくる	174
-------------------------	-----

ろ

ログファイル設定画面を表示する	400
--------------------------	-----

Rack2-Filer **ユーザーズガイド**

P2WW-2613-01Z0

発行日 2011年9月

発行責任 株式会社 PFU

-
- 本書の内容は、改善のため予告なく変更することがあります。
 - 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責任を負いません。
 - 無断転載を禁じます。